

中高地区
人権に係る住民意識調査
報告書

平成28年3月

中野市
山ノ内町
木島平村
野沢温泉村

目次

■調査概要	1
A 人権や差別についての考え方・イメージ・知識について	
問1 差別をなくすための諸意見への考え	4
問2 「人権」ということばへのイメージ（印象、感想）*	8
問3 人権の考え方に対する思い*	17
問4 一般的な「差別」というものに対する考え*	25
問5 差別に関する相対する意見への近さ*	35
問6 人権に関する条例や宣言の認知度*	37
B 人権問題に対するさまざまな課題について	
問7 子どもの結婚相手への同意	48
問8 子どもの人権問題*	53
問9 女性の人権問題*	59
問10 高齢者の人権問題*	67
問11 障がい者の人権問題*	74
問12 外国人の人権問題*	79
問13 HIV/エイズ、ハンセン病などの人権問題*	84
C 人権問題や差別への対応について	
問14 人権が侵害されるようなことがあった時の対応	90
問14-1 相談する相手	90
問15 知り合いで差別問題解消や人権擁護の取組みを行っている人の有無*	92
問15-1 取組みを行っている人の属性*	92
D 同和問題（部落問題）に関する学習経験について	
問16 学校での同和問題についての学習経験	94
問16-1 学習の内容	95
問16-2 学習を受けたことへの感想	96
問17 地域や職場での同和問題についての学習や研修への参加	97
問17-1 最も印象に残っている研修会の内容	99
問17-2 学習や研修に参加したことがない理由	100
E 同和問題の認知や意識について	
問18 差別を受けている地区や住民があることの認知度*	102
問18-1 初めて知ったきっかけ*	102
問19 「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ*	104
問20 「同和地区」の人に対する差別的な発言があった時の対応*	109
問21 同和地区出身者を理由とした結婚への反対者の存在*	110
問21-1 結婚への反対者がいる理由	111
問21-2 結婚への反対者を将来なくすこと*	113
問22 「同和地区の人はこわい」という話を聞いたことの有無*	114
問22-1 同和問題について初めて知ったきっかけ*	115
問22-2 話を聞いた時の感想*	116
問23 同和地区の人との結婚でもめたり、反対されたこと*	117
問24 同和地区居住者との付き合いの有無*	118
問24-1 付き合いの具体的内容*	119
F あなた自身のことについて	
問25 回答者のプロフィール（住所、性別、年齢、職業）*	121
G 自由意見	
問26 人権問題や差別に関する自由意見（項目別）	125
■「2015年中高地区人権に係る住民意識調査」の考察（奥田均）	130
■調査票	142

※は前回調査（2005年8月）との比較を記載

■調査概要

1. 調査の目的

「中高地区人権に係る住民意識調査」（以下「本調査」）は、長野県中高地区の4市町村（中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村）において、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえでの基礎資料として活用するため、住民の人権問題や人権についての考え方を把握することを目的とする。

2. 調査対象

本調査は、4市町村が協力して、中高地区としての地区特性を把握するため4市町村を横断したかたちで調査対象を設定した「中高地区調査」（下記①）と同時に、4市町村の個別調査としての内容を担保した「市町村別調査」（下記②～⑤）として実施した。

- ① 中高地区住民意識調査
- ② 中野市住民意識調査
- ③ 山ノ内町住民意識調査
- ④ 木島平村住民意識調査
- ⑤ 野沢温泉村住民意識調査

調査対象は各市町村の18歳以上の住民基本台帳人口（外国人含む）（平成27年8月1日現在）からの無作為抽出とし、統計上の95%優位を確保するため、各調査の調査対象標本数を次表のように設定した。

■調査対象標本数

調査区分	住民基本台帳人口* ¹	95%有意必要標本数	対象標本数* ²	全回収数	有効回収数	有効回収率* ³
①中高地区住民意識調査	57,673 (人)	382 (票)	764 (票)	419 (票)	414 (票)	54.2 (%)
②中野市住民意識調査	38,499	380	760	411	404	53.2
③山ノ内町住民意識調査	11,697	372	744	458	453	60.9
④木島平村住民意識調査	4,241	352	704	429	427	60.7
⑤野沢温泉村住民意識調査	3,236	343	686	406	402	58.6

*1：平成27年8月1日現在の住民基本台帳人口（外国人含む、18歳以上）

*2：対象標本数は住民基本台帳人口をベースに、算出式より95%優位必要標本数を算出（下記参照）し、回収率は50%として算出した。このため、対象標本数は必要標本数の2倍とした。

*3：有効回収率は、（有効回収数）÷（対象標本数<発送数>）×100%である。

（参考）必要標本数算出式

$$\text{必要標本数 (n)} \leq \frac{N}{M}$$

$$M = (e/k)^2 \times (N-1) / P(1-P) + 1$$

N = 必要人口（住民基本台帳人口）

P = 母集団比率 (%)

e = 目標精度 (%)

k = 信頼水準

※今回の基準は通常の場合として、信頼水準（k）は95%（1.96）、母集団比率（P）は50%（0.5）、目標精度（e）は5%（0.05）と仮定する。

3. 調査方法及び調査期間

(1) 調査方法

- ・郵送による発送・返送
- ・発送1週間後をめどに葉書による催促を全員に発送

(2) 調査期間

①発送

平成27年8月28日(金)

②返送(締め切り)

平成27年9月18日(金)

4. 調査の推進体制

(1) 実施主体

中高地区の4市町村(中野市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村)

(2) 受託機関

特定非営利活動法人 人権センターながの

(3) 推進会議

「中高地区人権に係る住民意識調査等推進会議」は、次表のメンバーを構成員とする。

■推進会議構成メンバー

区分	構成メンバー
学識経験者	近畿大学 人権問題研究所教授 奥田 均
市町村	中野市 人権・男女共同参画課
	山ノ内町 人権政策室
	木島平村 人権推進室
	野沢温泉村 人権対策室
事務局	特定非営利活動法人 人権センターながの 株式会社ユーエヌ土地利用研究所

【推進会議開催日】

推進会議は、3回開催した。

○第1回推進会議：2015(平成27)年 7月15日(水)

○第2回推進会議：2015(平成27)年 12月24日(木)

○第3回推進会議：2016(平成28)年 3月1日(火)

5. 調査結果の見方

- ・比率は全て百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。
このため、100.0%とならない回答もある。
- ・「複数回答」とは、1人が2つ以上の回答をしてもよい設問を言う。
- ・表中「n数」とは、回答数の合計をいう。
- ・「設問間比較」については、それぞれの選択肢の標点(重み)を付し、加重平均値を出して比較した。
- ・文中、本年度調査を「今回調査」、2005年8月に実施した調査を「前回調査」と呼んでいる。
- ・前回調査との比較は、比較が可能な設問について、「中高地区全体」について行った。
- ・『男女別』『年齢別』調査集計結果については、「中高地区全体」について集計表を別冊に掲載した。

調查結果

A. 人権や差別についての考え方・イメージ・知識について

問1 一般に次のような意見があります。あなたはどのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に、例にならって○をしてください。
(それぞれに○は1つ)

	1 この意見に 賛成である	2 どちらかと 言えば賛成 である	3 どちらかと 言えば反対 である	4 この意見に 反対である	5 わからない
例：法律で禁止すれば、自然に差別はなくなる。	1	2	③	4	5
(1)外国人差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5
(2)障がい者差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5
(3)HIV陽性者やハンセン病回復者(およびその家族)に対する差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5
(4)部落差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5

問1(1) 外国人差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる

【中高地区全体】

- 外国人差別については、そっとしておけば、自然に差別がなくなるについてみると、「この意見に反対である」が37.0% (153人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が28.3% (117人)、「わからない」が13.8% (57人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”(「この意見に反対である」+「どちらかと言えば反対である」)が65.3% (270人)、“賛成意見”(「この意見に賛成である」+「どちらかと言えば賛成である」)が18.1% (75人)と“反対意見”が6割以上となっている。

【中野市】

- 中野市においては、「この意見に反対である」が35.4% (143人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が30.2% (122人)、「どちらかと言えば賛成である」が15.1% (61人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が65.6% (265人)、“賛成意見”が18.6% (75人)と“反対意見”が“賛成意見”の約3.5倍で、その差は47.0ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「この意見に反対である」が29.8% (135人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が24.3% (110人)、「わからない」が16.8% (76人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が54.1% (245人)、“賛成意見”が25.0% (113人)と“反対意見”が“賛成意見”の約2.1倍で、その差は29.1ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「この意見に反対である」が39.1% (167人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が27.2% (116人)、「どちらかと言えば賛成である」「わからない」が同率で11.9% (51人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が66.3% (283人)、“賛成意見”が18.2% (78人)と“反対意見”が“賛成意見”の約3.6倍で、その差は48.1ポイントとなっている。

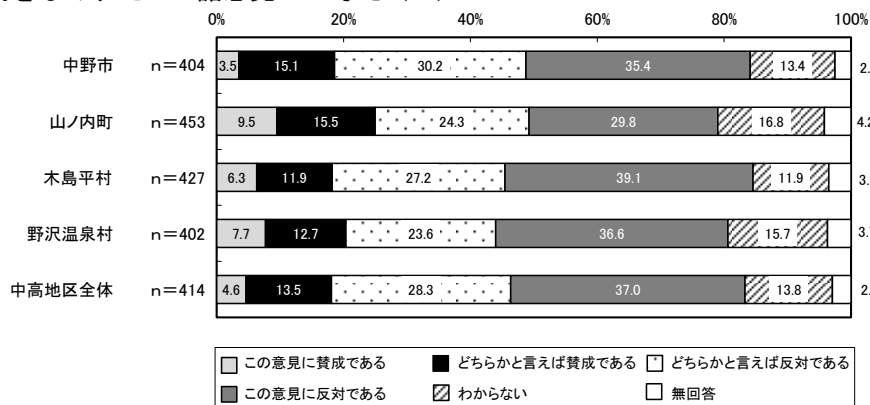
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「この意見に反対である」が36.6% (147人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が23.6% (95人)、「わからない」が15.7% (63人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が60.2% (242人)、“賛成意見”が20.4% (82人)と“反対意見”が“賛成意見”の約2.9倍で、その差は39.8ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“反対意見”が高くなっており、“反対意見”が最も高いのは『木島平村』で66.3% (283人)、次いで『中野市』で65.6% (265人)、『野沢温泉村』で60.2% (242人) の順となっている。一方“賛成意見”が最も高いのは『山ノ内町』で25.0% (113人)、次いで『野沢温泉村』で20.4% (82人)、『中野市』で18.6% (75人) の順となっている。

図 差別をなくすための諸意見への考え（1）



問 1 (2) 障がい者差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる

【中高地区全体】

- 障がい者差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなるについてみると、「この意見に反対である」が 55.3% (229 人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が 24.4% (101 人)、「どちらかと言えば賛成である」が 6.8% (28 人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”（「この意見に反対である」＋「どちらかと言えば反対である」）が 79.7% (330 人)、“賛成意見”（「この意見に賛成である」＋「どちらかと言えば賛成である」）が 11.1% (46 人) と“反対意見”が約 8 割となっている。

【中野市】

- 中野市においては、「この意見に反対である」が 54.5% (220 人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が 24.5% (99 人)、「どちらかと言えば賛成である」が 8.4% (34 人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が 79.0% (319 人)、“賛成意見”が 11.4% (46 人) と“反対意見”が“賛成意見”の約 6.9 倍で、その差は 67.6 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「この意見に反対である」が 45.9% (208 人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が 24.7% (112 人)、「どちらかと言えば賛成である」が 9.9% (45 人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が 70.6% (320 人)、“賛成意見”が 16.5% (75 人) と“反対意見”が“賛成意見”の約 4.2 倍で、その差は 54.1 ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「この意見に反対である」が 55.0% (235 人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が 22.2% (95 人)、「わからない」が 8.0% (34 人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が 77.2% (330 人)、“賛成意見”が 11.3% (48 人) と“反対意見”が“賛成意見”の約 6.8 倍で、その差は 65.9 ポイントとなっている。

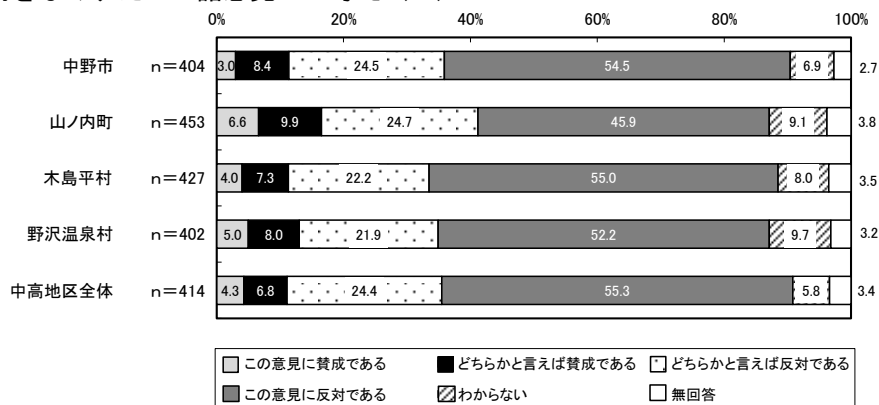
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「この意見に反対である」が 52.2% (210 人) で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が 21.9% (88 人)、「わからない」が 9.7% (39 人) の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が 74.1% (298 人)、“賛成意見”が 13.0% (52 人) と“反対意見”が“賛成意見”の約 5.7 倍で、その差は 61.1 ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“反対意見”が高くなっており、“反対意見”が最も高いのは『中野市』で 79.0% (319 人)、次いで『木島平村』で 77.2% (330 人)、『野沢温泉村』で 74.1% (298 人) の順となっている。一方“賛成意見”が最も高いのは『山ノ内町』で 16.5% (75 人)、次いで『野沢温泉村』で 13.0% (52 人)、『中野市』で 11.4% (46 人) の順となっている。

図 差別をなくすための諸意見への考え（2）



問1(3) HIV陽性者やハンセン病回復者（およびその家族）に対する差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる

【中高地区全体】

- HIV陽性者やハンセン病回復者（およびその家族）に対する差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなるについてみると、「この意見に反対である」が50.5%（209人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が24.9%（103人）、「わからない」が10.6%（44人）の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”（「この意見に反対である」＋「どちらかと言えば反対である」）が75.4%（312人），“賛成意見”（「この意見に賛成である」＋「どちらかと言えば賛成である」）が10.6%（44人）と“反対意見”が7割以上となっている。

【中野市】

- 中野市においては、「この意見に反対である」が49.8%（201人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が23.8%（96人）、「わからない」が12.4%（50人）の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が73.6%（297人），“賛成意見”が11.4%（46人）と“反対意見”が“賛成意見”の約6.4倍で、その差は62.2ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「この意見に反対である」が43.3%（196人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が22.7%（103人）、「わからない」が12.6%（57人）の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が66.0%（299人），“賛成意見”が17.9%（81人）と“反対意見”が“賛成意見”の約3.6倍で、その差は48.1ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「この意見に反対である」が50.4%（215人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が23.0%（98人）、「わからない」が10.1%（43人）の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が73.4%（313人），“賛成意見”が13.4%（57人）と“反対意見”が“賛成意見”の約5.4倍で、その差は60.0ポイントとなっている。

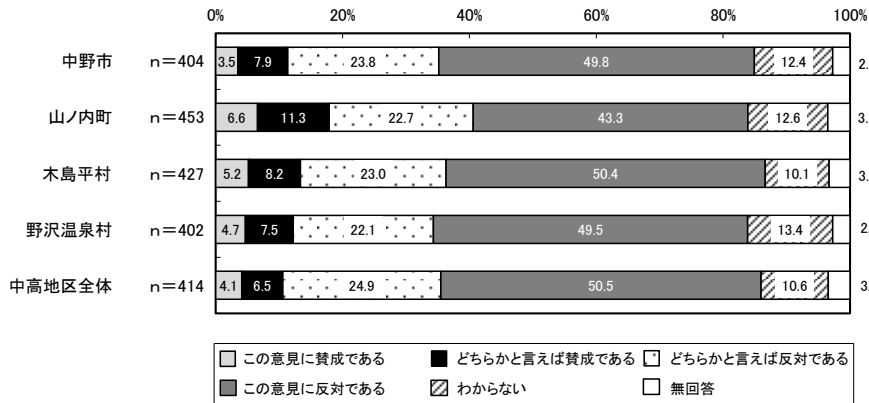
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「この意見に反対である」が49.5%（199人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が22.1%（89人）、「わからない」が13.4%（54人）の順となっている。
- 賛否別では“反対意見”が71.6%（288人），“賛成意見”が12.2%（49人）と“反対意見”が“賛成意見”の約5.8倍で、その差は59.4ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“反対意見”が高くなっており、“反対意見”が最も高いのは『中野市』で73.6%（297人）、次いで『木島平村』で73.4%（313人）、『野沢温泉村』で71.6%（288人）の順となっている。一方“賛成意見”が最も高いのは『山ノ内町』で17.9%（81人）、次いで『木島平村』で13.4%（57人）、『野沢温泉村』で12.2%（49人）の順となっている。

図 差別をなくすための諸意見への考え（3）



問 1（4） 部落差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる

【中高地区全体】

- ・部落差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなるについてみると、「この意見に反対である」が 34.1%（141 人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば賛成である」が 19.1%（79 人）、「どちらかと言えば反対である」が 18.1%（75 人）の順となっている。
- ・賛否別では“反対意見”（「この意見に反対である」＋「どちらかと言えば反対である」）が 52.2%（216 人），“賛成意見”（「この意見に賛成である」＋「どちらかと言えば賛成である」）が 32.9%（136 人）と“反対意見”が“賛成意見”に比べ 19.3 ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「この意見に反対である」が 30.0%（121 人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば賛成である」が 21.0%（85 人）、「どちらかと言えば反対である」が 20.3%（82 人）の順となっている。
- ・賛否別では“反対意見”が 50.3%（203 人），“賛成意見”が 35.1%（142 人）と“反対意見”が“賛成意見”に比べ 15.2 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「この意見に反対である」が 30.0%（136 人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば賛成である」が 20.5%（93 人）、「どちらかと言えば反対である」が 19.0%（86 人）の順となっている。
- ・賛否別では“反対意見”が 49.0%（222 人），“賛成意見”が 36.4%（165 人）と、“反対意見”が“賛成意見”に比べ 12.6 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「この意見に反対である」が 37.9%（162 人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が 18.5%（79 人）、「どちらかと言えば賛成である」が 16.6%（71 人）の順となっている。
- ・賛否別では“反対意見”が 56.4%（241 人），“賛成意見”が 29.2%（125 人）と“反対意見”が“賛成意見”の約 1.9 倍で、その差は 27.2 ポイントとなっている。

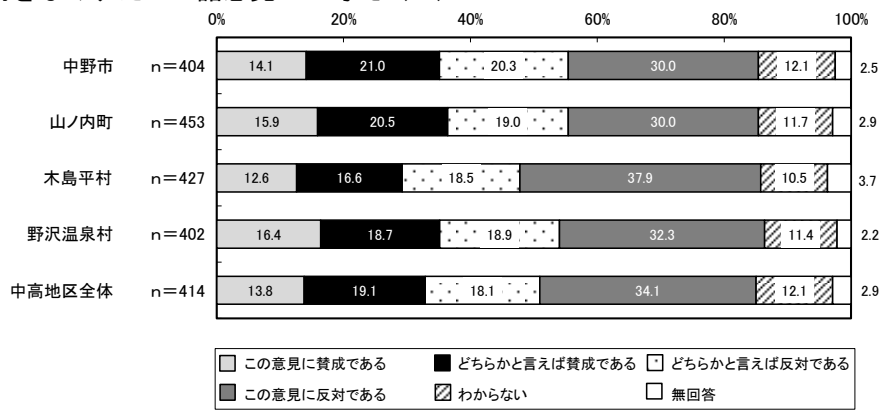
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「この意見に反対である」が 32.3%（130 人）で最も高く、次いで「どちらかと言えば反対である」が 18.9%（76 人）、「どちらかと言えば賛成である」が 18.7%（75 人）の順となっている。
- ・賛否別では“反対意見”が 51.2%（206 人），“賛成意見”が 35.1%（141 人）と“反対意見”が“賛成意見”に比べ 16.1 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“反対意見”が高くなっており、“反対意見”が最も高いのは『木島平村』で 56.4%（241 人）、次いで『野沢温泉村』で 51.2%（206 人）、『中野市』で 50.3%（203 人）の順となっている。一方“賛成意見”が最も高いのは『山ノ内町』で 36.4%（165 人）、次いで『中野市』『野沢温泉村』が同率で 35.1%（142 人、141 人）、『木島平村』で 29.2%（125 人）の順となっている。

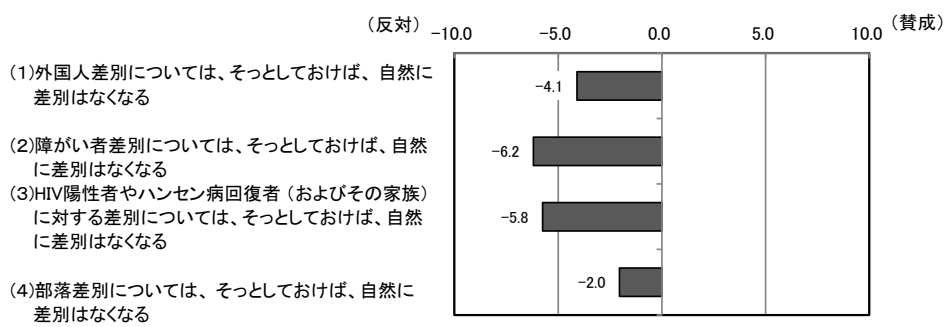
図 差別をなくすための諸意見への考え（４）



【設問間比較】

- ・“反対意見”について「障がい者差別については、そっとしておけば、自然に差別がなくなる」でマイナス6.2と最も高く、次いで「HIV陽性者やハンセン病回復者（およびその家族）に対する差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる」がマイナス5.8、「外国人差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる」がマイナス4.1の順となっている。

図 差別をなくすための諸意見への考え（設問間比較）



＜比較の方法＞

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・この意見に賛成である	10点	・この意見に反対である	-10点
・どちらかと言えば賛成である	5点	・どちらかと言えば反対である	-5点
・わからない	0点		

問2 あなたは「人権」について、どのようなイメージ（印象・感想）をお持ちですか。次の（1）～（9）の対になっている語句のすべてについて、あなたのイメージに一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は1つ）

<A>	1 非常にAに近い	2 ややAに近い	3 どちらともいえない	4 ややBに近い	5 非常にBに近い	
(1)暗い	1	2	3	4	5	明るい
(2)温かい	1	2	3	4	5	冷たい
(3)自己中心	1	2	3	4	5	他人尊重
(4)苦しい	1	2	3	4	5	楽しい
(5)身近な	1	2	3	4	5	縁遠い
(6)強制的な	1	2	3	4	5	自発的な
(7)古い	1	2	3	4	5	新しい
(8)親しみやすい	1	2	3	4	5	親しみにくい
(9)自由な	1	2	3	4	5	不自由な

問2（1） 暗い-明るい

【中高地区全体】

- ・「人権」ということばへのイメージ（A.暗い-B.明るい）についてみると、「どちらともいえない」が46.6%（193人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が26.1%（108人）、「ややBに近い」が

15.0% (62人) の順となっている。

- ・“Aに近い”（「非常にAに近い」＋「ややAに近い」）が30.9%（128人），“Bに近い”（「非常にBに近い」＋「ややBに近い」）が19.3%（80人）となっており，“Aに近い”が“Bに近い”に比べ11.6ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると，“Aに近い”が2.0ポイント（30.9-32.9）低くなっており、一方“Bに近い”が3.0ポイント（19.3-16.3）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が44.6%（180人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が29.2%（118人）、「ややBに近い」が12.6%（51人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が34.4%（139人），“Bに近い”が16.8%（68人）と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ17.6ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が55.0%（249人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が21.2%（96人）、「ややBに近い」が9.7%（44人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が26.9%（122人），“Bに近い”が13.2%（60人）と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ13.7ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が49.9%（213人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が23.7%（101人）、「ややBに近い」が11.9%（51人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が28.4%（121人），“Bに近い”が16.8%（72人）と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ11.6ポイント高くなっている。

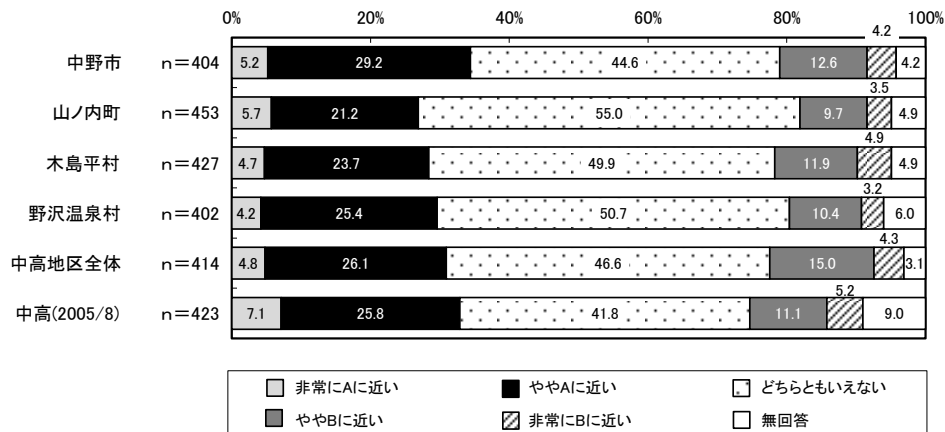
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が50.7%（204人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が25.4%（102人）、「ややBに近い」が10.4%（42人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が29.6%（119人），“Bに近い”が13.6%（55人）と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ16.0ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“Aに近い”が高くなっており、“Aに近い”が最も高いのは『中野市』で34.4%（139人）、次いで『野沢温泉村』で29.6%（119人）、『木島平村』で28.4%（121人）の順となっている。一方“Bに近い”が最も高いのは『中野市』『木島平村』が同率で16.8%（68人、72人）、次いで『野沢温泉村』で13.6%（55人）、『山ノ内町』で13.2%（60人）の順となっている。

図 「人権」ということばへのイメージ（印象、感想）（1）



問2(2) 温かい-冷たい

【中高地区全体】

- ・「人権」ということばへのイメージ（A. 温かい-B. 冷たい）についてみると、「どちらともいえない」が45.7%（189人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が20.5%（85人）、「ややAに近い」が19.8%（82人）の順となっている。
- ・“Aに近い”（「非常にAに近い」＋「ややAに近い」）が23.2%（96人），“Bに近い”（「非常にBに近い」＋「ややBに近い」）が26.1%（108人）となっており，“Bに近い”が“Aに近い”に比べ2.9ポイント高くなっている。

- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が4.4ポイント(23.2-27.6)低くなっており、一方“Bに近い”が4.2ポイント(26.1-21.9)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が43.1% (174人)で最も高く、次いで「ややAに近い」が21.5% (87人)、「ややBに近い」が20.5% (83人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が24.7% (100人)、“Bに近い”が26.2% (106人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ1.5ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が56.3% (255人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が16.3% (74人)、「ややAに近い」が13.0% (59人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が18.1% (82人)、“Bに近い”が20.1% (91人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ2.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が47.3% (202人)で最も高く、次いで「ややAに近い」「ややBに近い」が同率で19.2% (82人)、「非常にAに近い」が5.6% (24人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が24.8% (106人)、“Bに近い”が22.0% (94人)と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ2.8ポイント高くなっている。

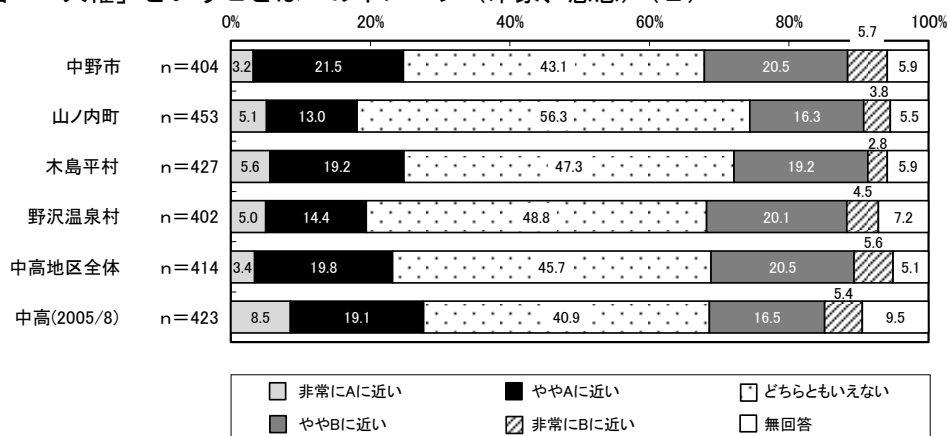
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が48.8% (196人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が20.1% (81人)、「ややAに近い」が14.4% (58人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が19.4% (78人)、“Bに近い”が24.6% (99人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ5.2ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『野沢温泉村』で“Bに近い”、『木島平村』で“Aに近い”が高くなっており、“Aに近い”が最も高いのは『木島平村』で24.8% (106人)、次いで『中野市』で24.7% (100人)、『野沢温泉村』で19.4% (78人)の順となっている。一方“Bに近い”が最も高いのは『中野市』で26.2% (106人)、次いで『野沢温泉村』で24.6% (99人)、『木島平村』で22.0% (94人)の順となっている。

図 「人権」ということばへのイメージ (印象、感想) (2)



問2(3) 自己中心—他人尊重

【中高地区全体】

- ・「人権」ということばへのイメージ (A. 自己中心—B. 他人尊重) についてみると、「どちらともいえない」が51.2% (212人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が20.8% (86人)、「ややAに近い」が9.9% (41人)の順となっている。
- ・“Aに近い”(「非常にAに近い」+「ややAに近い」)が13.0% (54人)、“Bに近い”(「非常にBに近い」+「ややBに近い」)が30.5% (126人)となっており、“Bに近い”が“Aに近い”の約2.3倍で、その差は17.5ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が6.9ポイント(13.0-19.9)低くなっており、一方“Bに近い”も1.2ポイント(30.5-31.7)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 50.7% (205 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 17.6% (71 人)、「ややAに近い」が 12.1% (49 人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が 15.1% (61 人)、“Bに近い”が 27.7% (112 人) と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ 12.6 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 53.6% (243 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 16.3% (74 人)、「ややAに近い」が 11.7% (53 人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が 17.2% (78 人)、“Bに近い”が 23.1% (105 人) と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ 5.9 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が 46.6% (199 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 19.4% (83 人)、「ややAに近い」「非常にBに近い」が同率で 11.9% (51 人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が 16.3% (70 人)、“Bに近い”が 31.3% (134 人) と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ 15.0 ポイント高くなっている。

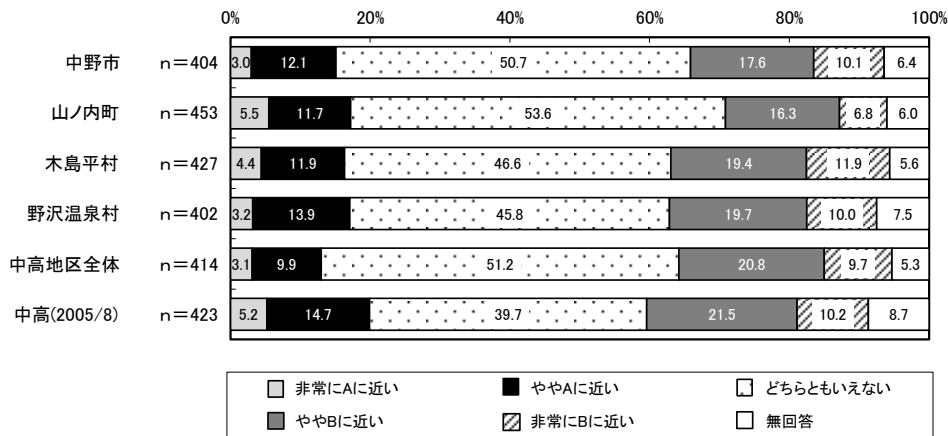
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 45.8% (184 人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が 19.7% (79 人)、「ややAに近い」が 13.9% (56 人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が 17.1% (69 人)、“Bに近い”が 29.7% (119 人) と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ 12.6 ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“Bに近い”が高くなっており、“Bに近い”が最も高いのは『木島平村』で 31.3% (134 人)、次いで『野沢温泉村』で 29.7% (119 人)、『中野市』で 27.7% (112 人) の順となっている。一方“Aに近い”が最も高いのは『山ノ内町』で 17.2% (78 人)、次いで『野沢温泉村』で 17.1% (69 人)、『木島平村』で 16.3% (70 人) の順となっている。

図 「人権」ということばへのイメージ (印象、感想) (3)



問2(4) 苦しい—楽しい

【中高地区全体】

- ・「人権」ということばへのイメージ (A. 苦しい—B. 楽しい) についてみると、「どちらともいえない」が 62.8% (260 人) で最も高く、次いで「ややAに近い」が 16.2% (67 人)、「ややBに近い」が 7.7% (32 人) の順となっている。
- ・“Aに近い”(「非常にAに近い」+「ややAに近い」)が 21.3% (88 人)、“Bに近い”(「非常にBに近い」+「ややBに近い」)が 10.8% (45 人) となっており、“Aに近い”が“Bに近い”に比べ 10.5 ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が 0.3 ポイント (21.3-21.6) 低くなっており、一方“Bに近い”も 2.2 ポイント (10.8-13.0) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 63.4% (256 人) で最も高く、次いで「ややAに近い」が 18.3% (74 人)、「ややBに近い」が 6.7% (27 人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が 22.3% (90 人)、“Bに近い”が 8.4% (34 人) と“Aに近い”が“Bに近い”に比

べ13.9ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が62.0% (281人) で最も高く、次いで「ややAに近い」が16.3% (74人)、「ややBに近い」が7.3% (33人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が21.6% (98人)、“Bに近い”が9.5% (43人) と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ12.1ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が60.4% (258人) で最も高く、次いで「ややAに近い」が18.0% (77人)、「ややBに近い」が7.3% (31人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が22.9% (98人)、“Bに近い”が9.6% (41人) と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ13.3ポイント高くなっている。

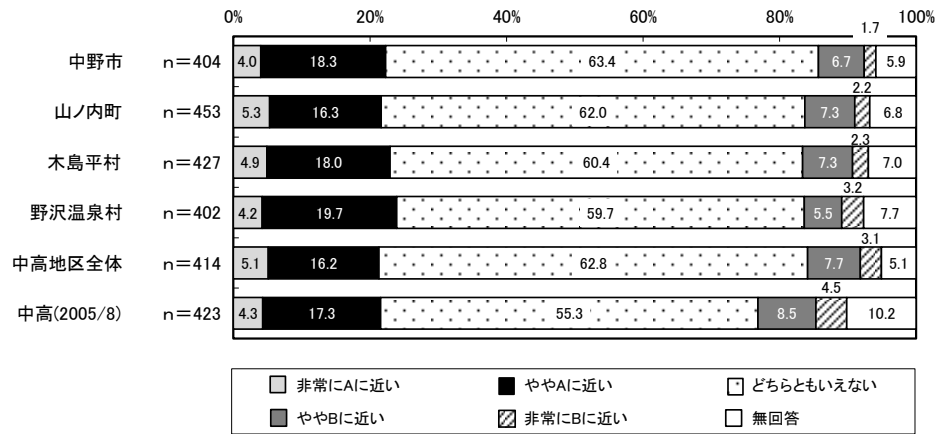
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が59.7% (240人) で最も高く、次いで「ややAに近い」が19.7% (79人)、「ややBに近い」が5.5% (22人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が23.9% (96人)、“Bに近い”が8.7% (35人) と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ15.2ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“Aに近い”が高くなっており、“Aに近い”が最も高いのは『野沢温泉村』で23.9% (96人)、次いで『木島平村』で22.9% (98人)、『中野市』で22.3% (90人) の順となっている。一方“Bに近い”が最も高いのは『木島平村』で9.6% (41人)、次いで『山ノ内町』で9.5% (43人)、『野沢温泉村』で8.7% (35人) の順となっている。

図 「人権」ということばへのイメージ (印象、感想) (4)



問2(5) 身近な—縁遠い

【中高地区全体】

- ・「人権」ということばへのイメージ (A. 身近な—B. 縁遠い) についてみると、「どちらともいえない」が41.3% (171人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が20.5% (85人)、「ややAに近い」が17.4% (72人) の順となっている。
- ・“Aに近い” (「非常にAに近い」+「ややAに近い」) が26.1% (108人)、“Bに近い” (「非常にBに近い」+「ややBに近い」) が27.0% (112人) となっており、“Bに近い”が“Aに近い”に比べ0.9ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が0.1ポイント (26.1-26.0) 高くなっており、一方“Bに近い”も2.9ポイント (27.0-24.1) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が42.3% (171人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が19.1% (77人)、「ややAに近い」が16.1% (65人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が26.0% (105人)、“Bに近い”が25.3% (102人) と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ0.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が44.8% (203人) で最も高く、次いで「ややAに近い」が18.3% (83人)、「ややBに近い」が17.9% (81人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が24.7% (112人)、“Bに近い”が23.6% (107人) と“Aに近い”が“Bに近い”に

比べ1.1ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が43.1%（184人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が18.0%（77人）、「ややAに近い」が17.1%（73人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が26.9%（115人），“Bに近い”が24.6%（105人）と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ2.3ポイント高くなっている。

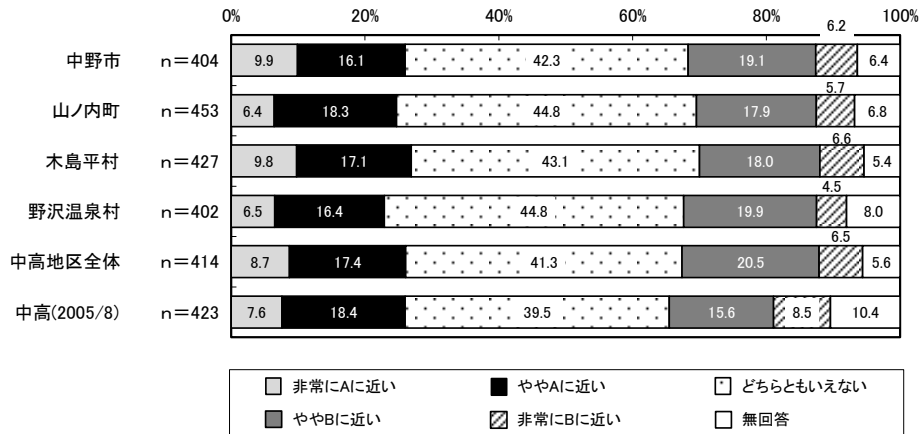
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が44.8%（180人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が19.9%（80人）、「ややAに近い」が16.4%（66人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が22.9%（92人），“Bに近い”が24.4%（98人）と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ1.5ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で“Aに近い”、『野沢温泉村』で“Bに近い”が高くなっており、“Aに近い”が最も高いのは『木島平村』で26.9%（115人）、次いで『中野市』で26.0%（105人）、『山ノ内町』で24.7%（112人）の順となっている。一方“Bに近い”が最も高いのは『中野市』で25.3%（102人）、次いで『木島平村』で24.6%（105人）、『野沢温泉村』で24.4%（98人）の順となっている。

図 「人権」ということばへのイメージ（印象、感想）（5）



問2(6) 強制的な-自発的な

【中高地区全体】

- ・「人権」ということばへのイメージ（A. 強制的な-B. 自発的な）についてみると、「どちらともいえない」が53.1%（220人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が18.6%（77人）、「ややAに近い」が13.5%（56人）の順となっている。
- ・“Aに近い”（「非常にAに近い」+「ややAに近い」）が16.4%（68人），“Bに近い”（「非常にBに近い」+「ややBに近い」）が24.6%（102人）となっており，“Bに近い”が“Aに近い”に比べ8.2ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が1.8ポイント（16.4-18.2）低くなっており、一方“Bに近い”も0.9ポイント（24.6-25.5）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が54.0%（218人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が18.6%（75人）、「ややAに近い」が13.6%（55人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が16.6%（67人），“Bに近い”が22.8%（92人）と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ6.2ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が57.0%（258人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が14.1%（64人）、「ややAに近い」が12.4%（56人）の順となっている。
- ・“Aに近い”が15.7%（71人），“Bに近い”が20.3%（92人）と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ4.6ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が51.1%（218人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が19.9%（85人）、「ややAに近い」が12.2%（52人）の順となっている。

- ・“Aに近い”が13.4% (57人)、“Bに近い”が27.4% (117人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ14.0ポイント高くなっている。

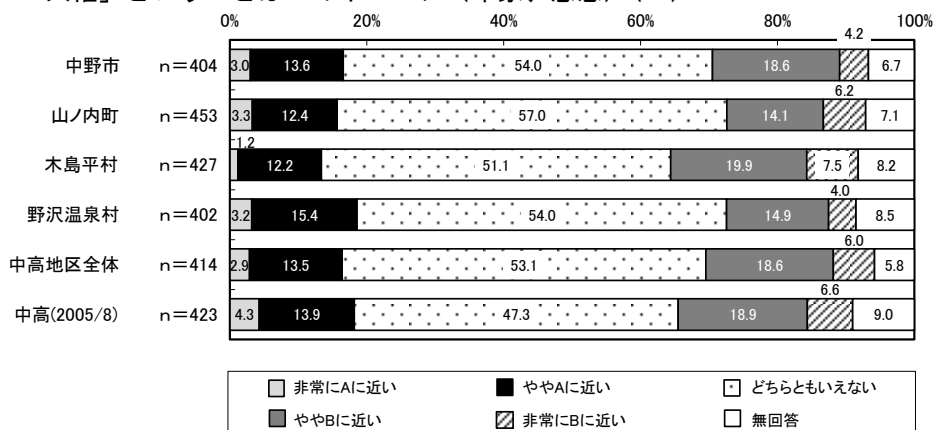
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が54.0% (217人)で最も高く、次いで「ややAに近い」が15.4% (62人)、「ややBに近い」が14.9% (60人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が18.6% (75人)、“Bに近い”が18.9% (76人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ0.3ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“Bに近い”が高くなっており、“Bに近い”が最も高いのは『木島平村』で27.4% (117人)、次いで『中野市』で22.8% (92人)、『山ノ内町』で20.3% (92人)の順となっている。一方“Aに近い”が最も高いのは『野沢温泉村』で18.6% (75人)、次いで『中野市』で16.6% (67人)、『山ノ内町』で15.7% (71人)の順となっている。

図 「人権」ということばへのイメージ (印象、感想) (6)



問2(7) 古い—新しい

【中高地区全体】

- ・「人権」ということばへのイメージ (A. 古い—B. 新しい) についてみると、「どちらともいえない」が51.2% (212人)で最も高く、次いで「ややAに近い」が19.1% (79人)、「ややBに近い」が14.5% (60人)の順となっている。
- ・“Aに近い” (「非常にAに近い」+「ややAに近い」) が24.7% (102人)、“Bに近い” (「非常にBに近い」+「ややBに近い」) が19.1% (79人)となっており、“Aに近い”が“Bに近い”に比べ5.6ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が0.1ポイント (24.7-24.6) 高くなっており、一方“Bに近い”が4.5ポイント (19.1-23.6) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が47.0% (190人)で最も高く、次いで「ややAに近い」が23.0% (93人)、「ややBに近い」が12.6% (51人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が29.9% (121人)、“Bに近い”が16.8% (68人)と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ13.1ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が54.7% (248人)で最も高く、次いで「ややAに近い」が17.0% (77人)、「ややBに近い」が10.4% (47人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が24.9% (113人)、“Bに近い”が13.5% (61人)と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ11.4ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が49.2% (210人)で最も高く、次いで「ややAに近い」「ややBに近い」が同率で15.7% (67人)、「非常にAに近い」が7.3% (31人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が23.0% (98人)、“Bに近い”が22.0% (94人)と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ1.0ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が50.0% (201人)で最も高く、次いで「ややAに

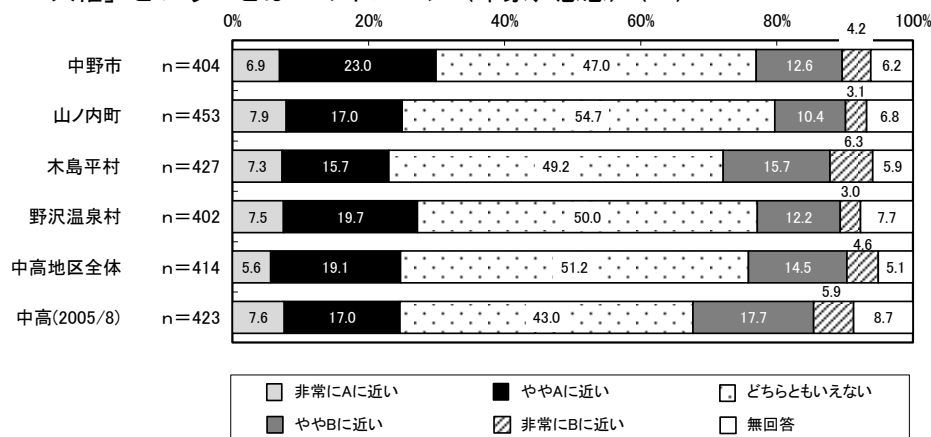
近い」が19.7% (79人)、「ややBに近い」が12.2% (49人) の順となっている。

- ・“Aに近い”が27.2% (109人)、“Bに近い”が15.2% (61人)と“Aに近い”が“Bに近い”に比べ12.0ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“Aに近い”が高くなっており、“Aに近い”が最も高いのは『中野市』で29.9% (121人)、次いで『野沢温泉村』で27.2% (109人)、『山ノ内町』で24.9% (113人) の順となっている。一方“Bに近い”が最も高いのは『木島平村』で22.0% (94人)、次いで『中野市』で16.8% (68人)、『野沢温泉村』で15.2% (61人) の順となっている。

図 「人権」ということばへのイメージ (印象、感想) (7)



問2(8) 親しみやすい—親しみにくい

【中高地区全体】

- ・「人権」ということばへのイメージ (A. 親しみやすい—B. 親しみにくい) についてみると、「どちらともいえない」が50.2% (208人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が22.9% (95人)、「ややAに近い」が9.7% (40人) の順となっている。
- ・“Aに近い” (「非常にAに近い」 + 「ややAに近い」) が12.8% (53人)、“Bに近い” (「非常にBに近い」 + 「ややBに近い」) が32.3% (134人) となっており、“Bに近い”が“Aに近い”に比べ19.5ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が1.6ポイント (12.8-14.4) 低くなっており、一方“Bに近い”も2.5ポイント (32.3-34.8) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が48.3% (195人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が26.2% (106人)、「非常にBに近い」が8.7% (35人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が11.6% (47人)、“Bに近い”が34.9% (141人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ23.3ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が50.8% (230人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が22.1% (100人)、「非常にBに近い」が9.9% (45人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が11.7% (53人)、“Bに近い”が32.0% (145人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ20.3ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が52.9% (226人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が22.2% (95人)、「ややAに近い」が8.7% (37人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が12.2% (52人)、“Bに近い”が28.8% (123人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ16.6ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

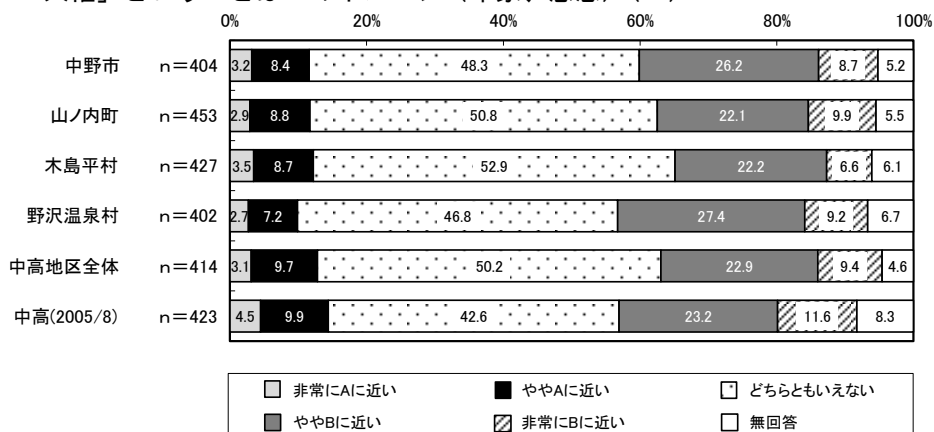
- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が46.8% (188人) で最も高く、次いで「ややBに近い」が27.4% (110人)、「非常にBに近い」が9.2% (37人) の順となっている。
- ・“Aに近い”が9.9% (40人)、“Bに近い”が36.6% (147人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ26.7ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“Bに近い”が高くなっており、“Bに近い”が最も高い

のは『野沢温泉村』で36.6% (147人)、次いで『中野市』で34.9% (141人)、『山ノ内町』で32.0% (145人)の順となっている。一方“Aに近い”が最も高いのは『木島平村』で12.2% (52人)、次いで『山ノ内町』で11.7% (53人)、『中野市』で11.6% (47人)の順となっている。

図 「人権」ということばへのイメージ (印象、感想) (8)



問2(9) 自由な—不自由な

【中高地区全体】

- ・「人権」ということばへのイメージ (A. 自由な—B. 不自由な) についてみると、「どちらともいえない」が55.3% (229人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が15.9% (66人)、「ややAに近い」が14.7% (61人)の順となっている。
- ・“Aに近い”(「非常にAに近い」+「ややAに近い」)が18.8% (78人)、“Bに近い”(「非常にBに近い」+「ややBに近い」)が20.5% (85人)となっており、“Bに近い”が“Aに近い”に比べ1.7ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が6.1ポイント (18.8-24.9)低くなっており、一方“Bに近い”も1.0ポイント (20.5-21.5)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が52.5% (212人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が16.3% (66人)、「ややAに近い」が15.1% (61人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が20.3% (82人)、“Bに近い”が21.5% (87人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ1.2ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が55.2% (250人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が16.1% (73人)、「ややAに近い」が12.1% (55人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が17.2% (78人)、“Bに近い”が21.0% (95人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ3.8ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が54.3% (232人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が16.2% (69人)、「ややAに近い」が12.9% (55人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が19.5% (83人)、“Bに近い”が20.2% (86人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ0.7ポイント高くなっている。

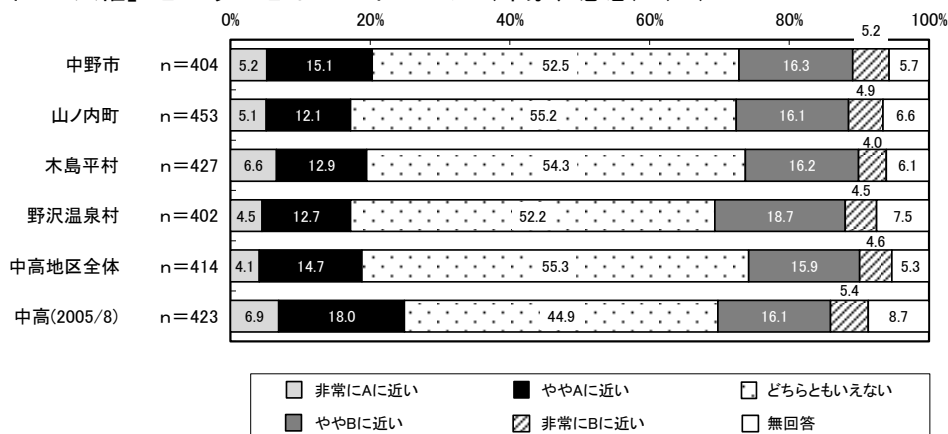
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が52.2% (210人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が18.7% (75人)、「ややAに近い」が12.7% (51人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が17.2% (69人)、“Bに近い”が23.2% (93人)と“Bに近い”が“Aに近い”に比べ6.0ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“Bに近い”が高くなっており、“Bに近い”が最も高いのは『野沢温泉村』で23.2% (93人)、次いで『中野市』で21.5% (87人)、『山ノ内町』で21.0% (95人)の順となっている。一方“Aに近い”が最も高いのは『中野市』で20.3% (82人)、次いで『木島平村』で19.5% (83人)、『山ノ内町』『野沢温泉村』が同率で17.2% (78人、69人)の順となっている。

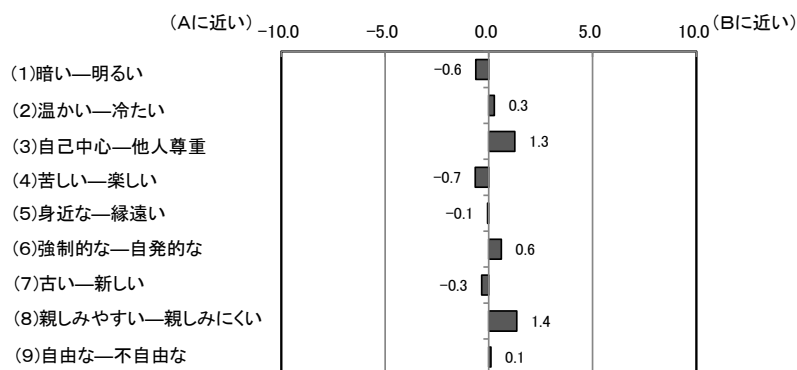
図 「人権」ということばへのイメージ（印象、感想）（9）



【設問間比較】

・“Aに近い”について「苦しい—楽しい」がマイナス0.7と最も高く、次いで「暗い—明るい」がマイナス0.6、「古い—新しい」がマイナス0.3の順となっている。一方“Bに近い”について「親しみやすい—親しみにくい」で1.4と最も高く、次いで「自己中心—他人尊重」が1.3、「強制的な—自発的な」が0.6の順となっている。

図 「人権」ということばへのイメージ（印象、感想）（設問間比較）



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・非常にAに近い …………… -10点
- ・非常にBに近い …………… 10点
- ・ややAに近い …………… -5点
- ・ややBに近い …………… 5点
- ・どちらともいえない …………… 0点

問3 あなたは次のような人権の考え方について、どのように思いますか。次の（1）～（7）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は1つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 そう思わない
(1) 人権は、自分の生活の中には関係ない	1	2	3	4	5
(2) 人権は、職場の中では通用しない	1	2	3	4	5
(3) 人権は、夫婦の間では関係ない	1	2	3	4	5
(4) 人権は、幼児には関係ない	1	2	3	4	5
(5) 人権は、外国人には関係ない	1	2	3	4	5
(6) 人権と結婚とは関係ない	1	2	3	4	5
(7) 人権は、職業の選択とは関係ない	1	2	3	4	5

問3（1） 人権は、自分の生活の中には関係ない

【中高地区全体】

・人権は、自分の生活の中には関係ないについてみると、「そう思わない」が33.3%（138人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が23.4%（97人）、「どちらともいえない」が22.2%

(92人)の順となっている。

- ・“思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が18.8%(78人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が56.7%(235人)となっており、“思わない”が“思う”の約3倍で、その差は37.9ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が1.8ポイント(18.8-20.6)低くなっており、一方“思わない”が4.9ポイント(56.7-51.8)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が32.2%(130人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」が同率で23.3%(94人)、「どちらかといえばそう思う」が12.9%(52人)の順となっている。
- ・“思う”が18.8%(76人)、“思わない”が55.5%(224人)と“思わない”が“思う”の約2.9倍で、その差は36.7ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が30.0%(136人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.6%(107人)、「どちらかといえばそう思わない」が22.3%(101人)の順となっている。
- ・“思う”が20.7%(94人)、“思わない”が52.3%(237人)と“思わない”が“思う”の約2.5倍で、その差は31.6ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が37.5%(160人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が23.2%(99人)、「どちらともいえない」が20.8%(89人)の順となっている。
- ・“思う”が16.1%(69人)、“思わない”が60.7%(259人)と“思わない”が“思う”の約3.7倍で、その差は44.6ポイントとなっている。

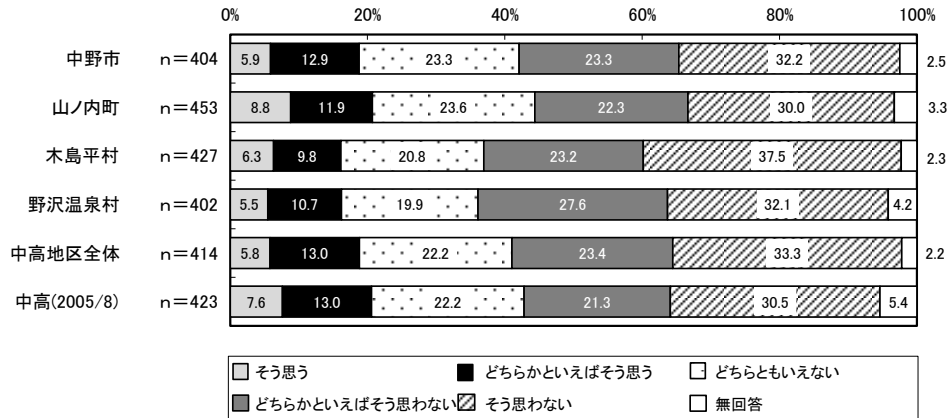
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が32.1%(129人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が27.6%(111人)、「どちらともいえない」が19.9%(80人)の順となっている。
- ・“思う”が16.2%(65人)、“思わない”が59.7%(240人)と“思わない”が“思う”の約3.6倍で、その差は36.7ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で60.7%(259人)、次いで『野沢温泉村』で59.7%(240人)、『中野市』で55.5%(224人)の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で20.7%(94人)、次いで『中野市』で18.8%(76人)、『野沢温泉村』で16.2%(65人)の順となっている。

図 人権の考え方に対する思い(1)



問3(2) 人権は、職場の中では通用しない

【中高地区全体】

- ・人権は、職場の中では通用しないについてみると、「そう思わない」が31.9%(132人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.4%(97人)、「どちらかといえばそう思わない」が21.3%(88人)の順となっている。
- ・“思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が20.8%(86人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が53.2%(220人)となっており、“思わない”が“思う”の約2.5倍で、その差は32.4ポイントとなっている。

- ・前回調査と比較すると、“思う”が2.4ポイント(20.8-23.2)低くなっており、一方“思わない”が9.9ポイント(53.2-43.3)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が32.9%(133人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.3%(94人)、「どちらかといえばそう思わない」が19.8%(80人)の順となっている。
- ・“思う”が20.8%(84人)、“思わない”が52.7%(213人)と“思わない”が“思う”の約2.5倍で、その差は31.9ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が26.9%(122人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.8%(117人)、「どちらかといえばそう思わない」が21.4%(97人)の順となっている。
- ・“思う”が21.9%(99人)、“思わない”が48.3%(219人)と“思わない”が“思う”の約2.2倍で、その差は26.4ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が37.2%(159人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が19.9%(85人)、「どちらかといえばそう思わない」が18.3%(78人)の順となっている。
- ・“思う”が19.6%(84人)、“思わない”が55.5%(237人)と“思わない”が“思う”の約2.8倍で、その差は35.9ポイントとなっている。

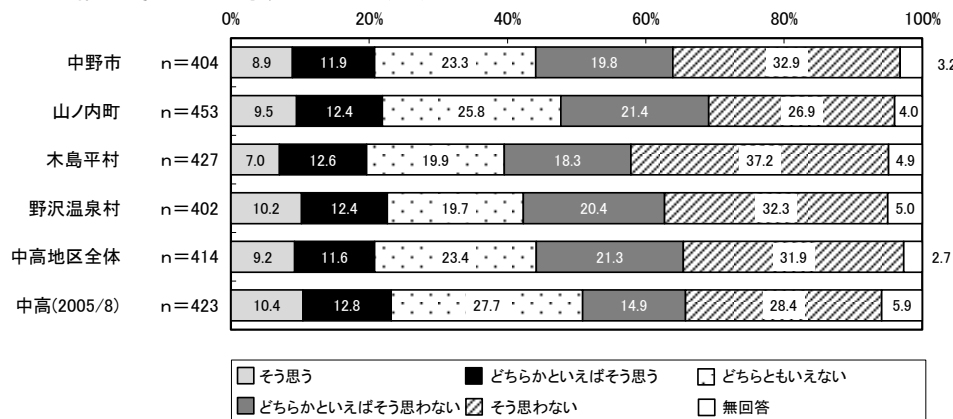
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が32.3%(130人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が20.4%(82人)、「どちらともいえない」が19.7%(79人)の順となっている。
- ・“思う”が22.6%(91人)、“思わない”が52.7%(212人)と“思わない”が“思う”の約2.3倍で、その差は30.1ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で55.5%(237人)、次いで『中野市』『野沢温泉村』が同率で52.7%(213人、212人)、『山ノ内町』で48.3%(219人)の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で22.6%(91人)、次いで『山ノ内町』で21.9%(99人)、『中野市』が20.8%(84人)の順となっている。

図 人権の考え方に対する思い(2)



問3(3) 人権は、夫婦の間では関係ない

【中高地区全体】

- ・人権は、夫婦の間では関係ないについてみると、「そう思わない」が38.6%(160人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が19.3%(80人)、「どちらかといえばそう思わない」が18.4%(76人)の順となっている。
- ・“思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が21.5%(89人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が57.0%(236人)となっており、“思わない”が“思う”の約2.6倍で、その差は35.5ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が0.2ポイント(21.5-21.7)低くなっており、一方“思わない”が5.0ポイント(57.0-52.0)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が35.9%（145人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.1%（77人）、「どちらともいえない」が18.3%（74人）の順となっている。
- ・“思う”が24.3%（98人），“思わない”が55.0%（222人）と“思わない”が“思う”の約2.2倍で、その差は30.7ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が34.2%（155人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が18.3%（83人）の順となっている。
- ・“思う”が22.7%（103人），“思わない”が52.5%（238人）と“思わない”が“思う”の約2.3倍で、その差は29.8ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が44.5%（190人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.4%（83人）、「どちらともいえない」が16.2%（69人）の順となっている。
- ・“思う”が17.3%（74人），“思わない”が63.9%（273人）と“思わない”が“思う”の約3.6倍で、その差は46.6ポイントとなっている。

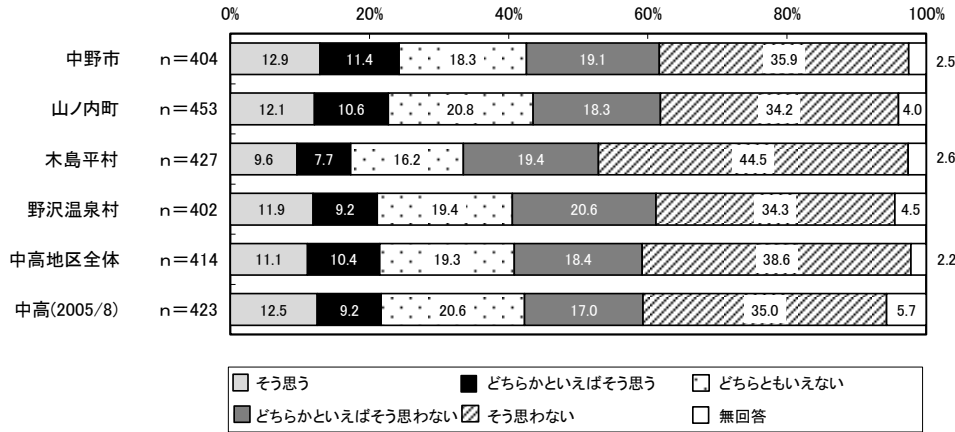
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が34.3%（138人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が20.6%（83人）、「どちらともいえない」が19.4%（78人）の順となっている。
- ・“思う”が21.1%（85人），“思わない”が54.9%（221人）と“思わない”が“思う”の約2.6倍で、その差は33.8ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で63.9%（273人）、次いで『中野市』で55.0%（222人）、『野沢温泉村』で54.9%（221人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『中野市』で24.3%（98人）、次いで『山ノ内町』で22.7%（103人）、『野沢温泉村』で21.1%（85人）の順となっている。

図 人権の考え方に対する思い（3）



問3(4) 人権は、幼児には関係ない

【中高地区全体】

- ・人権は、幼児には関係ないについてみると、「そう思わない」が44.0%（182人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が18.6%（77人）、「どちらともいえない」が15.5%（64人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が19.9%（82人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が62.6%（259人）となっており，“思わない”が“思う”の約3.1倍で、その差は42.7ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が1.2ポイント（19.9-18.7）高くなっており、一方“思わない”も3.0ポイント（62.6-59.6）高くなってきている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が42.3%（171人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が18.6%（75人）、「どちらともいえない」が14.9%（60人）の順となっている。
- ・“思う”が21.8%（88人），“思わない”が60.9%（246人）と“思わない”が“思う”の約2.7倍で、その差は39.1ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思わない」が37.3%（169人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が20.8%（94人）、「どちらともいえない」が17.7%（80人）の順となっている。
- “思う”が21.0%（95人），“思わない”が58.1%（263人）と“思わない”が“思う”の約2.7倍で、その差は37.1ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思わない」が48.5%（207人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が20.1%（86人）、「どちらともいえない」が13.3%（57人）の順となっている。
- “思う”が15.2%（65人），“思わない”が68.6%（293人）と“思わない”が“思う”の約4.5倍で、その差は53.4ポイントとなっている。

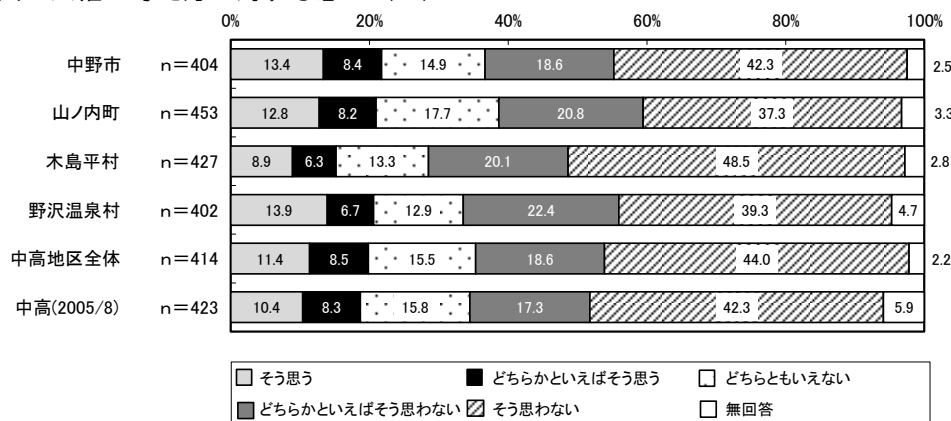
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「そう思わない」が39.3%（158人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が22.4%（90人）、「そう思う」が13.9%（56人）の順となっている。
- “思う”が20.6%（83人），“思わない”が61.7%（248人）と“思わない”が“思う”の約2.9倍で、その差は41.1ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で68.6%（293人）、次いで『野沢温泉村』で61.7%（248人）、『中野市』で60.9%（246人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『中野市』で21.8%（88人）、次いで『山ノ内町』で21.0%（95人）、『野沢温泉村』で20.6%（83人）の順となっている。

図 人権の考え方に対する思い（４）



問3(5) 人権は、外国人には関係ない

【中高地区全体】

- 人権は、外国人には関係ないについてみると、「そう思わない」が45.4%（188人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が20.0%（83人）、「どちらともいえない」が19.1%（79人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が13.8%（57人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が65.4%（271人）となっており，“思わない”が“思う”の約4.7倍で、その差は51.6ポイントとなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が2.0ポイント（13.8-11.8）高くなっており、一方“思わない”が0.3ポイント（65.4-65.7）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思わない」が44.6%（180人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が19.3%（78人）、「どちらかといえばそう思わない」が19.1%（77人）の順となっている。
- “思う”が14.9%（60人），“思わない”が63.7%（257人）と“思わない”が“思う”の約4.2倍で、その差は48.8ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思わない」が41.5%（188人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が21.6%（98人）、「どちらともいえない」が18.3%（83人）の順となっている。
- “思う”が15.0%（68人），“思わない”が63.1%（286人）と“思わない”が“思う”の約4.2倍で、その差は48.1ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が52.5%（224人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.9%（85人）、「どちらともいえない」が13.3%（57人）の順となっている。
- ・“思う”が10.1%（43人），“思わない”が72.4%（309人）と“思わない”が“思う”の約7.1倍で、その差は62.3ポイントとなっている。

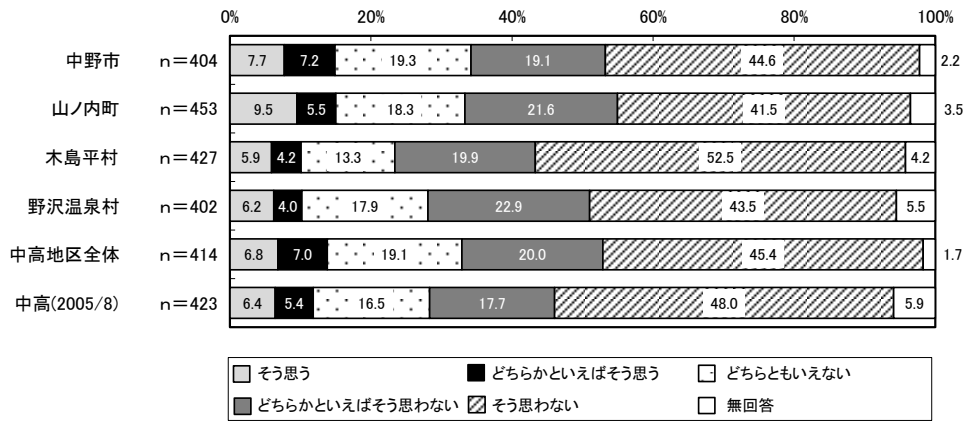
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が43.5%（175人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が22.9%（92人）、「どちらともいえない」が17.9%（72人）の順となっている。
- ・“思う”が10.2%（41人），“思わない”が66.4%（267人）と“思わない”が“思う”の約6.5倍で、その差は56.2ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で72.4%（309人）、次いで『野沢温泉村』で66.4%（267人）、『中野市』で63.7%（257人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で15.0%（68人）、次いで『中野市』で14.9%（60人）、『野沢温泉村』で10.2%（41人）の順となっている。

図 人権の考え方に対する思い（5）



問3(6) 人権と結婚とは関係ない

【中高地区全体】

- ・人権と結婚とは関係ないについてみると、「そう思わない」が34.3%（142人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が20.3%（84人）、「どちらかといえばそう思わない」が18.1%（75人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が25.1%（104人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が52.4%（217人）となっており，“思わない”が“思う”の約2.0倍で、その差は27.3ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が1.6ポイント（25.1-26.7）低くなっており、一方“思わない”が3.7ポイント（52.4-48.7）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が32.4%（131人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.8%（92人）、「どちらかといえばそう思わない」が18.3%（74人）の順となっている。
- ・“思う”が23.3%（94人），“思わない”が50.7%（205人）と“思わない”が“思う”の約2.1倍で、その差は27.4ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が26.9%（122人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が20.5%（93人）、「そう思う」が18.5%（84人）の順となっている。
- ・“思う”が32.8%（149人），“思わない”が43.0%（195人）と“思わない”が“思う”に比べ10.2ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が37.2%（159人）で最も高く、次いで「そう思う」が16.4%（70人）、「どちらかといえばそう思わない」が16.2%（69人）の順となっている。
- ・“思う”が28.1%（120人），“思わない”が53.4%（228人）と“思わない”が“思う”の約1.9倍で、その差は25.3ポイントとなっている。

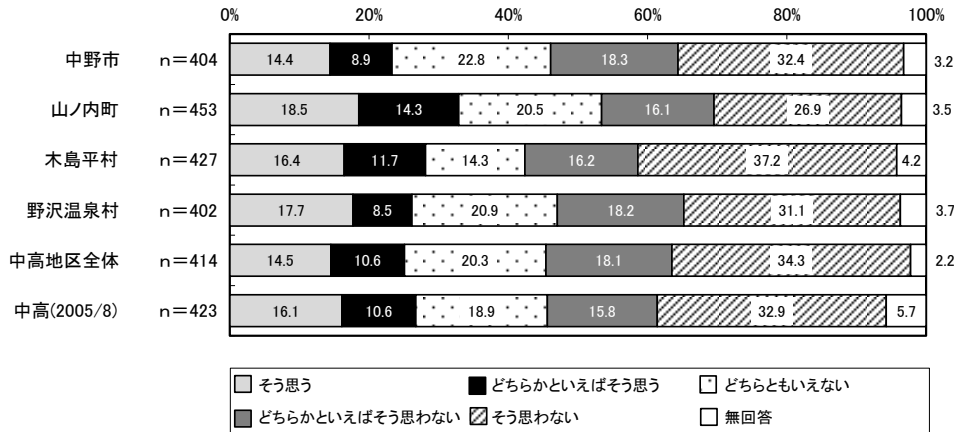
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が31.1%（125人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が20.9%（84人）、「どちらかといえばそう思わない」が18.2%（73人）の順となっている。
- ・“思う”が26.2%（105人），“思わない”が49.3%（198人）と“思わない”が“思う”の約1.8倍で、その差は23.1ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で53.4%（228人）、次いで『中野市』で50.7%（205人）、『野沢温泉村』で49.3%（198人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で32.8%（149人）、次いで『木島平村』で28.1%（120人）、『野沢温泉村』で26.2%（105人）の順となっている。

図 人権の考え方に対する思い（6）



問3(7) 人権は、職業の選択とは関係ない

【中高地区全体】

- ・人権は、職業の選択とは関係ないについてみると、「そう思わない」が31.2%（129人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が18.8%（78人）、「そう思う」が18.4%（76人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が31.7%（131人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が47.1%（195人）となっており，“思わない”が“思う”に比べ15.4ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が1.4ポイント（31.7-33.1）低くなっており、一方“思わない”が3.1ポイント（47.1-44.0）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が29.5%（119人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が20.8%（84人）、「そう思う」が18.6%（75人）の順となっている。
- ・“思う”が32.0%（129人），“思わない”が45.1%（182人）と“思わない”が“思う”に比べ13.1ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が24.7%（112人）で最も高く、次いで「そう思う」が21.9%（99人）、「どちらともいえない」が19.6%（89人）の順となっている。
- ・“思う”が37.4%（169人），“思わない”が39.7%（180人）と“思わない”が“思う”に比べ2.3ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が32.6%（139人）で最も高く、次いで「そう思う」が20.4%（87人）、「どちらともいえない」が15.5%（66人）の順となっている。
- ・“思う”が32.6%（139人），“思わない”が47.6%（203人）と“思わない”が“思う”に比べ15.0ポイント高くなっている。

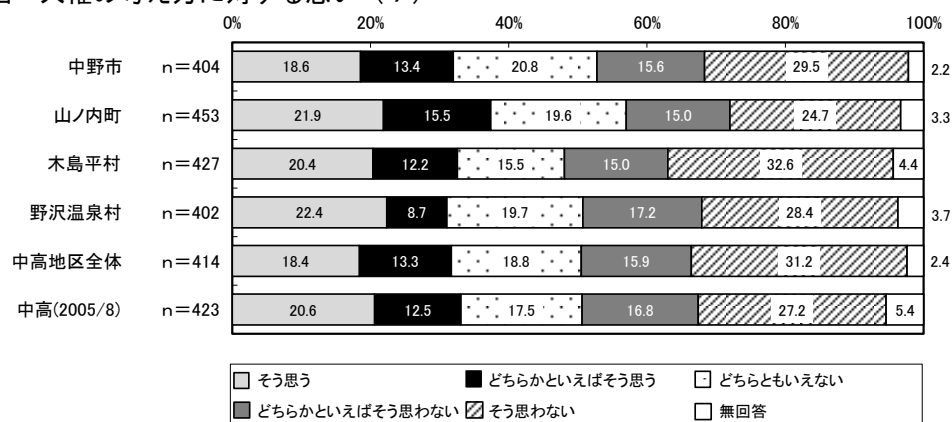
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が28.4%（114人）で最も高く、次いで「そう思う」が22.4%（90人）、「どちらともいえない」が19.7%（79人）の順となっている。
- ・“思う”が31.1%（125人），“思わない”が45.6%（183人）と“思わない”が“思う”に比べ14.5ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・ 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で47.6%（203人）、次いで『野沢温泉村』で45.6%（183人）、『中野市』で45.1%（182人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で37.4%（169人）、次いで『木島平村』で32.6%（139人）、『中野市』で32.0%（129人）の順となっている。

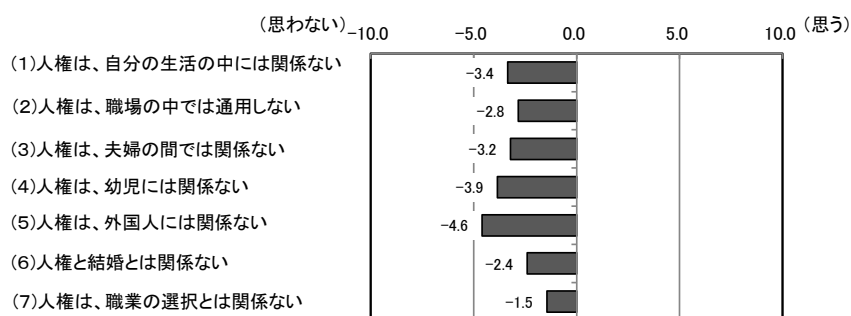
図 人権の考え方に対する思い（7）



【設問間比較】

- ・ “思わない”について「人権は、外国人には関係ない」でマイナス4.6と最も高く、次いで「人権は、幼児には関係ない」がマイナス3.9、「人権は、自分の生活の中には関係ない」がマイナス3.4の順となっている。

図 人権の考え方に対する思い（設問間比較）



＜比較の方法＞
 設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・ 思う	10点	・ そう思わない	-10点
・ どちらかといえば思う	5点	・ どちらかといえばそう思わない	-5点
・ どちらともいえない	0点		

問4 あなたは一般的に「差別」というものについて、どのような考えをお持ちですか。次の(1)～(10)のすべてについて、あなたのお考えに一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらともい えない	4 どちらかとい え ば そ う 思 わ な い	5 そ う 思 わ な い
(1)差別は人間として恥ずべき行為の一つである	1	2	3	4	5
(2)差別は世の中に必要なこともある	1	2	3	4	5
(3)あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(4)差別の原因は、差別される人の側に問題がある	1	2	3	4	5
(5)差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(6)どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である	1	2	3	4	5
(7)差別される人の話をきちんと聴く必要がある	1	2	3	4	5
(8)思いやりやさしさを持てば、差別問題は解決できる	1	2	3	4	5
(9)差別問題に関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	1	2	3	4	5
(10)差別の原因は、差別をする人の側に問題がある	1	2	3	4	5

問4(1) 差別は人間として恥ずべき行為の一つである

【中高地区全体】

- ・差別は人間として恥ずべき行為の一つであるについてみると、「そう思う」が62.3% (258人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.8% (107人)、「どちらともいえない」が7.0% (29人) の順となっている。
- ・“思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が88.1% (365人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が3.3% (14人)と“思う”が8割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が4.9ポイント(88.1-83.2)高くなっており、一方“思わない”が0.5ポイント(3.3-3.8)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が61.4% (248人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.0% (109人)、「どちらともいえない」が6.2% (25人) の順となっている。
- ・“思う”が88.4% (357人)、“思わない”が2.9% (12人)と“思う”が8割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」が58.7% (266人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.8% (117人)、「どちらともいえない」が9.5% (43人) の順となっている。
- ・“思う”が84.5% (383人)、“思わない”が4.0% (18人)と“思う”が8割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が67.9% (290人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が21.5% (92人)、「どちらともいえない」が5.9% (25人) の順となっている。
- ・“思う”が89.4% (382人)、“思わない”が2.3% (10人)と“思う”が8割以上となっている。

【野沢温泉村】

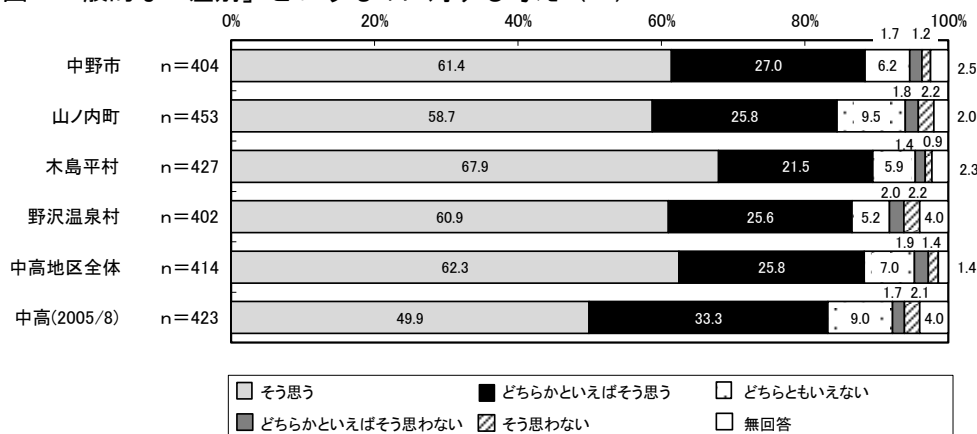
- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が60.9% (245人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.6% (103人)、「どちらともいえない」が5.2% (21人) の順となっている。
- ・“思う”が86.5% (348人)、“思わない”が4.2% (17人)と“思う”が8割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も8割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高

いのは『木島平村』で89.4%（382人）、次いで『中野市』で88.4%（357人）、『野沢温泉村』で86.5%（348人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で4.2%（17人）、次いで『山ノ内町』で4.0%（18人）、『中野市』で2.9%（12人）の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え（1）



問4(2) 差別は世の中に必要なこともある

【中高地区全体】

- 差別は世の中に必要なこともあるについてみると、「そう思わない」が39.9%（165人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が23.7%（98人）、「どちらともいえない」が22.7%（94人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が12.3%（51人）、「思わない」（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が63.6%（263人）と“思わない”が6割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が2.1ポイント（12.3-14.4）低くなっており、一方“思わない”が1.4ポイント（63.6-62.2）高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思わない」が40.6%（164人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が24.0%（97人）、「どちらともいえない」が21.5%（87人）の順となっている。
- “思う”が11.7%（47人），“思わない”が64.6%（261人）と“思わない”が“思う”の約5.5倍で、その差は52.9ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思わない」が41.7%（189人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.5%（102人）、「どちらかといえばそう思わない」が17.4%（79人）の順となっている。
- “思う”が15.5%（70人），“思わない”が59.1%（268人）と“思わない”が“思う”の約3.8倍で、その差は43.6ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思わない」が50.8%（217人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が17.6%（75人）、「どちらともいえない」が15.7%（67人）の順となっている。
- “思う”が11.7%（50人），“思わない”が68.4%（292人）と“思わない”が“思う”の約5.8倍で、その差は56.7ポイントとなっている。

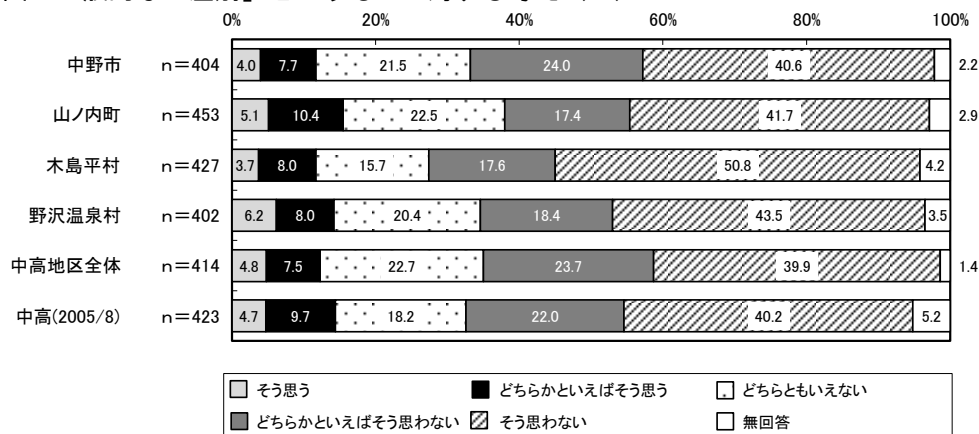
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「そう思わない」が43.5%（175人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が20.4%（82人）、「どちらかといえばそう思わない」が18.4%（74人）の順となっている。
- “思う”が14.2%（57人），“思わない”が61.9%（249人）と“思わない”が“思う”の約4.3倍で、その差は47.7ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で68.4%（292人）、次いで『中野市』で64.6%（261人）、『野沢温泉村』で61.9%（249人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で15.5%（70人）、次いで『野沢温泉村』で14.2%（57人）、『中野市』『木島平村』が同率で11.7%（47人、50人）の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え（2）



問4(3) あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要がある

【中高地区全体】

- あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要があるについてみると、「そう思う」が50.0% (207人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.8% (111人)、「どちらともいえない」が16.2% (67人) の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が76.8% (318人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が5.4% (22人) と“思う”が7割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が4.9ポイント (76.8-71.9) 高くなっており、一方“思わない”が3.6ポイント (5.4-9.0) 低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が48.5% (196人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.2% (114人)、「どちらともいえない」が16.1% (65人) の順となっている。
- “思う”が76.7% (310人)、“思わない”が5.4% (22人) と“思う”が7割以上となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が43.0% (195人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.5% (120人)、「どちらともいえない」が18.8% (85人) の順となっている。
- “思う”が69.5% (315人)、“思わない”が8.6% (39人) と“思う”が6割以上となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が48.2% (206人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.6% (105人)、「どちらともいえない」が15.5% (66人) の順となっている。
- “思う”が72.8% (311人)、“思わない”が8.0% (34人) と“思う”が7割以上となっている。

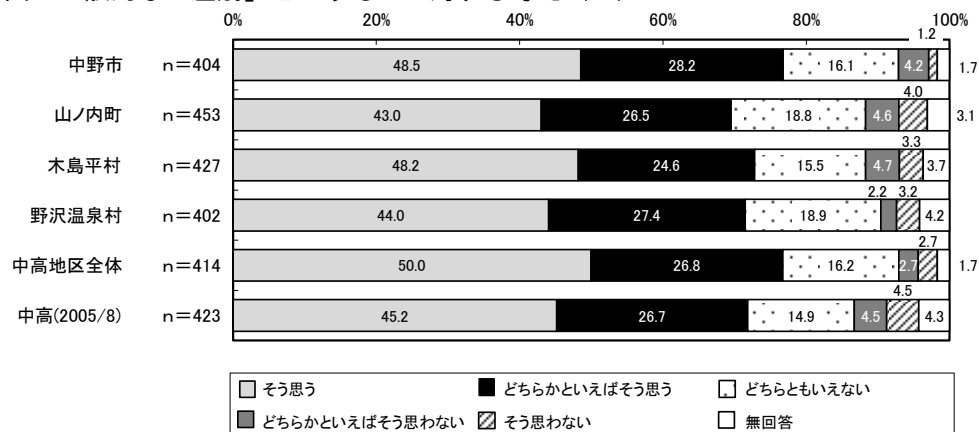
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「そう思う」が44.0% (177人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.4% (110人)、「どちらともいえない」が18.9% (76人) の順となっている。
- “思う”が71.4% (287人)、“思わない”が5.4% (22人) と“思う”が7割以上となっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も6割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で76.7% (310人)、次いで『木島平村』が72.8% (311人)、『野沢温泉村』で71.4% (287人) の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で8.6% (39人)、次いで『木島平村』で8.0% (34人)、『中野市』『野沢温泉村』が同率で5.4% (22人) の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え（3）



問4(4) 差別の原因は、差別される人の側に問題がある

【中高地区全体】

- 差別の原因は、差別される人の側に問題があるについてみると、「どちらともいえない」が37.2%（154人）で最も高く、次いで「そう思わない」が30.0%（124人）、「どちらかといえばそう思わない」が18.6%（77人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が12.4%（51人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が48.6%（201人）と“思わない”が“思う”の約3.9倍で、その差は36.2ポイントとなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が18.6ポイント（12.4-31.0）低くなっており、一方“思わない”が17.2ポイント（48.6-31.4）高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が36.6%（148人）で最も高く、次いで「そう思わない」が28.7%（116人）、「どちらかといえばそう思わない」が21.0%（85人）の順となっている。
- “思う”が11.4%（46人），“思わない”が49.7%（201人）と“思わない”が4割以上となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が43.0%（195人）で最も高く、次いで「そう思わない」が27.4%（124人）、「どちらかといえばそう思わない」が14.3%（65人）の順となっている。
- “思う”が12.1%（55人），“思わない”が41.7%（189人）と“思わない”が“思う”の約3.4倍で、その差は29.6ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思わない」が36.3%（155人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が33.7%（144人）、「どちらかといえばそう思わない」が16.4%（70人）の順となっている。
- “思う”が9.6%（41人），“思わない”が52.7%（225人）と“思わない”が5割以上となっている。

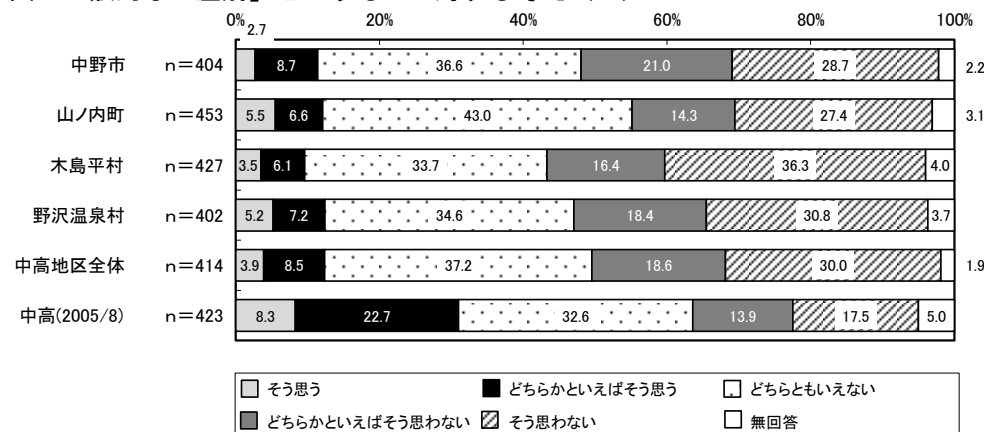
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が34.6%（139人）で最も高く、次いで「そう思わない」が30.8%（124人）、「どちらかといえばそう思わない」が18.4%（74人）の順となっている。
- “思う”が12.4%（50人），“思わない”が49.2%（198人）と“思わない”が4割以上となっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で52.7%（225人）、次いで『中野市』で49.7%（201人）、『野沢温泉村』で49.2%（198人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』が12.4%（50人）、次いで『山ノ内町』で12.1%（55人）、『中野市』で11.4%（46人）の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え（４）



問 4 (5) 差別は法律で禁止する必要がある

【中高地区全体】

- ・差別は法律で禁止する必要があるについてみると、「どちらともいえない」が 35.7% (148 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 20.5% (85 人)、「どちらかといえばそう思う」が 19.6% (81 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が 40.1% (166 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が 21.7% (90 人) と“思う”が“思わない”の約 1.8 倍で、その差は 18.4 ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が 7.4 ポイント (40.1-47.5) 低くなっており、一方“思わない”が 5.6 ポイント (21.7-16.1) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が 34.9% (141 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 20.0% (81 人)、「どちらかといえばそう思う」が 19.6% (79 人) の順となっている。
- ・“思う”が 39.6% (160 人)、“思わない”が 23.3% (94 人) と“思う”が“思わない”に比べ 16.3 ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 37.7% (171 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 19.6% (89 人)、「どちらかといえばそう思う」が 17.9% (81 人) の順となっている。
- ・“思う”が 37.5% (170 人)、“思わない”が 20.5% (93 人) と“思う”が“思わない”に比べ 17.0 ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が 36.5% (156 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 21.3% (91 人)、「そう思う」が 20.4% (87 人) の順となっている。
- ・“思う”が 41.7% (178 人)、“思わない”が 17.1% (73 人) と“思う”が“思わない”の約 2.4 倍で、その差は 24.6 ポイントとなっている。

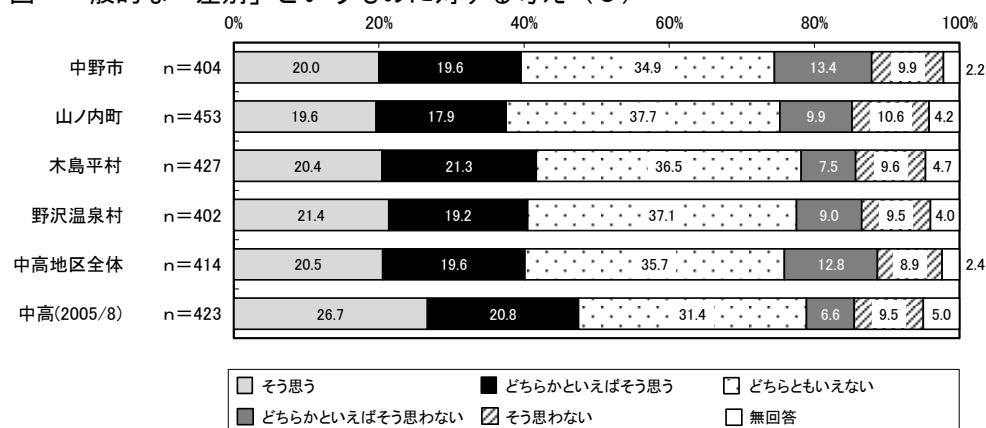
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 37.1% (149 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 21.4% (86 人)、「どちらかといえばそう思う」が 19.2% (77 人) の順となっている。
- ・“思う”が 40.6% (163 人)、“思わない”が 18.5% (74 人) と“思う”が約 4 割となっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 41.7% (178 人)、次いで『野沢温泉村』で 40.6% (163 人)、『中野市』が 39.6% (160 人) の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『中野市』で 23.3% (94 人)、次いで『山ノ内町』が 20.5% (93 人)、『野沢温泉村』で 18.5% (74 人) の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え（５）



問 4 (6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である

【中高地区全体】

- どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理であるについてみると、「どちらかといえばそう思う」が 32.9% (136 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 25.6% (106 人)、「どちらともいえない」が 25.4% (105 人) の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が 58.5% (242 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が 14.7% (61 人) と“思う”が“思わない”の約 3.9 倍で、その差は 43.8 ポイントとなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が 33.7% (136 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 26.0% (105 人)、「どちらともいえない」が 24.0% (97 人) の順となっている。
- “思う”が 59.7% (241 人)、“思わない”が 14.6% (59 人) と“思う”が“思わない”の約 4 倍とで、その差は 45.1 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては「どちらかといえばそう思う」が 33.6% (152 人) で最も高く、次いで「そう思う」が 27.6% (125 人)、「どちらともいえない」が 24.3% (110 人) の順となっている。
- “思う”が 61.2% (277 人)、“思わない”が 11.3% (51 人) と“思う”が“思わない”の約 5.4 倍で、その差は 49.9 ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が 31.9% (136 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 22.7% (97 人)、「そう思う」が 19.2% (82 人) の順となっている。
- “思う”が 51.1% (218 人)、“思わない”が 21.8% (93 人) と“思う”が“思わない”の約 2.3 倍で、その差は 29.3 ポイントとなっている。

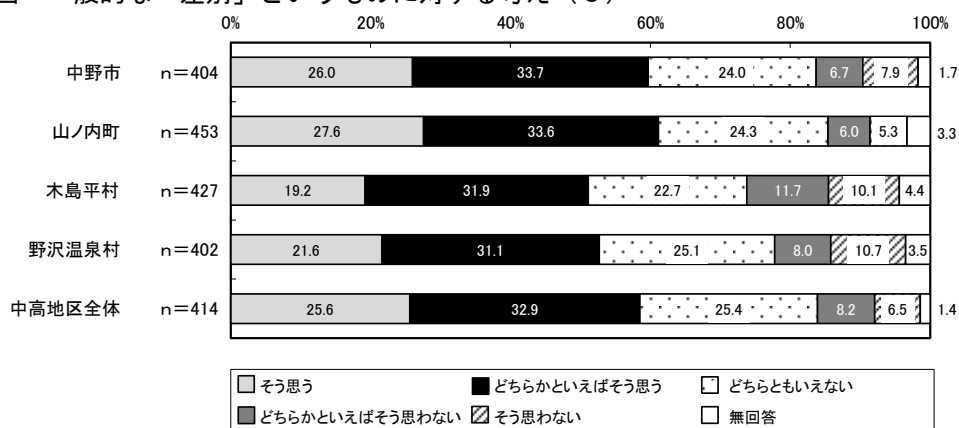
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が 31.1% (125 人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 25.1% (101 人)、「そう思う」が 21.6% (87 人) の順となっている。
- “思う”が 52.7% (212 人)、“思わない”が 18.7% (75 人) と“思う”が“思わない”の約 2.8 倍となっている。

【市町村比較】

- 4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で 61.2% (277 人)、次いで『中野市』で 59.7% (241 人)、『野沢温泉村』で 52.7% (212 人) の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 21.8% (93 人)、次いで『野沢温泉村』で 18.7% (75 人)、『中野市』が 14.6% (59 人) の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え（6）



問4(7) 差別される人の話をきちんと聴く必要がある

【中高地区全体】

- ・差別される人の話をきちんと聴く必要があるについてみると、「そう思う」が51.0%（211人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.6%（135人）、「どちらともいえない」が11.4%（47人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が83.6%（346人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が2.4%（10人）と“思う”が8割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が8.4ポイント（83.6-75.2）高くなっており、一方“思わない”が4.6ポイント（2.4-7.0）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が47.0%（190人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が35.1%（142人）、「どちらともいえない」が11.9%（48人）の順となっている。
- ・“思う”が82.1%（332人），“思わない”が3.2%（13人）と“思う”が8割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」が48.1%（218人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.1%（150人）、「どちらともいえない」が12.1%（55人）の順となっている。
- ・“思う”が81.2%（368人），“思わない”が4.2%（19人）と“思う”が8割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が52.9%（226人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.4%（130人）、「どちらともいえない」が10.1%（43人）の順となっている。
- ・“思う”が83.3%（356人），“思わない”が2.4%（10人）と“思う”が8割以上となっている。

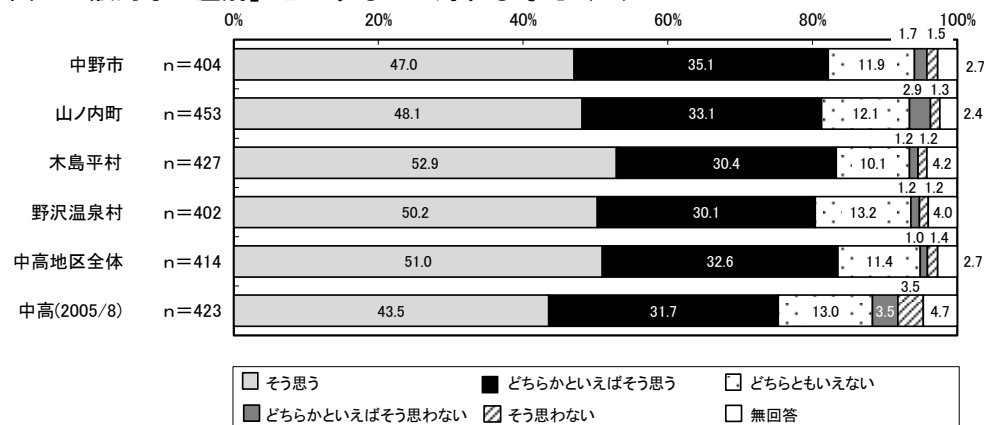
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が50.2%（202人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.1%（121人）、「どちらともいえない」が13.2%（53人）の順となっている。
- ・“思う”が80.3%（323人），“思わない”が2.4%（10人）と“思う”が8割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も8割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で83.3%（356人）、次いで『中野市』で82.1%（332人）、『山ノ内町』で81.2%（368人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で4.2%（19人）、次いで『中野市』で3.2%（13人）、『木島平村』『野沢温泉村』が同率で2.4%（10人）の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え（7）



問4(8) 思いやりやさしさを持たば、差別問題は解決できる

【中高地区全体】

- 思いやりやさしさを持たば、差別問題は解決できるについてみると、「どちらかといえばそう思う」が32.4%（134人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.6%（110人）、「そう思う」が22.7%（94人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が55.1%（228人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が16.6%（69人）と“思う”が“思わない”の約3.3倍で、その差は38.5ポイントとなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が34.9%（141人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.5%（107人）、「そう思う」が19.8%（80人）の順となっている。
- “思う”が54.7%（221人），“思わない”が16.8%（68人）と“思う”が“思わない”の約3.2倍で、その差は37.9ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が29.6%（134人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.5%（120人）、「そう思う」が23.8%（108人）の順となっている。
- “思う”が53.4%（242人），“思わない”が17.5%（79人）と“思う”が“思わない”の約3倍で、その差は35.9ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が30.7%（131人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.2%（116人）、「そう思う」が23.2%（99人）の順となっている。
- “思う”が53.9%（230人），“思わない”が16.4%（70人）と“思う”が“思わない”の約3.2倍で、その差は37.5ポイントとなっている。

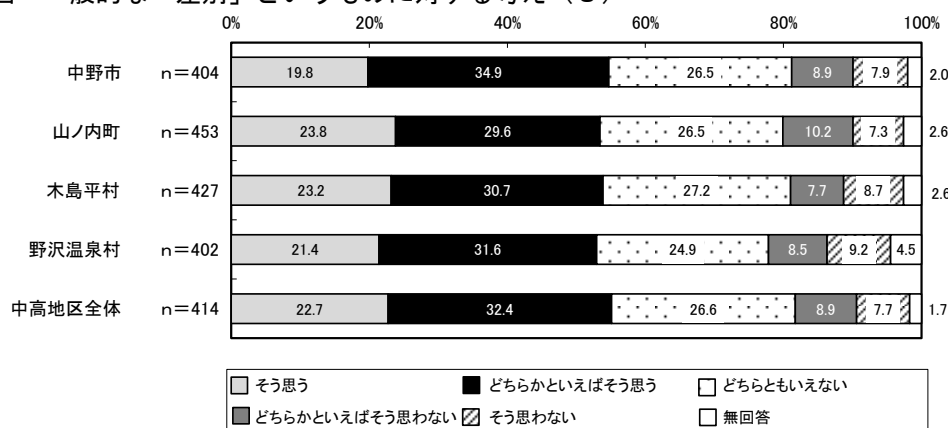
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が31.6%（127人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.9%（100人）、「そう思う」が21.4%（86人）の順となっている。
- “思う”が53.0%（213人），“思わない”が17.7%（71人）と“思う”が“思わない”の約2.9倍で、その差は35.3ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で54.7%（221人）、次いで『木島平村』で53.9%（230人）、『山ノ内町』で53.4%（242人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で17.7%（71人）、次いで『山ノ内町』で17.5%（79人）、『中野市』で16.8%（68人）の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え（8）



問4(9) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である

【中高地区全体】

- 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要であるについてみると、「そう思う」が42.5%（176人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.3%（142人）、「どちらともいえない」が14.5%（60人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が76.8%（318人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が6.8%（28人）と“思う”が7割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が10.4ポイント（76.8-66.4）高くなっており、一方“思わない”が4.8ポイント（6.8-11.6）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が41.8%（169人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.9%（137人）、「どちらともいえない」が15.3%（62人）の順となっている。
- “思う”が75.7%（306人），“思わない”が6.5%（26人）と“思う”が7割以上となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が40.0%（181人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.6%（143人）、「どちらともいえない」が17.7%（80人）の順となっている。
- “思う”が71.6%（324人），“思わない”が7.5%（34人）と“思う”が7割以上となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が47.5%（203人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.4%（130人）、「どちらともいえない」が12.4%（53人）の順となっている。
- “思う”が77.9%（333人），“思わない”が6.1%（26人）と“思う”が7割以上となっている。

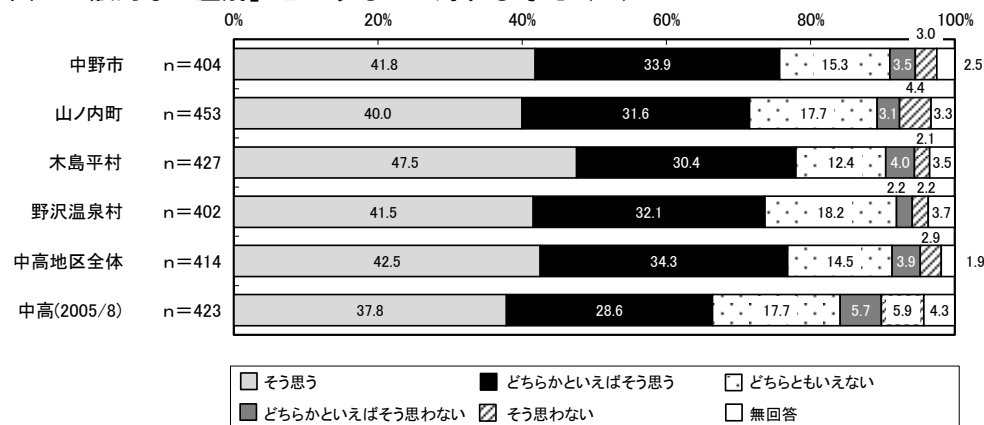
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「そう思う」が41.5%（167人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.1%（129人）、「どちらともいえない」が18.2%（73人）の順となっている。
- “思う”が73.6%（296人），“思わない”が4.4%（18人）と“思う”が7割以上となっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も7割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で77.9%（333人）、次いで『中野市』で75.7%（306人）、『野沢温泉村』で73.6%（296人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で7.5%（34人）、次いで『中野市』で6.5%（26人）、『木島平村』で6.1%（26人）の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え（9）



問 4 (10) 差別の原因は、差別をする人の側に問題がある

【中高地区全体】

- 差別の原因は、差別をする人の側に問題があるについてみると、「どちらともいえない」が 37.4% (155 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 31.2% (129 人)、「そう思う」が 17.1% (71 人) の順となっている。
- “思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」) が 48.3% (200 人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」) が 12.8% (53 人) と“思う”が“思わない”の約 3.7 倍で、その差は 35.5 ポイントとなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が 41.3% (167 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 28.2% (114 人)、「そう思う」が 17.6% (71 人) の順となっている。
- “思う”が 45.8% (185 人)、“思わない”が 10.9% (44 人) と“思う”が“思わない”の約 4.2 倍で、その差は 34.9 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が 43.0% (195 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.7% (103 人)、「そう思う」が 21.4% (97 人) の順となっている。
- “思う”が 44.1% (200 人)、“思わない”が 10.4% (47 人) と“思う”が“思わない”の約 4.2 倍で、その差は 33.7 ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらともいえない」が 36.8% (157 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 27.4% (117 人)、「そう思う」が 23.9% (102 人) の順となっている。
- “思う”が 51.3% (219 人)、“思わない”が 8.2% (35 人) と“思う”が“思わない”の約 6.2 倍で、その差は 43.1 ポイントとなっている。

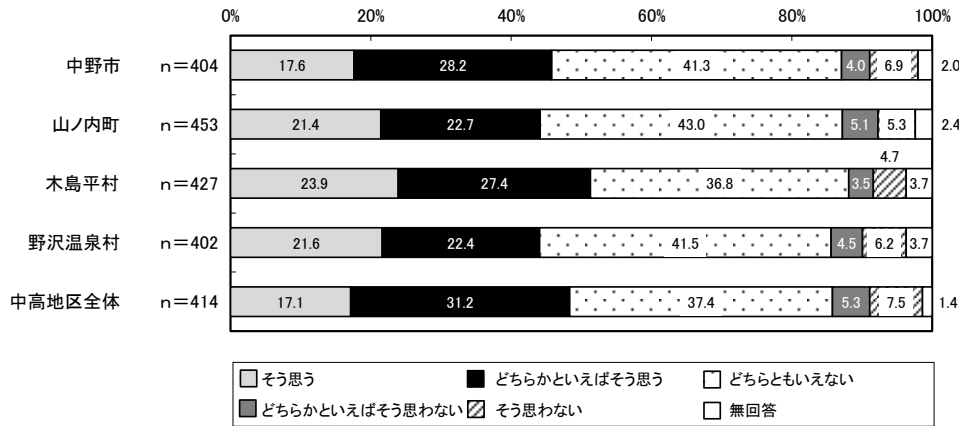
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が 41.5% (167 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.4% (90 人)、「そう思う」が 21.6% (87 人) の順となっている。
- “思う”が 44.0% (177 人)、“思わない”が 10.7% (43 人) と“思う”が“思わない”の約 4.1 倍で、その差は 33.3 ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4 市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で 51.3% (219 人)、次いで『中野市』で 45.8% (185 人)、『山ノ内町』で 44.1% (200 人) の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『中野市』で 10.9% (44 人)、次いで『野沢温泉村』が 10.7% (43 人)、『山ノ内町』で 10.4% (47 人) の順となっている。

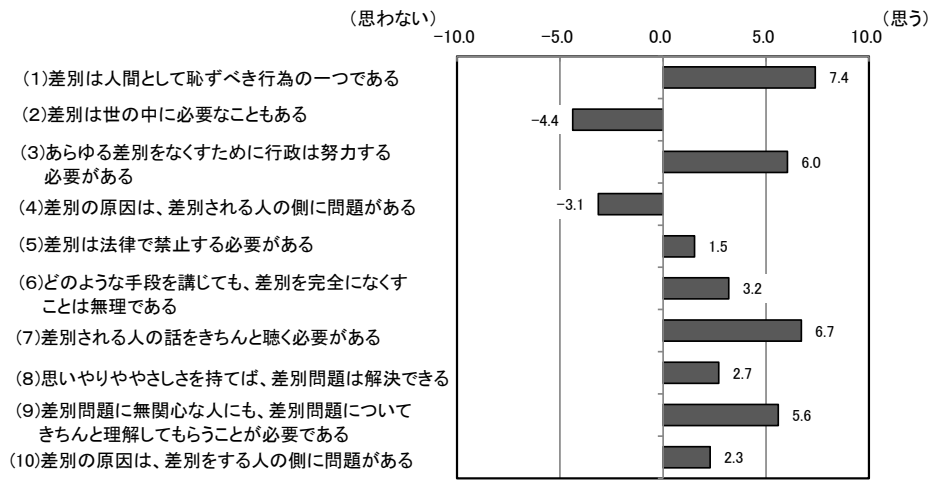
図 一般的な「差別」というものに対する考え (10)



【設問間比較】

・“思わない”について「差別は世の中に必要なこともある」でマイナス4.4、「差別の原因は、差別される人の側に問題がある」がマイナス3.1となっている。一方“思う”について「差別は人間として恥ずべき行為の一つである」で7.4と最も高く、次いで「差別される人の話をきちんと聴く必要がある」が6.7、「あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要がある」が6.0の順となっている。

図 一般的な「差別」というものに対する考え (設問間比較)



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う	10点	・そう思わない	-10点
・どちらかといえばそう思う	5点	・どちらかといえばそう思わない	-5点
・どちらともいえない	0点		

問5 差別について、A、B二人の意見が次のように分かれました。

Aの意見：今日では差別は許されない状況にあり、差別する人がやがて孤立してしまう。
Bの意見：世間ではまだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立してしまう。

▶ あなたは次のAとBのどちらの意見に近いですか。(○は1つ)

1. Aの意見に賛成である
2. どちらかといえばAの意見に賛成である
3. どちらかといえばBの意見に賛成である
4. Bの意見に賛成である
5. わからない

【中高地区全体】

・差別に関する相対する意見への近さについてみると、「わからない」が28.7% (119人)で最も高く、次いで「どちらかといえばBの意見に賛成である」が28.0% (116人)、「どちらかといえばAの意見に賛成である」が19.6% (81人)の順となっている。

- ・“Aへの賛成意見”(「Aの意見に賛成である」+「どちらかといえばAの意見に賛成である」)が29.7% (123人)、“Bへの賛成意見”(「Bの意見に賛成である」+「どちらかといえばBの意見に賛成である」)が38.1% (158人)となっており、“Bへの賛成意見”が8.4ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aへの賛成意見”が3.0ポイント(29.7-32.7)低くなっており、一方“Bへの賛成意見”が2.4ポイント(38.1-35.7)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「わからない」が30.2% (122人)で最も高く、次いで「どちらかといえばBの意見に賛成である」が28.7% (116人)、「どちらかといえばAの意見に賛成である」が20.3% (82人)の順となっている。
- ・“Aへの賛成意見”が29.5% (119人)、“Bへの賛成意見”が37.4% (151人)となっており、“Bへの賛成意見”が7.9ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「わからない」が30.0% (136人)で最も高く、次いで「どちらかといえばBの意見に賛成である」が29.1% (132人)、「どちらかといえばAの意見に賛成である」が17.4% (79人)の順となっている。
- ・“Aへの賛成意見”が26.5% (120人)、“Bへの賛成意見”が40.4% (183人)となっており、“Bへの賛成意見”が13.9ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「わからない」が28.3% (121人)で最も高く、次いで「どちらかといえばBの意見に賛成である」が26.7% (114人)、「どちらかといえばAの意見に賛成である」が20.6% (88人)の順となっている。
- ・“Aへの賛成意見”が30.4% (130人)、“Bへの賛成意見”が36.8% (157人)となっており、“Bへの賛成意見”が6.4ポイント高くなっている。

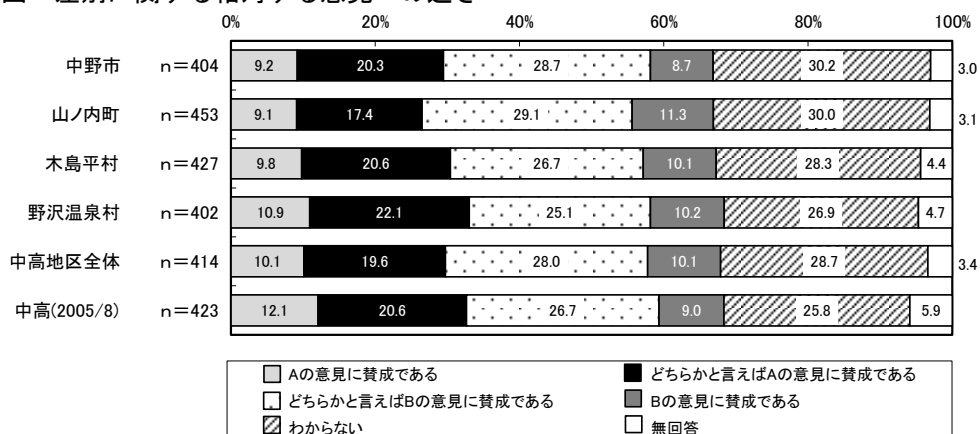
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「わからない」が26.9% (108人)で最も高く、次いで「どちらかといえばBの意見に賛成である」が25.1% (101人)、「どちらかといえばAの意見に賛成である」が22.1% (89人)の順となっている。
- ・“Aへの賛成意見”が33.0% (133人)、“Bへの賛成意見”が35.3% (142人)となっており、“Bへの賛成意見”が2.3ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“Bへの賛成意見”が高くなっており、“Bへの賛成意見”が最も高いのは『山ノ内町』で40.4% (183人)、次いで『中野市』で37.4% (151人)、『木島平村』で36.8% (157人)の順となっている。一方“Aへの賛成意見”が最も高いのは『野沢温泉村』で33.0% (133人)、次いで『木島平村』で30.4% (130人)、『中野市』が29.5% (119人)の順となっている。

図 差別に関する相対する意見への近さ



問6 あなたは次の人権に関する条例や宣言があることをどの程度ご存知ですか。次の

(1)～(11)のすべてについて、該当する番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 どんな内容か 知っている	2 内容は知らないが、 名称は聞いたことが ある	3 知らなかった
(1)あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例(中野市1996年、山ノ内町1994年、木島平村1995年、野沢温泉村1995年)	1	2	3
(2)人権教育及び人権啓発の推進に関する法律	1	2	3
(3)個人情報保護法	1	2	3
(4)同和対策審議会答申	1	2	3
(5)世界人権宣言	1	2	3
(6)人種差別撤廃条約	1	2	3
(7)女子差別撤廃条約	1	2	3
(8)子どもの権利条約	1	2	3
(9)いじめ防止対策推進法	1	2	3
(10)障害者差別解消法	1	2	3
(11)配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3

問6(1) あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例(中野市1996年、山ノ内町1994年、木島平村1995年、野沢温泉村1995年)

【中高地区全体】

- あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例(中野市1996年、山ノ内町1994年、木島平村1995年、野沢温泉村1995年)についてみると、「知らなかった」が55.8%(231人)で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が35.3%(146人)、「どんな内容か知っている」が6.0%(25人)の順となっており、「知らなかった」が5割以上、「どんな内容か知っている」が1割にも満たない。
- 前回調査と比較すると、「知らなかった」が13.0ポイント(55.8-42.8)高くなっており、一方「どんな内容か知っている」が1.6ポイント(6.0-7.6)低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「知らなかった」が57.9%(234人)で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が35.4%(143人)、「どんな内容か知っている」が4.0%(16人)の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「知らなかった」が51.4%(233人)で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が38.6%(175人)、「どんな内容か知っている」が5.5%(25人)の順となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「知らなかった」が45.9%(196人)で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が44.0%(188人)、「どんな内容か知っている」が7.3%(31人)の順となっている。

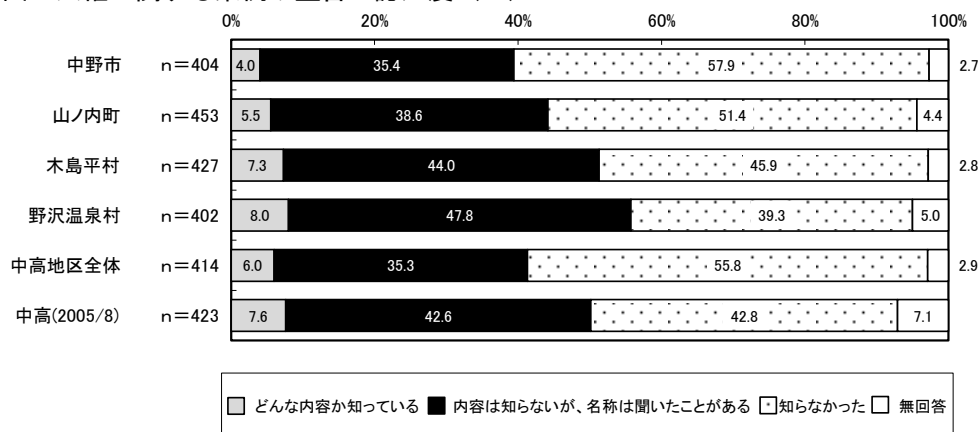
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が47.8%(192人)で最も高く、次いで「知らなかった」が39.3%(158人)、「どんな内容か知っている」が8.0%(32人)の順となっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』で「知らなかった」、『野沢温泉村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『中野市』で57.9%(234人)、次いで『山ノ内町』で51.4%(233人)、『木島平村』で45.9%(196人)の順となっている。一方「どんな内容か知っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で8.0%(32人)、次いで『木島平村』で7.3%(31人)、『山ノ内町』が5.5%(25人)の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（1）



問6(2) 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律

【中高地区全体】

- ・人権教育及び人権啓発の推進に関する法律についてみると、「知らなかった」が49.8%（206人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が41.5%（172人）、「どんな内容か知っている」が5.1%（21人）の順となっており、「知らなかった」が4割以上、「どんな内容か知っている」が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、「知らなかった」が5.6ポイント（49.8-44.2）高くなっており、一方「どんな内容か知っている」が2.0ポイント（5.1-7.1）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「知らなかった」が50.2%（203人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が41.3%（167人）、「どんな内容か知っている」が4.7%（19人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「知らなかった」が53.0%（240人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が37.1%（168人）、「どんな内容か知っている」が4.9%（22人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が49.2%（210人）で最も高く、次いで「知らなかった」が40.0%（171人）、「どんな内容か知っている」が6.3%（27人）の順となっている。

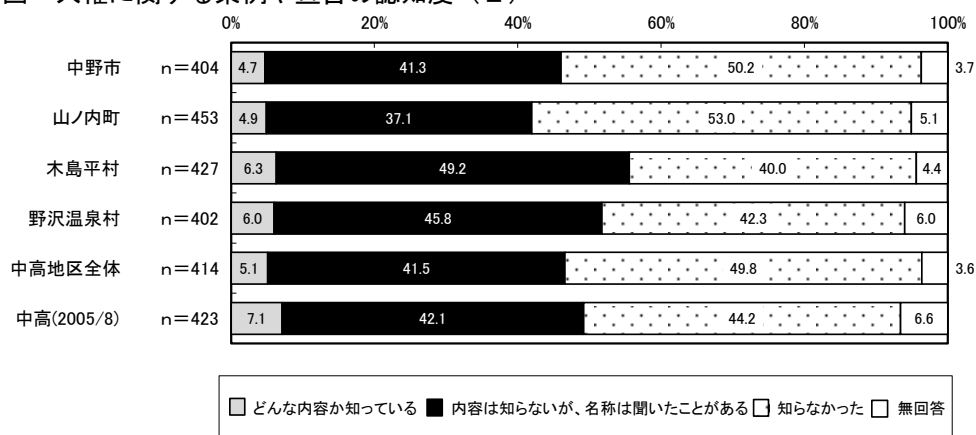
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が45.8%（184人）で最も高く、次いで「知らなかった」が42.3%（170人）、「どんな内容か知っている」が6.0%（24人）の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』で「知らなかった」、『木島平村』『野沢温泉村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で53.0%（240人）、次いで『中野市』で50.2%（203人）、『野沢温泉村』で42.3%（170人）の順となっている。一方「どんな内容か知っている」が最も高いのは『木島平村』で6.3%（27人）、次いで『野沢温泉村』で6.0%（24人）、『山ノ内町』が4.9%（22人）の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（２）



問 6 (3) 個人情報保護法

【中高地区全体】

- ・個人情報保護法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 49.3% (204 人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 37.0% (153 人)、「知らなかった」が 11.6% (48 人) の順となっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 4 割以上、「知らなかった」が 1 割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、「知らなかった」が 2.8 ポイント (11.6-14.4) 低くなっており、一方「どんな内容か知っている」も 1.5 ポイント (37.0-38.5) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 50.2% (203 人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 37.1% (150 人)、「知らなかった」が 10.1% (41 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 44.4% (201 人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 34.4% (156 人)、「知らなかった」が 16.6% (75 人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.2% (193 人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 38.9% (166 人)、「知らなかった」が 11.7% (50 人) の順となっている。

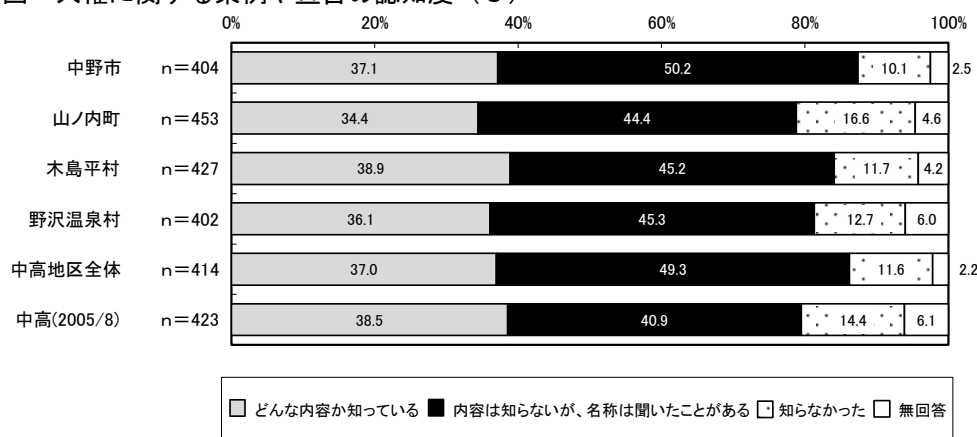
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 45.3% (182 人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 36.1% (145 人)、「知らなかった」が 12.7% (51 人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』で 50.2% (203 人)、次いで『野沢温泉村』で 45.3% (182 人)、『木島平村』で 45.2% (193 人) の順となっている。一方「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 16.6% (75 人)、次いで『野沢温泉村』で 12.7% (51 人)、『木島平村』が 11.7% (50 人) の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（3）



問6(4) 同和対策審議会答申

【中高地区全体】

- ・同和対策審議会答申についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が47.1%（195人）で最も高く、次いで「知らなかった」が39.6%（164人）、「どんな内容か知っている」が10.9%（45人）の順となっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が4割以上、「どんな内容か知っている」が約1割となっている。
- ・前回調査と比較すると、「知らなかった」が0.4ポイント（39.6-39.2）高くなっており、一方「どんな内容か知っている」が3.5ポイント（10.9-14.4）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が47.3%（191人）で最も高く、次いで「知らなかった」が40.1%（162人）、「どんな内容か知っている」が10.1%（41人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「知らなかった」が43.5%（197人）で最も高く、次いで「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が43.3%（196人）、「どんな内容か知っている」が8.6%（39人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が50.1%（214人）で最も高く、次いで「知らなかった」が34.4%（147人）、「どんな内容か知っている」が10.8%（46人）の順となっている。

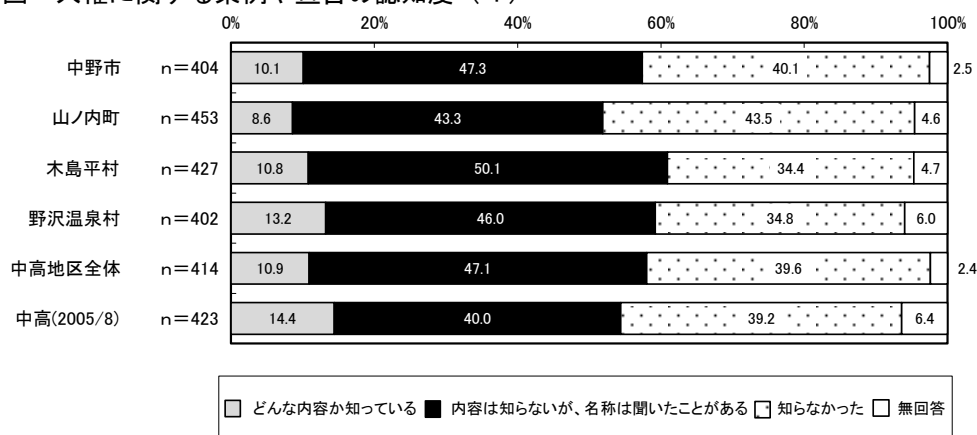
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が46.0%（185人）で最も高く、次いで「知らなかった」が34.8%（140人）、「どんな内容か知っている」が13.2%（53人）の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『木島平村』『野沢温泉村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」、『山ノ内町』で「知らなかった」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『木島平村』で50.1%（214人）、次いで『中野市』で47.3%（191人）、『野沢温泉村』で46.0%（185人）の順となっている。一方「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で43.5%（197人）、次いで『中野市』で40.1%（162人）、『野沢温泉村』が34.8%（140人）の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（４）



問 6 (5) 世界人権宣言

【中高地区全体】

- 世界人権宣言についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 61.1% (253 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 22.0% (91 人)、「どんな内容か知っている」が 14.5% (60 人) の順となっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 6 割以上、「どんな内容か知っている」が 1 割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、「知らなかった」が 2.3 ポイント (22.0-24.3) 低くなっており、一方「どんな内容か知っている」も 0.4 ポイント (14.5-14.9) 低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 61.4% (248 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 20.8% (84 人)、「どんな内容か知っている」が 14.9% (60 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 57.0% (258 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 24.3% (110 人)、「どんな内容か知っている」が 13.7% (62 人) の順となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 58.8% (251 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 20.6% (88 人)、「どんな内容か知っている」が 15.9% (68 人) の順となっている。

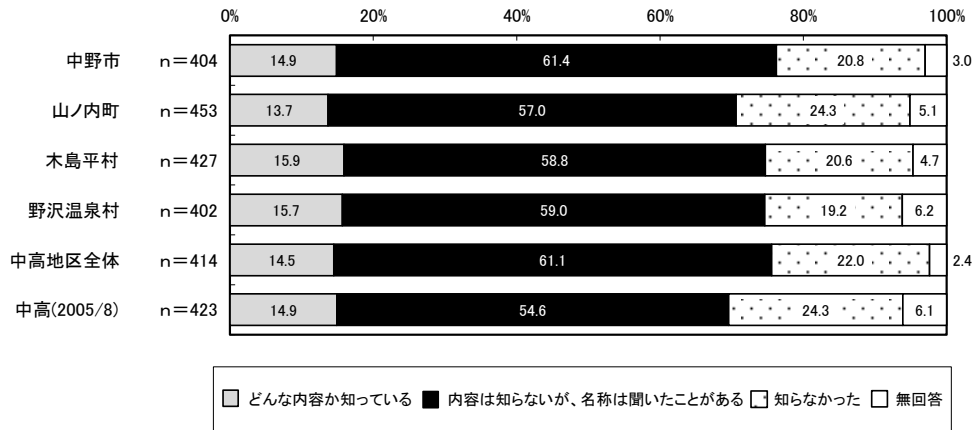
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 59.0% (237 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 19.2% (77 人)、「どんな内容か知っている」が 15.7% (63 人) の順となっている。

【市町村比較】

- 4 市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』で 61.4% (248 人)、次いで『野沢温泉村』で 59.0% (237 人)、『木島平村』で 58.8% (251 人) の順となっている。一方「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 24.3% (110 人)、次いで『中野市』で 20.8% (84 人)、『木島平村』が 20.6% (88 人) の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（５）



問 6 (6) 人種差別撤廃条約

【中高地区全体】

- ・人種差別撤廃条約についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 56.3% (233 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 30.4% (126 人)、「どんな内容か知っている」が 10.4% (43 人) の順となっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 5 割以上、「どんな内容か知っている」が約 1 割となっている。
- ・前回調査と比較すると、「知らなかった」が 2.3 ポイント (30.4-28.1) 高くなっており、一方「どんな内容か知っている」が 5.4 ポイント (10.4-15.8) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 56.9% (230 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 30.0% (121 人)、「どんな内容か知っている」が 10.1% (41 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 48.6% (220 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 36.9% (167 人)、「どんな内容か知っている」が 9.9% (45 人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 54.3% (232 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 28.6% (122 人)、「どんな内容か知っている」が 12.9% (55 人) の順となっている。

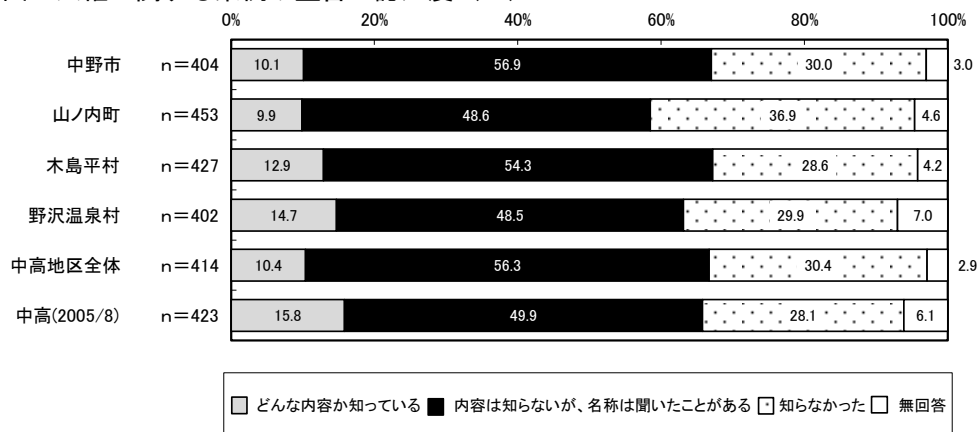
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 48.5% (195 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 29.9% (120 人)、「どんな内容か知っている」が 14.7% (59 人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』で 56.9% (230 人)、次いで『木島平村』で 54.3% (232 人)、『山ノ内町』で 48.6% (220 人) の順となっている。一方「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で 36.9% (167 人)、次いで『中野市』で 30.0% (121 人)、『野沢温泉村』が 29.9% (120 人) の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（6）



問6(7) 女子差別撤廃条約

【中高地区全体】

- 女子差別撤廃条約についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が46.4%（192人）で最も高く、次いで「知らなかった」が39.4%（163人）、「どんな内容か知っている」が11.6%（48人）の順となっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が4割以上、「どんな内容か知っている」が1割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、「知らなかった」が10.1ポイント（39.4-29.3）高くなっており、一方「どんな内容か知っている」は5.2ポイント（11.6-16.8）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が47.3%（191人）で最も高く、次いで「知らなかった」が38.1%（154人）、「どんな内容か知っている」が11.6%（47人）の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が43.0%（195人）で最も高く、次いで「知らなかった」が40.2%（182人）、「どんな内容か知っている」が11.3%（51人）の順となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が45.2%（193人）で最も高く、次いで「知らなかった」が37.2%（159人）、「どんな内容か知っている」が13.1%（56人）の順となっている。

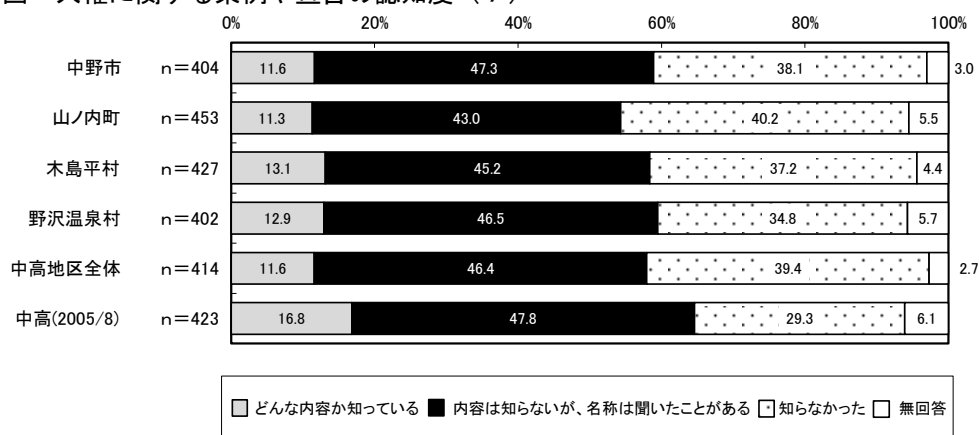
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が46.5%（187人）で最も高く、次いで「知らなかった」が34.8%（140人）、「どんな内容か知っている」が12.9%（52人）の順となっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』で47.3%（191人）、次いで『野沢温泉村』で46.5%（187人）、『木島平村』で45.2%（193人）の順となっている。一方「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で40.2%（182人）、次いで『中野市』で38.1%（154人）、『木島平村』が37.2%（159人）の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（7）



問6(8) 子どもの権利条約

【中高地区全体】

- 子どもの権利条約についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が46.9%（194人）で最も高く、次いで「知らなかった」が35.7%（148人）、「どんな内容か知っている」が14.3%（59人）の順となっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が4割以上、「どんな内容か知っている」が1割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、「知らなかった」が1.4ポイント（35.7-34.3）高くなっており、一方「どんな内容か知っている」が1.1ポイント（14.3-15.4）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が49.5%（200人）で最も高く、次いで「知らなかった」が33.4%（135人）、「どんな内容か知っている」が13.6%（55人）の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が43.5%（197人）で最も高く、次いで「知らなかった」が38.9%（176人）、「どんな内容か知っている」が13.0%（59人）の順となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が46.6%（193人）で最も高く、次いで「知らなかった」が33.0%（141人）、「どんな内容か知っている」が15.7%（67人）の順となっている。

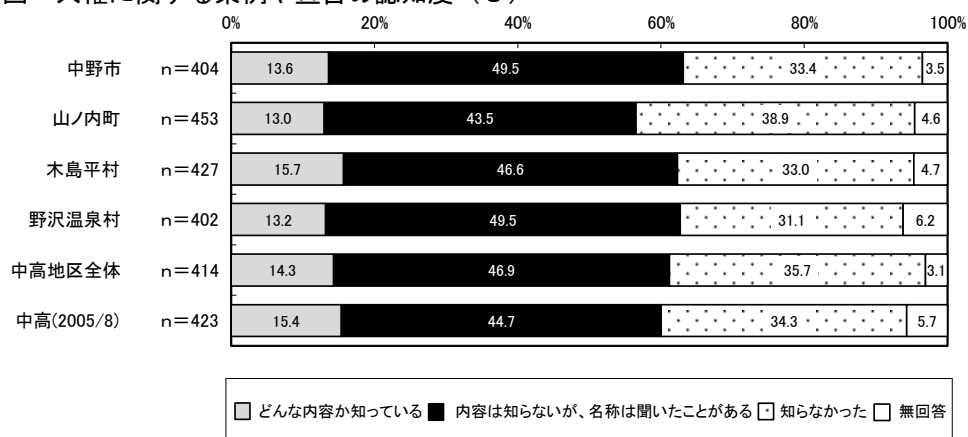
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が49.5%（199人）で最も高く、次いで「知らなかった」が31.1%（125人）、「どんな内容か知っている」が13.2%（53人）の順となっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』『野沢温泉村』が同率で49.5%（200人、199人）、次いで『木島平村』で46.6%（199人）、『山ノ内町』で43.5%（197人）の順となっている。一方「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で38.9%（176人）、次いで『中野市』が33.4%（135人）、『木島平村』で33.0%（141人）の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（8）



問6(9) いじめ防止対策推進法

【中高地区全体】

いじめ防止対策推進法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が62.1%（257人）で最も高く、次いで「知らなかった」が24.4%（101人）、「どんな内容か知っている」が11.1%（46人）の順となっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が6割以上、「どんな内容か知っている」が1割以上となっている。

【中野市】

中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が62.9%（254人）で最も高く、次いで「知らなかった」が23.0%（93人）、「どんな内容か知っている」が11.6%（47人）の順となっている。

【山ノ内町】

山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が58.5%（265人）で最も高く、次いで「知らなかった」が25.4%（115人）、「どんな内容か知っている」が11.3%（51人）の順となっている。

【木島平村】

木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が59.0%（252人）で最も高く、次いで「知らなかった」が21.1%（90人）、「どんな内容か知っている」が15.5%（66人）の順となっている。

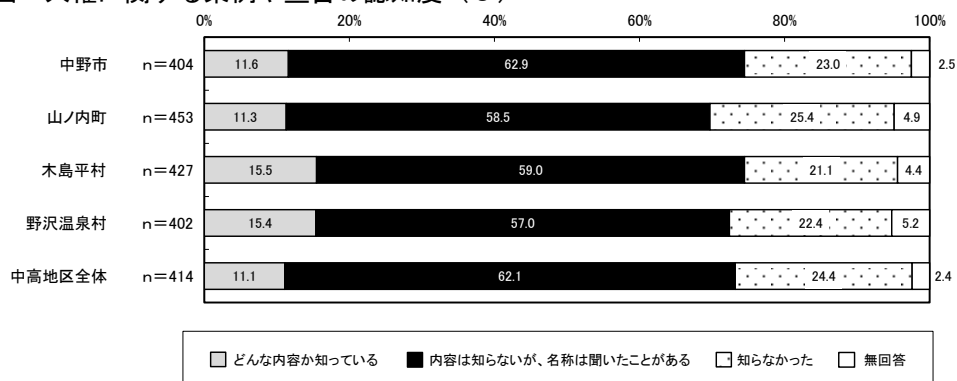
【野沢温泉村】

野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が57.0%（229人）で最も高く、次いで「知らなかった」が22.4%（90人）、「どんな内容か知っている」が15.4%（62人）の順となっている。

【市町村比較】

4市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』で62.9%（254人）、次いで『木島平村』で59.0%（252人）、『山ノ内町』で58.5%（265人）の順となっている。一方「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で25.4%（115人）、次いで『中野市』で23.0%（93人）、『野沢温泉村』で22.4%（90人）の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（9）



問6(10) 障害者差別解消法

【中高地区全体】

- ・障害者差別解消法についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が45.4%（188人）で最も高く、次いで「知らなかった」が42.3%（175人）、「どんな内容か知っている」が10.1%（42人）の順となっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が4割以上、「どんな内容か知っている」が約1割となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が48.3%（195人）で最も高く、次いで「知らなかった」が39.6%（160人）、「どんな内容か知っている」が9.7%（39人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」「知らなかった」が同率で43.3%（196人）、次いで「どんな内容か知っている」が8.4%（38人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が44.7%（191人）で最も高く、次いで「知らなかった」が38.9%（166人）、「どんな内容か知っている」が11.7%（50人）の順となっている。

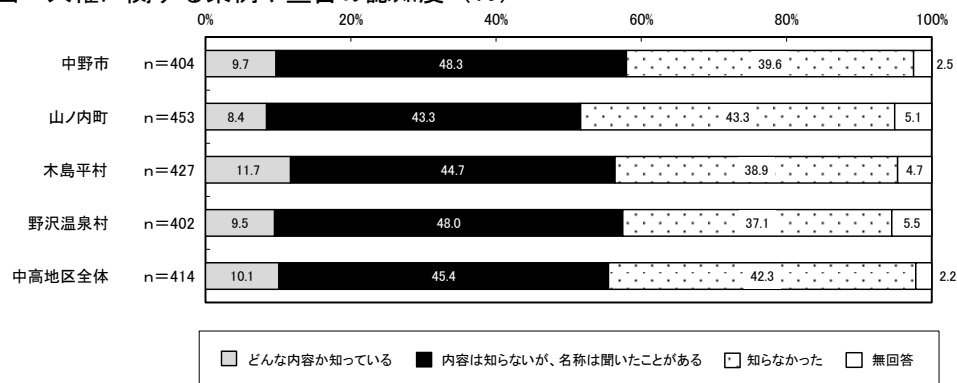
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が48.0%（193人）で最も高く、次いで「知らなかった」が37.1%（149人）、「どんな内容か知っている」が9.5%（38人）の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『木島平村』『野沢温泉村』で「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」、「知らなかった」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』で48.3%（195人）、次いで『野沢温泉村』で48.0%（193人）、『木島平村』で44.7%（191人）の順となっている。一方「知らなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で43.3%（196人）、次いで『中野市』で39.6%（160人）、『木島平村』で38.9%（166人）の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度（10）



問6(11) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）

【中高地区全体】

- ・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）についてみると、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が56.3%（233人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が22.5%（93人）、「知らなかった」が18.8%（78人）の順となっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が5割以上、「知らなかった」が1割以上となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が59.4%（240人）で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が19.8%（80人）、「知らなかった」が18.3%（74人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が55.6%（252人）で最も高く、次いで「知らなかった」が20.5%（93人）、「どんな内容か知っている」が19.4%（88人）の

順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 54.3% (232 人) で最も高く、次いで「どんな内容か知っている」が 21.3% (91 人)、「知らなかった」が 20.1% (86 人) の順となっている。

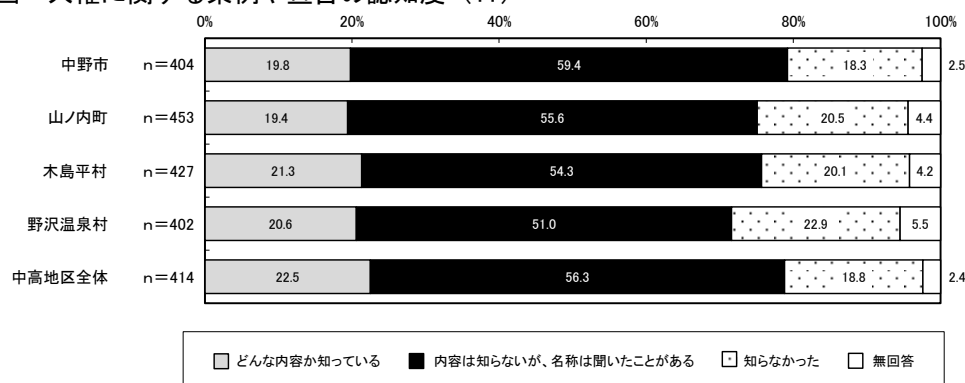
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が 51.0% (205 人) で最も高く、次いで「知らなかった」が 22.9% (92 人)、「どんな内容か知っている」が 20.6% (83 人) の順となっている。

【市町村比較】

・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が高くなっており、「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」が最も高いのは『中野市』で 59.4% (240 人)、次いで『山ノ内町』で 55.6% (252 人)、『木島平村』で 54.3% (232 人) の順となっている。一方「知らなかった」が最も高いのは『野沢温泉村』で 22.9% (92 人)、次いで『山ノ内町』で 20.5% (93 人)、『木島平村』で 20.1% (86 人) の順となっている。

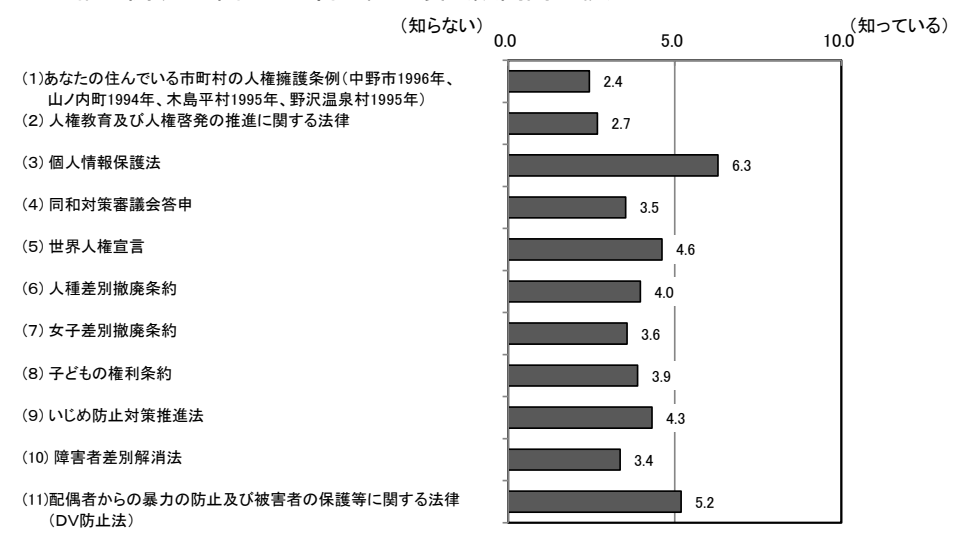
図 人権に関する条例や宣言の認知度 (11)



【設問間比較】

・“知っている”について「個人情報保護法」が 6.3 と最も高く、次いで「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)」が 5.2、「世界人権宣言」が 4.6 の順となっている。

図 人権に関する条例や宣言の認知度 (設問間比較)



＜比較の方法＞
 設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した
 ・どんな内容か知っている…………… 10点
 ・内容は知らないが、名称は聞いたことがある …… 5点
 ・知らなかった …………… 0点

B. 人権問題に対するさまざまな課題について

問7 あなたのお子さんが恋愛をし、結婚を考えている相手が次の人であれば、あなたはどのような態度をとると思いますか。次の(1)～(5)のすべてについて、あてはまる番号に○をしてください（お子さんがいない場合は、いと仮定してお答えください）。（それぞれに○は1つ）

	1 まったく問題にしない	2 迷いながらも、結局は問題にしない	3 迷いながらも、結局は考え直すように言う	4 考え直すように言う
(1) 障がい者	1	2	3	4
(2) 外国人	1	2	3	4
(3) 同和地区出身者	1	2	3	4
(4) ハンセン病回復者の家族	1	2	3	4
(5) HIV陽性者	1	2	3	4

問7(1) 障がい者

【中高地区全体】

- ・障がい者についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が44.9%（186人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が34.3%（142人）、「まったく問題にしない」が9.4%（39人）の順となっている。
- ・“問題にしない”（「まったく問題にしない」＋「迷いながらも、結局は問題にしない」）が54.3%（225人），“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」＋「考え直すように言う」）が42.5%（176人）と“問題にしない”が5割以上となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が45.5%（184人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が33.4%（135人）、「考え直すように言う」が8.9%（36人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が53.9%（218人），“考え直す”が42.3%（171人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ11.6ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が42.4%（192人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が33.8%（153人）、「まったく問題にしない」「考え直すように言う」が同率で9.7%（44人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が52.1%（236人），“考え直す”が43.5%（197人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ8.6ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が47.5%（203人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が29.3%（125人）、「まったく問題にしない」が10.3%（44人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が57.8%（247人），“考え直す”が38.4%（164人）“問題にしない”が“考え直す”に比べ19.4ポイント高くなっている。

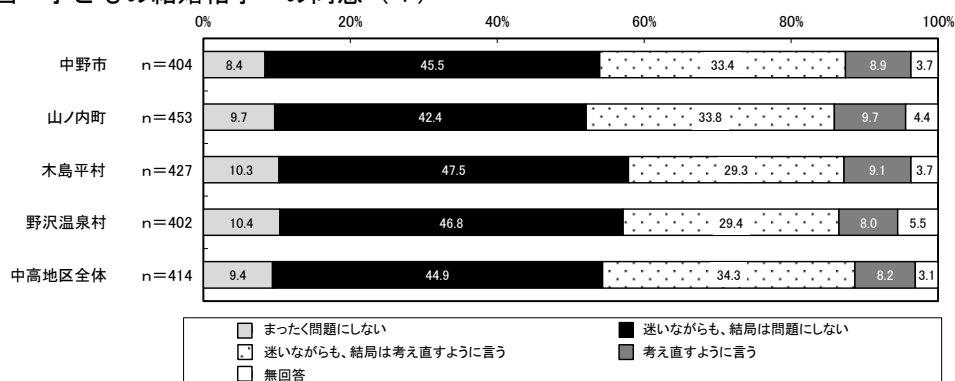
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が46.8%（188人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が29.4%（118人）、「まったく問題にしない」が10.4%（42人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が57.2%（230人），“考え直す”が37.4%（150人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ19.8ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『木島平村』で57.8%（247人）、次いで『野沢温泉村』で57.2%（230人）、『中野市』で53.9%（218人）の順となっている。一方“考え直す”が最も高いのは『山ノ内町』で43.5%（197人）、次いで『中野市』で42.3%（171人）、『木島平村』で38.4%（164人）の順となっている。

図 子どもの結婚相手への同意（1）



問7(2) 外国人

【中高地区全体】

- 外国人についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が44.7%（185人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が22.5%（93人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が21.5%（89人）の順となっている。
- “問題にしない”（「まったく問題にしない」＋「迷いながらも、結局は問題にしない」）が67.2%（278人），“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」＋「考え直すように言う」）が29.0%（120人）と“問題にしない”が6割以上となっている。

【中野市】

- 中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が47.5%（192人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が22.8%（92人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が18.6%（75人）の順となっている。
- “問題にしない”が70.3%（284人），“考え直す”が25.5%（103人）と“問題にしない”が“考え直す”の約2.7倍で、その差は44.8ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が41.3%（187人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が28.3%（128人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が19.0%（86人）の順となっている。
- “問題にしない”が69.6%（315人），“考え直す”が25.8%（117人）と“問題にしない”が“考え直す”の約2.6倍で、その差は43.8ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が47.1%（201人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が28.3%（121人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が14.5%（62人）の順となっている。
- “問題にしない”が75.4%（322人），“考え直す”が19.9%（85人）と“問題にしない”が“考え直す”の約3.7倍で、その差は55.5ポイントとなっている。

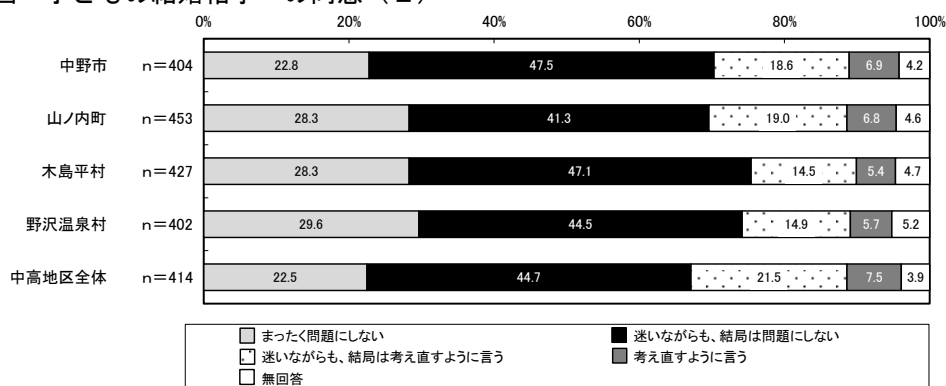
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が44.5%（179人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が29.6%（119人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が14.9%（60人）の順となっている。
- “問題にしない”が74.1%（298人），“考え直す”が20.6%（83人）と“問題にしない”が“考え直す”の約3.5倍で、その差は53.5ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『木島平村』で75.4%（322人）、次いで『野沢温泉村』で74.1%（298人）、『中野市』が70.3%（284人）の順となっている。一方“考え直す”が最も高いのは『山ノ内町』で25.8%（117人）、次いで『中野市』で25.5%（103人）、『野沢温泉村』で20.6%（83人）の順となっている。

図 子どもの結婚相手への同意（2）



問7（3） 同和地区出身者

【中高地区全体】

- ・同和地区出身者についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が41.5%（172人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が30.4%（126人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が18.8%（78人）の順となっている。
- ・“問題にしない”（「まったく問題にしない」＋「迷いながらも、結局は問題にしない」）が71.9%（298人），“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」＋「考え直すように言う」）が23.9%（99人）と“問題にしない”が7割以上となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が42.1%（170人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が30.4%（123人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が17.6%（71人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が72.5%（293人），“考え直す”が22.8%（92人）と“問題にしない”が“考え直す”の約3.1倍で、その差は49.7ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が39.7%（180人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が32.5%（147人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が17.4%（79人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が72.2%（327人），“考え直す”が23.1%（105人）と“問題にしない”が“考え直す”の約3.1倍で、その差は49.1ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「まったく問題にしない」が41.0%（175人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が39.6%（169人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が12.4%（53人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が80.6%（344人），“考え直す”が15.7%（67人）と“問題にしない”が“考え直す”の約5.1倍で、その差は64.9ポイントとなっている。

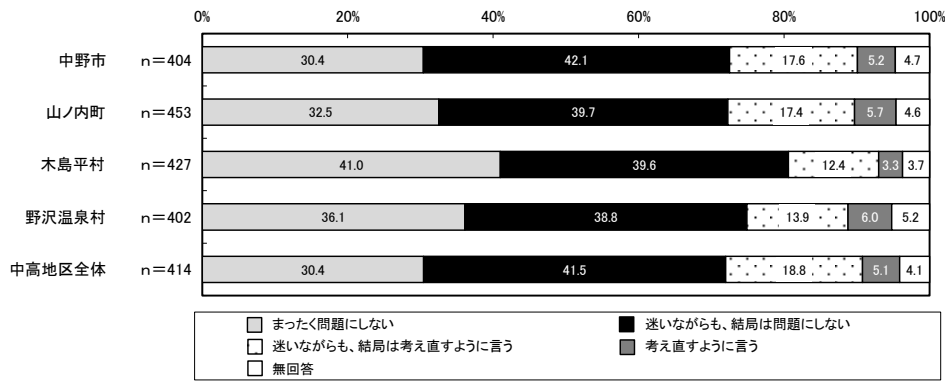
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が38.8%（156人）で最も高く、次いで「まったく問題にしない」が36.1%（145人）、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が13.9%（56人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が74.9%（301人），“考え直す”が19.9%（80人）と“問題にしない”が“考え直す”の約3.7倍で、その差は55.0ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『木島平村』で80.6%（344人）、次いで『野沢温泉村』で74.9%（301人）、『中野市』で72.5%（293人）の順となっている。一方“考え直す”が最も高いのは『山ノ内町』で23.1%（105人）、次いで『中野市』で22.8%（92人）、『野沢温泉村』で19.9%（80人）の順となっている。

図 子どもの結婚相手への同意（3）



問7(4) ハンセン病回復者の家族

【中高地区全体】

- ・ハンセン病回復者の家族についてみると、「迷いながらも、結局は問題にしない」が34.5%（143人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が33.3%（138人）、「まったく問題にしない」が16.9%（70人）の順となっている。
- ・“問題にしない”（「まったく問題にしない」+「迷いながらも、結局は問題にしない」）が51.4%（213人），“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」+「考え直すように言う」）が44.4%（184人）と“問題にしない”が5割以上となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が34.2%（138人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は問題にしない」が33.7%（136人）、「まったく問題にしない」が17.1%（69人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が50.8%（205人），“考え直す”が45.1%（182人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ5.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が35.3%（160人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が30.5%（138人）、「まったく問題にしない」が16.1%（73人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が51.4%（233人），“考え直す”が43.1%（195人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ8.3ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が38.9%（166人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が26.0%（111人）、「まったく問題にしない」が20.6%（88人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が59.5%（254人），“考え直す”が34.7%（148人）と“問題にしない”が“考え直す”の約1.7倍で、その差は24.8ポイントとなっている。

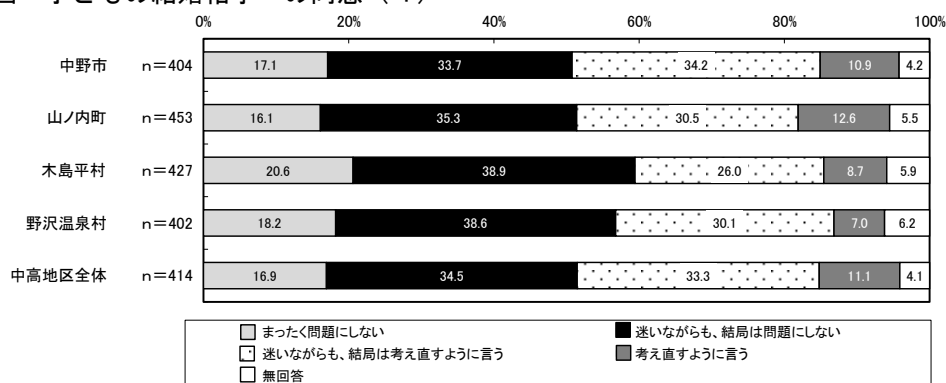
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は問題にしない」が38.6%（155人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が30.1%（121人）、「まったく問題にしない」が18.2%（73人）の順となっている。
- ・“問題にしない”が56.8%（228人），“考え直す”が37.1%（149人）と“問題にしない”が“考え直す”に比べ19.7ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“問題にしない”が高くなっており、“問題にしない”が最も高いのは『木島平村』で59.5%（254人）、次いで『野沢温泉村』で56.8%（228人）、『山ノ内町』で51.4%（233人）の順となっている。一方“考え直す”が最も高いのは『中野市』で45.1%（182人）、次いで『山ノ内町』で43.1%（195人）、『野沢温泉村』で37.1%（149人）の順となっている。

図 子どもの結婚相手への同意（４）



問7(5) HIV陽性者

【中高地区全体】

- ・ HIV陽性者についてみると、「考え直すように言う」が37.7%（156人）で最も高く、次いで「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が36.7%（152人）、「迷いながらも、結局は問題にしない」が17.1%（71人）の順となっている。
- ・ “問題にしない”（「まったく問題にしない」＋「迷いながらも、結局は問題にしない」）が21.0%（87人），“考え直す”（「迷いながらも、結局は考え直すように言う」＋「考え直すように言う」）が74.4%（308人）と“考え直す”が7割以上となっている。

【中野市】

- ・ 中野市においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が37.6%（152人）で最も高く、次いで「考え直すように言う」が35.6%（144人）、「迷いながらも、結局は問題にしない」が18.1%（73人）の順となっている。
- ・ “問題にしない”が21.6%（87人），“考え直す”が73.2%（296人）と“考え直す”が“問題にしない”の約3.3倍で、その差は51.6ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・ 山ノ内町においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が39.1%（177人）で最も高く、次いで「考え直すように言う」が33.3%（151人）、「迷いながらも、結局は問題にしない」が17.9%（81人）の順となっている。
- ・ “問題にしない”が21.7%（98人），“考え直す”が72.4%（328人）と“考え直す”が“問題にしない”の約3.3倍で、その差は50.7ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・ 木島平村においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が36.8%（157人）で最も高く、次いで「考え直すように言う」が29.7%（127人）、「迷いながらも、結局は問題にしない」が24.8%（106人）の順となっている。
- ・ “問題にしない”が28.1%（120人），“考え直す”が66.5%（284人）と“考え直す”が“問題にしない”の約2.3倍で、その差は38.4ポイントとなっている。

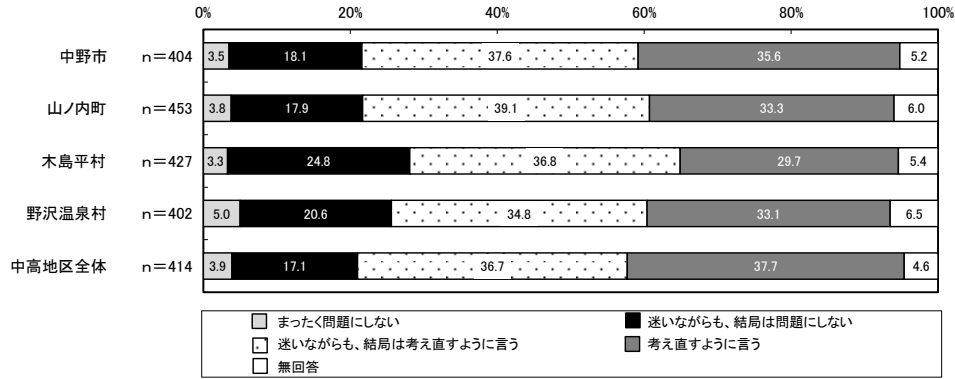
【野沢温泉村】

- ・ 野沢温泉村においては、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が34.8%（140人）で最も高く、次いで「考え直すように言う」が33.1%（133人）、「迷いながらも、結局は問題にしない」が20.6%（83人）の順となっている。
- ・ “問題にしない”が25.6%（103人），“考え直す”が67.9%（273人）と“考え直す”が“問題にしない”の約2.6倍で、その差は42.3ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・ 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“考え直す”が高くなっており、“考え直す”が最も高いのは『中野市』で73.2%（296人）、次いで『山ノ内町』で72.4%（328人）、『野沢温泉村』で67.9%（273人）の順となっている。一方“問題にしない”が最も高いのは『木島平村』で28.1%（120人）、次いで『野沢温泉村』で25.6%（103人）、『山ノ内町』で21.7%（98人）の順となっている。

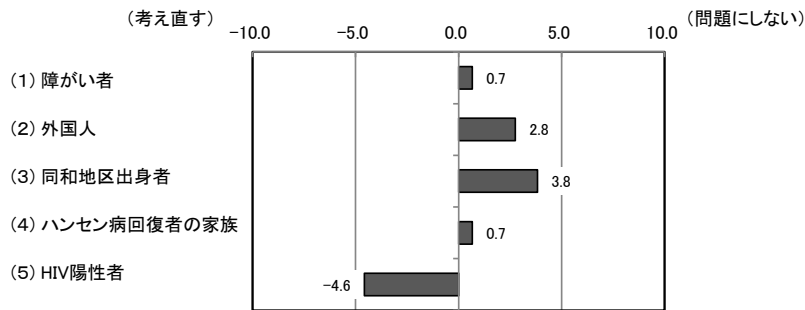
図 子どもの結婚相手への同意（５）



【設問間比較】

・“考え直す”について『HIV陽性者』がマイナス4.6となっている。一方“問題にしない”について『同和地区出身者』で3.8と最も高く、次いで『外国人』が2.8、『障がい者』『ハンセン病回復者の家族』が同率で0.7の順となっている。

図 子どもの結婚相手への同意（設問間比較）



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・まったく問題にしない…………… 10点
- ・迷いながらも、結局は問題にしない …… 5点
- ・考え直すように言う…………… -10点
- ・迷いながらも、結局は考え直すように言う …… -5点

問8 あなたは子どもの人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（５）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は1つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらか といえば 思わない	5 そう 思わない
(1)子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である	1	2	3	4	5
(2)親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3)学校での教育的な体罰は、やむを得ない	1	2	3	4	5
(4)犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ	1	2	3	4	5
(5)子どもの不登校や引きこもりの責任は、親にもある	1	2	3	4	5

問8（1） 子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である

【中高地区全体】

- ・子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然であるについてみると、「どちらともいえない」が33.8%（140人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.9%（99人）、「どちらかといえば思わない」が17.9%（74人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が29.0%（120人），“思わない”（「どちら

かといえばそう思わない」+「そう思わない」が34.3%（142人）となっており、「思わない」が「思う」に比べ5.3ポイント高くなっている。

- ・前回調査と比較すると、「思う」が14.9ポイント（29.0-43.9）低くなっており、一方「思わない」が10.7ポイント（34.3-23.6）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が37.1%（150人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が20.8%（84人）、「そう思わない」が16.8%（68人）の順となっている。
- ・「思う」が27.2%（110人）、「思わない」が33.1%（134人）と「思わない」が「思う」に比べ5.9ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が35.1%（159人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.6%（107人）、「どちらかといえばそう思わない」が15.7%（71人）の順となっている。
- ・「思う」が32.0%（145人）、「思わない」が28.7%（130人）と「思う」が「思わない」に比べ3.3ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が30.7%（131人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.0%（111人）、「どちらかといえばそう思わない」が17.6%（75人）の順となっている。
- ・「思う」が31.9%（136人）、「思わない」が34.2%（146人）と「思わない」が「思う」に比べ2.3ポイント高くなっている。

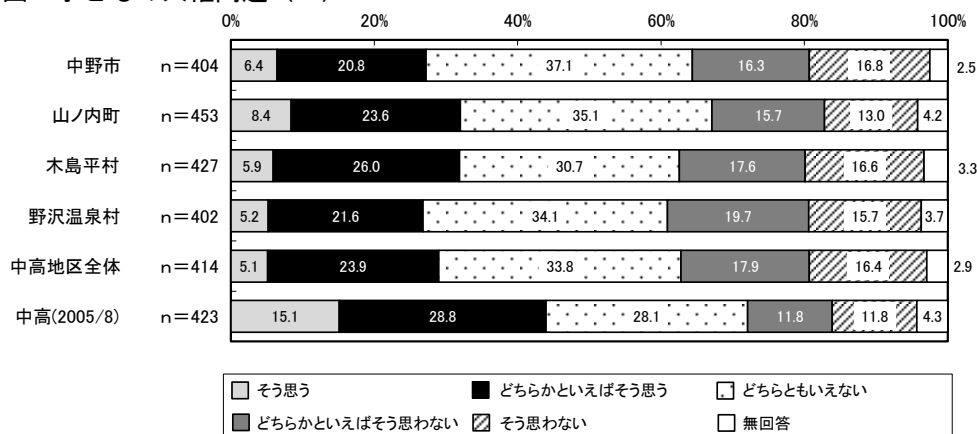
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が34.1%（137人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が21.6%（87人）、「どちらかといえばそう思わない」が19.7%（79人）の順となっている。
- ・「思う」が26.8%（108人）、「思わない」が35.4%（142人）と「思わない」が「思う」に比べ8.6ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『木島平村』『野沢温泉村』で「思わない」、「山ノ内町」で「思う」が高くなっており、「思わない」が最も高いのは『野沢温泉村』で35.4%（142人）、次いで『木島平村』で34.2%（146人）、『中野市』で33.1%（134人）の順となっている。一方「思う」が最も高いのは『山ノ内町』で32.0%（145人）、次いで『木島平村』で31.9%（136人）、『中野市』で27.2%（110人）の順となっている。

図 子どもの人権問題（1）



問8(2) 親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない

【中高地区全体】

- ・親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ないについてみると、「そう思わない」が31.2%（129人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.8%（107人）、「どちらかといえばそう思わない」が20.3%（84人）の順となっている。
- ・「思う」（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）が20.0%（83人）、「思わない」（「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」）が51.5%（213人）となっており、「思わない」が「思

う”の約2.5倍で、その差は31.5ポイントとなっている。

- ・前回調査と比較すると、“思う”が11.6ポイント(20.0-31.6)低くなっており、一方“思わない”が14.1ポイント(51.5-37.4)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が31.2%(126人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.0%(101人)、「どちらかといえばそう思わない」が22.8%(92人)の順となっている。
- ・“思う”が18.1%(73人)、“思わない”が54.0%(218人)と“思わない”が“思う”の約2.9倍で、その差は35.9ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が31.3%(142人)で最も高く、次いで「そう思わない」が29.4%(133人)、「どちらかといえばそう思う」が16.6%(75人)の順となっている。
- ・“思う”が20.8%(94人)、“思わない”が44.9%(203人)と“思わない”が“思う”の約2.1倍で、その差は24.1ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が33.7%(144人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.9%(102人)、「どちらかといえばそう思う」が17.6%(75人)の順となっている。
- ・“思う”が22.3%(95人)、“思わない”が50.6%(216人)と“思わない”が“思う”の約2.2倍で、その差は28.3ポイントとなっている。

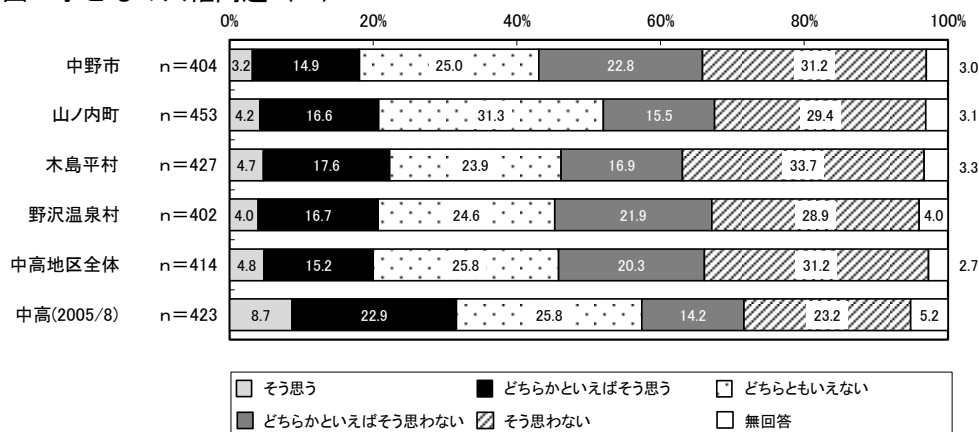
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が28.9%(116人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.6%(99人)、「どちらかといえばそう思わない」が21.9%(88人)の順となっている。
- ・“思う”が20.7%(83人)、“思わない”が50.8%(204人)と“思わない”が“思う”の約2.4倍で、その差は30.1ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『中野市』で54.0%(218人)、次いで『野沢温泉村』で50.8%(204人)、『木島平村』で50.6%(216人)の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『木島平村』で22.3%(95人)、次いで『山ノ内町』で20.8%(94人)、『野沢温泉村』で20.7%(83人)の順となっている。

図 子どもの人権問題(2)



問8(3) 学校での教育的な体罰は、やむを得ない

【中高地区全体】

- ・学校での教育的な体罰は、やむを得ないについてみると、「どちらともいえない」が28.0%(116人)で最も高く、次いで「そう思わない」が23.9%(99人)、「どちらかといえばそう思う」が22.9%(95人)の順となっている。
- ・“思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が26.0%(108人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が42.5%(176人)となっており、“思わない”が“思う”に比べ16.5ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が10.7ポイント(26.0-36.7)低くなっており、一方“思わない”が9.5ポイント(42.5-33.0)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が27.7%(112人)で最も高く、次いで「そう思わない」

が24.3% (98人)、「どちらかといえばそう思う」が22.8% (92人) の順となっている。

- ・“思う”が25.3% (102人)、“思わない”が43.9% (177人) と“思わない”が“思う”に比べ18.6ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が31.8% (144人) で最も高く、次いで「そう思わない」が23.0% (104人)、「どちらかといえばそう思う」が18.3% (83人) の順となっている。
- ・“思う”が24.9% (113人)、“思わない”が39.8% (180人) と“思わない”が“思う”に比べ14.9ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が26.2% (112人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.1% (103人)、「どちらかといえばそう思う」が21.3% (91人) の順となっている。
- ・“思う”が26.9% (115人)、“思わない”が45.6% (195人) と“思わない”が“思う”に比べ18.7ポイント高くなっている。

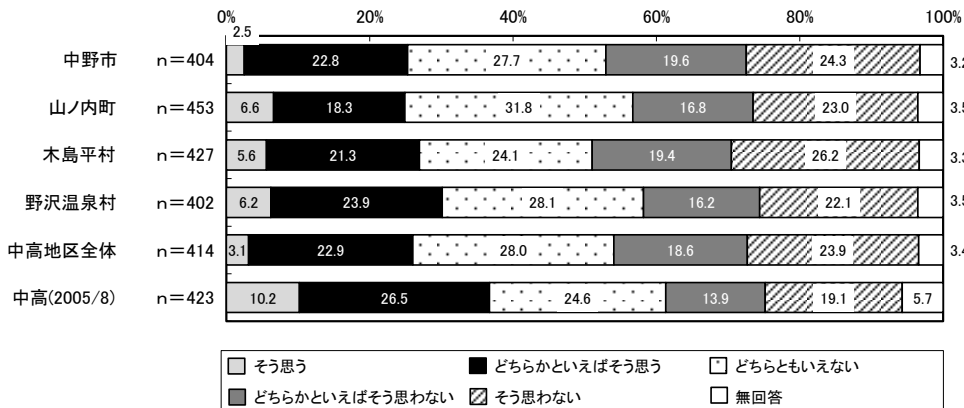
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が28.1% (113人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.9% (96人)、「そう思わない」が22.1% (89人) の順となっている。
- ・“思う”が30.1% (121人)、“思わない”が38.3% (154人) と“思わない”が“思う”に比べ8.2ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で45.6% (195人)、次いで『中野市』で43.9% (177人)、『山ノ内町』で39.8% (180人) の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で30.1% (121人)、次いで『木島平村』で26.9% (115人)、『中野市』で25.3% (102人) の順となっている。

図 子どもの人権問題 (3)



問8(4) 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ

【中高地区全体】

- ・犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだについてみると、「どちらかといえばそう思う」が28.3% (117人) で最も高く、次いで「そう思う」が28.0% (116人)、「どちらともいえない」が27.3% (113人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が56.3% (233人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が14.0% (58人) となっており、“思う”が5割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が5.1ポイント (56.3-61.4) 低くなっており、一方“思わない”が5.0ポイント (14.0-9.0) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が28.2% (114人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.0% (113人)、「どちらかといえばそう思う」が27.2% (110人) の順となっている。
- ・“思う”が55.4% (224人)、“思わない”が13.6% (55人) と“思う”が“思わない”の約4倍で、その差は41.8ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が同率で29.8% (135人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.2% (123人)、「どちらかといえばそう思わない」が6.2%

(28人)の順となっている。

- ・“思う”が59.6% (270人)、“思わない”が9.7% (44人)と“思う”が5割以上、“思わない”が約1割となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が31.1% (133人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.5% (113人)、「そう思う」が22.5% (96人)の順となっている。
- ・“思う”が53.6% (229人)、“思わない”が17.1% (73人)と“思う”が“思わない”の約3.1倍で、その差は36.5ポイントとなっている。

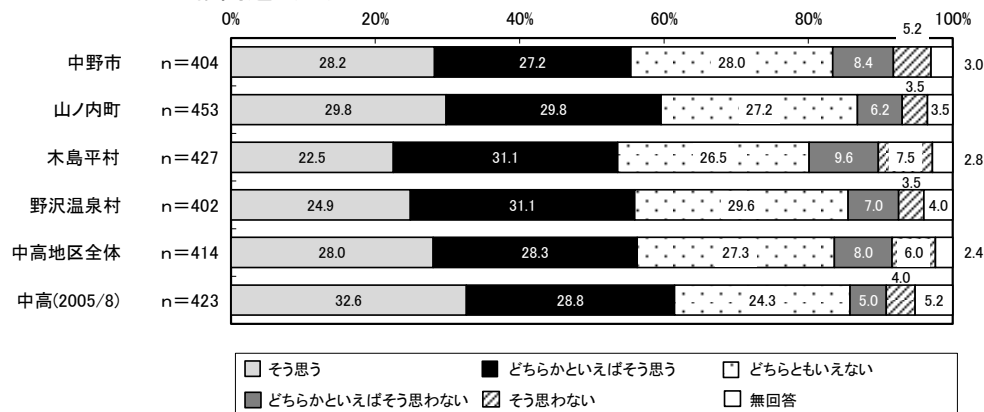
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が31.1% (125人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.6% (119人)、「そう思う」が24.9% (100人)の順となっている。
- ・“思う”が56.0% (225人)、“思わない”が10.5% (42人)と“思う”が“思わない”の約5.3倍で、その差は45.5ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で59.6% (270人)、次いで『野沢温泉村』で56.0% (225人)、『中野市』で55.4% (224人)の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『木島平村』で17.1% (73人)、次いで『中野市』で13.6% (55人)、『野沢温泉村』で10.5% (42人)の順となっている。

図 子どもの人権問題 (4)



問8(5) 子どもの不登校や引きこもりの責任は、親にもある

【中高地区全体】

- ・子どもの不登校や引きこもりの責任は、親にもあるについてみると、「どちらともいえない」が35.0% (145人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.2% (129人)、「そう思う」が20.3% (84人)の順となっている。
- ・“思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が51.5% (213人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が10.9% (45人)となっており、“思う”が“思わない”の約4.7倍で、その差は40.6ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が19.5ポイント (51.5-71.0) 低くなっており、一方“思わない”が3.8ポイント (10.9-7.1) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が34.2% (138人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.2% (126人)、「そう思う」が19.1% (77人)の順となっている。
- ・“思う”が50.3% (203人)、“思わない”が13.6% (55人)と“思う”が“思わない”の約3.6倍で、その差は36.7ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が32.7% (148人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.5% (147人)、「そう思う」が24.5% (111人)の順となっている。
- ・“思う”が57.0% (258人)、“思わない”が7.1% (32人)と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が31.6% (135人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.7% (127人)、「そう思う」が24.4% (104人)の順となっている。

- ・“思う”が56.0% (239人)、“思わない”が11.8% (50人)と“思う”が“思わない”の約4.7倍で、その差は44.2ポイントとなっている。

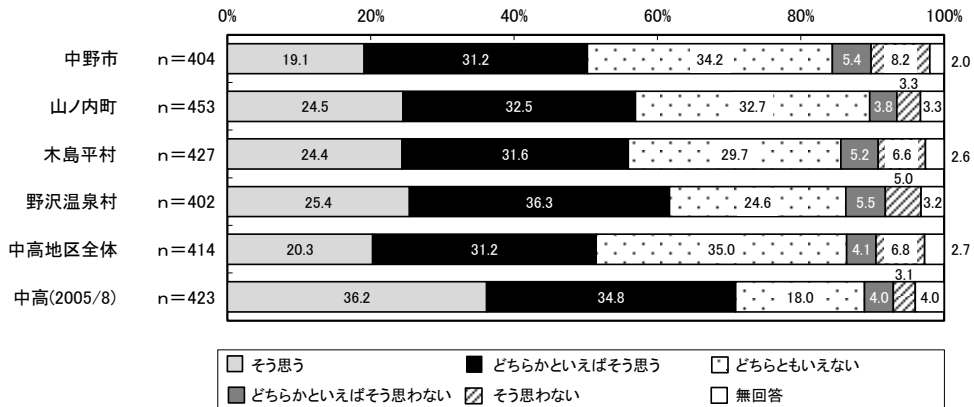
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が36.3% (146人)で最も高く、次いで「そう思う」が25.4% (102人)、「どちらともいえない」が24.6% (99人)の順となっている。
- ・“思う”が61.7% (248人)、“思わない”が10.5% (42人)と“思う”が“思わない”の約5.8倍で、その差は51.2ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で61.7% (248人)、次いで『山ノ内町』で57.0% (258人)、『木島平村』で56.0% (239人)の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『中野市』で13.6% (55人)、次いで『木島平村』で11.8% (50人)、『野沢温泉村』で10.5% (42人)の順となっている。

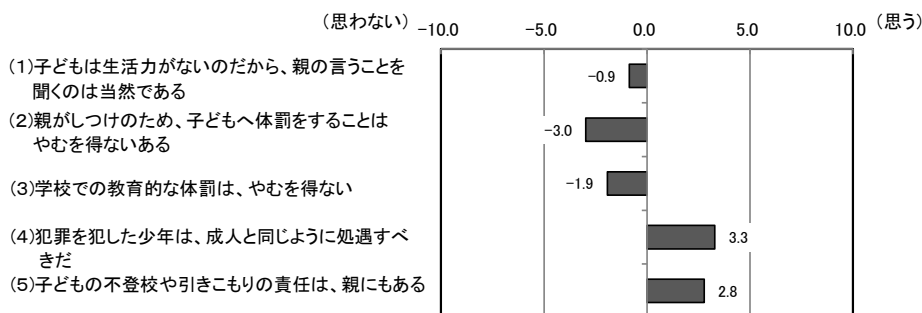
図 子どもの人権問題 (5)



【設問間比較】

- ・“思わない”について「親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない」がマイナス3.0と最も高く、次いで「学校での教育的な体罰は、やむを得ない」がマイナス1.9、「子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である」がマイナス0.9の順となっている。一方“思う”について「犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ」が3.3、「子どもの不登校や引きこもりの責任は、親にもある」が2.8となっている。

図 子どもの人権問題 (設問間比較)



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う	10点	・そう思わない	-10点
・どちらかといえばそう思う	5点	・どちらかといえばそう思わない	-5点
・どちらともいえない	0点		

問9 あなたは女性の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(7)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらか といえばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらか といえばそう 思わない	5 そう 思わない
(1)結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
(2)夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい	1	2	3	4	5
(3)「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある	1	2	3	4	5
(4)地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい	1	2	3	4	5
(5)女性が責任のある役職につくことには抵抗がある	1	2	3	4	5
(6)子育ての間は、母親は育児に専念した方がよい	1	2	3	4	5
(7)母子家庭の母親は、なかなか正規の仕事に就きにくい現状がある	1	2	3	4	5

問9(1) 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない

【中高地区全体】

- ・結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はないについてみると、「どちらともいえない」が33.8% (140人) で最も高く、次いで「そう思う」が25.1% (104人)、「どちらかといえばそう思う」が16.2% (67人) の順となっている。
- ・“思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が41.3% (171人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が23.2% (96人) となっており、“思う”が“思わない”に比べ18.1ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が13.4ポイント(41.3-27.9)高くなっており、一方“思わない”が16.1ポイント(23.2-39.3)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が30.2% (122人) で最も高く、次いで「そう思う」が28.5% (115人)、「どちらかといえばそう思う」が15.6% (63人) の順となっている。
- ・“思う”が44.1% (178人)、“思わない”が23.8% (96人) と“思う”が“思わない”の約1.8倍で、その差は20.3ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が30.9% (140人) で最も高く、次いで「そう思う」が26.0% (118人)、「どちらかといえばそう思う」が17.0% (77人) の順となっている。
- ・“思う”が43.0% (195人)、“思わない”が22.3% (101人) と“思う”が“思わない”の約1.9倍で、その差は20.7ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が29.5% (126人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が21.8% (93人)、「そう思う」が21.3% (91人) の順となっている。
- ・“思う”が43.1% (184人)、“思わない”が25.5% (109人) と“思う”が“思わない”に比べ17.6ポイント高くなっている。

【野沢温泉村】

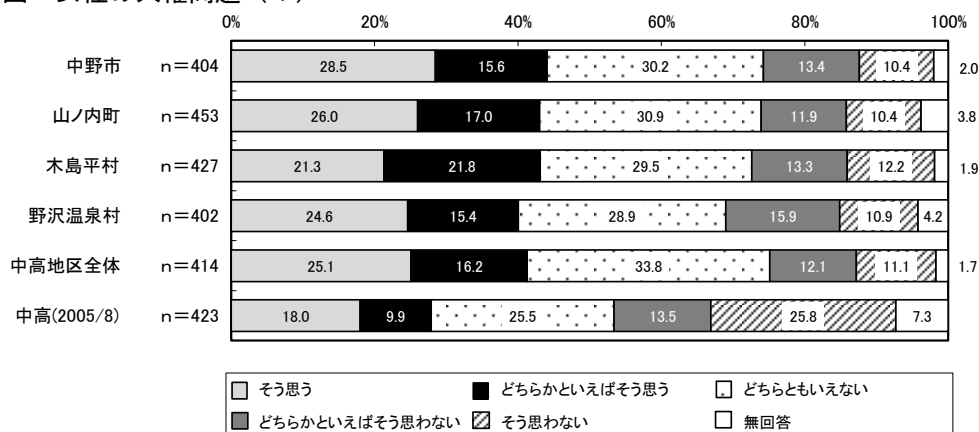
- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が28.9% (116人) で最も高く、次いで「そう思う」が24.6% (99人)、「どちらかといえばそう思わない」が15.9% (64人) の順となっている。
- ・“思う”が40.0% (161人)、“思わない”が26.8% (108人) と“思う”が“思わない”に比べ13.2ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で44.1% (178人)、次いで『木島平村』で43.1% (184人)、『山ノ内町』で43.0% (195人) の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で26.8% (108人)、次い

で『木島平村』で25.5%（109人）、『中野市』で23.8%（96人）の順となっている。

図 女性の人権問題（1）



問9（2） 夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい

【中高地区全体】

- 夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよいについてみると、「どちらともいえない」が30.0%（124人）で最も高く、次いで「そう思う」が21.0%（87人）、「どちらかといえばそう思う」が16.4%（68人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が37.4%（155人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が30.2%（125人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ7.2ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が5.3ポイント（37.4-32.1）高くなっており、一方“思わない”が7.6ポイント（30.2-37.8）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が29.7%（120人）で最も高く、次いで「そう思う」が21.8%（88人）、「どちらかといえばそう思う」が17.1%（69人）の順となっている。
- “思う”が38.9%（157人），“思わない”が28.9%（117人）と“思う”が“思わない”に比べ10ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が28.3%（128人）で最も高く、次いで「そう思う」が21.4%（97人）、「どちらかといえばそう思う」が17.7%（80人）の順となっている。
- “思う”が39.1%（177人），“思わない”が29.1%（132人）と“思う”が“思わない”に比べ10ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらともいえない」が29.5%（126人）で最も高く、次いで「そう思う」が22.0%（94人）、「どちらかといえばそう思う」が18.7%（80人）の順となっている。
- “思う”が40.7%（174人），“思わない”が26.7%（114人）と“思う”が“思わない”に比べ14.0ポイント高くなっている。

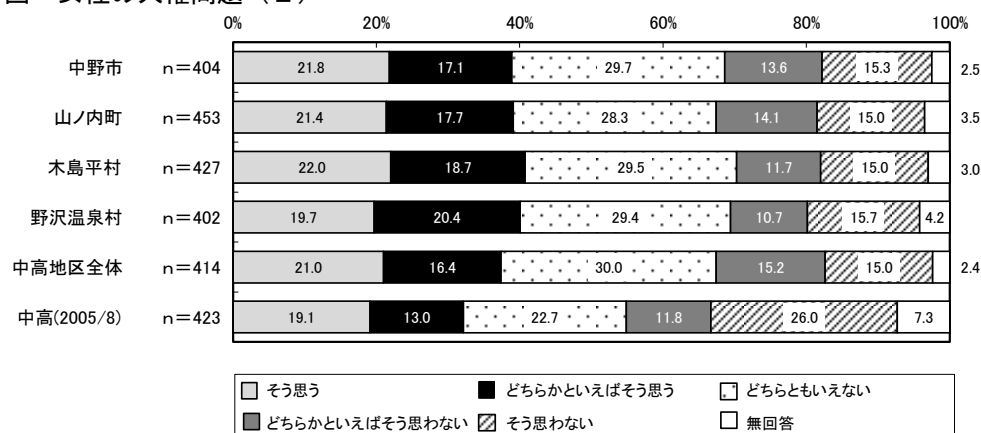
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が29.4%（118人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が20.4%（82人）、「そう思う」が19.7%（79人）の順となっている。
- “思う”が40.1%（161人），“思わない”が26.4%（106人）と“思う”が“思わない”に比べ13.7ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で40.7%（174人）、次いで『野沢温泉村』で40.1%（161人）、『山ノ内町』で39.1%（177人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で29.1%（132人）、『中野市』で28.9%（117人）、『木島平村』で26.7%（114人）の順となっている。

図 女性の人権問題（2）



問9(3) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある

【中高地区全体】

- 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もあるについてみると、「どちらかといえばそう思う」が26.3%（109人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が19.3%（80人）、「そう思わない」が18.8%（78人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が40.3%（167人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が36.9%（153人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ3.4ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が28.3ポイント（40.3-12.0）高くなっており、一方“思わない”が21.5ポイント（36.9-58.4）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が26.0%（105人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.3%（90人）、「どちらかといえばそう思わない」が18.3%（74人）の順となっている。
- “思う”が38.6%（156人），“思わない”が35.9%（145人）と“思う”が“思わない”に比べ2.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が24.9%（113人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が22.1%（100人）、「そう思わない」が18.1%（82人）の順となっている。
- “思う”が39.2%（178人），“思わない”が34.4%（156人）と“思う”が“思わない”に比べ4.8ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が28.1%（120人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.1%（103人）、「どちらかといえばそう思わない」が18.5%（79人）の順となっている。
- “思う”が39.6%（169人），“思わない”が33.0%（141人）と“思う”が“思わない”に比べ6.6ポイント高くなっている。

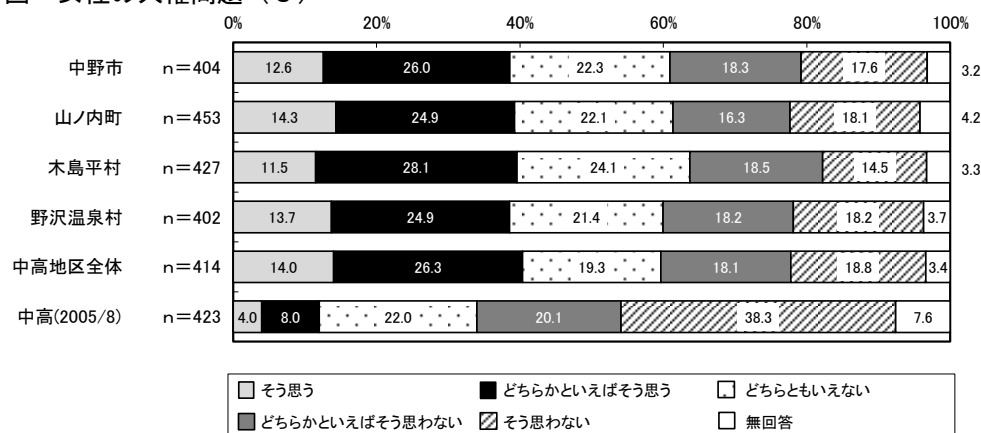
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が24.9%（100人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が21.4%（86人）、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が同率で18.2%（73人）の順となっている。
- “思う”が38.6%（155人），“思わない”が36.4%（146人）と“思う”が“思わない”に比べ2.2ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で39.6%（169人）、次いで『山ノ内町』で39.2%（178人）、『中野市』『野沢温泉村』が同率で38.6%（156人、155人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で36.4%（146人）、次いで『中野市』で35.9%（145人）、『山ノ内町』で34.4%（156人）の順となっている。

図 女性の人権問題（3）



問9(4) 地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい

【中高地区全体】

- ・地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよいについてみると、「どちらともいえない」が33.6%（139人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.1%（133人）、「そう思わない」が11.8%（49人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が41.8%（173人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が21.7%（90人）となっており，“思う”が“思わない”の約1.9倍で、その差は20.1ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が1.6ポイント（41.8-40.2）高くなっており、一方“思わない”が8.8ポイント（21.7-30.5）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が34.9%（141人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.9%（125人）、「どちらかといえばそう思わない」が11.9%（48人）の順となっている。
- ・“思う”が39.6%（160人），“思わない”が23.0%（93人）と“思う”が“思わない”に比べ16.6ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が33.8%（153人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.5%（129人）、「どちらかといえばそう思わない」が12.8%（58人）の順となっている。
- ・“思う”が40.9%（185人），“思わない”が21.9%（99人）と“思う”が“思わない”の約1.8倍で、その差は19.0ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が35.8%（153人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.4%（117人）、「そう思う」が11.5%（49人）の順となっている。
- ・“思う”が38.9%（166人），“思わない”が22.4%（96人）と“思う”が“思わない”に比べ16.5ポイント高くなっている。

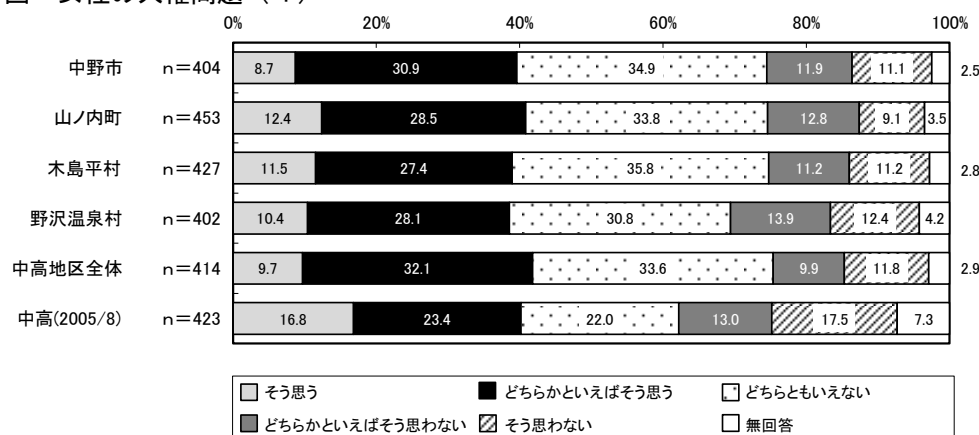
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が30.8%（124人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.1%（113人）、「どちらかといえばそう思わない」が13.9%（56人）の順となっている。
- ・“思う”が38.5%（155人），“思わない”が26.3%（106人）と“思う”が“思わない”に比べ12.2ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で40.9%（185人）、次いで『中野市』で39.6%（160人）、『木島平村』で38.9%（166人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で26.3%（106人）、次いで『中野市』で23.0%（93人）、『木島平村』で22.4%（96人）の順となっている。

図 女性の人権問題（４）



問 9（5） 女性が責任のある役職につくことには抵抗がある

【中高地区全体】

- ・女性が責任のある役職につくことには抵抗があるについてみると、「そう思わない」が 43.2%（179 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 28.3%（117 人）、「どちらともいえない」が 17.9%（74 人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が 7.5%（31 人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が 71.5%（296 人）となっており、“思う”が 1 割にも満たず，“思わない”が 7 割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が 2.2 ポイント（7.5-9.7）低くなっており、一方“思わない”が 5.8 ポイント（71.5-65.7）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が 43.3%（175 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 29.7%（120 人）、「どちらともいえない」が 17.8%（72 人）の順となっている。
- ・“思う”が 6.2%（25 人），“思わない”が 73.0%（295 人）と“思う”が 1 割にも満たず，“思わない”が 7 割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が 40.0%（181 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 29.4%（133 人）、「どちらともいえない」が 21.4%（97 人）の順となっている。
- ・“思う”が 5.8%（26 人），“思わない”が 69.4%（314 人）と“思う”が 1 割にも満たず，“思わない”が 6 割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が 43.8%（187 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 29.0%（124 人）、「どちらともいえない」が 16.6%（71 人）の順となっている。
- ・“思う”が 6.8%（29 人），“思わない”が 72.8%（311 人）と“思う”が 1 割にも満たず，“思わない”が 7 割以上となっている。

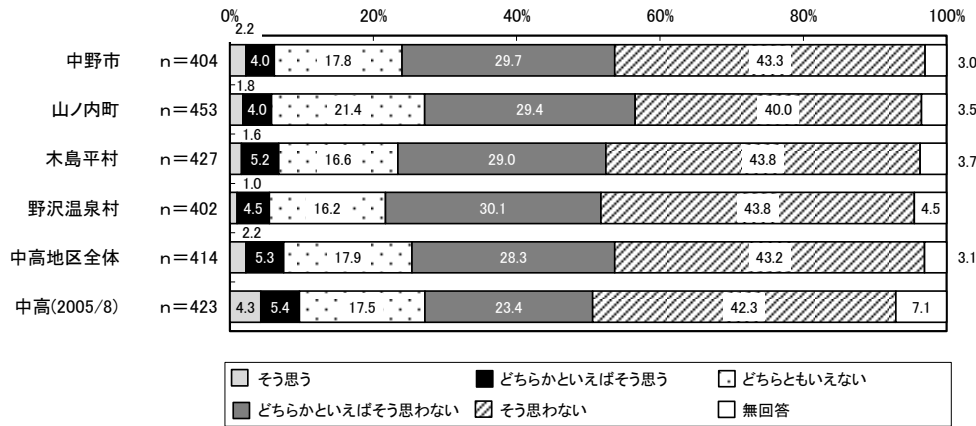
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が 43.8%（176 人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が 30.1%（121 人）、「どちらともいえない」が 16.2%（65 人）の順となっている。
- ・“思う”が 5.5%（22 人），“思わない”が 73.9%（297 人）と“思う”が 1 割にも満たず，“思わない”が 7 割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も 6 割以上で“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で 73.9%（297 人）、次いで『中野市』で 73.0%（295 人）、『木島平村』で 72.8%（311 人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『木島平村』で 6.8%（29 人）、『中野市』で 6.2%（25 人）、『山ノ内町』で 5.8%（26 人）の順となっている。

図 女性の人権問題（５）



問9(6) 子育ての間は、母親は育児に専念した方がよい

【中高地区全体】

- 子育ての間は、母親は育児に専念した方がよいについてみると、「どちらかといえばそう思う」が31.9%（132人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.6%（110人）、「どちらかといえばそう思わない」が14.3%（59人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が44.7%（185人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が26.1%（108人）となっており、“思う”が“思わない”に比べ18.6ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が9.2ポイント（44.7-53.9）低くなっており、一方“思わない”が5.5ポイント（26.1-20.6）高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が29.7%（120人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.7%（108人）、「そう思う」が15.1%（61人）の順となっている。
- “思う”が41.8%（169人），“思わない”が26.5%（107人）と“思う”が“思わない”に比べ15.3ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が29.1%（132人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.8%（117人）、「そう思う」が19.2%（87人）の順となっている。
- “思う”が45.0%（204人），“思わない”が21.9%（99人）と“思う”が“思わない”の約2倍で、その差は23.1ポイントとなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が26.9%（115人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.2%（112人）、「そう思う」が17.1%（73人）の順となっている。
- “思う”が44.0%（188人），“思わない”が26.0%（111人）と“思う”が“思わない”に比べ18.0ポイント高くなっている。

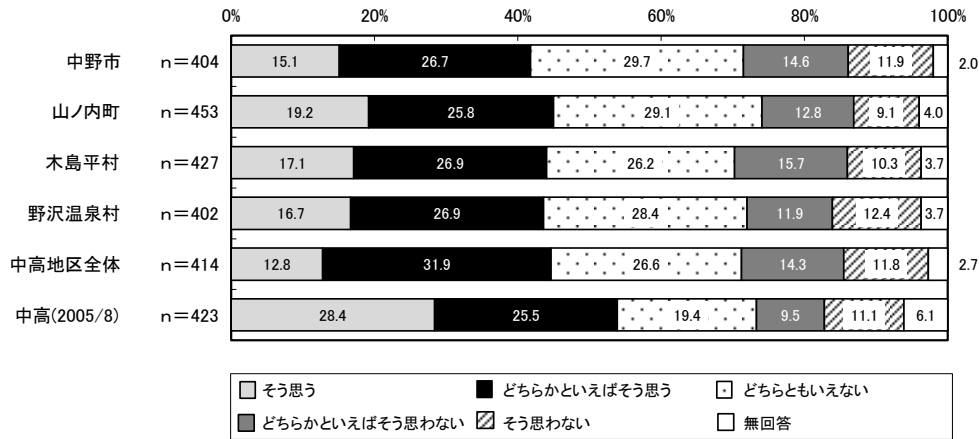
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が28.4%（114人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.9%（108人）、「そう思う」が16.7%（67人）の順となっている。
- “思う”が43.6%（175人），“思わない”が24.3%（98人）と“思う”が“思わない”に比べ19.3ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で45.0%（204人）、次いで『木島平村』で44.0%（188人）、『野沢温泉村』で43.6%（175人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『中野市』で26.5%（107人）、次いで『木島平村』で26.0%（111人）、『野沢温泉村』で24.3%（98人）の順となっている。

図 女性の人権問題（6）



問9（7） 母子家庭の母親は、なかなか正規の仕事に就きにくい現状がある

【中高地区全体】

- 母子家庭の母親は、なかなか正規の仕事に就きにくい現状があるについてみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が同率で34.5%（143人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が17.9%（74人）、「どちらかといえばそう思わない」が5.8%（24人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が69.0%（286人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が9.9%（41人）となっており、“思う”が6割以上、“思わない”が約1割となっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が14.6ポイント（69.0-54.4）高くなっており、一方“思わない”が5.9ポイント（9.9-15.8）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が34.2%（138人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.7%（132人）、「どちらともいえない」が20.3%（82人）の順となっている。
- “思う”が66.9%（270人），“思わない”が10.2%（41人）と“思う”が“思わない”の約6.5倍で、その差は56.7ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が同率で35.8%（162人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が17.7%（80人）、「そう思わない」が4.2%（19人）の順となっている。
- “思う”が71.6%（324人），“思わない”が7.5%（34人）と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が34.2%（146人）で最も高く、次いで「そう思う」が31.9%（136人）、「どちらともいえない」が20.4%（87人）の順となっている。
- “思う”が66.1%（282人），“思わない”が10.3%（44人）と“思う”が“思わない”の約6.4倍で、その差は55.8ポイントとなっている。

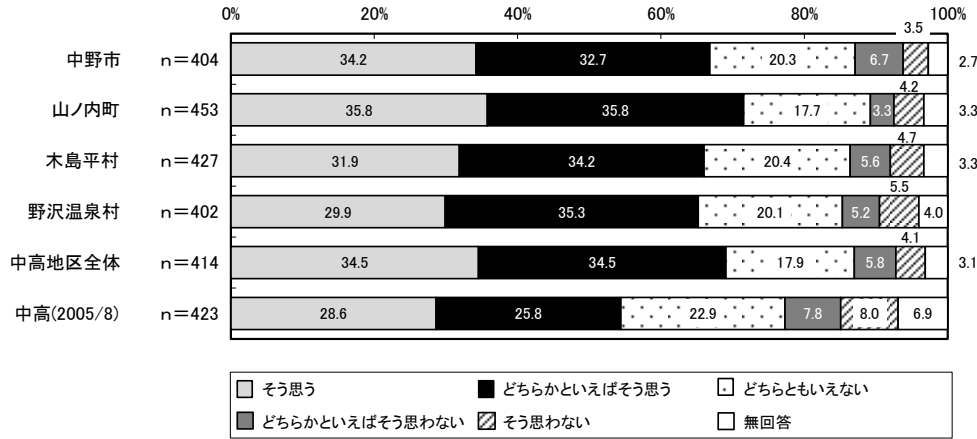
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が35.3%（142人）で最も高く、次いで「そう思う」が29.9%（120人）、「どちらともいえない」が20.1%（81人）の順となっている。
- “思う”が65.2%（262人），“思わない”が10.7%（43人）と“思う”が“思わない”の約6倍で、その差は54.5ポイントとなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で71.6%（324人）、次いで『中野市』で66.9%（270人）、『木島平村』で66.1%（282人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で10.7%（43人）、次いで『木島平村』で10.3%（44人）、『中野市』で10.2%（41人）の順となっている。

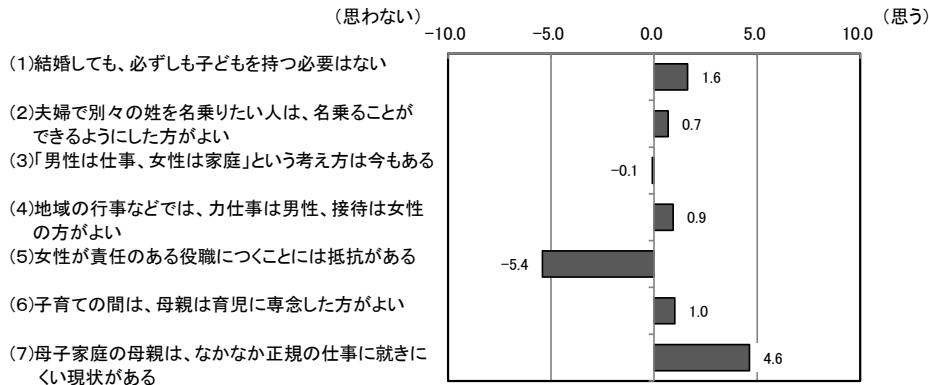
図 女性の人権問題（7）



【設問間比較】

・“思わない”について「女性が責任のある役職につくことには抵抗がある」がマイナス5.4、「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある」がマイナス0.1となっている。一方“思う”について「母子家庭の母親は、なかなか正規の仕事に就きにくい現状がある」が4.6と最も高く、次いで「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」が1.6、「子育ての間は、母親は育児に専念した方がよい」が1.0の順となっている。

図 女性の人権問題（設問間比較）



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う	10点	・そう思わない	-10点
・どちらかといえばそう思う	5点	・どちらかといえばそう思わない	-5点
・どちらともいえない	0点		

問10 あなたは高齢者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(6)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかといえ ばそう思わない	5 そう 思わない
(1) 高齢者は尊敬され、敬われなければならない	1	2	3	4	5
(2) 年老いたら、子どもに従う方がよい	1	2	3	4	5
(3) 高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である	1	2	3	4	5
(4) 高齢者がいつまでも元気で働くことは、若い人の職を奪うことになる	1	2	3	4	5
(5) 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われるのはよいことである	1	2	3	4	5
(6) 特殊詐欺で多額のお金を騙され送金等をしたとしても、本人が悪い	1	2	3	4	5

問10(1) 高齢者は尊敬され、敬われなければならない

【中高地区全体】

- ・高齢者は尊敬され、敬われなければならないについてみると、「どちらかといえばそう思う」が37.0% (153人) で最も高く、次いで「そう思う」が28.3% (117人)、「どちらともいえない」が26.6% (110人) の順となっている。
- ・“思う” (「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」) が65.3% (270人)、“思わない” (「どちらかといえばそう思わない」 + 「そう思わない」) が5.8% (24人) となっており、“思う” が6割以上、“思わない” が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、“思う” が2.0ポイント (65.3-63.3) 高くなっており、一方“思わない” が0.1ポイント (5.8-5.9) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が34.9% (141人) で最も高く、次いで「そう思う」が28.5% (115人)、「どちらともいえない」が27.7% (112人) の順となっている。
- ・“思う” が63.4% (256人)、“思わない” が6.4% (26人) となっており、“思う” が6割以上、“思わない” が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が36.4% (165人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.0% (127人)、「そう思う」が24.9% (113人) の順となっている。
- ・“思う” が61.3% (278人)、“思わない” が6.2% (28人) となっており、“思う” が6割以上、“思わない” が1割にも満たない。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が40.3% (172人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.1% (107人)、「そう思う」が24.8% (106人) の順となっている。
- ・“思う” が65.1% (278人)、“思わない” が5.6% (24人) と“思う” が6割以上、“思わない” が1割にも満たない。

【野沢温泉村】

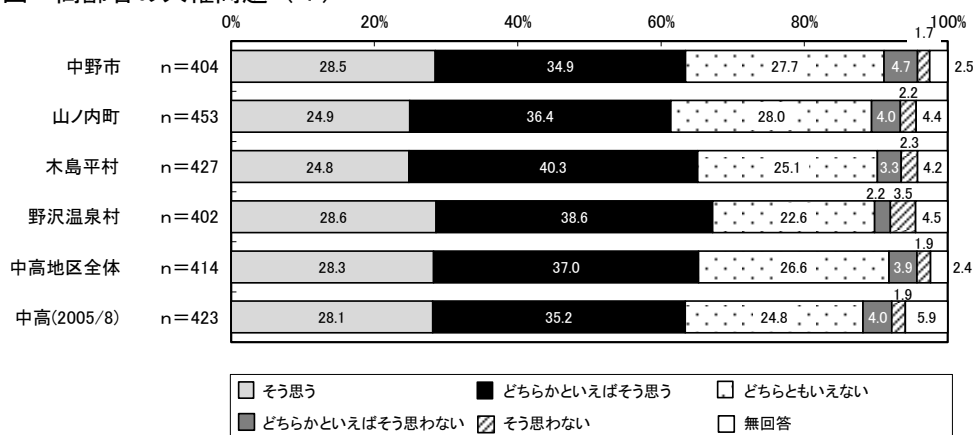
- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が38.6% (155人) で最も高く、次いで「そう思う」が28.6% (115人)、「どちらともいえない」が22.6% (91人) の順となっている。
- ・“思う” が67.2% (270人)、“思わない” が5.7% (23人) と“思う” が6割以上、“思わない” が1割にも満たない。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も6割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で67.2% (270人)、次いで『木島平村』で65.1% (278人)、『中野市』で63.4% (256人) の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『中野市』で6.4% (26人)、

次いで『山ノ内町』で6.2%（28人）、『野沢温泉村』で5.7%（23人）の順となっている。

図 高齢者の人権問題（1）



問10(2) 年老いたら、子どもに従う方がよい

【中高地区全体】

- ・年老いたら、子どもに従う方がよいについてみると、「どちらともいえない」が40.3%（167人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.0%（116人）、「どちらかといえばそう思わない」が12.8%（53人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が36.5%（151人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が21.3%（88人）となっており，“思う”が“思わない”に比べ15.2ポイント高くなっている。
- ・前回調査と比較すると，“思う”が8.1ポイント（36.5-44.6）低くなっており、一方“思わない”が2.9ポイント（21.3-18.4）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が43.3%（175人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.7%（104人）、「どちらかといえばそう思わない」が13.1%（53人）の順となっている。
- ・“思う”が33.4%（135人），“思わない”が21.5%（87人）となっており，“思う”が“思わない”に比べ11.9ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が37.3%（169人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.2%（123人）、「どちらかといえばそう思わない」が12.1%（55人）の順となっている。
- ・“思う”が38.7%（175人），“思わない”が20.5%（93人）となっており，“思う”が“思わない”に比べ18.2ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が36.5%（156人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.3%（121人）、「どちらかといえばそう思わない」が14.3%（61人）の順となっている。
- ・“思う”が39.3%（168人），“思わない”が22.0%（94人）となっており，“思う”が“思わない”に比べ17.3ポイント高くなっている。

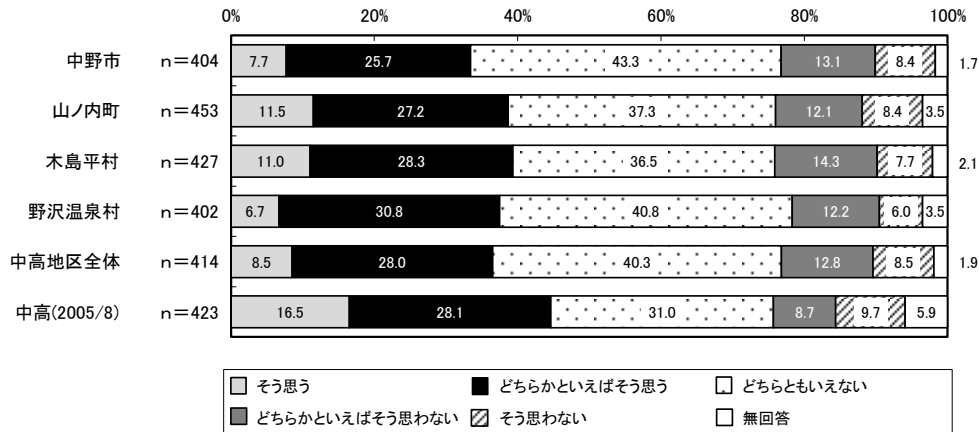
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が40.8%（164人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.8%（124人）、「どちらかといえばそう思わない」が12.2%（49人）の順となっている。
- ・“思う”が37.5%（151人），“思わない”が18.2%（73人）となっており，“思う”が“思わない”に比べ19.3ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており，“思う”が最も高いのは『木島平村』で39.3%（168人）、次いで『山ノ内町』で38.7%（175人）、『野沢温泉村』で37.5%（151人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『木島平村』で22.0%（94人）、次いで『中野市』で21.5%（87人）、『山ノ内町』で20.5%（93人）の順となっている。

図 高齢者の人権問題（2）



問10(3) 高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である

【中高地区全体】

- ・高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題であるについてみると、「どちらかといえばそう思う」が36.0%（149人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.5%（118人）、「そう思う」が23.4%（97人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が59.4%（246人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が8.9%（37人）となっており、“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が3.4ポイント（59.4-56.0）高くなっており、一方“思わない”が1.3ポイント（8.9-10.2）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が36.9%（149人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.2%（118人）、「そう思う」が23.0%（93人）の順となっている。
- ・“思う”が59.9%（242人），“思わない”が7.9%（32人）となっており、“思う”が5割以上、“思わない”は1割にも満たない。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が31.8%（144人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.3%（142人）、「そう思う」が24.1%（109人）の順となっている。
- ・“思う”が55.4%（251人），“思わない”が8.6%（39人）となっており、“思う”が5割以上、“思わない”は1割にも満たない。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が33.5%（143人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.0%（128人）、「そう思う」が25.5%（109人）の順となっている。
- ・“思う”が55.5%（237人），“思わない”が7.4%（32人）となっており、“思う”が5割以上、“思わない”は1割にも満たない。

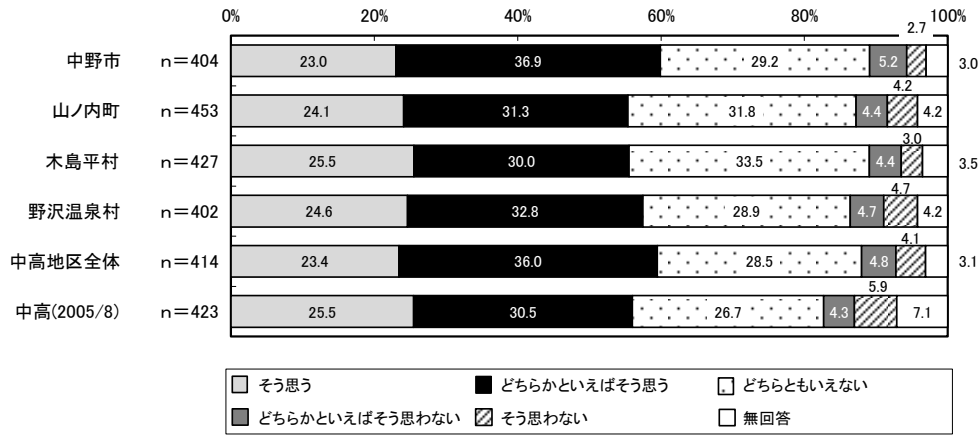
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が32.8%（132人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.9%（116人）、「そう思う」が24.6%（99人）の順となっている。
- ・“思う”が57.4%（231人），“思わない”が9.4%（38人）となっており、“思う”が5割以上、“思わない”は1割にも満たない。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も5割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で59.9%（242人）、次いで『野沢温泉村』で57.4%（231人）、『木島平村』で55.5%（237人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で9.4%（38人）、次いで『山ノ内町』で8.6%（39人）、『中野市』で7.9%（32人）の順となっている。

図 高齢者の人権問題（3）



問10(4) 高齢者がいつまでも元気で働くことは、若い人の職を奪うことになる

【中高地区全体】

- ・高齢者がいつまでも元気で働くことは、若い人の職を奪うことになるについてみると、「どちらともいえない」が34.5%（143人）で最も高く、次いで「そう思わない」が27.3%（113人）、「どちらかといえばそう思わない」が26.8%（111人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が9.0%（37人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が54.1%（224人）と“思わない”が5割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が5.4ポイント（9.0-14.4）低くなっており、一方“思わない”が2.4ポイント（54.1-51.7）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が32.7%（132人）で最も高く、次いで「そう思わない」が27.5%（111人）、「どちらかといえばそう思わない」が27.2%（110人）の順となっている。
- ・“思う”が10.4%（42人），“思わない”が54.7%（221人）と“思わない”が“思う”の約5.2倍で、その差は44.3ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が33.8%（153人）で最も高く、次いで「そう思わない」が25.4%（115人）、「どちらかといえばそう思わない」が22.7%（103人）の順となっている。
- ・“思う”が14.6%（66人），“思わない”が48.1%（218人）となっており、“思わない”が“思う”の約3.2倍で、その差は33.5ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が28.3%（121人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が28.1%（120人）、「そう思わない」が27.4%（117人）の順となっている。
- ・“思う”が13.1%（56人），“思わない”が55.5%（237人）と“思わない”が“思う”の約4.2倍で、その差は42.4ポイントとなっている。

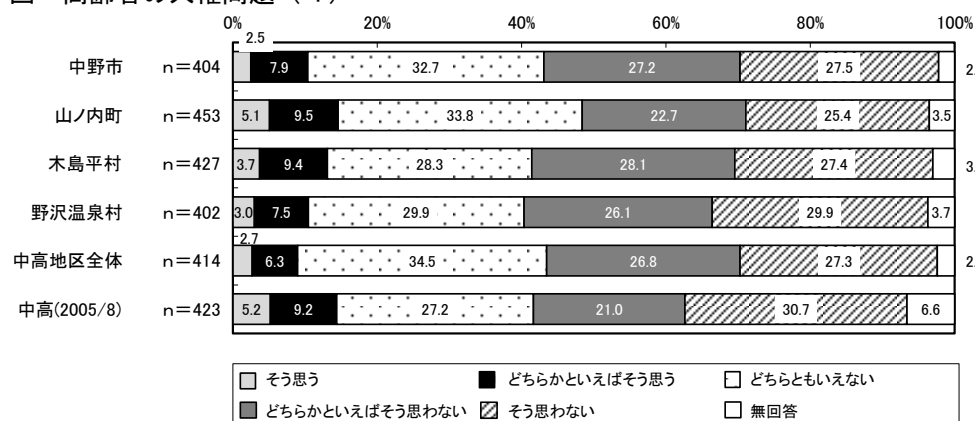
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」「そう思わない」が同率で29.9%（120人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が26.1%（105人）、「どちらかといえばそう思う」が7.5%（30人）の順となっている。
- ・“思う”が10.5%（42人），“思わない”が56.0%（225人）と“思わない”が“思う”の約5.3倍で、その差は45.5ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で56.0%（225人）、次いで『木島平村』で55.5%（237人）、『中野市』で54.7%（221人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で14.6%（66人）、次いで『木島平村』で13.1%（56人）、『野沢温泉村』で10.5%（42人）の順となっている。

図 高齢者の人権問題（４）



問10(5) 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われるのはよいことである

【中高地区全体】

- 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われるのはよいことであるについてみると、「そう思う」が44.9% (186人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.5% (143人)、「どちらともいえない」が12.3% (51人)の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が79.4% (329人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が6.0% (25人)と“思う”が7割以上となっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が23.6ポイント (79.4-55.8)高くなっており、一方“思わない”が5.6ポイント (6.0-11.6)低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が45.3% (183人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.9% (141人)、「どちらともいえない」が12.4% (50人)の順となっている。
- “思う”が80.2% (324人)、“思わない”が5.5% (22人)と“思う”が約8割、“思わない”が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が46.8% (212人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.7% (139人)、「どちらともいえない」が13.0% (59人)の順となっている。
- “思う”が77.5% (351人)、“思わない”が5.9% (27人)と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が49.4% (211人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.5% (126人)、「どちらともいえない」が13.1% (56人)の順となっている。
- “思う”が78.9% (337人)、“思わない”が4.9% (21人)と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。

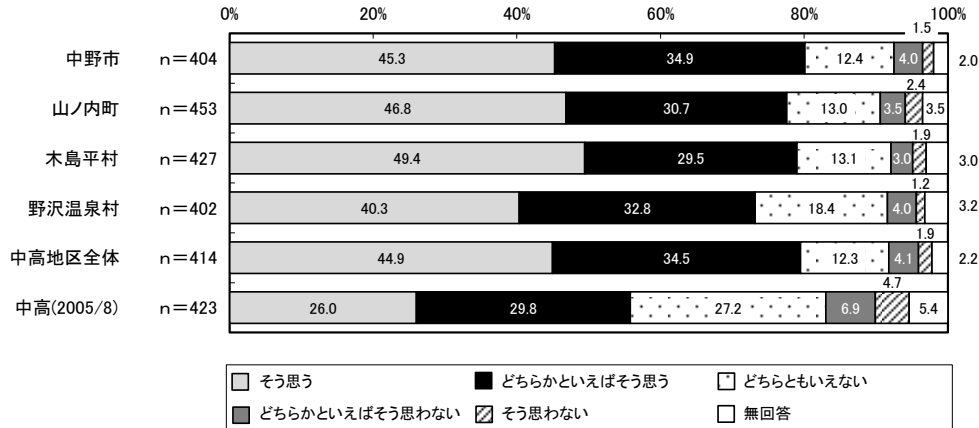
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「そう思う」が40.3% (162人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.8% (132人)、「どちらともいえない」が18.4% (74人)の順となっている。
- “思う”が73.1% (294人)、“思わない”が5.2% (21人)と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で80.2% (324人)、次いで『木島平村』で78.9% (337人)、『山ノ内町』で77.5% (351人)の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で5.9% (27人)、次いで『中野市』で5.5% (22人)、『野沢温泉村』で5.2% (21人)の順となっている。

図 高齢者の人権問題（5）



問10(6) 特殊詐欺で多額のお金を騙され送金等をしたとしても、本人が悪い

【中高地区全体】

- ・特殊詐欺で多額のお金を騙され送金等をしたとしても、本人が悪いについてみると、「どちらともいえない」が25.6%（106人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.2%（96人）、「そう思わない」が21.0%（87人）の順となっている。
- ・“思う”が39.6%（164人），“思わない”が32.4%（134人）と“思う”が“思わない”に比べ7.2ポイント高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が26.2%（106人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が21.5%（87人）、「そう思わない」が19.3%（78人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が38.6%（156人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が32.9%（133人）と“思う”が“思わない”に比べ5.7ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が26.9%（122人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.4%（115人）、「そう思わない」が17.4%（79人）の順となっている。
- ・“思う”が41.5%（188人），“思わない”が27.6%（125人）と“思う”が“思わない”に比べ13.9ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が27.2%（116人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が21.1%（90人）、「そう思わない」が20.6%（88人）の順となっている。
- ・“思う”が36.1%（154人），“思わない”が33.0%（141人）と“思う”が“思わない”に比べ3.1ポイント高くなっている。

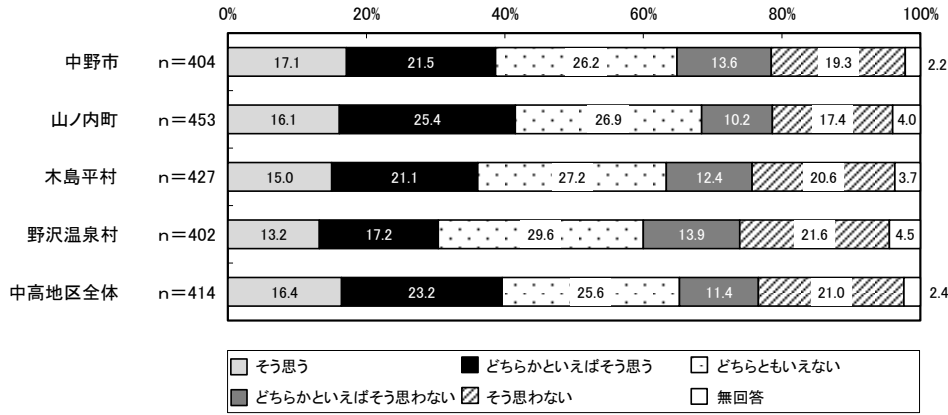
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が29.6%（119人）で最も高く、次いで「そう思わない」が21.6%（87人）、「どちらかといえばそう思う」が17.2%（69人）の順となっている。
- ・“思う”が30.4%（122人），“思わない”が35.5%（143人）と“思わない”が“思う”に比べ5.1ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』が“思う”、『野沢温泉村』が“思わない”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で41.5%（188人）、次いで『中野市』で38.6%（156人）、『木島平村』で36.1%（154人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で35.5%（143人）、次いで『木島平村』で33.0%（141人）、『中野市』で32.9%（133人）の順となっている。

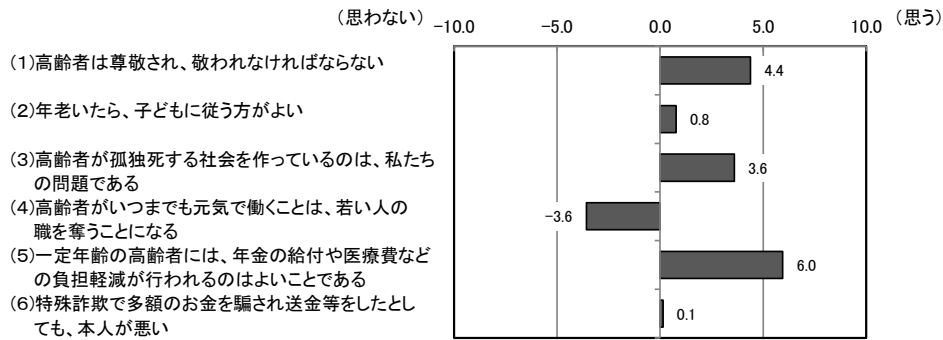
図 高齢者の人権問題（6）



【設問間比較】

・“思わない”について「高齢者がいつまでも元気で働くことは、若い人の職を奪うことになる」がマイナス3.6となっている。一方“思う”について「一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われるのはよいことである」が6.0と最も高く、次いで「高齢者は尊敬され、敬わなければならない」が4.4、「高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である」が3.6の順となっている。

図 高齢者の人権問題（設問間比較）



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・ 思う	10点	・ そう思わない	-10点
・ どちらかといえばそう思う	5点	・ どちらかといえばそう思わない	-5点
・ どちらともいえない	0点		

問11 あなたは障がい者の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（５）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は１つ）

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらとも いえない	4 どちらか といえば 思わない	5 思わない
(1) 障がい者が利用しやすくなるように、全ての公共の建物を改造すべきだ	1	2	3	4	5
(2) 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ	1	2	3	4	5
(3) 障がい者と結婚するには、まだまだ様々な問題がある	1	2	3	4	5
(4) 障がい者が暮らしやすい社会は、だれもが暮らしやすい	1	2	3	4	5
(5) 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ	1	2	3	4	5

問11(1) 障がい者が利用しやすくなるように、全ての公共の建物を改造すべきだ

【中高地区全体】

- ・障がい者が利用しやすくなるように、全ての公共の建物を改造すべきだについてみると、「どちらかといえばそう思う」が41.5%（172人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が26.6%（110人）、「そう思う」が22.7%（94人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が64.2%（266人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が7.0%（29人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が0.6ポイント（64.2-64.8）低くなっており、一方“思わない”も1.5ポイント（7.0-8.5）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が43.8%（177人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.0%（97人）、「そう思う」が22.8%（92人）の順となっている。
- ・“思う”が66.6%（269人），“思わない”が7.2%（29人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が37.7%（171人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.9%（140人）、「そう思う」が21.4%（97人）の順となっている。
- ・“思う”が59.1%（268人），“思わない”が8.0%（36人）と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が45.0%（192人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.1%（107人）、「そう思う」が21.5%（92人）の順となっている。
- ・“思う”が66.5%（284人），“思わない”が6.1%（26人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。

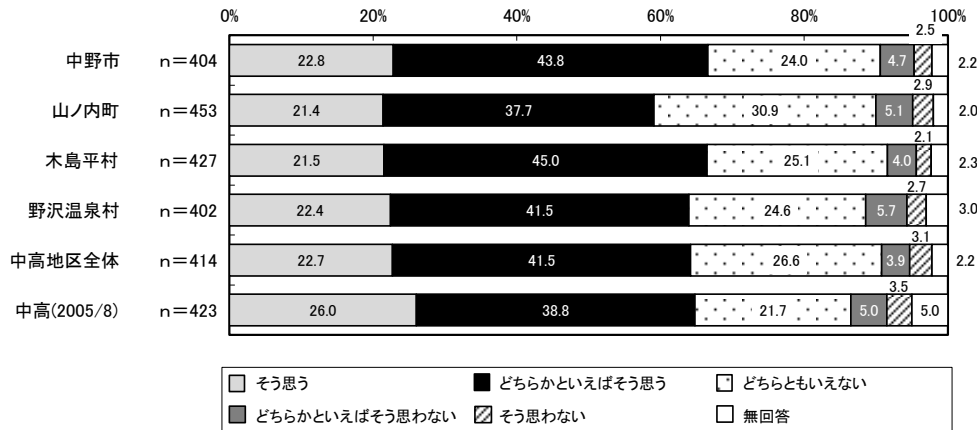
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が41.5%（167人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.6%（99人）、「そう思う」が22.4%（90人）の順となっている。
- ・“思う”が63.9%（257人），“思わない”が8.4%（34人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で66.6%（269人）、次いで『木島平村』で66.5%（284人）、『野沢温泉村』で63.9%（257人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で8.4%（34人）、次いで『山ノ内町』で8.0%（36人）、『中野市』で7.2%（29人）の順となっている。

図 障がい者の人権問題（1）



問11(2) 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ

【中高地区全体】

- 障がい者を雇用する義務を果たしていない会社には、厳しい罰則を与えるべきだについてみると、「どちらともいえない」が48.8%（202人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が17.1%（71人）、「どちらかといえばそう思わない」が14.7%（61人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が24.8%（103人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が23.4%（97人）と“思う”が“思わない”に比べ1.4ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が2.2ポイント（24.8-27.0）低くなっており、一方“思わない”も1.2ポイント（23.4-24.6）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が46.8%（189人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が18.8%（76人）、「どちらかといえばそう思わない」が16.6%（67人）の順となっている。
- “思う”が24.7%（100人），“思わない”が25.5%（103人）と“思わない”が“思う”に比べ0.8ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が52.1%（236人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が15.2%（69人）、「どちらかといえばそう思わない」が13.9%（63人）の順となっている。
- “思う”が23.4%（106人），“思わない”が21.8%（99人）と“思う”が“思わない”に比べ1.6ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらともいえない」が52.5%（224人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が17.8%（76人）、「どちらかといえばそう思わない」が12.4%（53人）の順となっている。
- “思う”が24.4%（104人），“思わない”が19.7%（84人）と“思う”が“思わない”に比べ4.7ポイント高くなっている。

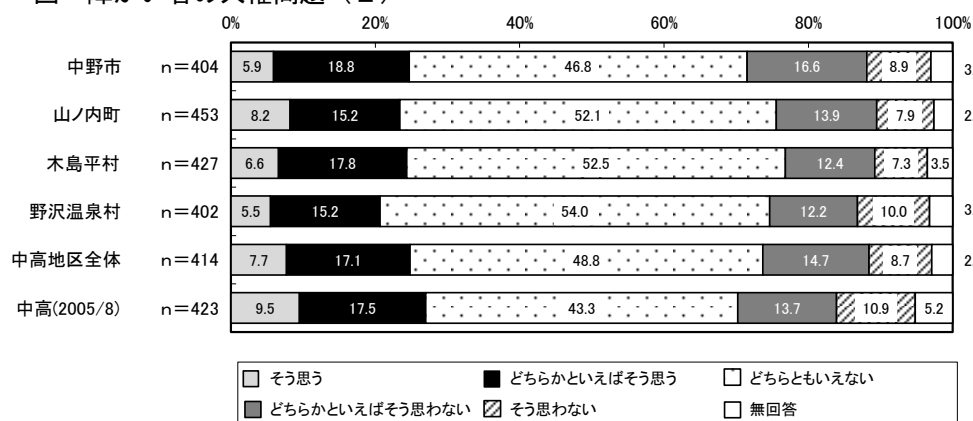
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が54.0%（217人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が15.2%（61人）、「どちらかといえばそう思わない」が12.2%（49人）の順となっている。
- “思う”が20.7%（83人），“思わない”が22.2%（89人）と“思わない”が“思う”に比べ1.5ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、『中野市』『野沢温泉村』で“思わない”、『山ノ内町』『木島平村』で“思う”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『中野市』で25.5%（103人）、次いで『野沢温泉村』で22.2%（89人）、『山ノ内町』で21.8%（99人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『中野市』で24.7%（100人）、次いで『木島平村』で24.4%（104人）、『山ノ内町』で23.4%（106人）の順となっている。

図 障がい者の人権問題（２）



問11(3) 障がい者と結婚するには、まだまだ様々な問題がある

【中高地区全体】

- 障がい者と結婚するには、まだまだ様々な問題があるについてみると、「どちらかといえばそう思う」が48.3%（200人）で最も高く、次いで「そう思う」が29.2%（121人）、「どちらともいえない」が14.5%（60人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が77.5%（321人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が4.8%（20人）と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。
- 前回調査と比較すると、“思う”が1.1ポイント（77.5-76.4）高くなっており、一方“思わない”が1.1ポイント（4.8-5.9）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらかといえばそう思う」が49.8%（201人）で最も高く、次いで「そう思う」が28.7%（116人）、「どちらともいえない」が14.9%（60人）の順となっている。
- “思う”が78.5%（317人），“思わない”が3.7%（15人）と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらかといえばそう思う」が41.5%（188人）で最も高く、次いで「そう思う」が30.9%（140人）、「どちらともいえない」が18.8%（85人）の順となっている。
- “思う”が72.4%（328人），“思わない”が6.4%（29人）と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が42.2%（180人）で最も高く、次いで「そう思う」が28.3%（121人）、「どちらともいえない」が20.8%（89人）の順となっている。
- “思う”が70.5%（301人），“思わない”が4.9%（21人）と“思う”が約7割、“思わない”が1割にも満たない。

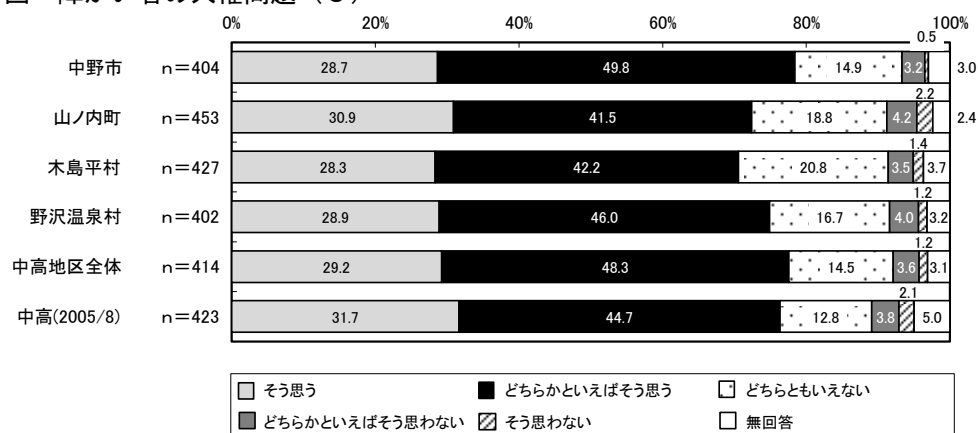
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が46.0%（185人）で最も高く、次いで「そう思う」が28.9%（116人）、「どちらともいえない」が16.7%（67人）の順となっている。
- “思う”が74.9%（301人），“思わない”が5.2%（21人）と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も7割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で78.5%（317人）、次いで『野沢温泉村』で74.9%（301人）、『山ノ内町』で72.4%（328人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で6.4%（29人）、次いで『野沢温泉村』で5.2%（21人）、『木島平村』で4.9%（21人）の順となっている。

図 障がい者の人権問題（3）



問11(4) 障がい者が暮らしやすい社会は、だれもが暮らしやすい

【中高地区全体】

- 障がい者が暮らしやすい社会は、だれもが暮らしやすいについてみると、「そう思う」が36.2%（150人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.9%（136人）、「どちらともいえない」が21.5%（89人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が69.1%（286人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が6.5%（27人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。
- 前回調査と比較すると、“思う”が7.9ポイント（69.1-77.0）低くなっており、一方“思わない”が2.2ポイント（6.5-4.3）高くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が36.9%（149人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.2%（130人）、「どちらともいえない」が21.8%（88人）の順となっている。
- “思う”が69.1%（279人），“思わない”が7.2%（29人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が36.0%（163人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.8%（135人）、「どちらともいえない」が25.2%（114人）の順となっている。
- “思う”が65.8%（298人），“思わない”が6.9%（31人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が38.4%（164人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.4%（147人）、「どちらともいえない」が17.8%（76人）の順となっている。
- “思う”が72.8%（311人），“思わない”が6.0%（26人）と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。

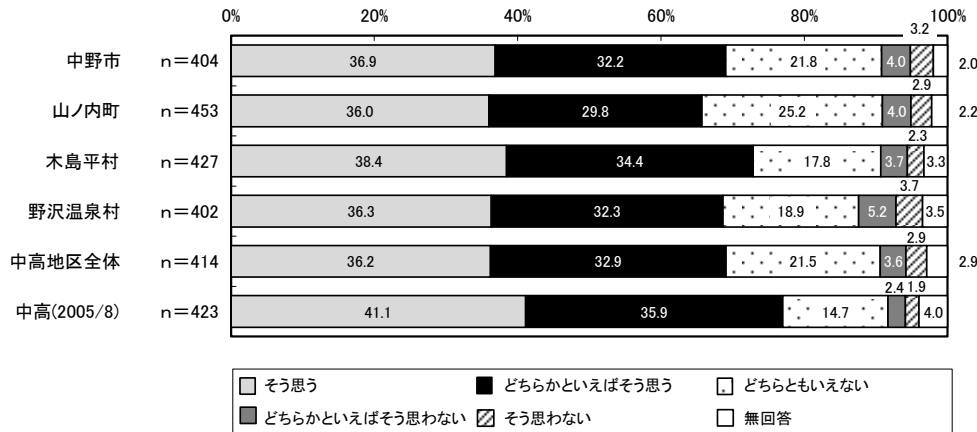
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては「そう思う」が36.3%（146人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.3%（130人）、「どちらともいえない」が18.9%（76人）の順となっている。
- “思う”が68.6%（276人），“思わない”が8.9%（36人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も6割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で72.8%（311人）、次いで『中野市』で69.1%（279人）、『野沢温泉村』で68.6%（276人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で8.9%（36人）、次いで『中野市』で7.2%（29人）、『山ノ内町』で6.9%（31人）の順となっている。

図 障がい者の人権問題（４）



問11(5) 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ

【中高地区全体】

- ・自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だについてみると、「そう思わない」が46.9%（194人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が25.4%（105人）、「どちらともいえない」が21.5%（89人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が3.9%（16人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が72.3%（299人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が7割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が1.3ポイント（3.9-2.6）高くなっており、一方“思わない”が0.5ポイント（72.3-72.8）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思わない」が47.3%（191人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が24.5%（99人）、「どちらともいえない」が22.5%（91人）の順となっている。
- ・“思う”が3.4%（14人），“思わない”が71.8%（290人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が7割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思わない」が45.9%（208人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.4%（124人）、「どちらかといえばそう思わない」が20.8%（94人）の順となっている。
- ・“思う”が4.0%（18人），“思わない”が66.7%（302人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が6割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が52.0%（222人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が25.8%（110人）、「どちらともいえない」が18.0%（77人）の順となっている。
- ・“思う”が0.9%（4人），“思わない”が77.8%（332人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が7割以上となっている。

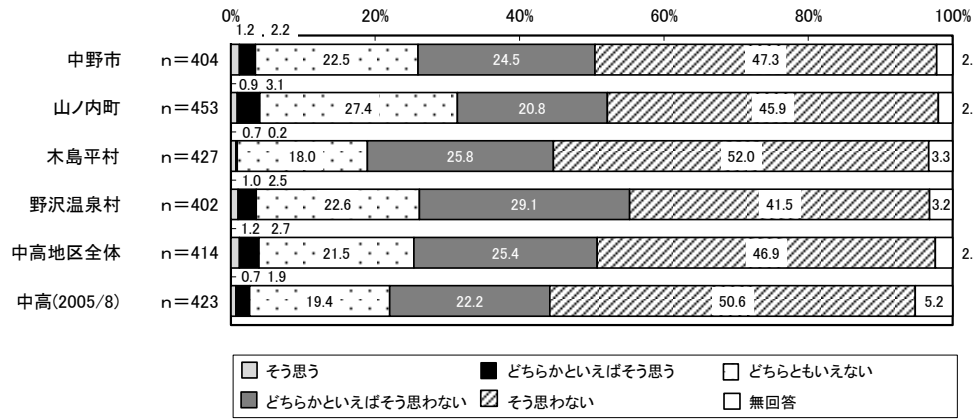
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が41.5%（167人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が29.1%（117人）、「どちらともいえない」が22.6%（91人）の順となっている。
- ・“思う”が3.5%（14人），“思わない”が70.6%（284人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が約7割となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も6割以上で“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で77.8%（332人）、次いで『中野市』で71.8%（290人）、『野沢温泉村』で70.6%（284人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で4.0%（18人）、次いで『野沢温泉村』で3.5%（14人）、『中野市』で3.4%（14人）の順となっている。

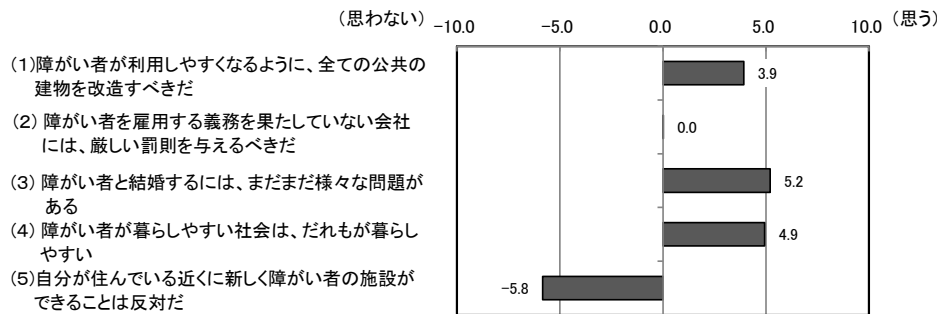
図 障がい者の人権問題（５）



【設問間比較】

・“思わない”について「自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ」がマイナス5.8となっている。一方“思う”について「障がい者と結婚するには、まだまだ様々な問題がある」が5.2と最も高く、次いで「障がい者が暮らしやすい社会は、だれもが暮らしやすい」が4.9、「障がい者が利用しやすくなるように、全ての公共の建物を改造すべきだ」が3.9の順となっている。

図 障がい者の人権問題（設問間比較）



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・そう思う 10点
- ・どちらかといえばそう思う 5点
- ・どちらともいえない 0点
- ・そう思わない -10点
- ・どちらかといえばそう思わない -5点

問12 あなたは外国人の人権問題について、どのように思いますか。次の（１）～（４）のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。（それぞれに○は1つ）

	1 そう思う	2 どちらかとい えばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかとい えばそう 思わない	5 そう 思わない
(1)定住外国人は、もっと日本の文化に溶け込む努力をするべきだ	1	2	3	4	5
(2)外国人は、仕事をする上で待遇が悪くても仕方がない	1	2	3	4	5
(3)外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり、賛成できない	1	2	3	4	5
(4)外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念だ	1	2	3	4	5

問12(1) 定住外国人は、もっと日本の文化に溶け込む努力をするべきだ

【中高地区全体】

・定住外国人は、もっと日本の文化に溶け込む努力をするべきだについてみると、「どちらともいえない」が37.7%（156人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.1%（133人）、「そう思う」が14.0%（58人）の順となっている。

- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が46.1%（191人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が13.5%（56人）と“思う”が“思わない”の約3.4倍で、その差は32.6ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が0.4ポイント（46.1-46.5）低くなっており、一方“思わない”が3.6ポイント（13.5-9.9）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が42.3%（171人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.4%（127人）、「そう思う」が12.4%（50人）の順となっている。
- ・“思う”が43.8%（177人），“思わない”が11.6%（47人）と“思う”が“思わない”の約3.7倍で、その差は32.2ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が40.2%（182人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.3%（128人）、「そう思う」が13.5%（61人）の順となっている。
- ・“思う”が41.8%（189人），“思わない”が15.0%（68人）と“思う”が“思わない”の約2.7倍で、その差は26.8ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が41.5%（177人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が28.8%（123人）、「そう思う」が10.8%（46人）の順となっている。
- ・“思う”が39.6%（169人），“思わない”が16.9%（72人）と“思う”が“思わない”の約2.3倍で、その差は22.7ポイントとなっている。

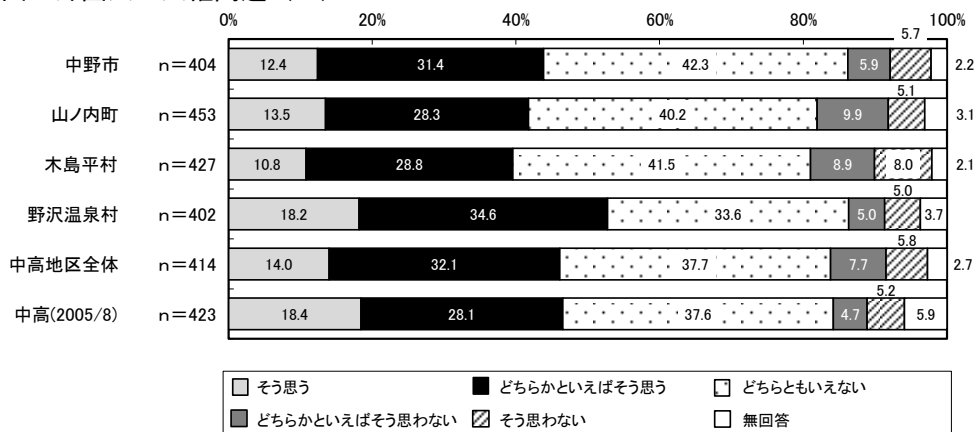
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が34.6%（139人）で最も高く、次いで「どちらともいえない」が33.6%（135人）、「そう思う」が18.2%（73人）の順となっている。
- ・“思う”が52.8%（212人），“思わない”が10.0%（40人）と“思う”が“思わない”の約5.2倍で、その差は42.8ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で52.8%（212人）、次いで『中野市』で43.8%（177人）、『山ノ内町』で41.8%（189人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『木島平村』で16.9%（72人）、次いで『山ノ内町』で15.0%（68人）、『中野市』で11.6%（47人）の順となっている。

図 外国人の人権問題（1）



問12(2) 外国人は、仕事をする上で待遇が悪くても仕方がない

【中高地区全体】

- ・外国人は、仕事をする上で待遇が悪くても仕方がないについてみると、「どちらかといえばそう思わない」が31.9%（132人）で最も高く、次いで「そう思わない」が29.5%（122人）、「どちらともいえない」が28.5%（118人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が7.0%（29人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が61.4%（254人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が6割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が0.6ポイント（7.0-7.6）低くなっており、一方“思わない”が2.8ポイント（61.4-58.6）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらかといえばそう思わない」が34.2%（138人）で最も高く、次いで「そう思わない」が30.4%（123人）、「どちらともいえない」が25.7%（104人）の順となっている。
- ・“思う”が6.9%（28人），“思わない”が64.6%（261人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が6割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」「そう思わない」が同率で32.7%（148人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が26.7%（121人）、「どちらかといえばそう思う」が3.3%（15人）の順となっている。
- ・“思う”が4.8%（22人），“思わない”が59.4%（269人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が5割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が36.3%（155人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が31.1%（133人）、「どちらともいえない」が25.8%（110人）の順となっている。
- ・“思う”が3.7%（16人），“思わない”が67.4%（288人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が6割以上となっている。

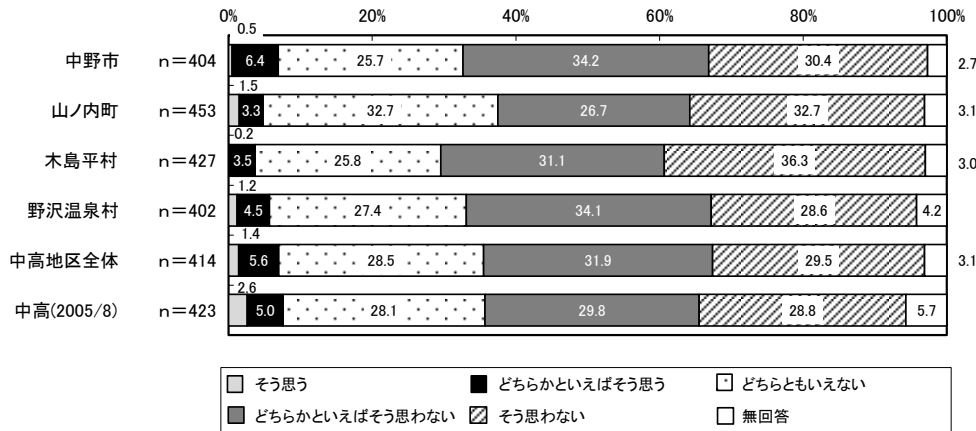
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思わない」が34.1%（137人）で最も高く、次いで「そう思わない」が28.6%（115人）、「どちらともいえない」が27.4%（110人）の順となっている。
- ・“思う”が5.7%（23人），“思わない”が62.7%（252人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が6割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も5割以上で“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『木島平村』で67.4%（288人）、次いで『中野市』で64.6%（261人）、『野沢温泉村』で62.7%（252人）の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『中野市』で6.9%（28人）、次いで『野沢温泉村』で5.7%（23人）、『山ノ内町』で4.8%（22人）の順となっている。

図 外国人の人権問題（2）



問12(3) 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり、賛成できない

【中高地区全体】

- ・外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり、賛成できないについてみると、「どちらともいえない」が37.4%（155人）で最も高く、次いで「そう思わない」が27.8%（115人）、「どちらかといえばそう思わない」が23.9%（99人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が7.7%（32人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が51.7%（214人）と“思う”が1割にも満たず，“思わない”が5割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が7.4ポイント（7.7-15.1）低くなっており、一方“思わない”が5.4ポイント（51.7-46.3）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が31.9%（129人）で最も高く、次いで「そう思わない」が29.0%（117人）、「どちらかといえばそう思わない」が26.0%（105人）の順となっている。

- ・“思う”が10.4% (42人)、“思わない”が55.0% (222人)と“思う”が約1割、“思わない”が5割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が34.7% (157人)で最も高く、次いで「そう思わない」が32.0% (145人)、「どちらかといえばそう思わない」が24.5% (111人)の順となっている。
- ・“思う”が5.8% (26人)、“思わない”が56.5% (256人)と“思う”が1割にも満たず、“思わない”が5割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思わない」が34.2% (146人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.0% (128人)、「どちらかといえばそう思わない」が28.3% (121人)の順となっている。
- ・“思う”が4.7% (20人)、“思わない”が62.5% (267人)と“思う”が1割にも満たず、“思わない”が6割以上となっている。

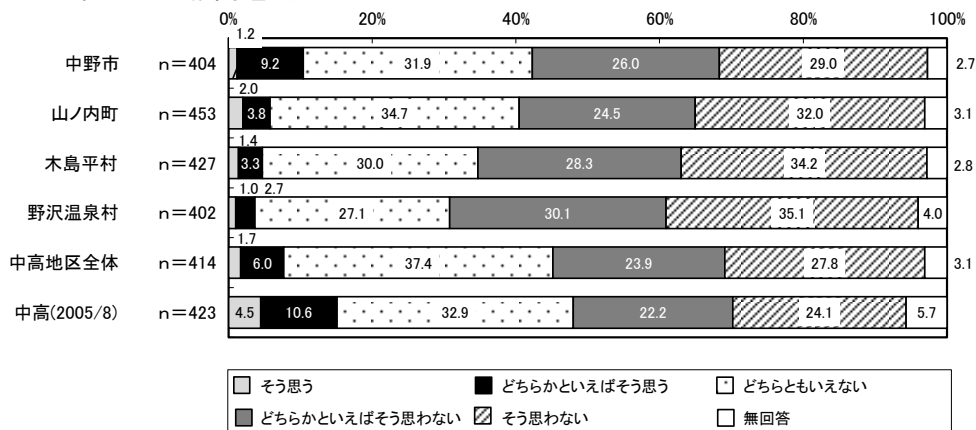
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思わない」が35.1% (141人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が30.1% (121人)、「どちらともいえない」が27.1% (109人)の順となっている。
- ・“思う”が3.7% (15人)、“思わない”が65.2% (262人)と“思う”が1割にも満たず、“思わない”が6割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も5割以上で“思わない”が高くなっており、“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で65.2% (262人)、次いで『木島平村』で62.5% (267人)、『山ノ内町』で56.5% (256人)の順となっている。一方“思う”が最も高いのは『中野市』で10.4% (42人)、次いで『山ノ内町』で5.8% (26人)、『木島平村』で4.7% (20人)の順となっている。

図 外国人の人権問題 (3)



問12(4) 外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念だ

【中高地区全体】

- ・外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念だについてみると、「どちらともいえない」が35.5% (147人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.2% (125人)、「そう思う」が23.2% (96人)の順となっている。
- ・“思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が53.4% (221人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が8.4% (35人)と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が0.2ポイント (53.4-53.2) 高くなっており、一方“思わない”が0.1ポイント (8.4-8.5) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が36.4% (147人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.7% (124人)、「そう思う」が22.0% (89人)の順となっている。
- ・“思う”が52.7% (213人)、“思わない”が8.4% (34人)と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が31.6% (143人)で最も高く、次いで「そう思う」

が29.8% (135人)、「どちらかといえばそう思う」が27.4% (124人) の順となっている。

- ・“思う”が57.2% (259人)、“思わない”が8.2% (37人)と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらかといえばそう思う」が30.2% (129人) で最も高く、次いで「そう思う」が29.5% (126人)、「どちらともいえない」が29.3% (125人) の順となっている。
- ・“思う”が59.7% (255人)、“思わない”が8.2% (35人)と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。

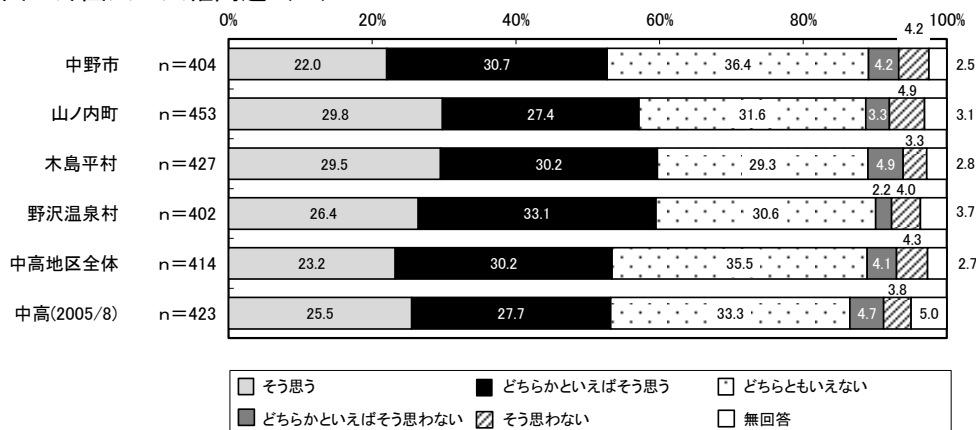
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が33.1% (133人) で最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.6% (123人)、「そう思う」が26.4% (106人) の順となっている。
- ・“思う”が59.5% (239人)、“思わない”が6.2% (25人)と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も5割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で59.7% (255人)、次いで『野沢温泉村』が59.5% (239人)、『山ノ内町』で57.2% (259人) の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『中野市』が8.4% (34人)、次いで『山ノ内町』『木島平村』が同率で8.2% (37人、35人)、『野沢温泉村』で6.2% (25人) の順となっている。

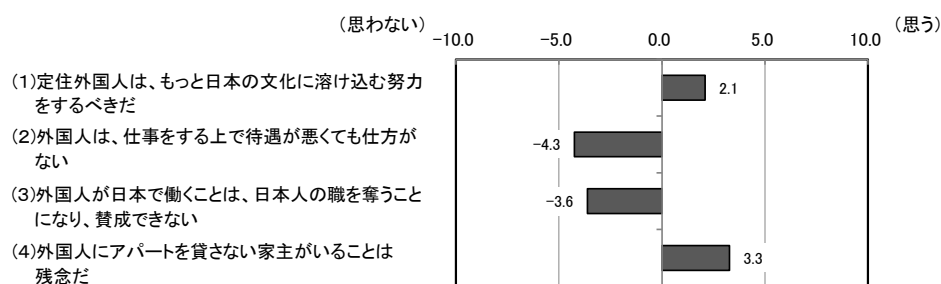
図 外国人の人権問題 (4)



【設問間比較】

- ・“思わない”について「外国人は、仕事をする上で待遇が悪くても仕方がない」がマイナス4.3、「外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり、賛成できない」がマイナス3.6となっている。一方“思う”について「外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念だ」が3.3、「定住外国人は、もっと日本の文化に溶け込む努力をするべきだ」が2.1となっている。

図 外国人の人権問題 (設問間比較)



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う	10点	・そう思わない	-10点
・どちらかといえばそう思う	5点	・どちらかといえばそう思わない	-5点
・どちらともいえない	0点		

問13 あなたはHIV／エイズ、ハンセン病などの人権問題について、どのように思いますか。
次の(1)～(5)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかとい えばそう思う	3 どちらともい えない	4 どちらかとい えばそう思わ ない	5 そう 思わない
(1)友人がHIVに感染していることがわかって、これまでと同じように付き合い合っている	1	2	3	4	5
(2)ハンセン病回復者が社会復帰できない現状がある	1	2	3	4	5
(3)求められれば、カルテの情報は患者本人に開示されるべきだ	1	2	3	4	5
(4)インターネットによる人権侵害は、対応策が必要である	1	2	3	4	5
(5)刑余者(※1)の人と一緒に仕事することは抵抗がある	1	2	3	4	5

※1：刑余者：刑を終えて、社会復帰した人

問13(1) 友人がHIVに感染していることがわかって、これまでと同じように付き合い合っている

【中高地区全体】

- ・友人がHIVに感染していることがわかって、これまでと同じように付き合い合っているについてみると、「どちらともいえない」が38.6% (160人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.0% (124人)、「そう思う」が20.8% (86人)の順となっている。
- ・“思う”(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が50.8% (210人)、“思わない”(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)が8.7% (36人)と“思う”が約5割、“思わない”が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が7.6ポイント(50.8-43.2)高くなっており、一方“思わない”が3.8ポイント(8.7-12.5)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が35.4% (143人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.2% (122人)、「そう思う」が22.3% (90人)の順となっている。
- ・“思う”が52.5% (212人)、“思わない”が9.6% (39人)と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が37.7% (171人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.9% (140人)、「そう思う」が17.7% (80人)の順となっている。
- ・“思う”が48.6% (220人)、“思わない”が10.8% (49人)と“思う”が4割以上、“思わない”が約1割となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が34.2% (146人)で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.8% (140人)、「そう思う」が23.0% (98人)の順となっている。
- ・“思う”が55.8% (238人)、“思わない”が7.5% (32人)と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。

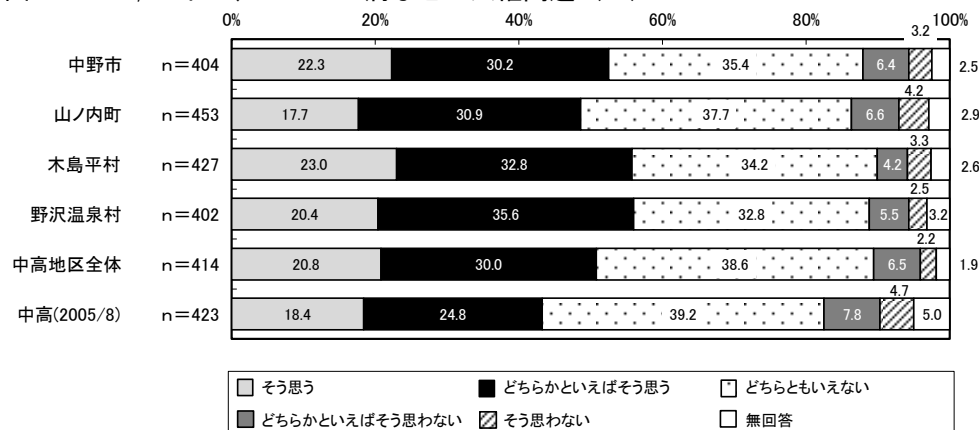
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらかといえばそう思う」が35.6% (143人)で最も高く、次いで「どちらともいえない」が32.8% (132人)、「そう思う」が20.4% (82人)の順となっている。
- ・“思う”が56.0% (225人)、“思わない”が8.0% (32人)と“思う”が5割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も4割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『野沢温泉村』で56.0% (225人)、次いで『木島平村』で55.8% (238人)、『中野市』で52.5% (212人)の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『山ノ内町』で10.8% (49人)、次いで『中野市』で9.6% (39人)、『野沢温泉村』で8.0% (32人)の順となっている。

図 HIV/エイズ、ハンセン病などの人権問題（1）



問 13(2) ハンセン病回復者が社会復帰できない現状がある

【中高地区全体】

- ・ハンセン病回復者が社会復帰できない現状があるについてみると、「どちらともいえない」が45.2%（187人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.1%（133人）、「そう思う」が15.5%（64人）の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が47.6%（197人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が3.9%（16人）と“思う”が4割以上、“思わない”が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が4.7ポイント（47.6-52.3）低くなっており、一方“思わない”も0.2ポイント（3.9-4.1）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない」が44.8%（181人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.2%（134人）、「そう思う」が13.9%（56人）の順となっている。
- ・“思う”が47.1%（190人），“思わない”が4.4%（18人）と“思う”が4割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない」が44.4%（201人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.0%（136人）、「そう思う」が15.5%（70人）の順となっている。
- ・“思う”が45.5%（206人），“思わない”が5.7%（26人）と“思う”が4割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない」が41.9%（179人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.4%（134人）、「そう思う」が16.2%（69人）の順となっている。
- ・“思う”が47.6%（203人），“思わない”が5.4%（23人）と“思う”が4割以上、“思わない”が1割にも満たない。

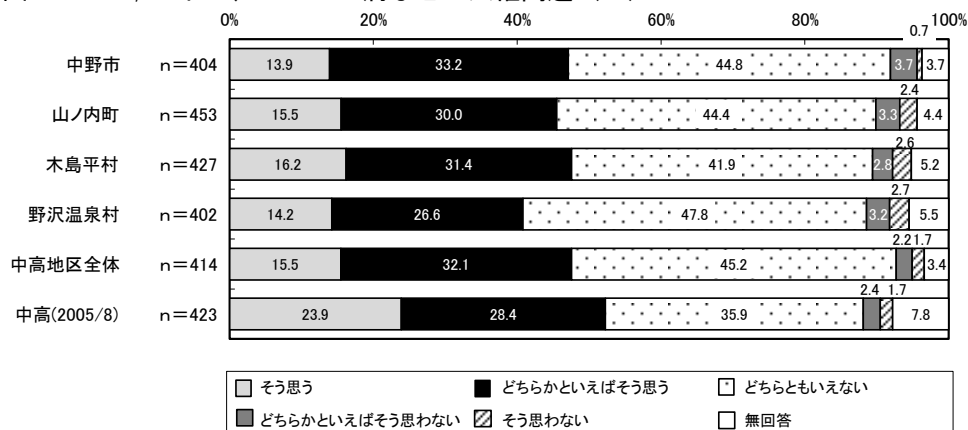
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が47.8%（192人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が26.6%（107人）、「そう思う」が14.2%（57人）の順となっている。
- ・“思う”が40.8%（164人），“思わない”が5.9%（24人）と“思う”が約4割、“思わない”が1割にも満たない。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も4割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で47.6%（203人）、次いで『中野市』で47.1%（190人）、『山ノ内町』で45.5%（206人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『野沢温泉村』で5.9%（24人）、次いで『山ノ内町』で5.7%（26人）、『木島平村』で5.4%（23人）の順となっている。

図 HIV/エイズ、ハンセン病などの人権問題（2）



問 13(3) 求められれば、カルテの情報は患者本人に開示されるべきだ

【中高地区全体】

- 求められれば、カルテの情報は患者本人に開示されるべきだについてみると、「そう思う」が40.3%（167人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.4%（126人）、「どちらともいえない」が22.9%（95人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が70.7%（293人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が2.9%（12人）と“思う”が約7割、“思わない”が1割にも満たない。
- 前回調査と比較すると、“思う”が1.2ポイント（70.7-71.9）低くなっており、一方“思わない”も1.8ポイント（2.9-4.7）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「そう思う」が39.9%（161人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.2%（122人）、「どちらともいえない」が23.3%（94人）の順となっている。
- “思う”が70.1%（283人），“思わない”が2.7%（11人）と“思う”が約7割、“思わない”が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「そう思う」が40.2%（182人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が29.4%（133人）、「どちらともいえない」が23.4%（106人）の順となっている。
- “思う”が69.6%（315人），“思わない”が3.5%（16人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【木島平村】

- 木島平村においては、「そう思う」が41.2%（176人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.0%（128人）、「どちらともいえない」が19.9%（85人）の順となっている。
- “思う”が71.2%（304人），“思わない”が4.2%（18人）と“思う”が7割以上、“思わない”が1割にも満たない。

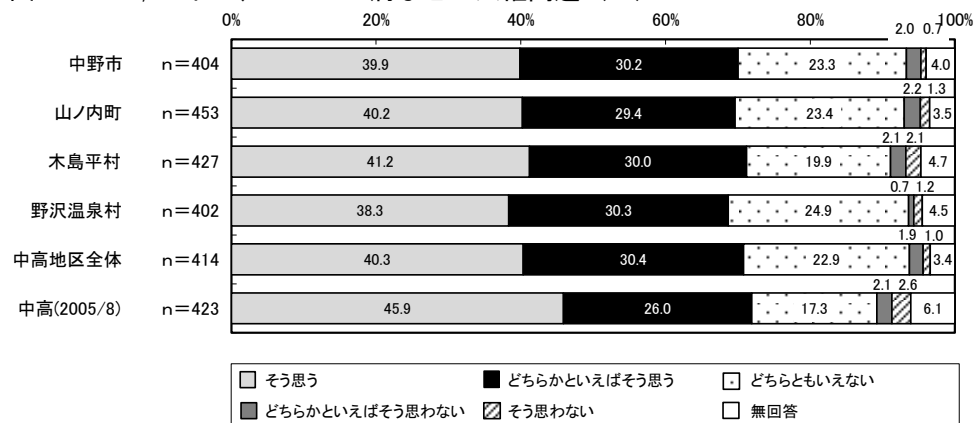
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「そう思う」が38.3%（154人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が30.3%（122人）、「どちらともいえない」が24.9%（100人）の順となっている。
- “思う”が68.6%（276人），“思わない”が1.9%（8人）と“思う”が6割以上、“思わない”が1割にも満たない。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も6割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『木島平村』で71.2%（304人）、次いで『中野市』で70.1%（283人）、『山ノ内町』で69.6%（315人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『木島平村』で4.2%（18人）、次いで『山ノ内町』で3.5%（16人）、『中野市』で2.7%（11人）の順となっている。

図 HIV/エイズ、ハンセン病などの人権問題（3）



問 13(4) インターネットによる人権侵害は、対応策が必要である

【中高地区全体】

- ・インターネットによる人権侵害は、対応策が必要であるについてみると、「そう思う」が 58.2% (241 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 24.4% (101 人)、「どちらともいえない」が 11.4% (47 人) の順となっている。
- ・“思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が 82.6% (342 人)、“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が 2.9% (12 人) と“思う”が 8 割以上、“思わない”が 1 割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、“思う”が 4.4 ポイント (82.6-78.2) 高くなっており、一方“思わない”が 0.6 ポイント (2.9-3.5) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そう思う」が 56.7% (229 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 25.5% (103 人)、「どちらともいえない」が 11.9% (48 人) の順となっている。
- ・“思う”が 82.2% (332 人)、“思わない”が 2.4% (10 人) と“思う”が 8 割以上、“思わない”が 1 割にも満たない。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そう思う」が 57.6% (261 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 22.7% (103 人)、「どちらともいえない」が 13.7% (62 人) の順となっている。
- ・“思う”が 80.3% (364 人)、“思わない”が 2.6% (12 人) と“思う”が約 8 割、“思わない”が 1 割にも満たない。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そう思う」が 59.5% (254 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 20.6% (88 人)、「どちらともいえない」が 12.2% (52 人) の順となっている。
- ・“思う”が 80.1% (342 人)、“思わない”が 3.7% (16 人) と“思う”が約 8 割、“思わない”が 1 割にも満たない。

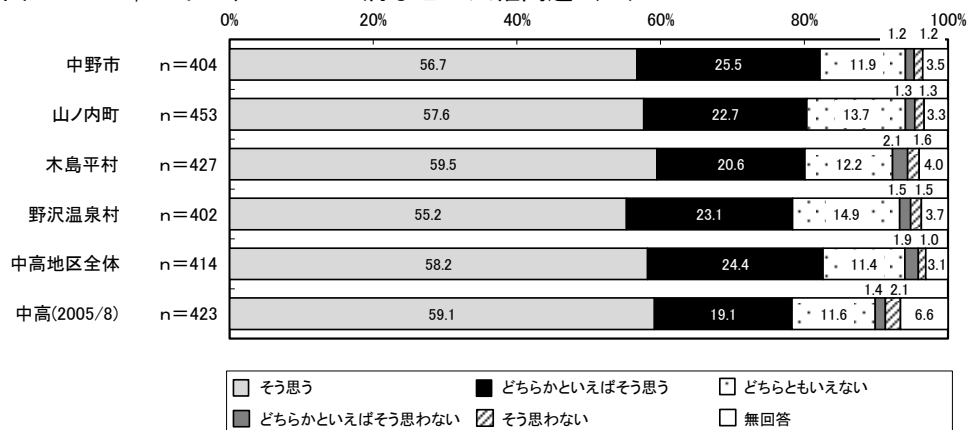
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「そう思う」が 55.2% (222 人) で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が 23.1% (93 人)、「どちらともいえない」が 14.9% (60 人) の順となっている。
- ・“思う”が 78.3% (315 人)、“思わない”が 3.0% (12 人) と“思う”が 7 割以上、“思わない”が 1 割にも満たない。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も 7 割以上で“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『中野市』で 82.2% (332 人)、次いで『山ノ内町』で 80.3% (364 人)、『木島平村』で 80.1% (342 人) の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『木島平村』で 3.7% (16 人)、次いで『野沢温泉村』で 3.0% (12 人)、『山ノ内町』で 2.6% (12 人) の順となっている。

図 HIV/エイズ、ハンセン病などの人権問題（４）



問 13(5) 刑余者の人(※1)と一緒に仕事することは抵抗がある

【中高地区全体】

- 刑余者の人と一緒に仕事することは抵抗があるについてみると、「どちらともいえない」が39.1%（162人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.1%（104人）、「どちらかといえばそう思わない」が13.8%（57人）の順となっている。
- “思う”（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が33.8%（140人），“思わない”（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が23.9%（99人）と“思う”が“思わない”に比べ、9.9ポイント高くなっている。
- 前回調査と比較すると、“思う”が2.1ポイント（33.8-31.7）高くなっており、一方“思わない”が0.5ポイント（23.9-24.4）低くなっている。

【中野市】

- 中野市においては、「どちらともいえない」が40.3%（163人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.5%（103人）、「どちらかといえばそう思わない」が13.1%（53人）の順となっている。
- “思う”が33.9%（137人），“思わない”が22.3%（90人）と“思う”が“思わない”に比べ、11.6ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「どちらともいえない」が37.3%（169人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.6%（125人）、「どちらかといえばそう思わない」が12.8%（58人）の順となっている。
- “思う”が38.2%（173人），“思わない”が21.4%（97人）と“思う”が“思わない”に比べ、16.8ポイント高くなっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「どちらともいえない」が38.2%（163人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が23.9%（102人）、「どちらかといえばそう思わない」が15.7%（67人）の順となっている。
- “思う”が30.5%（130人），“思わない”が26.9%（115人）と“思う”が“思わない”に比べ、3.6ポイント高くなっている。

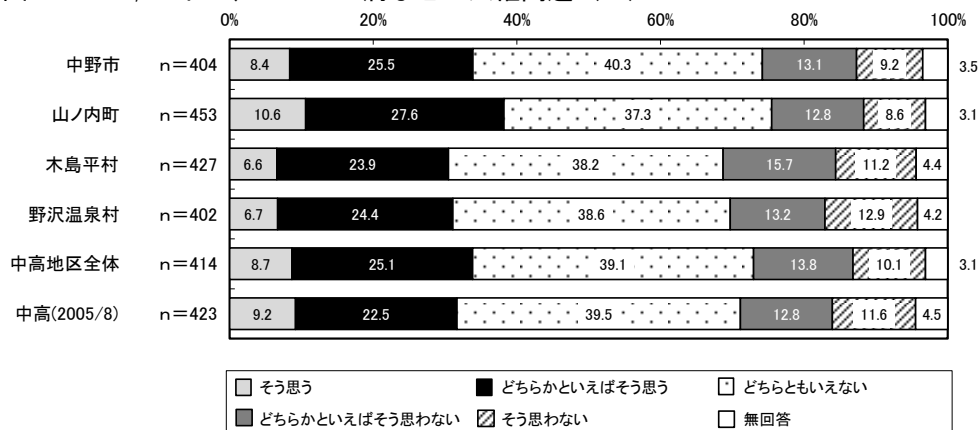
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「どちらともいえない」が38.6%（155人）で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」が24.4%（98人）、「どちらかといえばそう思わない」が13.2%（53人）の順となっている。
- “思う”が31.1%（125人），“思わない”が26.1%（105人）と“思う”が“思わない”に比べ、5.0ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、いずれの市町村も“思う”が高くなっており、“思う”が最も高いのは『山ノ内町』で38.2%（173人）、次いで『中野市』で33.9%（137人）、『野沢温泉村』で31.1%（125人）の順となっている。一方“思わない”が最も高いのは『木島平村』で26.9%（115人）、次いで『野沢温泉村』で26.1%（105人）、『中野市』で22.3%（90人）の順となっている。

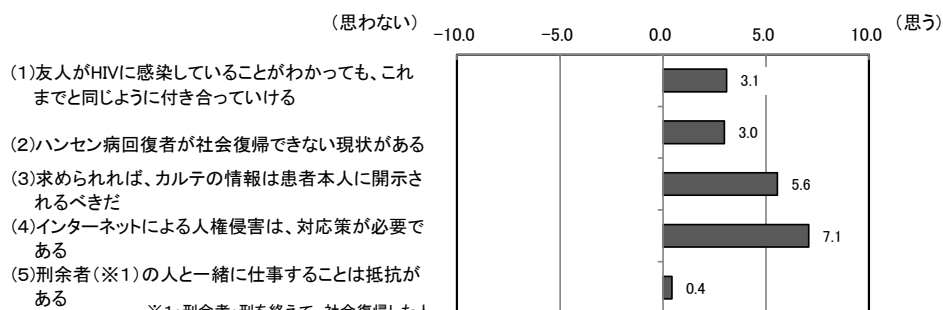
図 HIV/エイズ、ハンセン病などの人権問題（5）



【設問間比較】

・“思う”について「インターネットによる人権侵害は、対応策が必要である」が7.1と最も高く、次いで「求められれば、カルテの情報は患者本人に開示されるべきだ」が5.6、「友人がHIVに感染していることがわかって、これまでと同じように付き合っていける」が3.1の順となっている。

図 HIV/エイズ、ハンセン病などの人権問題（設問間比較）



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

・そう思う	10点	・そう思わない	-10点
・どちらかといえばそう思う	5点	・どちらかといえばそう思わない	-5点
・どちらともいえない	0点		

C. 人権問題や差別への対応について

問 14 もし、あなた自身やあなたの家族が人権を侵害されることがあったとき、あなたはまずどのような対応をしますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 相手に抗議する | → 問 15 へお進み下さい |
| 2. 身近な人に相談する | → 問 14-1 へお進み下さい |
| 3. 相談しないで我慢する | → 問 15 へお進み下さい |

【中高地区全体】

- ・人権が侵害されるようなことがあった時の対応についてみると、「身近な人に相談する」が70.8% (293人)で最も高く、次いで「相手に抗議する」が17.9% (74人)、「相談しないで我慢する」が4.3% (18人)の順となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「身近な人に相談する」が70.8% (286人)で最も高く、次いで「相手に抗議する」が17.3% (70人)、「相談しないで我慢する」が4.7% (19人)の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「身近な人に相談する」が72.4% (328人)で最も高く、次いで「相手に抗議する」が15.2% (69人)、「相談しないで我慢する」が3.5% (16人)の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「身近な人に相談する」が72.1% (308人)で最も高く、次いで「相手に抗議する」が17.8% (76人)、「相談しないで我慢する」が3.5% (15人)の順となっている。

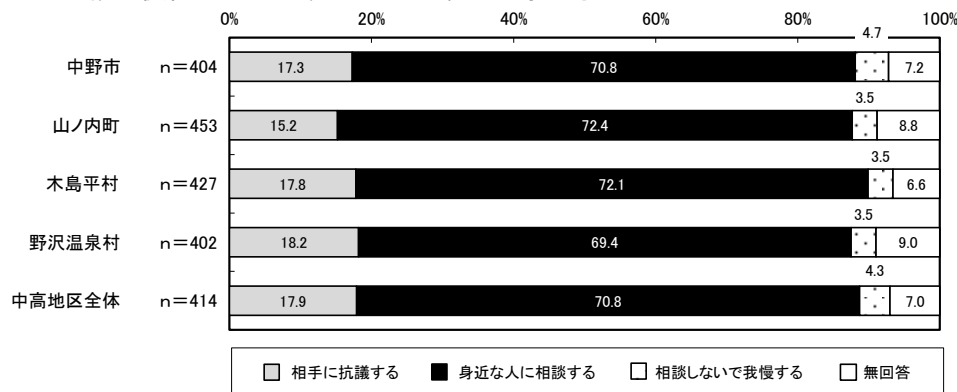
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「身近な人に相談する」が69.4% (279人)で最も高く、次いで「相手に抗議する」が18.2% (73人)、「相談しないで我慢する」が3.5% (14人)の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「身近な人に相談する」が高くなっており、「身近な人に相談する」が最も高いのは『山ノ内町』で72.4% (328人)、次いで『木島平村』で72.1% (308人)、『中野市』で70.8% (286人)の順となっている。一方「相談しないで我慢する」が最も高いのは『中野市』で4.7% (19人)、次いで『山ノ内町』『木島平村』『野沢温泉村』で3.5% (16人、15人、14人)の順となっている。

図 人権が侵害されるようなことがあった時の対応



問14で「2. 身近な人に相談する」を選ばれた方にお尋ねします。

問 14-1 どのような人に相談しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 家族 | 7. 法務局や人権擁護委員 |
| 2. 友人・知人 | 8. 各地区の役員 (区長・民生委員など) |
| 3. 教師 | 9. 市町村の窓口 |
| 4. 人権問題に詳しい人 | 10. 警察 |
| 5. 弁護士 | 11. その他 (具体的に :) |
| 6. NPO や市民団体等 | |

【中高地区全体】

- ・相談する相手についてみると、「家族」が64.2% (188人)で最も高く、次いで「友人・知人」が54.6% (160人)、「人権問題に詳しい人」が43.3% (127人)の順となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「家族」が64.7%（185人）で最も高く、次いで「友人・知人」が58.4%（167人）、「人権問題に詳しい人」が38.8%（111人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「家族」が64.0%（210人）で最も高く、次いで「友人・知人」が50.9%（167人）、「人権問題に詳しい人」が38.7%（127人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「家族」が64.0%（197人）で最も高く、次いで「友人・知人」が50.6%（156人）、「人権問題に詳しい人」が46.8%（144人）の順となっている。

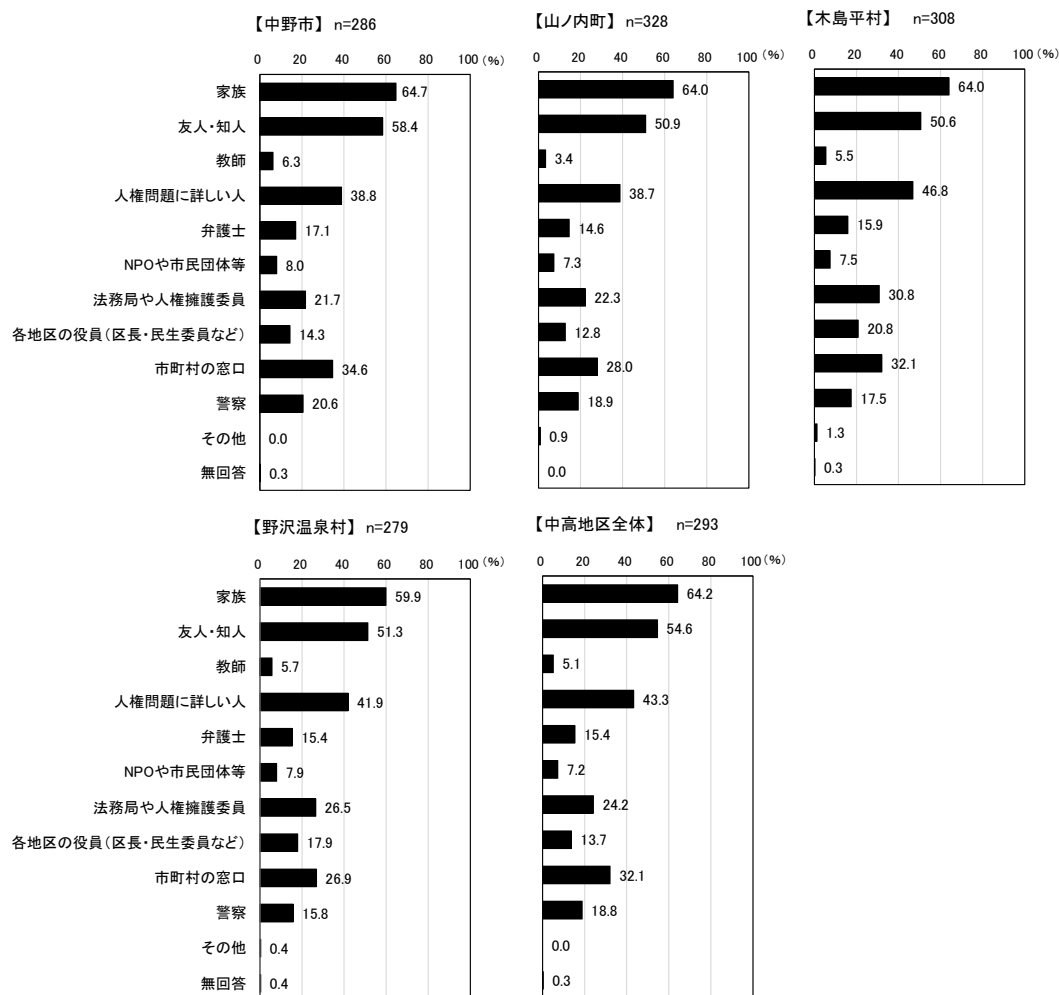
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「家族」が59.9%（167人）で最も高く、次いで「友人・知人」が51.3%（143人）、「人権問題に詳しい人」が41.9%（117人）の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「家族」が高くなっており、「家族」が最も高いのは『中野市』で64.7%（185人）、次いで『山ノ内町』『木島平村』が同率で64.0%（210人、197人）、『野沢温泉村』で59.9%（167人）の順となっている。また「友人・知人」が最も高いのは『中野市』で58.4%（167人）、次いで『野沢温泉村』で51.3%（143人）、『山ノ内町』で50.8%（167人）、「人権問題に詳しい人」が最も高いのは『木島平村』で46.8%（144人）、次いで『野沢温泉村』で41.9%（117人）、『中野市』で38.8%（111人）の順となっている。

図 相談する相手



全ての方にお尋ねします。

問15 あなたの知り合いの中で、差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人はいますか。
(○は1つ)

1. いる → 問15-1へお進み下さい 2. いない → 問16へお進み下さい

【中高地区全体】

- ・知り合いで差別問題解消や人権擁護の取組みを行っている人の有無についてみると、「いない」が76.1% (315人)、「いる」が13.8% (57人) となっており、「いない」が7割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、「いる」が5.6ポイント (13.8-19.4) 低くなっており、一方「いない」が7.5ポイント (76.1-68.6) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「いない」が76.2% (308人)、「いる」が13.1% (53人) となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「いない」が77.3% (350人)、「いる」が9.3% (42人) となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「いない」が69.6% (297人)、「いる」が16.4% (70人) となっている。

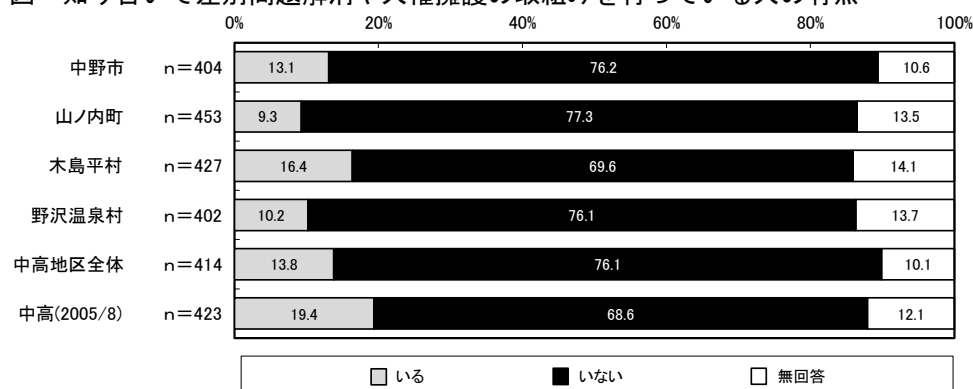
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「いない」が76.1% (306人)、「いる」が10.2% (41人) となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「いない」が高くなっており、「いない」が最も高いのは『山ノ内町』で77.3% (350人)、次いで『中野市』で76.2% (308人)、『野沢温泉村』で76.1% (306人) の順となっている。一方「いる」が最も高いのは『木島平村』で16.4% (70人)、次いで『中野市』で13.1% (53人)、『野沢温泉村』で10.2% (41人) の順となっている。

図 知り合いで差別問題解消や人権擁護の取組みを行っている人の有無



問15で「1. いる」を選ばれた方にお尋ねします。

問15-1 その差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人は誰ですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|---------|------------------|
| 1. 家族 | 5. 職場の人 |
| 2. 親戚 | 6. 学校の先生 |
| 3. 近所の人 | 7. 市町村の職員 |
| 4. 友人 | 8. その他 (具体的に :) |

【中高地区全体】

- ・取組みを行っている人の属性についてみると、「市町村の職員」が29.8% (17人) で最も高く、次いで「友人」が28.1% (16人)、「学校の先生」が21.1% (12人) の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、増加率が最も高いのは「家族」で11.4ポイント (17.5-6.1) 高くなっており、一方減少率が最も高いのは「市町村の職員」で5.6ポイント (29.8-35.4) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「友人」が32.1% (17人) で最も高く、次いで「近所の人」が30.2% (16人)、「市町村の職員」が22.6% (12人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「友人」「市町村の職員」が同率で28.6% (12人) で最も高く、次いで「家族」

「職場の人」が同率で16.7%（7人）、「近所の人」が9.5%（4人）の順となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「市町村の職員」が47.1%（33人）で最も高く、次いで「近所の人」「学校の先生」が同率で17.1%（12人）、「家族」「職場の人」が15.7%（11人）の順となっている。

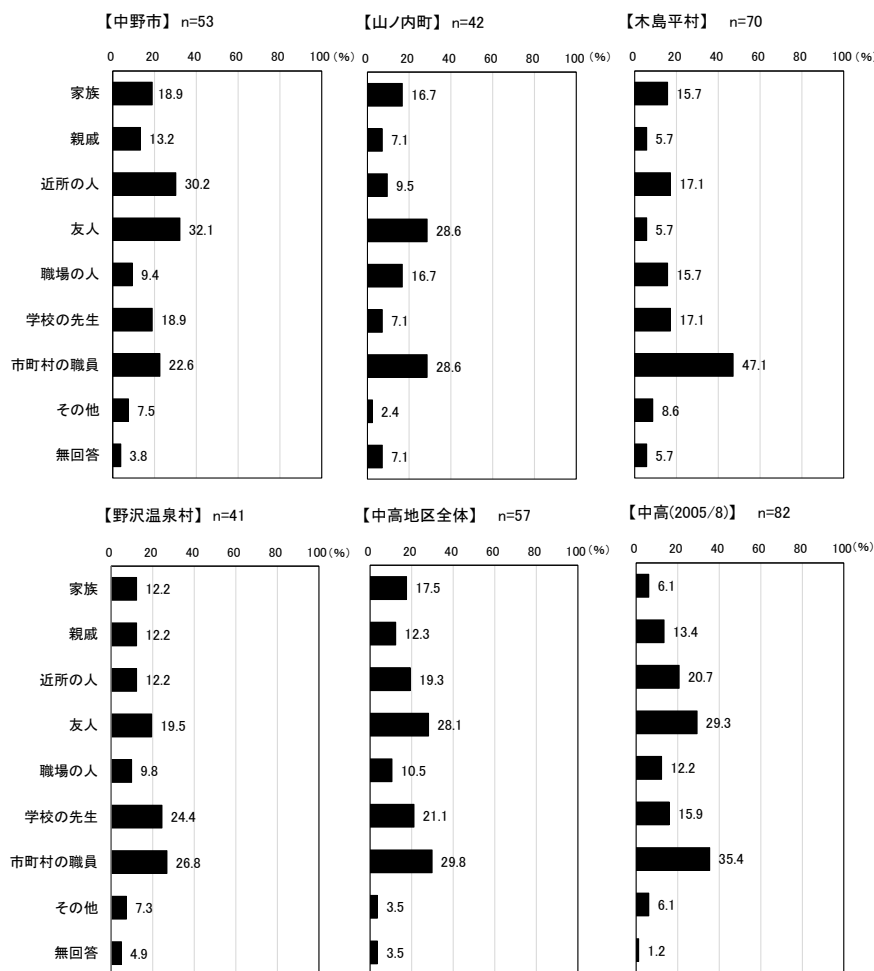
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「市町村の職員」が26.8%（11人）で最も高く、次いで「学校の先生」が24.4%（10人）、「友人」が19.5%（8人）の順となっている。

【市町村比較】

- 4市町村を比較すると、『中野市』が「友人」、『山ノ内町』が同率で「友人」「市町村の職員」、『木島平村』『野沢温泉村』が「市町村の職員」が高くなっており、「友人」が最も高いのは『中野市』で32.1%（17人）、次いで『山ノ内町』で28.6%（12人）、『野沢温泉村』で19.5%（8人）の順となっている。また「市町村の職員」が最も高いのは『木島平村』で47.1%（33人）、次いで『山ノ内町』で28.6%（12人）、『野沢温泉村』で26.8%（11人）の順となっている。

図 取組みを行っている人の属性



D. 同和問題（部落問題）に関する学習経験について

全ての方にお尋ねします。

問16 あなたは、学校で同和問題（部落問題）についての学習を受けましたか。（〇はいくつでも）

- | | |
|--------------|----------------------|
| 1. 小学校で受けた | } 問16-1, 16-2へお進み下さい |
| 2. 中学校で受けた | |
| 3. 高校で受けた | |
| 4. 短大・大学で受けた | |
| 5. 受けたことはない | → 問17へお進み下さい |

【中高地区全体】

・学校での同和問題についての学習経験についてみると、「小学校で受けた」が43.5%（180人）で最も高く、次いで「中学校で受けた」が38.4%（159人）、「受けたことはない」が26.8%（111人）の順となっている。

【中野市】

・中野市においては、「小学校で受けた」が46.5%（188人）で最も高く、次いで「中学校で受けた」が40.6%（164人）、「受けたことはない」が26.7%（108人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「小学校で受けた」「中学校で受けた」が同率で40.2%（182人）で最も高く、次いで「受けたことがない」が26.9%（122人）、「高校で受けた」が10.8%（49人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「中学校で受けた」が41.7%（178人）で最も高く、次いで「小学校で受けた」が36.5%（156人）、「受けたことはない」が31.1%（133人）の順となっている。

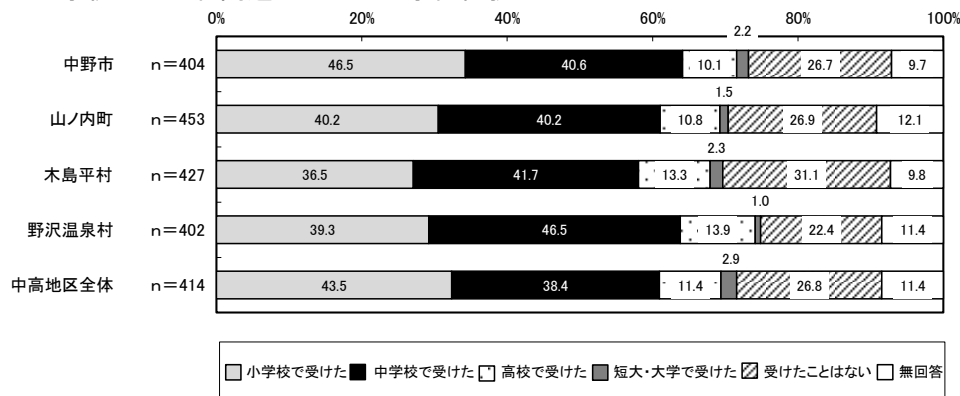
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「中学校で受けた」が46.5%（187人）で最も高く、次いで「小学校で受けた」が39.3%（158人）、「受けたことはない」が22.4%（90人）の順となっている。

【市町村比較】

・4市町村を比較すると、『中野市』が「小学校で受けた」、『山ノ内町』が同率で「小学校で受けた」「中学校で受けた」、『木島平村』『野沢温泉村』が「中学校で受けた」が高くなっており、一方「受けたことはない」が最も高いのは『木島平村』で31.1%（133人）、次いで『山ノ内町』が26.9%（122人）、『中野市』で26.7%（108人）の順となっている。

図 学校での同和問題についての学習経験



問16で「1」から「4」を選ばれた方にお尋ねします。

問16-1 それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 差別はなぜいけないのか | 9. 他の人権課題との関係 |
| 2. 同和対策の必要性 | 10. 何が差別にあたるのか |
| 3. 現在の差別の厳しさ | 11. 部落問題の歴史 |
| 4. 過去の差別の厳しさ | 12. その他（具体的に：) |
| 5. 部落解放運動の成果 | 13. おぼえていない |
| 6. 一人ひとりが努力すべきこと | |
| 7. 放っておけば差別はなくなるという考え方の誤り | |
| 8. 人権の大切さ | |

【中高地区全体】

- ・学習の内容についてみると、「部落問題の歴史」が70.7%（181人）で最も高く、次いで「過去の差別の厳しさ」が52.0%（133人）、「差別はなぜいけないのか」が50.0%（128人）の順となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「部落問題の歴史」が70.4%（181人）で最も高く、次いで「差別はなぜいけないのか」が53.3%（137人）、「過去の差別の厳しさ」が52.9%（136人）の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「部落問題の歴史」が63.4%（175人）で最も高く、次いで「差別はなぜいけないのか」が48.9%（135人）、「過去の差別の厳しさ」が42.4%（117人）の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「部落問題の歴史」が66.7%（168人）で最も高く、次いで「差別はなぜいけないのか」が56.0%（141人）、「過去の差別の厳しさ」が46.8%（118人）の順となっている。

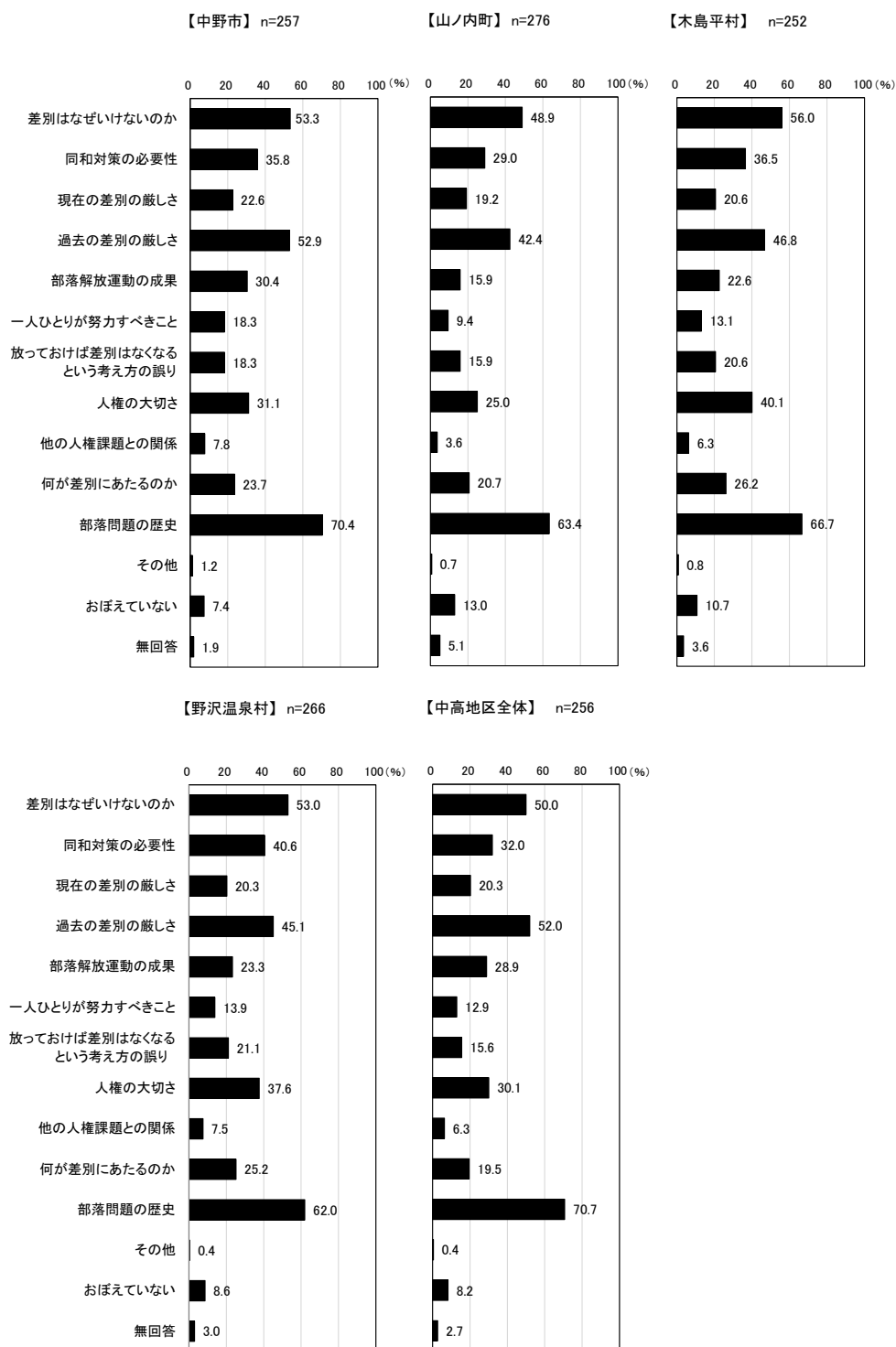
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「部落問題の歴史」が62.0%（165人）で最も高く、次いで「差別はなぜいけないのか」が53.0%（141人）、「過去の差別の厳しさ」が45.1%（120人）の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「部落問題の歴史」が高くなっており、「部落問題の歴史」が最も高いのは『中野市』で70.4%（181人）、次いで『木島平村』で66.7%（168人）、『山ノ内町』で63.4%（175人）の順となっている。

図 学習の内容



問 16-2 そうした学習を受けたことについて、どう感じていますか。(○は1つ)

1. 学習を受けてよかったと思っている
2. 学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている
3. 受けない方がよかったと思っている
4. わからない
5. その他(具体的に:)

【中高地区全体】

・学習を受けたことへの感想についてみると、「学習を受けてよかったと思っている」が52.0% (133人)で最も高く、次いで「わからない」が20.7% (53人)、「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が17.2% (44人)の順となっている。

【中野市】

・中野市においては、「学習を受けてよかったと思っている」が54.5%（140人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が18.3%（47人）、「わからない」が16.7%（43人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「学習を受けてよかったと思っている」が49.3%（136人）で最も高く、次いで「わからない」が22.5%（62人）、「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が17.8%（49人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「学習を受けてよかったと思っている」が63.5%（160人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が14.3%（36人）、「わからない」が12.7%（32人）の順となっている。

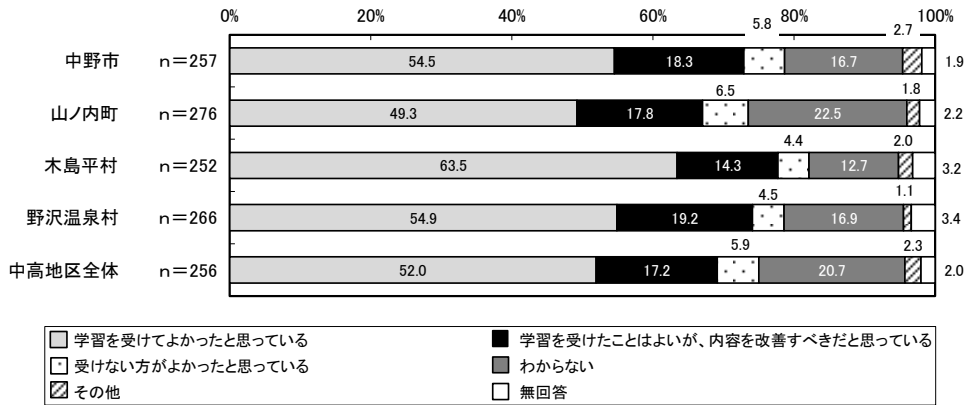
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「学習を受けてよかったと思っている」が54.9%（146人）で最も高く、次いで「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が19.2%（51人）、「わからない」が16.9%（45人）の順となっている。

【市町村比較】

・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「学習を受けてよかったと思っている」が高くなっており、「学習を受けてよかったと思っている」が最も高いのは『木島平村』で63.5%（160人）、次いで『野沢温泉村』で54.9%（146人）、『中野市』で54.5%（140人）の順となっている。また「学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている」が最も高いのは『野沢温泉村』で19.2%（51人）、次いで『中野市』で18.3%（47人）、『山ノ内町』で17.8%（49人）の順となっている。

図 学習を受けたことへの感想



全ての方にお尋ねします。

問17 あなたは地域や職場での同和問題についての学習や研修に参加したことがありますか。（〇はいくつでも）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した 2. 職場の研修に参加した 3. 地域（地区）懇談会に参加した 4. 毎年8月に開催される、中高地区4市町村合同の「部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会」に参加した 5. その他（ ） 6. 参加したことはない 	}	問17-1へお進み下さい
→ 問17-2へお進み下さい		

【中高地区全体】

・地域や職場での同和問題についての学習や研修への参加についてみると、「参加したことはない」が47.3%（196人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が30.4%（126人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が24.9%（103人）の順となっている。

【中野市】

・中野市においては、「参加したことはない」が47.0%（190人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」「地域（地区）懇談会に参加した」が同率で25.5%（103人）、「職場の研修に参加した」が13.6%（55人）の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「参加したことはない」が50.8%（230人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が28.9%（131人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が16.6%（75人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が44.5%（190人）で最も高く、次いで「参加したことはない」が32.1%（137人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が30.4%（130人）の順となっている。

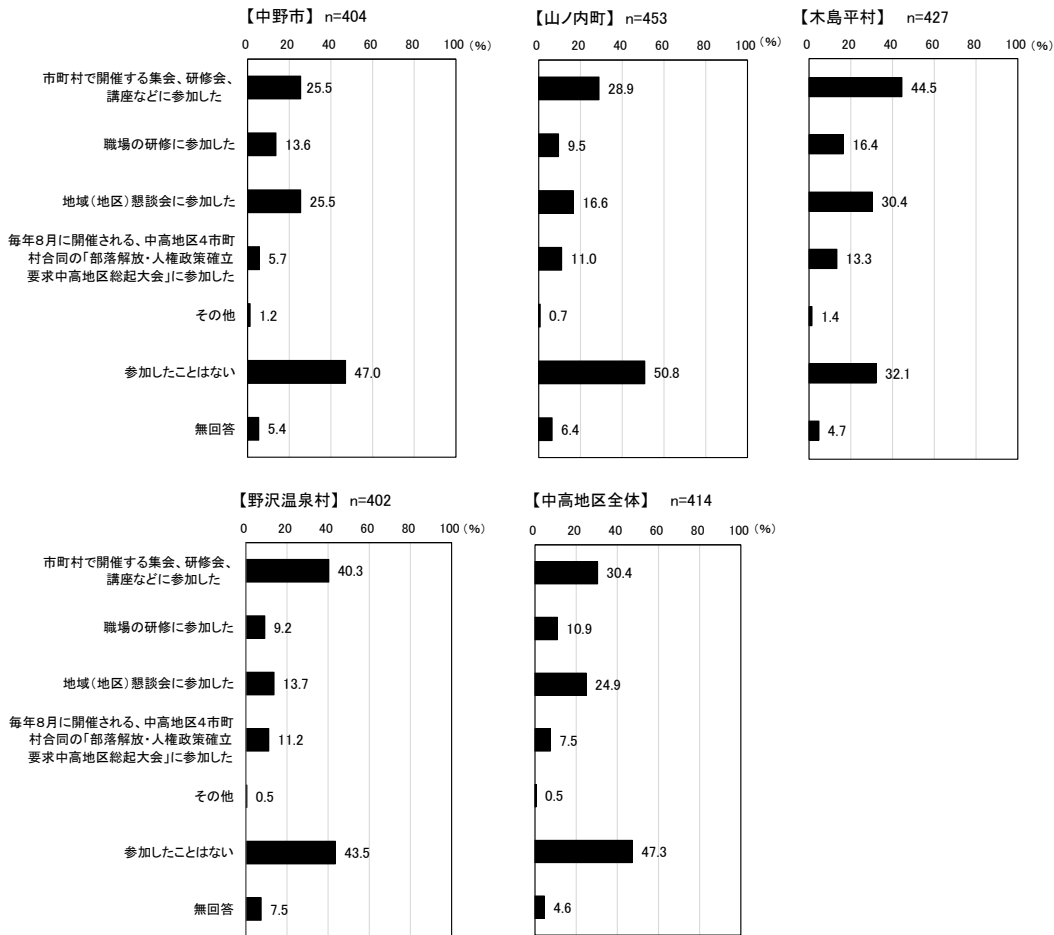
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「参加したことはない」が43.5%（175人）で最も高く、次いで「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が40.3%（162人）、「地域（地区）懇談会に参加した」が13.7%（55人）の順となっている。

【市町村比較】

・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『野沢温泉村』が「参加したことはない」、『木島平村』が「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が高くなっており、「参加したことはない」が最も高いのは『山ノ内町』で50.8%（230人）、次いで『中野市』で47.0%（190人）、『野沢温泉村』で43.5%（175人）の順となっている。また「市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した」が最も高いのは『木島平村』で44.5%（190人）、次いで『野沢温泉村』で40.3%（162人）、『山ノ内町』で28.9%（131人）の順となっている。

図 地域や職場での同和問題についての学習や研修への参加



問17で「1」から「5」を選ばれた方にお尋ねします。

問17-1 参加して最も印象に残っている研修会はどのような内容でしたか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------------|--|
| 1. 市町村及び地域で人権問題に携わる人の話 | |
| 2. 学校の先生などの話 | |
| 3. 被差別当事者(同和地区住民)の話 | |
| 4. 映画(DVD、映画など) | |
| 5. グループになって話し合ったこと | |
| 6. いろいろな住民が意見発表をすること | |
| 7. その他(具体的に: _____) | |

【中高地区全体】

・最も印象に残っている研修会の内容についてみると、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が44.0% (88人) で最も高く、次いで「映画(DVD、映画など)」が22.5% (45人)、「被差別当事者(同和地区住民)の話」が18.5% (37人) の順となっている。

【中野市】

・中野市においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が43.5% (84人) で最も高く、次いで「映画(DVD、映画など)」が21.2% (41人)、「被差別当事者(同和地区住民)の話」が20.2% (39人) の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が45.9% (90人) で最も高く、次いで「映画(DVD、映画など)」が18.9% (37人)、「被差別当事者(同和地区住民)の話」が14.8% (29人) の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が42.3% (115人) で最も高く、次いで「被差別当事者(同和地区住民)の話」が23.9% (65人)、「映画(DVD、映画など)」が21.7% (59人) の順となっている。

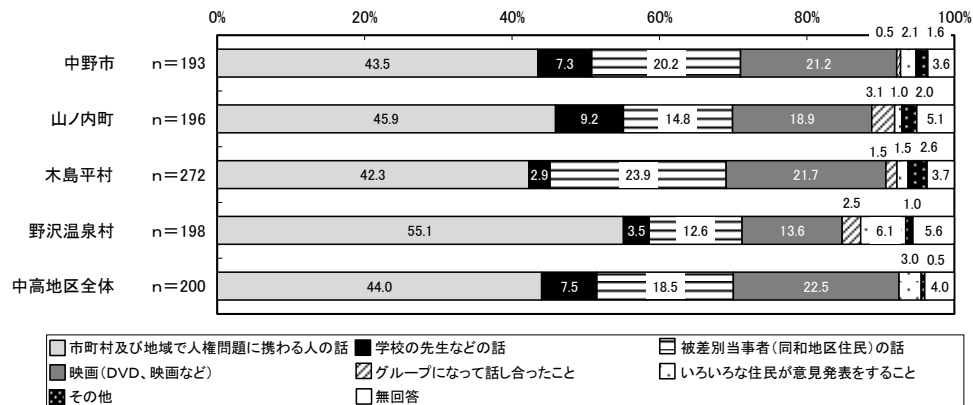
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が55.1% (109人) で最も高く、次いで「映画(DVD、映画など)」が13.6% (27人)、「被差別当事者(同和地区住民)の話」が12.6% (25人) の順となっている。

【市町村比較】

・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が高くなっており、「市町村及び地域で人権問題に携わる人の話」が最も高いのは『野沢温泉村』で55.1% (109人)、次いで『山ノ内町』で45.9% (90人)、『中野市』で43.5% (84人) の順となっている。

図 最も印象に残っている研修会の内容



問17で「6. 参加したことはない」を選ばれた方にお尋ねします。

問17-2 それは、どうしてでしょうか。(〇はいくつでも)

1. 講演会や研修会などが開催されていることを知らなかった
2. 時間的余裕がなかった
3. 体の調子で会場に行くことができなかった
4. 関心がなかった
5. 他の家族が参加していたからよいと思った
6. 難しそうだったから
7. 自己学習で十分だから
8. 講演会や研修会に意義を認めないから
9. その他(具体的に:)

【中高地区全体】

- ・学習や研修に参加したことがない理由についてみると、「講演会や研修会などが開催されていることを知らなかった」が38.8% (76人) で最も高く、次いで「関心がなかった」が33.2% (65人)、「時間的余裕がなかった」が23.0% (45人) の順となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「講演会や研修会などが開催されていることを知らなかった」が40.0% (76人) で最も高く、次いで「関心がなかった」が30.0% (57人)、「時間的余裕がなかった」が22.1% (42人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「講演会や研修会などが開催されていることを知らなかった」が37.0% (85人) で最も高く、次いで「関心がなかった」が36.5% (84人)、「時間的余裕がなかった」が24.8% (57人) の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「講演会や研修会などが開催されていることを知らなかった」が40.9% (56人) で最も高く、次いで「関心がなかった」が31.4% (43人)、「時間的余裕がなかった」が30.7% (42人) の順となっている。

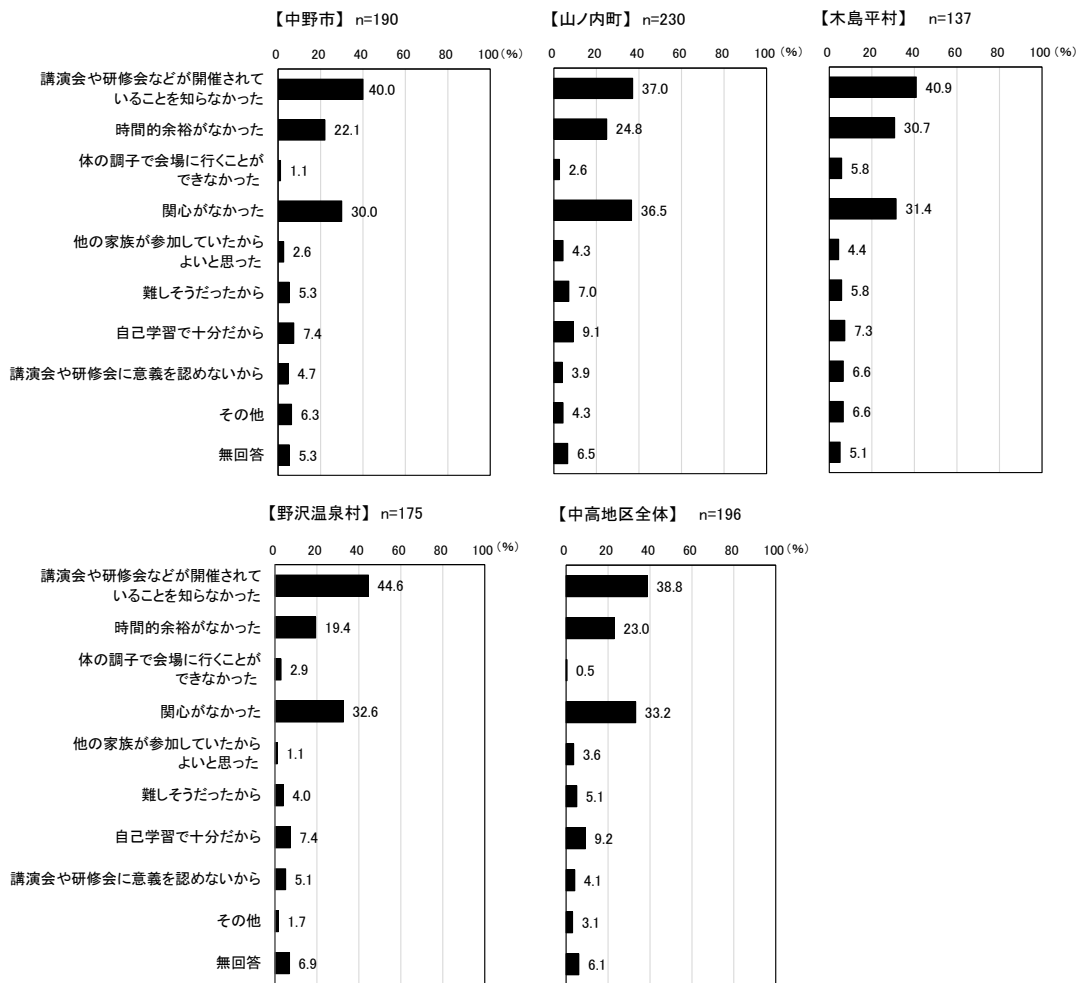
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「講演会や研修会などが開催されていることを知らなかった」が44.6% (78人) で最も高く、次いで「関心がなかった」が32.6% (57人)、「時間的余裕がなかった」が19.4% (34人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「講演会や研修会などが開催されていることを知らなかった」が高くなっており、「講演会や研修会などが開催されていることを知らなかった」が最も高いのは『野沢温泉村』で44.6% (78人)、次いで『木島平村』で40.9% (56人)、『中野市』で40.0% (76人) の順となっている。一方「関心がなかった」が最も高いのは『山ノ内町』で36.5% (84人)、次いで『野沢温泉村』で32.6% (57人)、『木島平村』で31.4% (43人) の順となっている。

図 学習や研修に参加したことがない理由



E. 同和問題の認知や意識について

全ての方にお尋ねします。

問 18 あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれ、差別を受けている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている→問 18-1 へお進みください 2. 知らない→問 19 へお進みください

【中高地区全体】

- ・差別を受けている地区や住民があることの認知度についてみると、「知っている」が85.5% (354人)、「知らない」が11.1% (46人) となっており、「知っている」が8割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、「知っている」が2.4ポイント (85.5-87.9) 低くなっており、一方「知らない」が1.9ポイント (11.1-9.2) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「知っている」が84.9% (343人)、「知らない」が11.9% (48人) となっており、「知っている」が8割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「知っている」が76.8% (348人)、「知らない」が17.0% (77人) となっており、「知っている」が7割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「知っている」が82.0% (350人)、「知らない」が14.5% (62人) となっており、「知っている」が8割以上となっている。

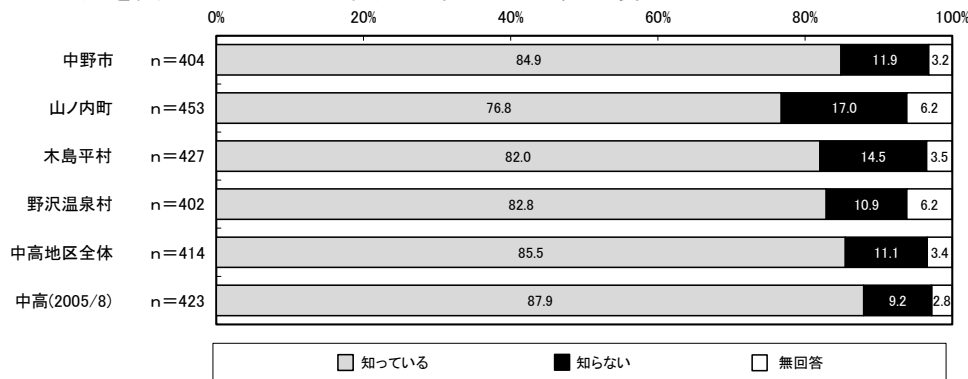
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「知っている」が82.8% (333人)、「知らない」が10.9% (44人) となっており、「知っている」が8割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も7割以上で「知っている」が高くなっており、「知っている」が最も高いのは『中野市』で84.9% (343人)、次いで『野沢温泉村』で82.8% (333人)、『木島平村』で82.0% (350人) の順となっている。一方「知らない」が最も高いのは『山ノ内町』で17.0% (77人)、次いで『木島平村』で14.5% (62人)、『中野市』で11.9% (48人) の順となっている。

図 差別を受けている地区や住民があることの認知度



問 18 で「1. 知っている」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18-1 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 家族から聞いた | 7. テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った |
| 2. 親戚の人から聞いた | 8. 同和問題の集会や研修会で知った |
| 3. 近所の人から聞いた | 9. 県や市町村の広報紙や冊子で知った |
| 4. 職場の人から聞いた | 10. はっきり覚えていない |
| 5. 学校の友人から聞いた | 11. その他(具体的に:) |
| 6. 学校の授業で聞いた | |

【中高地区全体】

- ・初めて知ったきっかけについてみると、「学校の授業で聞いた」が50.3% (178人) で最も高く、次

いで「家族から聞いた」が35.0% (124人)、「同和問題の集会や研修会で知った」が18.6% (66人)となっている。

- ・前回調査と比較すると、「学校の授業で聞いた」が18.6ポイント (50.3-31.7) 高くなっており、一方「はっきり覚えていない」が1.8ポイント (6.5-8.3) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「学校の授業で聞いた」が51.9% (178人) で最も高く、次いで「家族から聞いた」が36.2% (124人)、「同和問題の集会や研修会で知った」が18.4% (63人) となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「学校の授業で聞いた」が50.3% (175人) で最も高く、次いで「家族から聞いた」が33.6% (117人)、「同和問題の集会や研修会で知った」が16.4% (57人) となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「学校の授業で聞いた」が43.7% (153人) で最も高く、次いで「家族から聞いた」が32.0% (112人)、「同和問題の集会や研修会で知った」が30.0% (105人) となっている。

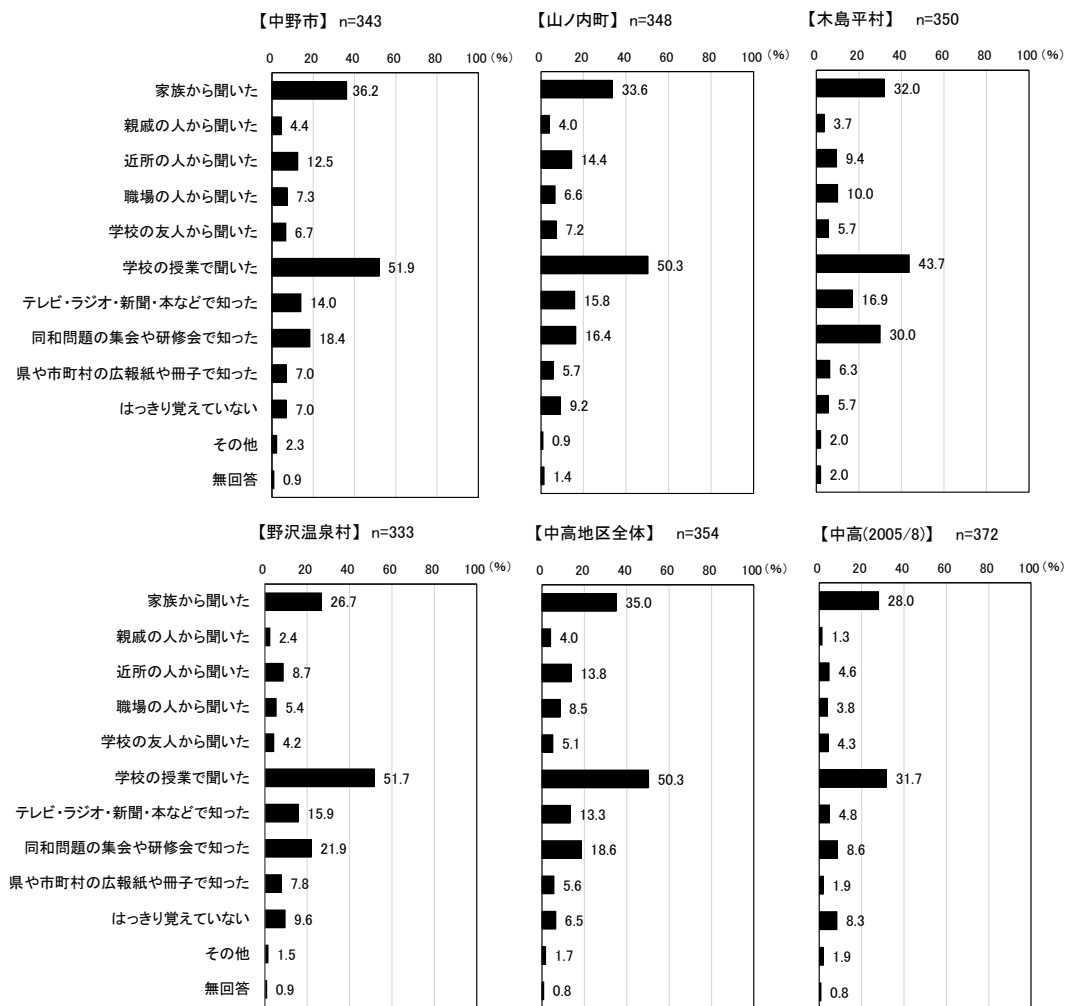
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「学校の授業で聞いた」が51.7% (172人) で最も高く、次いで「家族から聞いた」が26.7% (89人)、「同和問題の集会や研修会で知った」が21.9% (73人) となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「学校の授業で聞いた」が高くなっており、「学校の授業で聞いた」が最も高いのは『中野市』で51.9% (178人)、次いで『野沢温泉村』で51.7% (172人)、『山ノ内町』で50.3% (175人) の順となっている。一方「はっきり覚えていない」が最も高いのは『野沢温泉村』で9.6% (32人)、次いで『山ノ内町』で9.2% (32人)、『中野市』で7.0% (24人) の順となっている。

図 初めて知ったきっかけ



全ての方にお尋ねします。

問19 あなたは「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感じを持ちますか。次の(1)～(5)の対になっている語句のすべてについて、あなたの感じやイメージに一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

<A>	1 非常に Aに近い	2 ややAに近 い	3 どちらともい えない(わから ない)	4 ややBに近 い	5 非常に Bに近い	
(1)上品な	1	2	3	4	5	下品な
(2)やさしい	1	2	3	4	5	こわい
(3)清潔な	1	2	3	4	5	不潔な
(4)豊か	1	2	3	4	5	貧しい
(5)働き者	1	2	3	4	5	なまけもの

問19(1) 上品な—下品な

【中高地区全体】

- ・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ(A.上品な—B.下品な)についてみると、「どちらともいえない(わからない)」が61.1%(253人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が18.4%(76人)、「非常にBに近い」が11.6%(48人)の順となっている。
- ・“Aに近い”(「非常にAに近い」+「ややAに近い」)が1.4%(6人)、“Bに近い”(「非常にBに近い」+「ややBに近い」)が30.0%(124人)となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が約3割となっている。
- ・前回調査と比較すると、“Aに近い”が0.3ポイント(1.4-1.7)低くなっており、一方“Bに近い”が6.4ポイント(30.0-23.6)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない(わからない)」が60.6%(245人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が18.6%(75人)、「非常にBに近い」が12.1%(49人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が1.2%(5人)、“Bに近い”が30.7%(124人)となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が約3割となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない(わからない)」が64.0%(290人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が15.7%(71人)、「非常にBに近い」が9.1%(41人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が2.0%(9人)、“Bに近い”が24.8%(112人)となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が2割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない(わからない)」が62.3%(266人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が18.5%(79人)、「非常にBに近い」が7.5%(32人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が1.4%(6人)、“Bに近い”が26.0%(111人)となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が2割以上となっている。

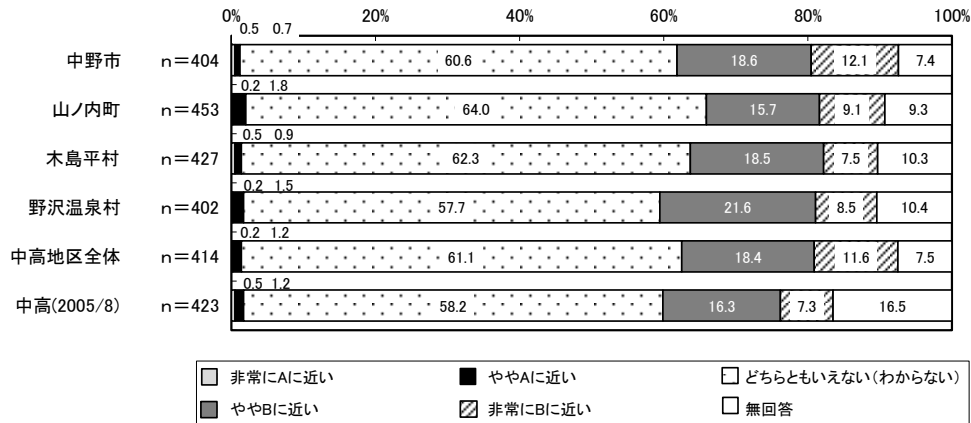
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない(わからない)」が57.7%(232人)で最も高く、次いで「ややBに近い」が21.6%(87人)、「非常にBに近い」が8.5%(34人)の順となっている。
- ・“Aに近い”が1.7%(7人)、“Bに近い”が30.1%(121人)となっており、“Aに近い”が1割にも満たず、“Bに近い”が約3割となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も2割以上で“Bに近い”が高くなっており、“Bに近い”が最も高いのは『中野市』で30.7%(124人)、次いで『野沢温泉村』で30.1%(121人)、『木島平村』で26.0%(111人)の順となっている。一方、いずれの市町村も“Aに近い”が1割にも満たない。

図 「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（１）



問 19(2) やさしい—こわい

【中高地区全体】

- ・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A. やさしい—B. こわい）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が61.8%（256人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が18.1%（75人）、「非常にBに近い」が8.2%（34人）の順となっている。
- ・「Aに近い」（「非常にAに近い」＋「ややAに近い」）が4.1%（17人）、「Bに近い」（「非常にBに近い」＋「ややBに近い」）が26.3%（109人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が2割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、「Aに近い」が3.2ポイント（4.1-7.3）低くなっており、一方「Bに近い」が1.0ポイント（26.3-25.3）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が58.2%（235人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が20.8%（84人）、「非常にBに近い」が8.9%（36人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が4.2%（17人）、「Bに近い」が29.7%（120人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が2割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が63.4%（287人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が15.7%（71人）、「非常にBに近い」が6.8%（31人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が5.1%（23人）、「Bに近い」が22.5%（102人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が2割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が62.8%（268人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が15.5%（66人）、「非常にBに近い」が6.3%（27人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が5.3%（23人）、「Bに近い」が21.8%（93人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が2割以上となっている。

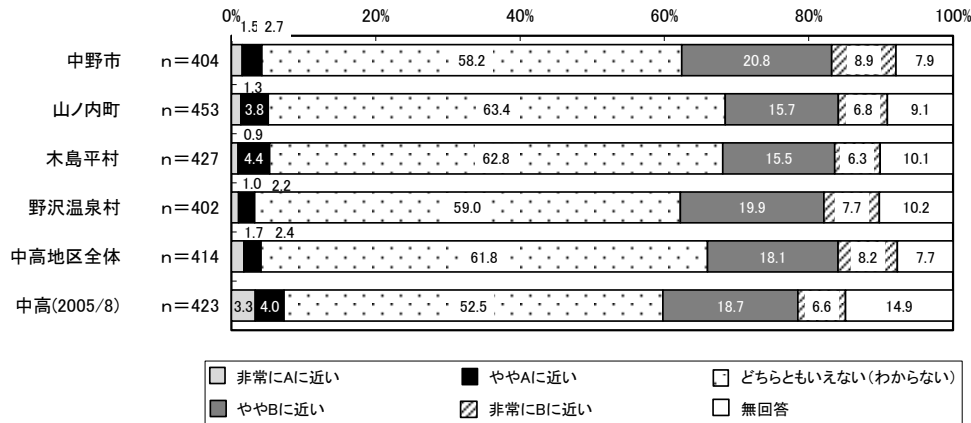
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が59.0%（237人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が19.9%（80人）、「非常にBに近い」が7.7%（31人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が3.2%（13人）、「Bに近い」が27.6%（111人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が2割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も2割以上で「Bに近い」が高くなっており、「Bに近い」が最も高いのは『中野市』で29.7%（120人）、次いで『野沢温泉村』で27.6%（111人）、『山ノ内町』で22.5%（102人）の順となっている。一方、いずれの市町村も「Aに近い」が1割にも満たない。

図 「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（２）



問 19(3) 清潔な—不潔な

【中高地区全体】

- ・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A. 清潔な—B. 不潔な）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が68.4%（283人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が14.7%（61人）、「非常にBに近い」が5.6%（23人）の順となっている。
- ・「Aに近い」（「非常にAに近い」＋「ややAに近い」）が2.6%（11人）、「Bに近い」（「非常にBに近い」＋「ややBに近い」）が20.3%（84人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が約2割となっている。
- ・前回調査と比較すると、「Aに近い」が2.6ポイント（2.6-5.2）低くなっており、一方「Bに近い」が1.6ポイント（20.3-18.7）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が68.1%（275人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が16.3%（66人）、「非常にBに近い」が5.0%（20人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が1.9%（8人）、「Bに近い」が21.3%（86人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が2割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が71.1%（322人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が11.5%（52人）、「非常にBに近い」が5.1%（23人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が2.4%（11人）、「Bに近い」が16.6%（75人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が1割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が67.7%（289人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が14.5%（62人）、「非常にBに近い」が3.0%（13人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が3.5%（15人）、「Bに近い」が17.5%（75人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が1割以上となっている。

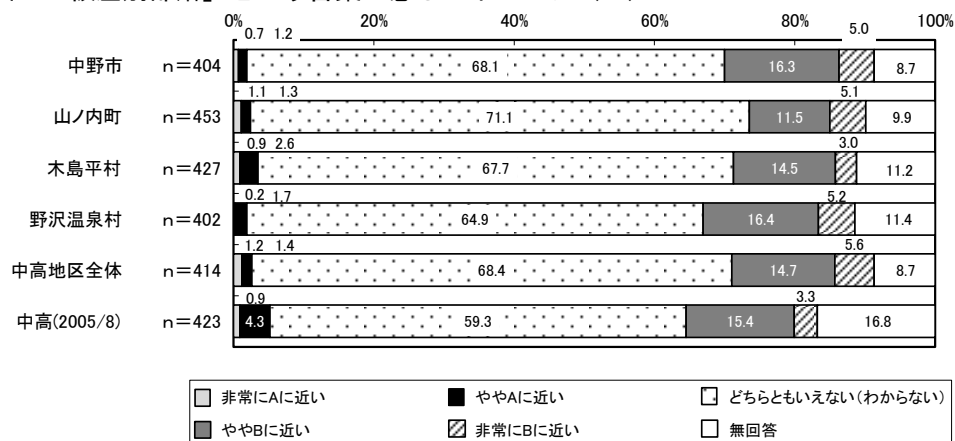
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が64.9%（261人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が16.4%（66人）、「非常にBに近い」が5.2%（21人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が1.9%（8人）、「Bに近い」が21.6%（87人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が2割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「Bに近い」が高くなっており、「Bに近い」が最も高いのは『野沢温泉村』で21.6%（87人）、次いで『中野市』で21.3%（86人）、『木島平村』で17.5%（75人）の順となっている。一方、いずれの市町村も「Aに近い」が1割にも満たない。

図 「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（3）



問19(4) 豊か—貧しい

【中高地区全体】

- ・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A. 豊か—B. 貧しい）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が51.0%（211人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が23.7%（98人）、「非常にBに近い」が14.7%（61人）の順となっている。
- ・「Aに近い」（「非常にAに近い」＋「ややAに近い」）が2.4%（10人）、「Bに近い」（「非常にBに近い」＋「ややBに近い」）が38.4%（159人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が3割以上となっている。
- ・前回調査と比較すると、「Aに近い」が5.8ポイント（2.4-8.2）低くなっており、一方「Bに近い」が9.1ポイント（38.4-29.3）高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が50.7%（205人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が24.8%（100人）、「非常にBに近い」が13.6%（55人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が2.9%（12人）、「Bに近い」が38.4%（155人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が3割以上となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が54.1%（245人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が22.3%（101人）、「非常にBに近い」が11.0%（50人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が3.8%（17人）、「Bに近い」が33.3%（151人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が3割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が53.9%（230人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が26.0%（111人）、「非常にBに近い」が7.0%（30人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が3.1%（13人）、「Bに近い」が33.0%（141人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が3割以上となっている。

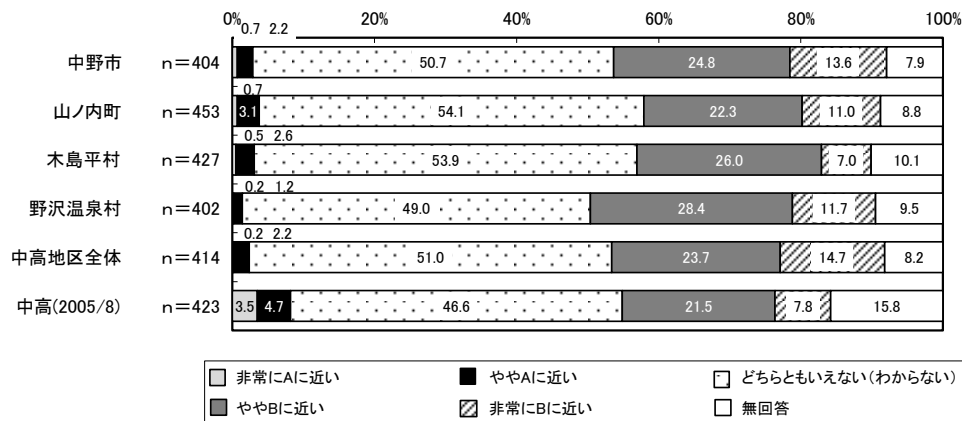
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が49.0%（197人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が28.4%（114人）、「非常にBに近い」が11.7%（47人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が1.4%（6人）、「Bに近い」が40.1%（161人）となっており、「Aに近い」が1割にも満たず、「Bに近い」が約4割となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も3割以上で「Bに近い」が高くなっており、「Bに近い」が最も高いのは『野沢温泉村』で40.1%（161人）、次いで『中野市』で38.4%（155人）、『山ノ内町』で33.3%（151人）の順となっている。一方、いずれの市町村も「Aに近い」が1割にも満たない。

図 「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（４）



問19(5) 働き者—なまけもの

【中高地区全体】

- ・「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ（A. 働き者—B. なまけもの）についてみると、「どちらともいえない（わからない）」が74.2%（307人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が10.6%（44人）、「非常にAに近い」が3.4%（14人）の順となっている。
- ・「Aに近い」（「非常にAに近い」＋「ややAに近い」）が14.0%（58人）、「Bに近い」（「非常にBに近い」＋「ややBに近い」）が4.3%（18人）となっており、「Aに近い」が1割以上、「Bに近い」が1割にも満たない。
- ・前回調査と比較すると、「Aに近い」が3.2ポイント（14.0-17.2）低くなっており、一方「Bに近い」も0.9ポイント（4.3-5.2）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「どちらともいえない（わからない）」が72.8%（294人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が12.1%（49人）、「非常にAに近い」が4.2%（17人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が16.3%（66人）、「Bに近い」が3.7%（15人）となっており、「Aに近い」が1割以上、「Bに近い」が1割にも満たない。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「どちらともいえない（わからない）」が74.2%（336人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が7.9%（36人）、「非常にAに近い」が4.6%（21人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が12.5%（57人）、「Bに近い」が4.6%（21人）となっており、「Aに近い」が1割以上、「Bに近い」が1割にも満たない。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「どちらともいえない（わからない）」が70.5%（301人）で最も高く、次いで「ややAに近い」が11.2%（48人）、「ややBに近い」が4.2%（18人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が14.5%（62人）、「Bに近い」が5.1%（22人）となっており、「Aに近い」が1割以上、「Bに近い」が1割にも満たない。

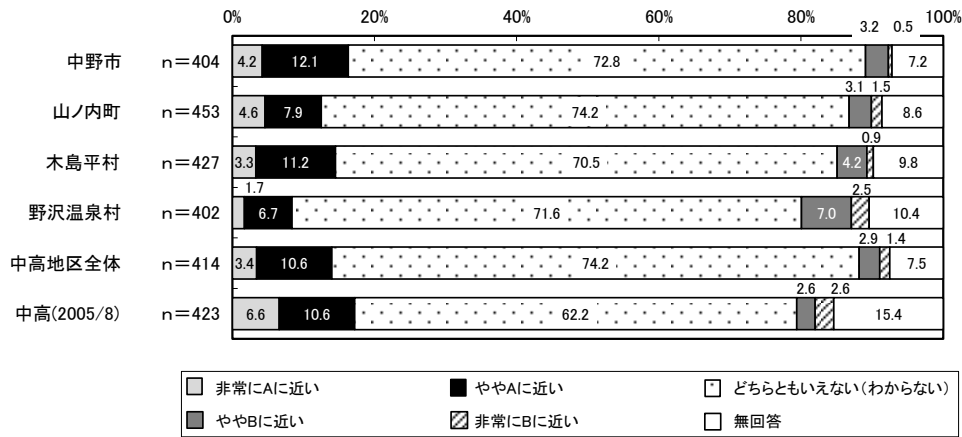
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「どちらともいえない（わからない）」が71.6%（288人）で最も高く、次いで「ややBに近い」が7.0%（28人）、「ややAに近い」が6.7%（27人）の順となっている。
- ・「Aに近い」が8.4%（34人）、「Bに近い」が9.5%（38人）となっており、いずれも1割にも満たない。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』『木島平村』が「Aに近い」、『野沢温泉村』が「Bに近い」が高くなっており、「Aに近い」が最も高いのは『中野市』で16.3%（66人）、次いで『木島平村』で14.5%（62人）、『山ノ内町』で12.5%（57人）の順となっている。一方、いずれの市町村も「Bに近い」が1割にも満たない。

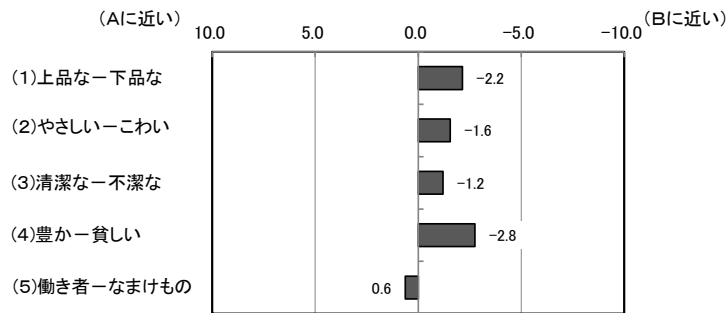
図 「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ (5)



【設問間比較】

・“Aに近い”について「働き者—なまけもの」が0.6となっている。一方“Bに近い”について「豊か—貧しい」がマイナス2.8と最も高く、次いで「上品な—下品な」がマイナス2.2、「やさしい—こわい」がマイナス1.6の順となっている。

図 「被差別部落」という言葉の感じ・イメージ (設問間比較)



<比較の方法>

設問間比較はそれぞれの選択肢に下記のような重みを与えて回答数との加重平均値を出し比較した

- ・非常にAに近い 10点
- ・非常にBに近い -10点
- ・ややAに近い 5点
- ・ややBに近い -5点
- ・どちらともいえない(わからない) 0点

問20 学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか。(○は1つ)

1. 差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)
2. 気づかなかつたふりをする(と思う)
3. 表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)
4. その他(具体的に:)

【中高地区全体】

・「同和地区」の人に対する差別的な発言があった時の対応についてみると、「気づかなかつたふりをする(と思う)」が40.8%(169人)、次いで「差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)」が37.7%(156人)、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)」が5.8%(24人)の順となっている。

・前回調査と比較すると、「差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)」が3.2ポイント(37.7-34.5)高くなっており、一方「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)」が0.6ポイント(5.8-6.4)低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「気づかなかつたふりをする(と思う)」が43.1%(174人)、次いで「差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)」が35.9%(145人)、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)」が4.2%(17人)の順となっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「気づかなかったふりをする（と思う）」が43.9%（199人）、次いで「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が36.2%（164人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が5.3%（24人）の順となっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が41.2%（176人）、次いで「気づかなかったふりをする（と思う）」が40.3%（172人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が2.8%（12人）の順となっている。

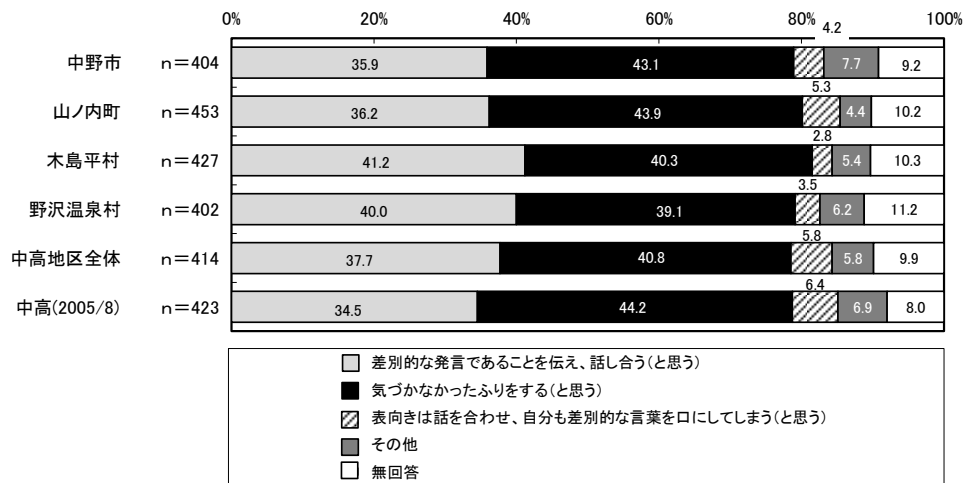
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が40.0%（161人）、次いで「気づかなかったふりをする（と思う）」が39.1%（157人）、「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」が3.5%（14人）の順となっている。

【市町村比較】

・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』が「気づかなかったふりをする（と思う）」、『木島平村』『野沢温泉村』が「差別的な発言であることを伝え、話し合う（と思う）」が高くなっており、「気づかなかったふりをする（と思う）」が最も高いのは『山ノ内町』で43.9%（199人）、次いで『中野市』で43.1%（174人）、『木島平村』で40.3%（172人）の順となっている。一方「表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」がいずれの市町村も1割にも満たない。

図 「同和地区」の人に対する差別的な発言があった時の対応



問21 現在、同和地区の人たちは結婚する際に、同和地区出身であることを理由に反対されることがあると思いますか。（○は1つ）

1. しばしば反対されることがある	} 問21-1, 21-2へお進み下さい
2. たまに反対されることがある	
3. 反対されることはない	} 問22へお進み下さい
4. わからない	

【中高地区全体】

・同和地区出身者を理由とした結婚への反対者の存在についてみると、「わからない」が35.7%（148人）で最も高く、次いで「たまに反対されることがある」が33.6%（139人）、「しばしば反対されることがある」が17.1%（71人）の順となっている。

・“反対される”（「しばしば反対されることがある」+「たまに反対されることがある」）が50.7%（210人）、「反対されることはない」が9.9%（41人）となっており、“反対される”が約5割、「反対されることはない」が約1割となっている。

・前回調査と比較すると、“反対される”が0.1ポイント（50.7-50.6）高くなっており、一方「反対されることはない」はいずれの調査も9.9%と横ばいとなっている。

【中野市】

・中野市においては、「わからない」が36.1%（146人）で最も高く、次いで「たまに反対されることがある」が32.4%（131人）、「しばしば反対されることがある」が16.3%（66人）の順となっている。

- ・“反対される”が48.7%（197人）、「反対されることはない」が10.1%（41人）となっており、“反対される”が4割以上、「反対されることはない」が約1割となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「わからない」が41.1%（186人）で最も高く、次いで「たまに反対されることがある」が26.7%（121人）、「しばしば反対されることがある」が15.9%（72人）の順となっている。
- ・“反対される”が42.6%（193人）、「反対されることはない」が11.9%（54人）となっており、“反対される”が4割以上、「反対されることはない」が1割以上となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「わからない」が33.3%（142人）で最も高く、次いで「たまに反対されることがある」が27.9%（119人）、「しばしば反対されることがある」が19.0%（81人）の順となっている。
- ・“反対される”が46.9%（200人）、「反対されることはない」が14.5%（62人）となっており、“反対される”が4割以上、「反対されることはない」が1割以上となっている。

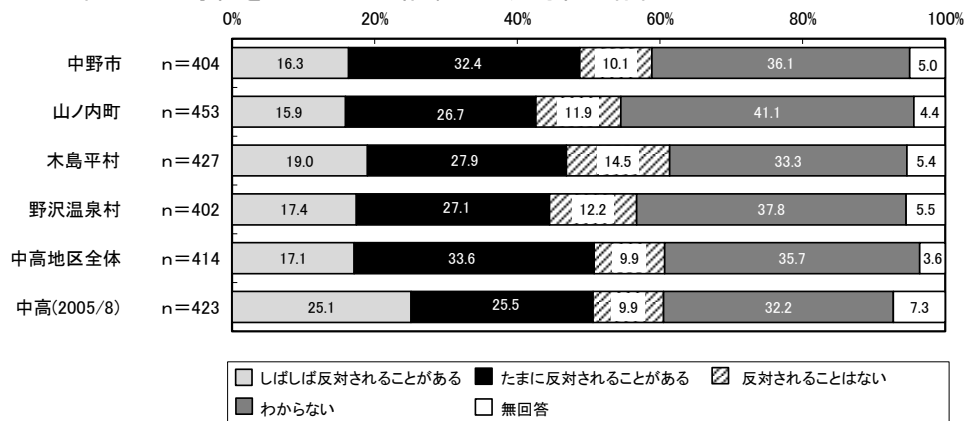
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「わからない」が37.8%（152人）で最も高く、次いで「たまに反対されることがある」が27.1%（109人）、「しばしば反対されることがある」が17.4%（70人）の順となっている。
- ・“反対される”が44.5%（179人）、「反対されることはない」が12.2%（49人）となっており、“反対される”が4割以上、「反対されることはない」が1割以上となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も4割以上で“反対される”が高くなっており、“反対される”が最も高いのは『中野市』で48.7%（197人）、次いで『木島平村』で46.9%（200人）、『野沢温泉村』で44.5%（179人）の順となっている。一方、いずれの市町村も「反対されることはない」が1割以上となっている。

図 同和地区出身者を理由とした結婚への反対者の存在



問21で「1」または「2」を選ばれた方にお尋ねします。

問21-1 では、なぜ反対する人がいると思いますか。（〇はいくつでも）

1. 部落の人に対して差別意識を持っているから
2. 親戚から反対されるから
3. 世間の人から批判的に見られるから
4. 自分たちも部落出身だと思われ差別を受けるかもしれないから
5. わからない
6. その他（具体的に： _____）

【中高地区全体】

- ・結婚への反対者がいる理由についてみると、「部落の人に対して差別意識を持っているから」が49.5%（104人）で最も高く、次いで「親戚から反対されるから」が45.2%（95人）、「世間の人から批判的に見られるから」が39.0%（82人）の順となっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「親戚から反対されるから」が54.8%（108人）で最も高く、次いで「部落の人

に対して差別意識を持っているから」が 45.7% (90 人)、「世間の人から批判的に見られるから」が 42.6% (84 人) の順となっている。

【山ノ内町】

- 山ノ内町においては、「部落の人に対して差別意識を持っているから」が 45.6% (88 人) で最も高く、次いで「親戚から反対されるから」が 44.6% (86 人)、「世間の人から批判的に見られるから」が 43.5% (84 人) の順となっている。

【木島平村】

- 木島平村においては、「部落の人に対して差別意識を持っているから」が 56.5% (113 人) で最も高く、次いで「親戚から反対されるから」が 43.5% (87 人)、「世間の人から批判的に見られるから」が 34.5% (69 人) の順となっている。

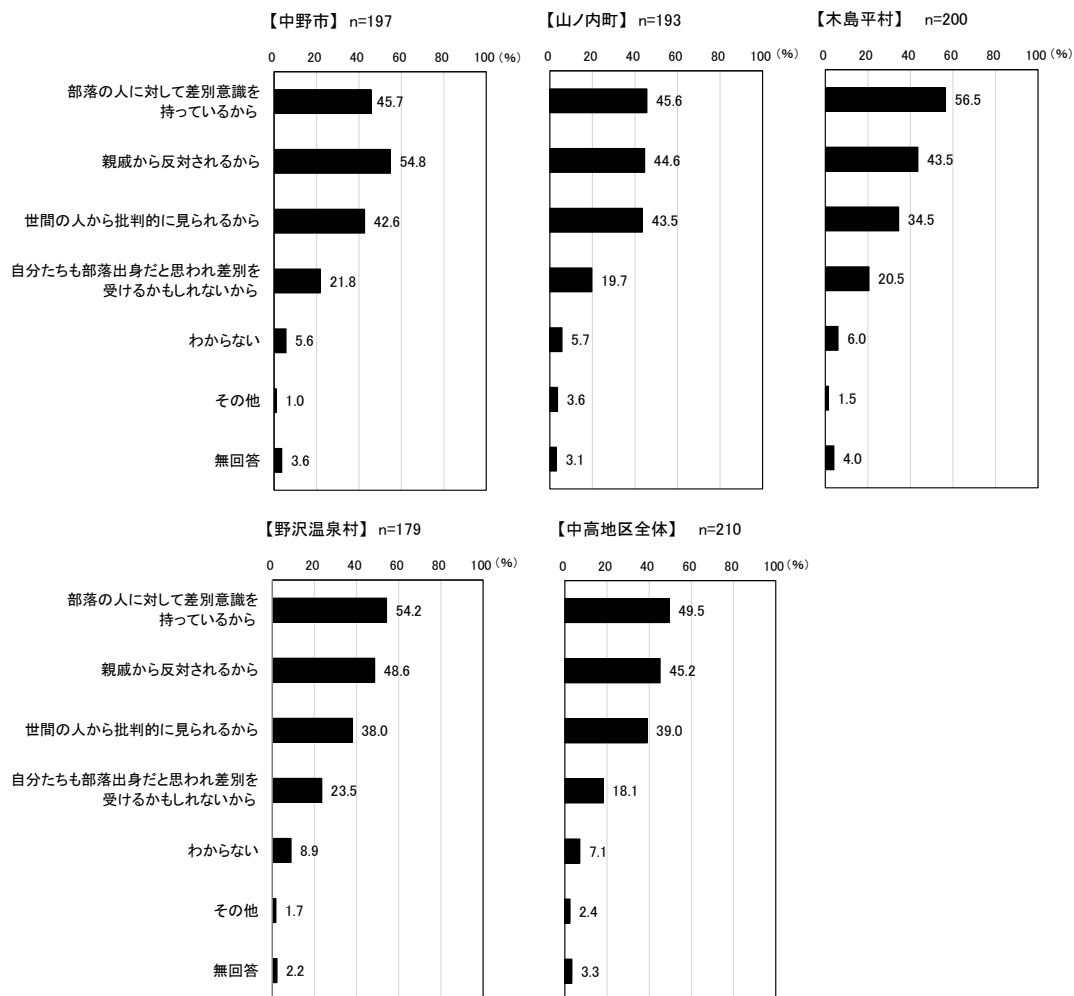
【野沢温泉村】

- 野沢温泉村においては、「部落の人に対して差別意識を持っているから」が 54.2% (97 人) で最も高く、次いで「親戚から反対されるから」が 48.6% (87 人)、「世間の人から批判的に見られるから」が 38.0% (68 人) の順となっている。

【市町村比較】

- 4 市町村を比較すると、『中野市』が「親戚から反対されるから」、『山ノ内町』『木島平村』『野沢温泉村』が「部落の人に対して差別意識を持っているから」が高くなっており、「親戚から反対されるから」が最も高いのは『中野市』で 54.8% (108 人)、次いで『野沢温泉村』で 48.6% (87 人)、『山ノ内町』で 44.6% (86 人) の順となっている。また「部落の人に対して差別意識を持っているから」が最も高いのは『木島平村』で 56.5% (113 人)、次いで『野沢温泉村』で 54.2% (97 人)、『中野市』で 45.7% (90 人) の順となっている。

図 結婚への反対者がいる理由



問 21-2 それは、将来なくすことが出来ると思いますか。(○は1つ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 完全になくすことが出来る2. かなりなくすことが出来る3. なくすことは難しい |
|--|

【中高地区全体】

- ・結婚への反対者を将来なくすことについてみると、「かなりなくすことが出来る」が51.9% (109人)で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が27.6% (58人)、「完全になくすことが出来る」が13.3% (28人)の順となっている。
- ・“なくすことが出来る”(「完全になくすことが出来る」+「かなりなくすことが出来る」)が65.2% (137人)、「なくすことは難しい」が27.6% (58人)となっており、“なくすことが出来る”が「なくすことは難しい」に比べ約2.3倍で、その差は37.6ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“なくすことが出来る”が1.6ポイント(65.2-66.8)低くなっており、一方「なくすことは難しい」も3.2ポイント(27.6-30.8)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「かなりなくすことが出来る」が50.3% (99人)で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が32.0% (63人)、「完全になくすことが出来る」が12.2% (24人)の順となっている。
- ・“なくすことが出来る”が62.5% (123人)、「なくすことは難しい」が32.0% (63人)となっており、“なくすことが出来る”が「なくすことは難しい」に比べ約1.9倍で、その差は30.5ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「かなりなくすことが出来る」が48.2% (93人)で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が34.7% (67人)、「完全になくすことが出来る」が10.4% (20人)の順となっている。
- ・“なくすことが出来る”が58.6% (113人)、「なくすことは難しい」が34.7% (67人)となっており、“なくすことが出来る”が「なくすことは難しい」に比べ約1.6倍で、その差は23.9ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「かなりなくすことが出来る」が58.0% (116人)で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が29.5% (59人)、「完全になくすことが出来る」が9.5% (19人)の順となっている。
- ・“なくすことが出来る”が67.5% (135人)、「なくすことは難しい」が29.5% (59人)となっており、“なくすことが出来る”が「なくすことは難しい」に比べ約2.2倍で、その差は38.0ポイントとなっている。

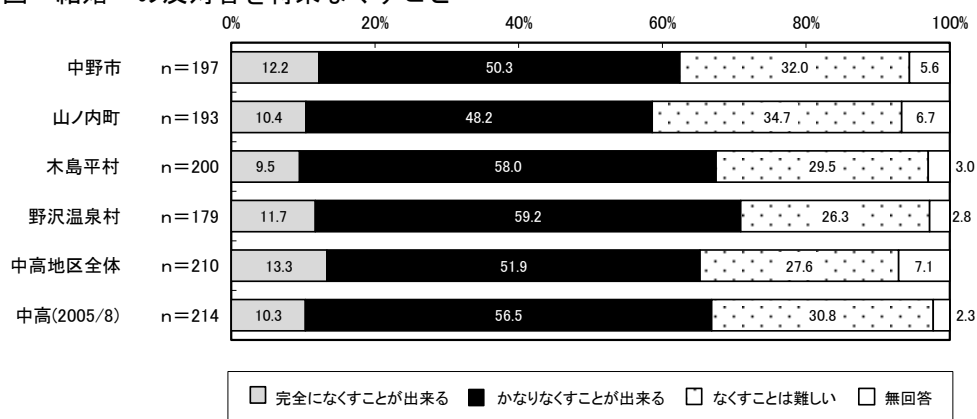
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「かなりなくすことが出来る」が59.2% (106人)で最も高く、次いで「なくすことは難しい」が26.3% (47人)、「完全になくすことが出来る」が11.7% (21人)の順となっている。
- ・“なくすことが出来る”が70.9% (127人)、「なくすことは難しい」が26.3% (47人)となっており、“なくすことが出来る”が「なくすことは難しい」に比べ約2.6倍で、その差は44.6ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“なくすことが出来る”が高くなっており、“なくすことが出来る”が最も高いのは『野沢温泉村』で70.9% (127人)、次いで『木島平村』で67.5% (135人)、『中野市』で62.5% (123人)の順となっている。一方、「なくすことは難しい」が最も高いのは『山ノ内町』で34.7% (67人)、次いで『中野市』で32.0% (63人)、『木島平村』で29.5% (59人)の順となっている。

図 結婚への反対者を将来なくすこと



全ての方にお尋ねします。

問 22 あなたは、「同和地区の人はこわい」というような話を聞いたことがありますか。
(○は1つ)

1. ある → 問 22-1, 22-2 へお進みください 2. ない → 問 23 へお進みください

【中高地区全体】

- ・「同和地区の人はこわい」という話を聞いたことの有無についてみると、「ない」が 65.7% (272 人)、「ある」が 28.0% (116 人) となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ない」が 6.4 ポイント (65.7-59.3) 高くなっており、一方「ある」が 6.0 ポイント (28.0-34.0) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「ない」が 61.6% (249 人)、「ある」が 32.2% (130 人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約 1.9 倍で、その差は 29.4 ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「ない」が 72.0% (326 人)、「ある」が 19.9% (90 人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約 3.6 倍で、その差は 52.1 ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「ない」が 76.3% (326 人)、「ある」が 18.0% (77 人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約 4.2 倍で、その差は 58.3 ポイントとなっている。

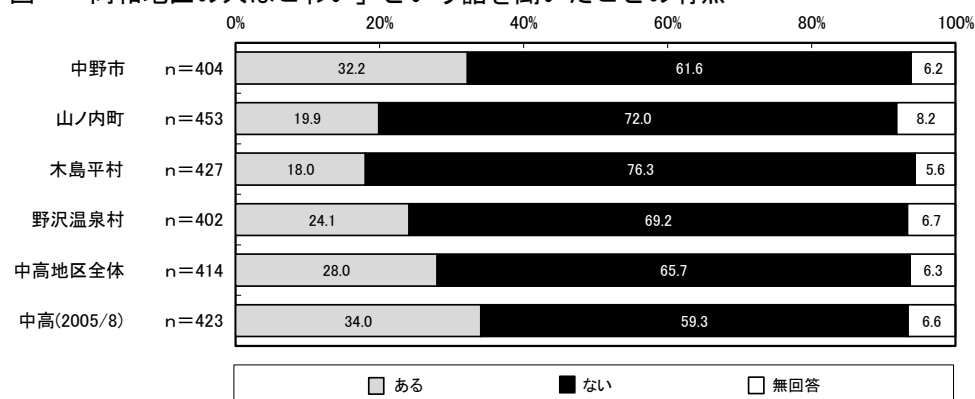
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「ない」が 69.2% (278 人)、「ある」が 24.1% (97 人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約 2.8 倍で、その差は 45.1 ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も「ない」が高くなっており、「ない」が最も高いのは『木島平村』で 76.3% (326 人)、次いで『山ノ内町』で 72.0% (326 人)、『野沢温泉村』で 69.2% (278 人) の順となっている。一方、「ある」が最も高いのは『中野市』で 32.2% (130 人)、次いで『野沢温泉村』で 24.1% (97 人)、『山ノ内町』で 19.9% (90 人) の順となっている。

図 「同和地区の人はこわい」という話を聞いたことの有無



問22で「1. ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 22-1 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何からですか。

(〇はいくつでも)

1. 家族	6. 学校の先生
2. 親戚	7. 県や市町村の職員
3. 近所の人	8. 知らない人
4. 友人	9. その他(具体的に:)
5. 職場の人	

【中高地区全体】

- ・同和問題について初めて知ったきっかけについてみると、「家族」が42.2% (49人)、次いで「学校の先生」が25.0% (29人)、「近所の人」が20.7% (24人)の順となっている。
- ・前回調査と比較すると、増加率が最も高いのは「学校の先生」で22.9ポイント(25.0-2.1)高くなっており、一方減少率が最も高いのは「近所の人」で11.9ポイント(20.7-32.6)低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「家族」が48.5% (63人)、次いで「学校の先生」が26.2% (34人)、「友人」が20.0% (26人)の順となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「家族」が37.8% (34人)、次いで「近所の人」が31.1% (28人)、「学校の先生」が20.0% (18人)の順となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「友人」が27.3% (21人)、次いで「家族」「職場の人」が同率で26.0% (20人)、「近所の人」が24.7% (19人)の順となっている。

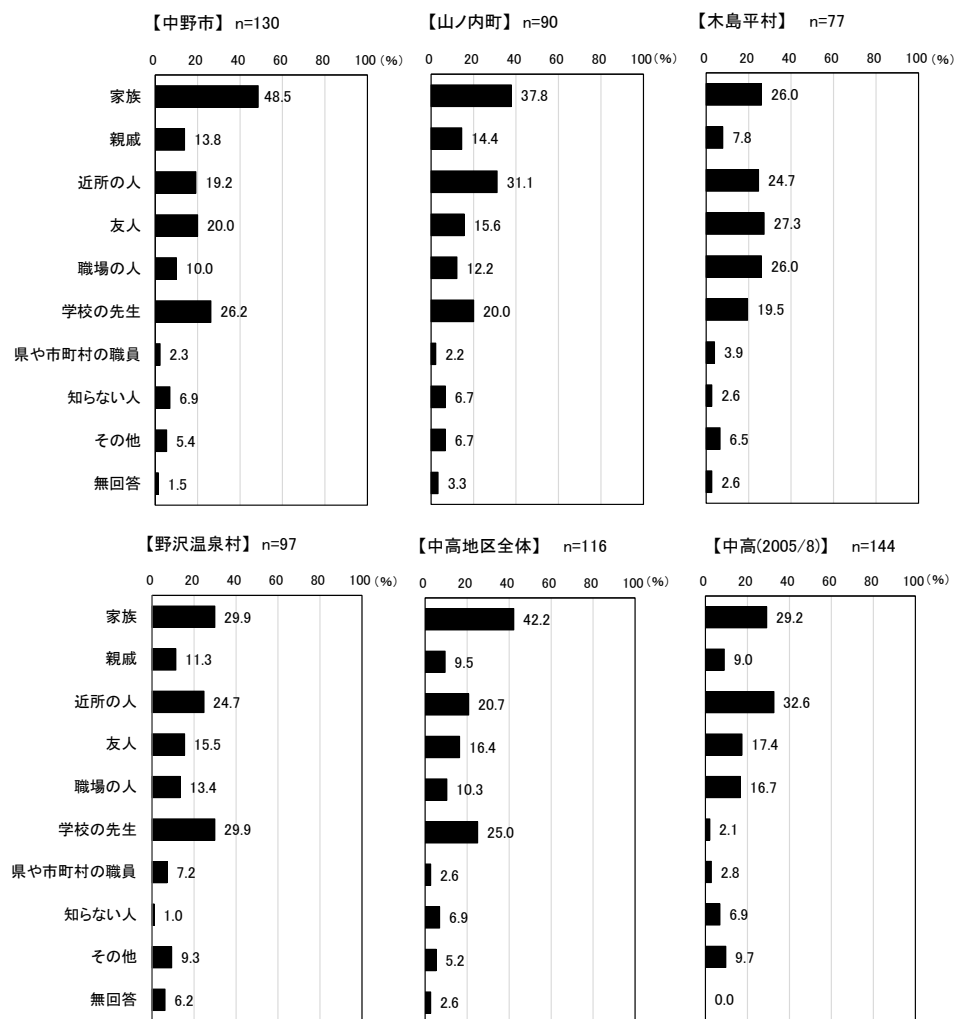
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「家族」「学校の先生」が同率で29.9% (29人)、次いで「近所の人」が24.7% (24人)、「友人」が15.5% (15人)の順となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『山ノ内町』が「家族」、『木島平村』が「友人」、『野沢温泉村』が同率で「家族」「学校の先生」が高くなっており、「家族」が最も高いのは『中野市』で48.5% (63人)、次いで『山ノ内町』で37.8% (34人)、『野沢温泉村』で29.9% (29人)の順となっている。また「友人」が最も高いのは『木島平村』で27.3% (21人)、次いで『中野市』で20.0% (26人)、『山ノ内町』で15.6% (14人)、「学校の先生」が最も高いのは『野沢温泉村』で29.9% (29人)、次いで『中野市』で26.2% (34人)、『山ノ内町』で20.0% (18人)の順となっている。

図 同和問題について初めて知ったきっかけ



問 22-2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(○は1つ)

1. その通りと思った
2. そういう見方もあると思った
3. 反発・疑問を感じた
4. 特に何も思わなかった

【中高地区全体】

- ・話を聞いた時の感想についてみると、「そういう見方もあると思った」が51.7% (60人) で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が19.0% (22人)、「特に何も思わなかった」が16.4% (19人) の順となっている。
- ・“その通りである”(「その通りと思った」+「そういう見方もあると思った」) が59.5% (69人)、「反発・疑問を感じた」が19.0% (22人) となっており、“その通りである”が「反発・疑問を感じた」に比べ約3.1倍で、その差は40.5ポイントとなっている。
- ・前回調査と比較すると、“その通りである”が5.7ポイント(59.5-65.2) 低くなっており、一方「反発・疑問を感じた」が5.1ポイント(19.0-13.9) 高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「そういう見方もあると思った」が53.8% (70人) で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が18.5% (24人)、「特に何も思わなかった」が13.1% (17人) の順となっている。
- ・“その通りである”が62.3% (81人)、「反発・疑問を感じた」が18.5% (24人) となっており、“その通りである”が「反発・疑問を感じた」に比べ約3.3倍で、その差は43.8ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「そういう見方もあると思った」が44.4% (40人) で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が31.1% (28人)、「特に何も思わなかった」が13.3% (12人) の順となって

いる。

- ・“その通りである”が52.2% (47人)、「反発・疑問を感じた」が31.1% (28人)となっており、“その通りである”が「反発・疑問を感じた」に比べ約1.6倍で、その差は21.1ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「そういう見方もあると思った」が37.7% (29人) で最も高く、次いで「特に何も思わなかった」が23.4% (18人)、「反発・疑問を感じた」が22.1% (17人) の順となっている。

- ・“その通りである”が44.2% (34人)、「反発・疑問を感じた」が22.1% (17人)となっており、“その通りである”が「反発・疑問を感じた」に比べ2倍で、その差は22.1ポイントとなっている。

【野沢温泉村】

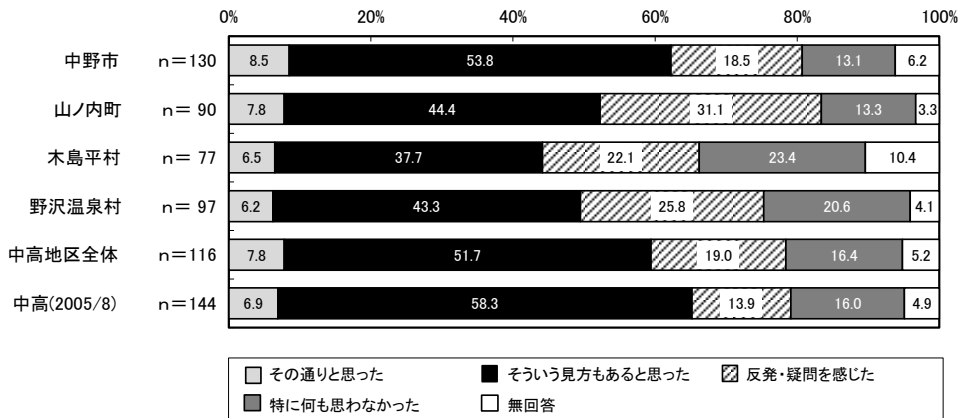
- ・野沢温泉村においては、「そういう見方もあると思った」が43.3% (42人) で最も高く、次いで「反発・疑問を感じた」が25.8% (25人)、「特に何も思わなかった」が20.6% (20人) の順となっている。

- ・“その通りである”が49.5% (48人)、「反発・疑問を感じた」が25.8% (25人)となっており、“その通りである”が「反発・疑問を感じた」に比べ約1.9倍で、その差は23.7ポイントとなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も“その通りである”が高くなっており、“その通りである”が最も高いのは『中野市』で62.3% (81人)、次いで『山ノ内町』で52.2% (47人)、『野沢温泉村』で49.5% (48人) の順となっている。一方、「反発・疑問を感じた」が最も高いのは『山ノ内町』で31.1% (28人)、次いで『野沢温泉村』で25.8% (25人)、『木島平村』で22.1% (17人) の順となっている。

図 話を聞いた時の感想



全ての方にお尋ねします。

問23 あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあたりたりしたことを聞いたことがありますか。(○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

【中高地区全体】

- ・同和地区の人との結婚でもめたり、反対されたことについてみると、「ない」が66.2% (274人)、「ある」が29.0% (120人) となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ない」が3.6ポイント (66.2-62.6) 高くなっており、一方「ある」が3.9ポイント (29.0-32.9) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「ない」が64.4% (260人)、「ある」が29.5% (119人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約2.1倍で、その差は34.9ポイントとなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「ない」が75.5% (342人)、「ある」が20.5% (93人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約3.6倍で、その差は55.0ポイントとなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「ない」が75.6% (323人)、「ある」が19.7% (84人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約3.8倍で、その差は55.9ポイントとなっている。

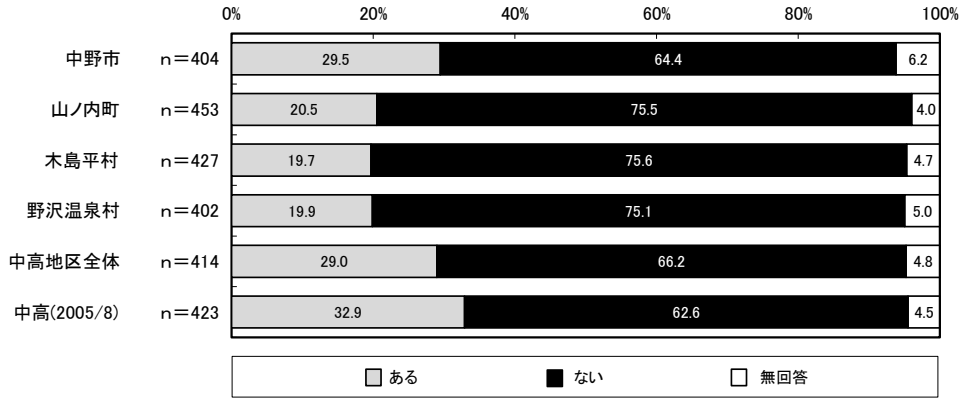
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「ない」が75.1% (302人)、「ある」が19.9% (80人) となっており、「ない」が「ある」に比べ約3.7倍で、その差は55.2ポイントとなっている。

【市町村比較】

・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「ない」が高くなっており、「ない」が最も高いのは『木島平村』で75.6% (323人)、次いで『山ノ内町』で75.5% (342人)、『野沢温泉村』で75.1% (302人) の順となっている。一方、「ある」が最も高いのは『中野市』で29.5% (119人)、次いで『山ノ内町』で20.5% (93人)、『野沢温泉村』で19.9% (80人) の順となっている。

図 同和地区の人との結婚でもめたり、反対されたこと



問 24 あなたは、同和地区の人との付き合いはありますか。(○は1つ)

1. ある	→ 問 24-1 へお進み下さい
2. ない	} 問 25 へお進み下さい
3. わからない	

【中高地区全体】

・同和地区居住者との付き合いの有無についてみると、「ない」が31.4% (130人) と最も高く、次いで「ある」が31.2% (129人)、「わからない」が30.2% (125人) の順となっている。
 ・前回調査と比較すると、「ない」が20.4ポイント (31.4-51.8) 低くなっており、一方「ある」も7.6ポイント (31.2-38.8) 低くなっている。

【中野市】

・中野市においては、「ない」が31.9% (129人) と最も高く、次いで「ある」「わからない」が同率で29.7% (120人) となっており、「ない」が「ある」に比べ2.2ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

・山ノ内町においては、「ない」が36.6% (166人)、次いで「わからない」が34.9% (158人)、「ある」が23.6% (107人) の順となっており、「ない」が「ある」に比べ13.0ポイント高くなっている。

【木島平村】

・木島平村においては、「ない」が35.4% (151人)、次いで「わからない」が30.7% (131人)、「ある」が28.3% (121人) の順となっており、「ない」が「ある」に比べ7.1ポイント高くなっている。

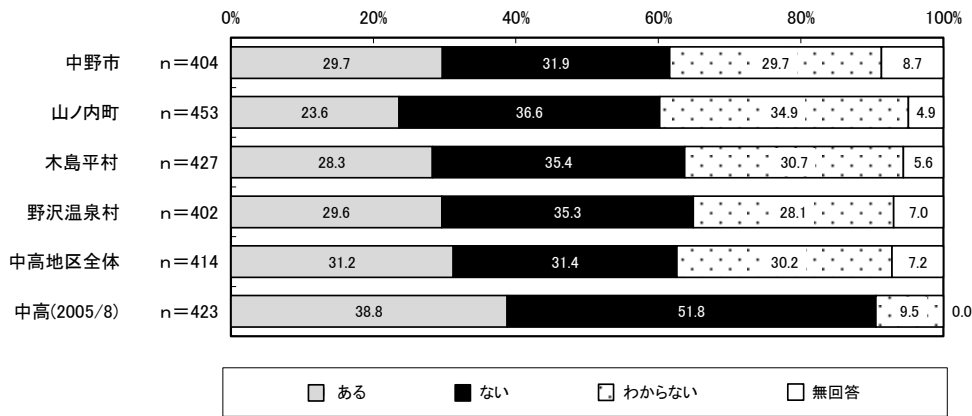
【野沢温泉村】

・野沢温泉村においては、「ない」が35.3% (142人)、次いで「ある」が29.6% (119人)、「わからない」が28.1% (113人) の順となっており、「ない」が「ある」に比べ5.7ポイント高くなっている。

【市町村比較】

・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「ない」が高くなっており、「ない」が最も高いのは『山ノ内町』で36.6% (166人)、次いで『木島平村』で35.4% (151人)、『野沢温泉村』で35.3% (142人) の順となっている。一方、「ある」が最も高いのは『中野市』で29.7% (120人)、次いで『野沢温泉村』で29.6% (119人)、『木島平村』で28.3% (121人) の順となっている。

図 同和地区居住者との付き合いの有無



問24で「1. ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 24-1 それは、どの程度のお付き合いでしょうか。(〇はいくつでも)

1. 近所付き合いをしている
2. 自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている
3. 福祉や教育のことなどで地域の取組を一緒にしている
4. 同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある
5. 民謡や踊り、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習会などで一緒に習っている
6. 盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている
7. 学校時代から付き合いしている友人である
8. その他（具体的に： _____)

【中高地区全体】

- ・ 付き合いの具体的内容についてみると、「近所付き合いをしている」が33.3% (43人)、次いで「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が32.6% (42人)、「学校時代から付き合いしている友人である」が20.9% (27人) の順となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、増加率が最も高いのは「近所付き合いをしている」で10.1ポイント (33.3-23.2) 高くなっており、一方減少率が最も高いのは「民謡や踊り、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習会などで一緒に習っている」で7.8ポイント (6.2-14.0) 低くなっている。

【中野市】

- ・ 中野市においては、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が31.7% (38人)、次いで「近所付き合いをしている」が29.2% (35人)、「学校時代から付き合いしている友人である」が26.7% (32人) の順となっている。

【山ノ内町】

- ・ 山ノ内町においては、「近所付き合いをしている」が39.3% (42人)、次いで「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が35.5% (38人)、「自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている」が25.2% (27人) の順となっている。

【木島平村】

- ・ 木島平村においては、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が33.1% (40人)、次いで「近所付き合いをしている」が26.4% (32人)、「自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている」が24.0% (29人) の順となっている。

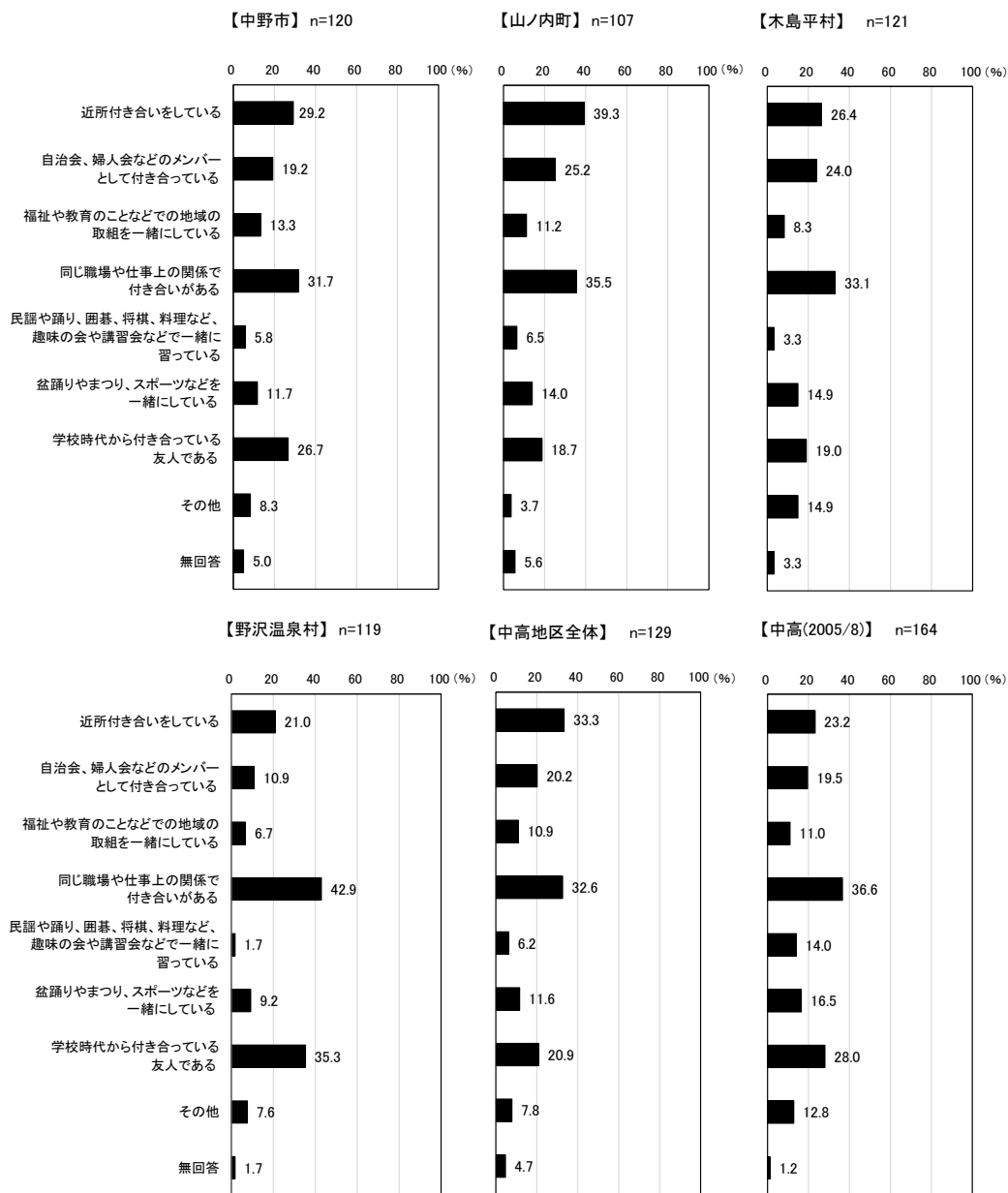
【野沢温泉村】

- ・ 野沢温泉村においては、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が42.9% (51人)、次いで「学校時代から付き合いしている友人である」が35.3% (42人)、「近所付き合いをしている」が21.0% (25人) の順となっている。

【市町村比較】

- ・ 4市町村を比較すると、『中野市』『木島平村』『野沢温泉村』が「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」、『山ノ内町』が「近所付き合いをしている」が高くなっており、「同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある」が最も高いのは『野沢温泉村』で42.9% (51人)、次いで『山ノ内町』で35.5% (38人)、『木島平村』で33.1% (40人) の順となっている。また「近所付き合いをしている」が最も高いのは、『山ノ内町』で39.3% (42人)、次いで『中野市』で29.2% (35人)、『木島平村』で26.4% (32人) の順となっている。

図 付き合いの具体的内容



F. あなた自身のことについて

全ての方にお尋ねします。

問25 あなた自身のことについて、次の(1)～(4)のすべてについてお答えください。

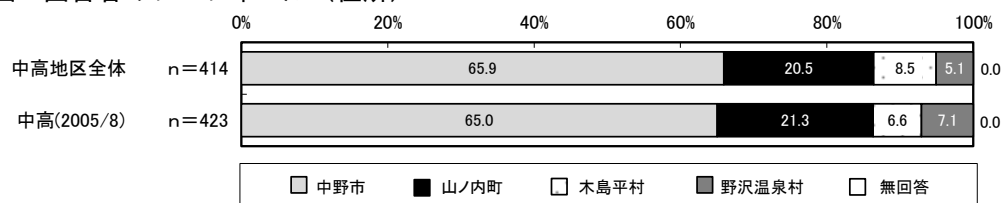
(1) あなたがお住まいの市町村はどこですか。(○は1つ)

1. 中野市	2. 山ノ内町	3. 木島平村	4. 野沢温泉村
--------	---------	---------	----------

【中高地区全体】

- ・住所についてみると、「中野市」が65.9% (273人)、次いで「山ノ内町」が20.5% (85人)、「木島平村」が8.5% (35人)、「野沢温泉村」が5.1% (21人)の構成となっている。
- ・前回調査と比較すると、いずれの市町村もほぼ同じ割合となっている。

図 回答者のプロフィール(住所)



(2) あなたの性別についてお答えください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

【中高地区全体】

- ・性別についてみると、「女性」が54.6% (226人)、「男性」が43.7% (181人)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「女性」が1.2ポイント(54.6-53.4)高くなっており、一方「男性」も0.4ポイント(43.7-43.3)高くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「女性」が55.7% (225人)、「男性」が42.8% (173人)となっており、「女性」が「男性」に比べ12.9ポイント高くなっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「女性」が55.8% (253人)、「男性」が41.9% (190人)となっており、「女性」が「男性」に比べ13.9ポイント高くなっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「女性」が52.7% (225人)、「男性」が43.3% (185人)となっており、「女性」が「男性」に比べ9.4ポイント高くなっている。

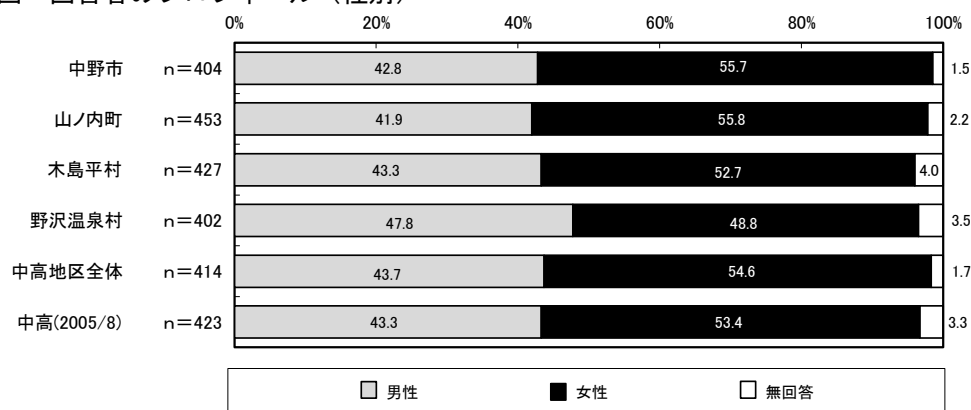
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「女性」が48.8% (196人)、「男性」が47.8% (192人)となっており、「女性」が「男性」に比べ1.0ポイント高くなっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、いずれの市町村も「女性」が高く、「女性」が最も高いのは『山ノ内町』で55.8% (253人)、次いで『中野市』で55.7% (225人)、『木島平村』で52.7% (225%)の順となっている。一方「男性」が最も高いのは『野沢温泉村』で47.8% (192人)、次いで『木島平村』で43.3% (185人)、『中野市』で42.8% (173人)の順となっている。

図 回答者のプロフィール（性別）



(3) あなたの年代についてお答えください。(○は1つ)

1. 18～19 歳	5. 50～59 歳
2. 20～29 歳	6. 60～69 歳
3. 30～39 歳	7. 70～79 歳
4. 40～49 歳	8. 80 歳以上

【中高地区全体】

- ・年齢についてみると、「60～69 歳」が 22.0% (91 人) が最も高く、次いで「70～79 歳」が 18.1% (75 人)、「50～59 歳」が 16.2% (67 人) となっている。
- ・前回調査と比較すると、増加率が最も高いのは「70～79 歳」で 5.3 ポイント (18.1-12.8) 高くなっており、一方減少率が最も高いのは「50～59 歳」で 4.8 ポイント (16.2-21.0) 低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「60～69 歳」が 23.0% (93 人) が最も高く、次いで「70～79 歳」が 17.3% (70 人)、「40～49 歳」が 15.8% (64 人) となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「60～69 歳」が 20.8% (94 人) が最も高く、次いで「70～79 歳」が 17.9% (81 人)、「50～59 歳」が 17.0% (77 人) となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「60～69 歳」が 23.4% (100 人) が最も高く、次いで「50～59 歳」が 17.3% (74 人)、「70～79 歳」が 17.1% (73 人) となっている。

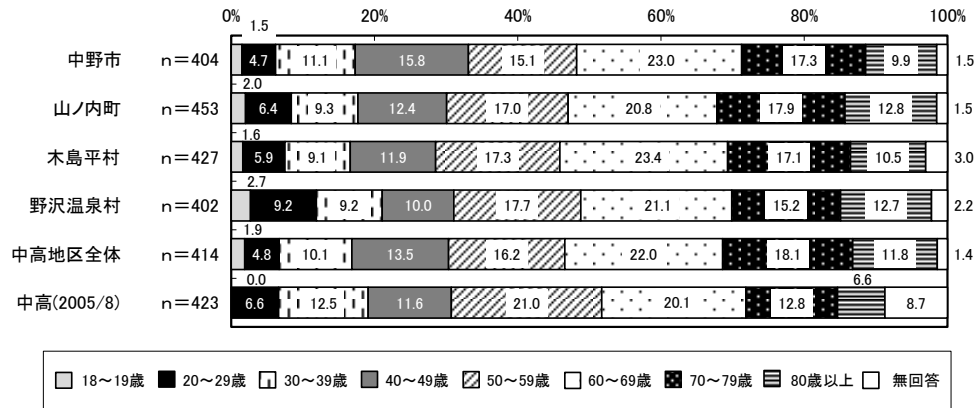
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「60～69 歳」が 21.1% (85 人) が最も高く、次いで「50～59 歳」が 17.7% (71 人)、「70～79 歳」が 15.2% (61 人) となっている。

【市町村比較】

- ・4 市町村を比較すると、いずれの市町村も「60～69 歳」が高く、「60～69 歳」が最も高いのは『木島平村』で 23.4% (100 人)、次いで『中野市』で 23.0% (93 人)、『野沢温泉村』で 21.1% (85%) の順となっている。また「20～29 歳」が最も高いのは『野沢温泉村』で 9.2% (37 人)、次いで『山ノ内町』で 6.4% (29 人)、『木島平村』で 5.9% (25 人) の順となっている。

図 回答者のプロフィール（年齢）



(4) 現在、あなたはどのような仕事（主なもの）に就いておられますか。（○は1つ）

1. 農林業（家事従事者も含む）
2. 農林業以外の自営業（家事従事者も含む）
3. 自由業・専門職（開業医・弁護士・芸術家・学者など）
4. 商工サービス業（商店・飲食店の店員等）
5. 会社員（民間企業、各種団体など）
6. 公務員
7. 無職（家事専業・学生）
8. 失業中
9. その他（具体的に： _____）

【中高地区全体】

- ・職業についてみると、「無職（家事専業・学生）」が23.2%（96人）が最も高く、次いで「会社員（民間企業、各種団体など）」が22.7%（94人）、「農林業（家事従事者も含む）」が17.9%（74人）となっている。
- ・前回調査と比較すると、増加率が最も高いのは「農林業（家事従事者も含む）」で1.8ポイント（17.9-16.1）高くなっており、一方減少率が最も高いのは「農業以外の自営業（家事従事者も含む）」で2.3ポイント（5.3-7.6）低くなっている。

【中野市】

- ・中野市においては、「会社員（民間企業、各種団体など）」が24.8%（100人）が最も高く、次いで「無職（家事専業・学生）」が23.0%（93人）、「農林業（家事従事者も含む）」が17.3%（70人）となっている。

【山ノ内町】

- ・山ノ内町においては、「無職（家事専業・学生）」が25.4%（115人）が最も高く、次いで「会社員（民間企業、各種団体など）」が19.0%（86人）、「農林業（家事従事者も含む）」が16.8%（76人）となっている。

【木島平村】

- ・木島平村においては、「会社員（民間企業、各種団体など）」が22.7%（97人）が最も高く、次いで「農林業（家事従事者も含む）」が21.5%（92人）、「無職（家事専業・学生）」が20.4%（87人）となっている。

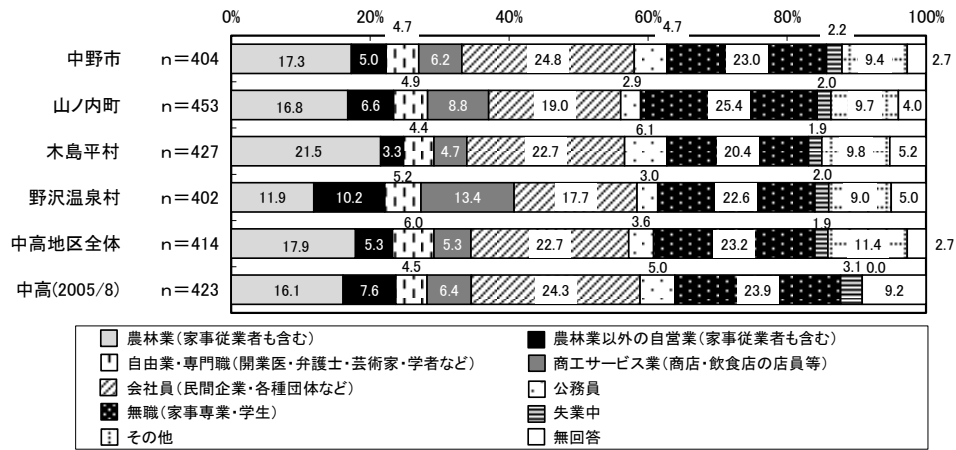
【野沢温泉村】

- ・野沢温泉村においては、「無職（家事専業・学生）」が22.6%（91人）が最も高く、次いで「会社員（民間企業、各種団体など）」が17.7%（71人）、「商工サービス業（商店・飲食店の店員等）」が13.4%（54人）となっている。

【市町村比較】

- ・4市町村を比較すると、『中野市』『木島平村』が「会社員（民間企業、各種団体など）」、『山ノ内町』『野沢温泉村』が「無職（家事専業・学生）」が高くなっており、「会社員（民間企業、各種団体など）」が最も高いのは『中野市』で24.8%（100人）、次いで『木島平村』で22.7%（97人）、『山ノ内町』で19.0%（86人）の順となっている。また「無職（家事専業・学生）」が最も高いのは『山ノ内町』で25.4%（115人）、次いで『中野市』で23.0%（93人）、『野沢温泉村』で22.6%（91人）の順となっている。

図 回答者のプロフィール（職業）



G. 自由意見

問26 人権問題や差別に関して、何でも結構ですのお聞かせください。

多くの自由意見が寄せられたが、それらの意見は回答者の年代（高齢の人々と若い人々）によって大きく二分されているように見うけられた。

具体的には、高齢の人々は人権問題や差別について昔はよくあったという体験からの意見が多くみられた。

一方、若い人々はこのような問題を正面から向きあって、社会問題として述べる意見や人間個人として自分の意見を述べる内容が多くみられた。

以下では、全体の意見の中から主要なものを項目別に抽出する。

(1) 差別や人権問題に対して正面から向きあった意見

[主な意見]

- ・人が人を差別する事は最低であると思います。お互いに思いやりを持って接し、自分事として考えてみる事が大切な事と思います。また差別された人も自信を持って他に訴えるのではなく、言った本人に言えるように心を強くして行ってほしいと思います。
- ・部落差別はいずれ無くなると思っています。人権問題は難しいと思います。人それぞれの性格があってぶつかり合うので、相手をどれだけ許せるかによって違ってくるので難しいと思います。
- ・今回の調査で久しぶりに改めて“差別”を考える機会をいただきました。最近、職業における男女差別の事が声高に云われる時代ですが、私達の周りにも沢山差別がある事を、もう一度自分なりに考えてみたいと思います。
- ・人権が尊重される社会になるためにも、1人1人の意識が日々の生活の中で、現象にしっかり目を向けていく事が大切と考えます。
- ・人が生まれ持った権利は誰でも同じものだと思います。
- ・「人権」とは人間が人間らしく生きるために、必要な権利だったり人間としての自由であったり、日々の生活を支えるとても身近で大切なものであるが、実際は想像以上の厳しい現実があることを感じます。大人の偏見、社会の偏見が差別を生んでしまっていることを感じることで人として生きづらさを感じることもあります。どんな人でも意思を持って生きています。もっと一人一人が守られる社会になって欲しいと願っています。
- ・同和地区、同和地区でない人、色々な考えを持って生活しています。しかし、少なくとも同和地区である方々の過去の歴史は、忘れることなどできない。はかり知ることができない程の深い、つらく、悲しい出来事が繰り返されてきたことは事実だと思います。

(2) 話題にしなればなくなっていくという「寝た子を起こすな論」の意見

[主な意見]

- ・部落差別の会談も少なくなってきた、この問題では少し皆も忘れてきている様な気がします。皆、社会も気持ちが薄れていけば良いと思います。
- ・部落差別があるというのは、小学校の頃授業でお年寄りから聞き、授業をしなければ私は知ることにはなかった。いつまでも部落と口にしてるのは老人ではないだろうか。
- ・同和問題については、学校で教えなければ良いのでは？私も学校の授業で知り、授業でやらなければ同和問題も知る事はなかったと思う。
- ・あまり問題にしない方が良いと思います。行政に対しても逆差別のような所もみられます。
- ・今でもまだ部落同和差別している方が多いのでしょうか？私は子供の頃ずいぶん聞かされましたが、今は何も思いません。
- ・差別や部落問題が無くなることはないけれど、昔と比べれば部落問題の話は耳にしなくなった気がします。良し悪しは別にして、親や社会が知らせなければ子供は知り得ない、そんな形で部落差別が小さくなってゆくのも一つの方法かと思います。

(3) 差別問題はなくならないという意見

[主な意見]

- ・男女差別、障害者差別、人種差別等差別を0にするとは、非常に難しいと思う。人の心の中を変えることは無理と思う。
- ・“完全になくす”ということは、難しい現状にあると思う。
- ・世の中から差別を完全になくすという事は、とても難しいと思います。全ての人が同じ考えを思っているとは限らず、全ての人を納得させることは不可能に近いと思います。しかし、世界中の人がお互いを尊重し、仲良くできる世界になればとても素晴らしい事で、それを願っています。
- ・この問題は、人が生きて行く限り、なくならないと思います。法律で禁止することも出来ないと思います。一人一人が、差別がいけない事と自覚して、生きて行かなければなくならないと思います。

(4) 同和問題以外の多くの差別問題を指摘し、その対応を述べる意見

[主な意見]

- ・精神障害の人に対する偏見があるから、仕事がなかなか見つかりにくい。
- ・外国人、障がい者であろうとも一人の人間であるから、人として人の中で少しでも幸福を感じて生きる権利を、他の人が奪ってはいけないし、お互いが楽しいと思える人生の時間を多く作れるよう、助け合うべきだと思います。
- ・男女平等＝女性が働きやすい社会で活躍する。女性が社会で活躍できる意識改革と平行して、子育ての重要性和教育の大切さを社会が認識することも進める必要があると思う。
- ・昔は「女のくせに」とよく言われたりしたが、女性が社会に出て活躍するようになってあまり聞かなくなった。でも、口に出さなくてもまだそういう意識は残っているのではないかと思います。
- ・現在でも企業での差別（上、下）がある様に聞きます。
- ・男女差別が問題になってから、お給料や勤務時間など平等になってきたと思います。私は男性がやるべき仕事、女性がやるべき仕事というものがあると思っており、例えば、子どもが3歳くらいになるまでは、女性が家庭でゆっくりと育てる方が良いと思います。子どもを産み育てるにあたって金銭面や子育てを終えた時に社会復帰できるかなどの不安が解消されると良いと思います。
- ・障害者の方の対応、お金の保障、税金等の免除も良いのか、悪いのか・・・本当に困っている障害者の方、老人の方、母子父子家庭の方を優先できれば良いのにとと思います。
- ・今一番の課題は「子供のいじめ」ではないかと思います。問題を解決するには、社会全体（家庭、学校、地域、行政等）で取り組んでいく必要があります。もっと「いじめ」を未然に防ぐ取組が重要かと思っています。

(5) 差別や人権問題について正しく教え又は学習していくことの必要性を述べる意見

[主な意見]

- ・人権にかかわる学習は、特に中学校では具体的に行われており、子供に関して将来は明るいと感じたい。親や祖父母が長年すり込まれてきたことを払拭する努力の必要性があると思う。地域の人権意識向上なしに地域活性化は図れない（若者の流出にもつながる）と感じている。
- ・おしつけの人権教育ではなく、家庭内から自然に人権について考えるような、そんな人権教育が地域でも学校でも職場でも出来たら良いと考えます。
- ・人権問題や差別は、ある程度は教育により無くしていくことができると信じています。大人も正しい知識を持つことが大切だし、特にこれからの社会を支えることになる、子供達にも正しい知識と判断力を持てるように教育が大切だと思います。公正な人権的な感覚を養うには、学校教育だけではなく、家族や地域の力が重要になると感じています。
- ・正しい知識を学習していくと差別が徐々に無くなっていくと思います。学校での道徳の学習も大切だと思います。
- ・難しい問題で若い人達に、馴染みがないと思われるので、わかりやすい形で伝え、広めていってほしい。
- ・差別が起こるのは、差別をしてしまう人が、差別を受けている人の事をあまり知らないからであると思う。もっと理解を深めなければ、差別がなくならないのではと思う。
- ・自分も人権を軽んじたり、差別的なことをしているのかも知れないと思う。はっきりとできないのは、勉強不足なのかもしれない。

(6) 差別問題を人間の本性論として述べる意見

[主な意見]

- ・差別がよくないことくらいみんなわかっていると思う。でもできない。どうやってコミュニケーションをとったらいいかわからないだけかもしれない。異なる人とのコミュニケーションのとり方を学べる場があればよいと思う。
- ・この調査に答えていて、理想と現実、建前と本音ということを考えさせられた。当事者の身になっ

て考える（当事者でもあるという）自覚が自分に乏しいと思った。もっと、現実をよく見つめ、問題に気付き、しっかり学ぶ事が、差別を一步步無くし人権を守る事に繋がると思った。過激な差別意識を持たないと思っている自らの曖昧さが差別を温存し、他の人の人権を侵す事に繋がっている事に、もっと敏感にならなければと思った。

- ・色々な人がいる中で、差別・区別・偏見の感情を持つ事は自然の事だと思う。テレビやインターネットでの情報は、全て正しいものではないが、あまりにも情報が多すぎるので、何を信じればいいのか分からなくなる。

（7）アンケートの実施そのものに対する意見

【主な意見】

- ・事情があるのでこういうアンケートも行うのですが、それこそ迷惑です。人としての基本「自分がされて嫌なことは、他人に対してもしない」ということを、親も教育者も教えれば済む事ではないでしょうか。
- ・アンケートの質問内容では、状況や程度によって左右される面が大きく、判断に迷うところが多々あった。実際、私は、被差別部落に対して、特別な見方をしている訳ではないし、今まで接してきた方は暗い訳ではないが、同和学習で差別事例等を学習したことで、かえって暗いイメージや、昔の貧しいイメージが植え付けられた気がする。同和問題を認識したり学習することは必要だと思うが、同和問題を強調することで、かえって違和感や抵抗感を持ってしまうのではないだろうか。人権問題は誰にとっても身近であり、色々な場所で具体的な事例を発信することで「気づき」を導き、人権感覚を磨いていくことが必要だと思う。
- ・このようなアンケートは無駄である。特に同和を取り上げるとは、誠に残念、反省してもらいたい。非常に不愉快である。

「2015 年中高地区人権に係る住民意識調査」の考察

部落解放・人権研究所 代表理事
近畿大学人権問題研究所教授
奥田 均

■調査結果の考察にあたって

前回、「中高地区人権に係わる住民意識調査」が実施されたのは2005年8月であった。今回の調査は以来10年ぶりのものである。同様の調査がこうして継続して実施されたことにより、調査結果からはより多くの知見を得ることができることとなった。そこで今回の調査結果はどのような角度からの考察が可能なのかについてはじめに簡単に触れておきたい。

1. まず、それぞれの質問に対する回答の単純集計結果である。質問内容に関わる住民の意識の状態が読みとれる。「この質問について住民はどのように考えているのだろうか」をゆっくりと眺めていきたい。これが考察の取り組みの基本である。
2. なお本調査報告書には記載されていないが、それぞれの市町村には各質問に関する「性別」、「年齢階層別」による回答結果の数値も提供されている。それにより先の考察がより詳細に行うことができる。
3. 次に経年変化（10年前との違い）を読みとることが可能となった。全ての質問項目ではないが、経年変化を把握したい内容については前回同様の質問を本調査に組み込んで調査票が作成されている。これら質問についてはこの10年間の住民意識の変化が把握できる。
4. 比較という角度からは時系列的な比較と共に、4市町村それぞれとの横の比較も可能である。この比較を可能とするために、調査における標本数（調査対象者数）の算出においては、中高地区全体のみならず、各市町村それぞれの住民意識が95%有意の高い確率で正確に示されるように調査が設計され実施された。こうした横の比較の一つが、中高地区全体と当該市町村との比較である。中高地区全体の状況に比べた当該市町村の状況が相対的に把握できる。さらに4市町村の相互比較も可能である。こうした作業により、地域特性や取り組みの効果測定など多くの知見が得られよう。
5. 以上の考察を踏まえて、さらに「関連性の分析」がなされる。ある質問でこのように答えた人は、別の質問でどのように答えているのであろうかという、回答結果と回答結果の間における関連性や傾向を探る考察である。これにより、ある質問の回答結果についての背景や必然性が浮かび上がり、取り組みの効果測定などを確かめることができる。
6. こうした関連性の分析にあたっては、相関係数およびクロス集計（2つの質問に対する回答結果の相互状態を示したもの）を用いている。いずれにおいても有意検定を行っているが記述の煩雑さを避けるために割愛している。
7. 最後に、考察作業として忘れてはならないのは「自由意見の分析」である。今回の調査では実に多くの住民から貴重な意見が提供された。本報告書では、個人情報保護などの観点からそれらを原文のまま掲載することは控えている。しかし、行政においては数字で示された調査結果だけではなく、この生の声で示された調査結果も重要なデータとして十分に考察されることが求められる。

以上の考察作業の中で、以下は筆者の問題意識に沿った6つのテーマに絞った内容を展開したものである。あくまでも様々に繰り広げることのできる考察作業の一端に過ぎないものである。「考察結果の一つ」として受け止めてもらえればありがたい。

■ [考察1] 様々な人権課題に関する住民の意識

「B. 人権問題に対するさまざまな課題についてお尋ねします」という問7～問13は、それぞれの人権問題に関する住民の意識状況を映し出している。その中心的な質問を取り上げて、10年前の調査結果と比較しながら現状を認識したい。なお同和問題に関しては[考察2]以下で取り上げている。

分析にあたっては問8～問13の回答において、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて「肯定的グループ」とし、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせて「否定的グループ」とした。

(1) 子どもの人権

図1は問8(1)「子どもは生活力がないのだから、親の言うことを聞くのは当然である」という考えに対する意見である。いわゆる子どもを一人の人権の主体と見なさずに「意見表明権」を否定する考え方である。これを肯定する住民の割合が29.0%であり、10年前の43.9%に比べて14.9ポイントも減少している。

図2は問8(3)「学校での教育的な体罰は、やむを得ない」という考えに対する意見である。体罰は人権侵害の最たるものでいかなる理由があろうと許されるものではない。こうした体罰を肯定する住民がなお26.0%存在するが、10年前の36.7%に比べて10.7ポイント減少している。

子どもの人権に関する住民の認識は大きく改善されてきていると言える。

図1 親への服従

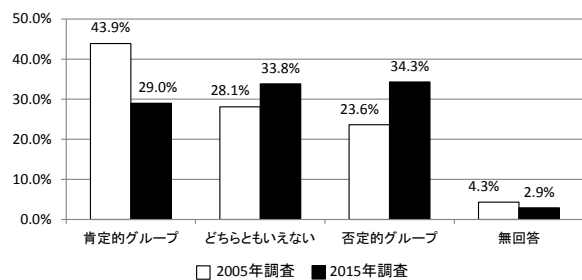
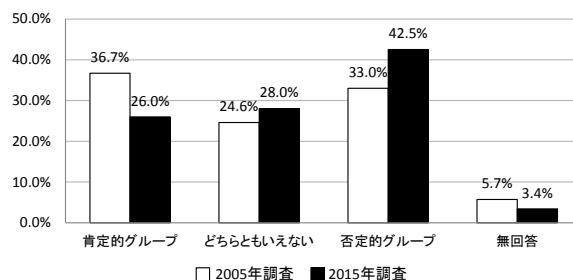


図2 学校における体罰



(2) 女性の人権

図3は問9(2)「夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい」という考えに対する意見である。いわゆる選択的夫婦別姓であるが、これを肯定する意見が37.4%、これを否定する意見が30.2%であり、前回調査の結果と逆転している。2015年12月に最高裁は夫婦同姓を規定した現行民法を合憲とする判断を示したが、選択的夫婦別姓を否定するものではなく、これを肯定する住民が次第に増加していることが示されている。

図4は問9(5)「女性が責任のある役職につくことには抵抗がある」という考えに対する意見である。男女共同参画社会の実現が強く求められているなかで、こうした抵抗感を否定する住民が10年前より増加し、71.5%にまで高まっている。

図3 選択的夫婦別姓の考え方

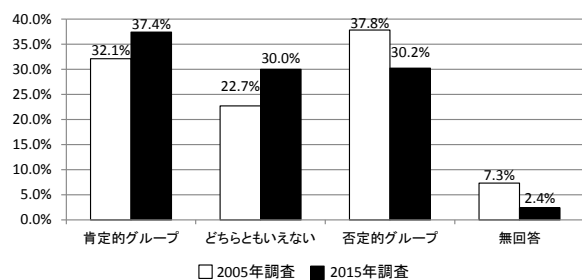
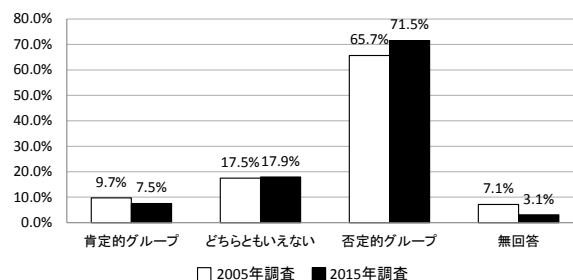


図4 女性の責任ある役職への抵抗



(3) 高齢者の人権

図5は問10(2)「年老いたら、子どもに従う方がよい」という考えに対する意見である。この意見は明らかに高齢者の人権を軽視したものである。これを肯定する人は10年前に比べて8.1ポイント減っているが、それでもなお36.5%も存在している。人権は年齢などいかなる状況にしろと保障されなければならないものである。

図6は問10(5)「一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われるのはよいことである(2005年調査では、年金や医療などの無料給付を行うのは当然である)」という考えに対する意見である。この意見を肯定する住民が79.4%に達しており、10年前の55.8%に比べて23.6ポイントも急増している。質問内容が若干変更されているとはいえ、高齢者の生活問題は住民全体の高い関心事項となっている。高齢者の生活諸課題を「高齢者の人権保障」の観点からとらえることが求められている。

図5 高齢者は子どもに従うべきという意見に対する考え

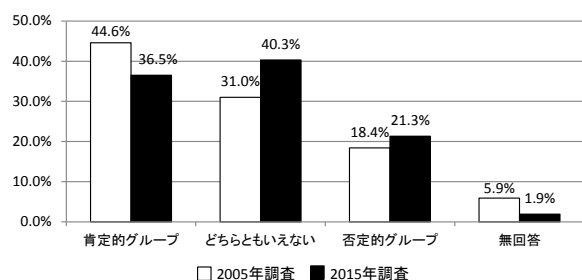
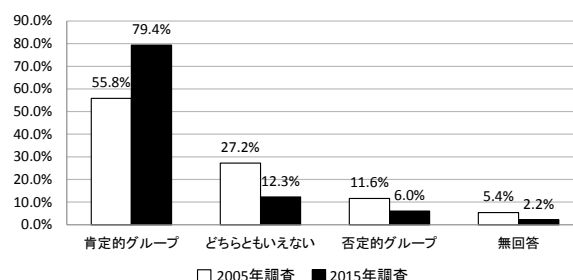


図6 高齢者に対する年金、医療の特別対策に対する考え



(4) 障がい者の人権

図7は問7(1)子どもが障がい者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が9.4%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が44.9%と子どもの意志を尊重するとした住民が合わせて54.3%であった。その一方で、「考え直すように言う」が8.2%、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が34.3%と、反対する考えの住民が42.5%に達している。障がい者に対する結婚での排除は厳しく存在している。

図8は問11(4)「障がい者が暮らしやすい社会は、だれもが暮らしやすい」という考えに対する意見である。被差別当事者の困りごとや悩みごとは実は住民に広く残されている人権課題の凝縮されたものである。それを「被差別当事者だけの問題」として切り取るのではなく、そこに「だれもが暮らしやすい」地域づくりの課題が発信されていると受け止めることは人権問題の理解において重要なポイントである。問11(4)は障がい者問題を通してこのことの理解を尋ねたものである。

この意見を肯定する住民は69.1%であり、10年前の77.0%に比べて7.9ポイント減少している。差別の現実認識と共に人権問題のとらえ方についての学習、啓発活動の一層の推進が期待される。

図7 子どもが障がい者と結婚することになった場合の態度

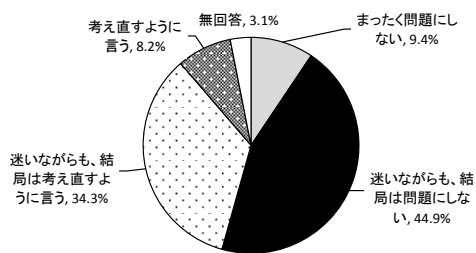
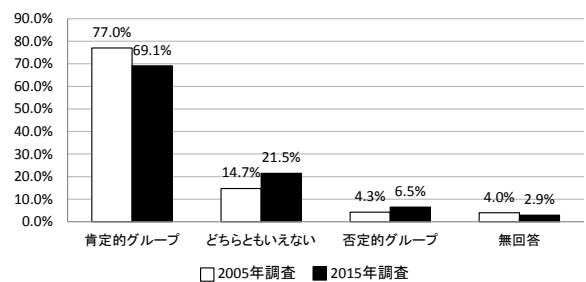


図8 障がい者が暮らしやすい社会は、誰もが暮らしやすいという考え方への意見



(5) 外国人の人権

図9は問7(2)子どもが外国人と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が22.5%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が44.7%と子どもの意志を尊重するとした住民が67.2%であった。その一方で、「考え直すように言う」が7.5%、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が21.5%と、反対する考えの住民が29.0%存在している。外国人に対する結婚での排除はなお根強いと言える。

図10は問12(3)「外国人が日本で働くことは、日本人の仕事を奪うことになり、賛成できない」という考えに対する意見である。この意見を肯定する住民は7.7%であり、10年前の15.1%に比べて7.4ポイント減少している。外国人との結婚に関する壁は厚いが、就労問題についての排除意識は弱い。今後さらに増加すると考えられる外国人労働者への雇用平等の理解が引き続き維持されることが期待される。

図9 子どもが外国人と結婚することになった場合の態度

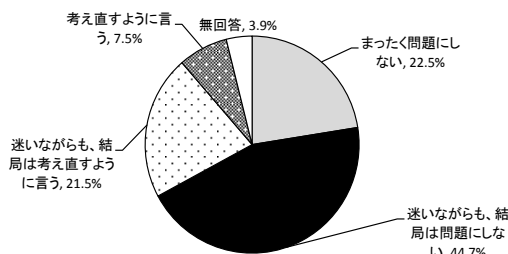
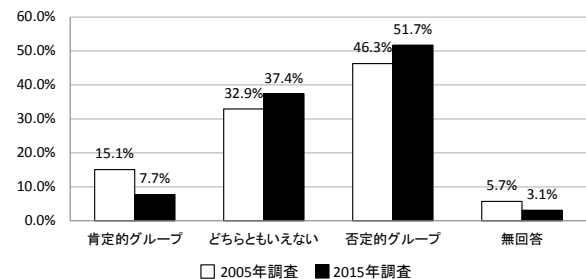


図10 外国人の就労が日本人の仕事を奪い賛成できないという考えに対する意見



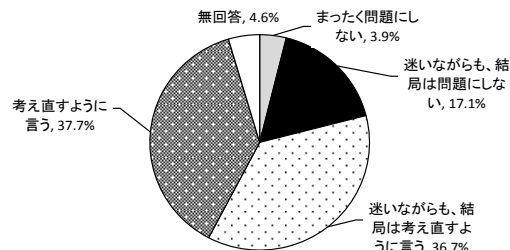
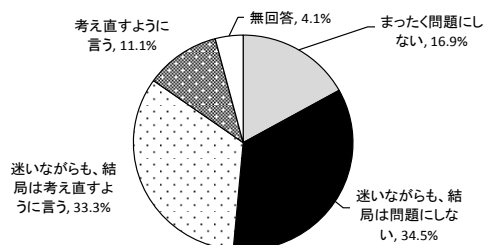
(6) ハンセン病回復者の家族、HIV 陽性者の人権

図11は問7(4)子どもがハンセン病回復者の家族と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が16.9%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が34.5%でハンセン病回復者の家族との結婚を認めるとした人の合計は51.4%と半数程度にとどまっている。逆に「考え直すように言う」が11.1%、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が33.3%と、反対する考えの住民が44.4%に達している。長野県ではかつての「無らい県運動」の検証もなされてきているにもかかわらずハンセン病問題への理解は進んでいない。その差別の

矛先が家族にまで継承されていることは深刻である。

図 12 は問 7 (5) 子どもが HIV 陽性者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が 3.9%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が 17.1% で HIV 陽性者との結婚を認めるとした人の合計は僅か 21.0%であった。逆に「考え直すように言う」が 37.7%、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が 36.7%と、反対する考えの住民が合わせて 74.4%に達している。HIV 問題に関する正しい認識が稀薄であると言わざるを得ない。

図 11 子どもがハンセン病回復者の家族と結婚することになった場合の態度 図 12 子どもが HIV 陽性者と結婚することになった場合の態度



(7) 小括

10年前と比較して、住民の人権意識が全般的に高まっていることが示されている。人権意識の高まりは可視化されにくいものであるが、調査の継続がその変化を明らかにしてくれた。この間の地道な取り組みの成果と言えよう。

しかし、これで十分ではないこともまた調査から提起されている。子どもへの体罰を条件付とはいえ肯定している人が4人に1人存在し、女性の役職就任への抵抗についても役職就任を当然のこととして受け止める住民の割合は71.5%にとどまっている。「年若いなら子どもに従う方がよい」という意見も36.5%に達している。障がい者、外国人、ハンセン病回復者の家族や HIV 陽性者との結婚における反対意見はなお深刻である。地道な取り組みの積み重ねが引き続き求められている。

■ [考察2] 意識調査結果に見る部落差別の現実

部落差別の状況について意識調査の結果から考察する。調査では、(1) 部落問題の最も深刻な課題である結婚差別の問題についての質問を複数設けている。(2) また同和地区の人々に対する典型的な偏見の一つである「同和地区の人はこわい」という噂が今日なおどの程度流布し、影響力を有しているのかを尋ねている。これら(1)(2)の質問に対する結果を通じて、今日の部落差別の現状について考察する。

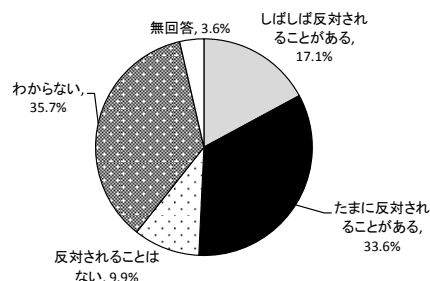
(1) 同和地区の人に対する結婚差別

1. 結婚差別の現状認識

図 13 は問 21 「現在、同和地区の人たちは結婚する際に、同和地区出身であることを理由に反対されることがあると思いますか」に対する結果である。

「しばしば反対されることがある」が 17.1%、「たまに反対されることがある」が 33.6%となっており、「反対されることがある」と受け止めている人が 5 割を超えている。「反対されることはない」は 9.9%であった。住民はまだ結婚差別が存在していると受け止めている。

図 13 同和地区の人が結婚差別を受けていると思うか



2. 反対する理由

では、なぜ同和地区の人との結婚に反対があると思っているのだろうか。その理由を問 21-1 で質問しており、その回答結果が図 14 である。

もっとも多く住民が指摘したのが「部落の人に対して差別意識を持っているから」の 49.5%であった。この結果はある意味当然の結果と言えよう。

注目したいのは、「親戚から反対されるから」の45.2%がこれに匹敵する割合で示されたことである。また、「世間の人から批判的に見られるから」が39.0%、「自分たちも部落出身者だと思われる差別を受けるかもしれないから」が18.1%あった。これらはいずれも、親戚や世間からの批判を浴びたり排除を受ける可能性が結婚差別の理由だとしてあげられている。

結婚差別は現象的には部落と部落外の当事者の間において発生するが、実は部落と部落外の当事者と世間（親戚や周囲の視線）という三者構造の中で創り出されていることが示されている。

3. 結婚差別解消への展望

問21-2では、こうした結婚差別が解消していくことへの展望を尋ねている。その結果が図15である。

「完全になくすことができる」とした住民は13.3%、「かなりなくすことができる」が51.9%であった。結婚差別をなくしていけるとした住民は合計してもまだ65.2%にとどまっている。

4. 結婚差別の見聞経験

図16は問23「あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあったりしたことを聞いたことがありますか」に対する結果である。

「ある」が29.0%で、10年前の調査での結果の32.9%から僅かに減じている程度である。見聞の対象を「あなた自身あるいはあなたの親戚や友人」に限定していること、さらに同和地区人口が全人口に占める割合はほんの僅かであることを考えると、体験や見聞ありとした住民が、29.0%存在していることは極めて大きな数字であるといえよう。

先の「1. 結婚差別の現状認識」では、「反対されることがある」と受け止めている人が5割を超え、「反対されることはない」は9.9%にとどまっているとの結果を取り上げたが、こうした現状認識は単なる推測ではなく、自分の周囲で現に結婚を巡る部落差別が生じていることの見聞が反映しているものと思われる。表面化しないところで、結婚差別が多発していることが危惧される。

5. 子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度

図17は問7(3) 子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度を尋ねている質問への回答結果である。「まったく問題にしない」が30.4%、「迷いながらも、結局は問題にしない」が41.5%で、「問題にしない」とした人の合計は71.9%であった。逆に「考え直すように言う」が5.1%、「迷いながらも、結局は考え直すように言う」が18.8%と、反対する考えの住民が合わせて23.9%であった。結婚差別の現実を受け止めている人が5割以上存在し、その理由が親戚や世間からの批判を恐れていることであるとしている。

図14 反対する理由は何だと思うか（複数回答可）

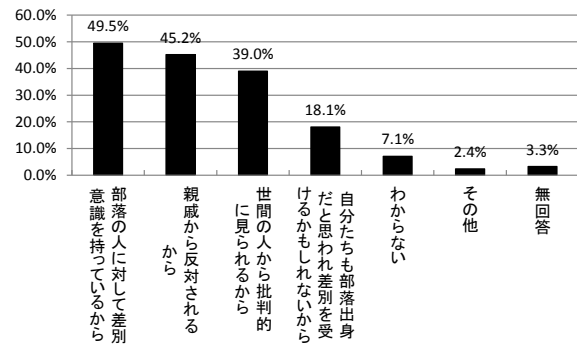


図15 結婚差別解消への展望

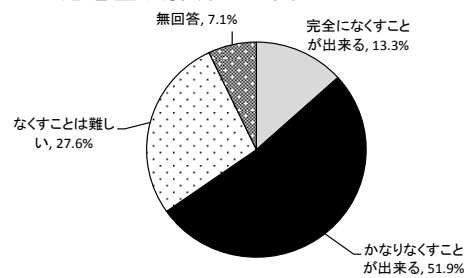
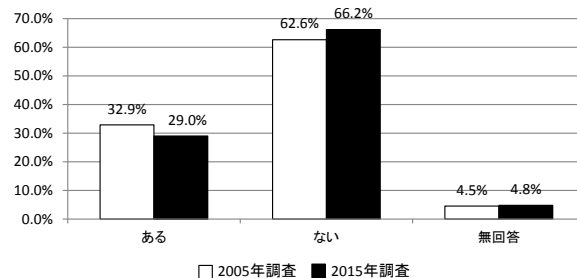


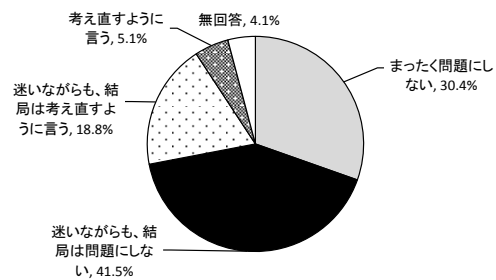
図16 結婚差別の見聞経験



こうしたことの結果、自分の周囲で結婚差別問題が生起しているという人が約3割に達し、「なくすことは難しい」と受け止めている人が27%余り存在している。

こうした状況を総合的に判断すれば、結婚差別問題はなお深刻であると言わざるを得ない。しかし、7割を超える住民が「問題にしない」としており、この認識がさらに拡大するとともに、それが差別の現実を解消する確実な力になるための後押しをする方策が求められている。

図 17 子どもが同和地区出身者と結婚することになった場合の態度



(2) こわいと言う噂の流布

図 18 は、問 22 「あなたは、「同和地区の人はこわい」というような話を聞いたことがありますか」に対する回答結果である。「ある」が28.0%で、これは前回調査に比べて6ポイント低い。事実無根のこうした噂がやや沈静化する傾向が示されているが、それでも高い数値と言えよう。

図 19 は、聞いたことがあるとした人にさらに尋ねている問 22-2 「その話を聞いたとき、どう思いましたか」の回答結果である。

「同和地区の人はこわい」という噂を聞いたとき、「反発・疑問を感じた」住民は19.0%にとどまっている。また「特に何も思わなかった」人も16.4%であった。その合計は10年前の調査に比べてほんの少し増加しているとはいえ、あまりに低い数値である。もしこれが「中高地区の人はこわい」という噂であれば、何を根拠にそんなことを言うのかと多量の住民は「反発・疑問を感じる」であろうし、「特に何も思わなかった」と言うわけにはいかないであろう。そこに同和地区の人に対する偏見が姿を見せている。

「同和地区の人はこわい」という噂の広がりやその受け止め方の中に部落差別の根強さが示されている。

図 18 「同和地区の人はこわい」という話を聞いたことの経験

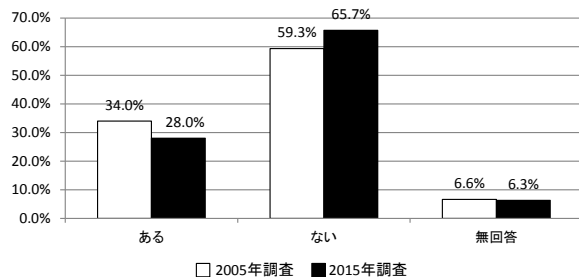
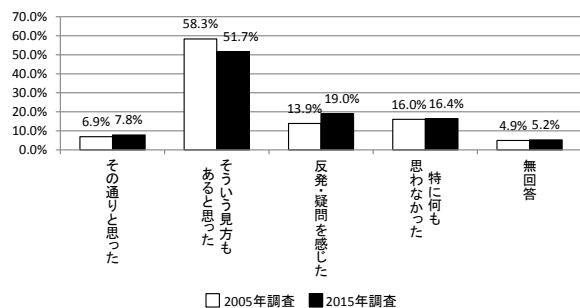


図 19 その話を聞いたときの受け止め方



■ [考察3] 部落に対するマイナスイメージを考える

部落に対するマイナスのイメージがなお多くの中高地区住民の間に存在している。部落に対するステレオタイプである。先に取り上げた「同和地区の人はこわい」という噂に接した人が反発や疑問を感じずに受け止めてしまう社会の実態はその一例である。

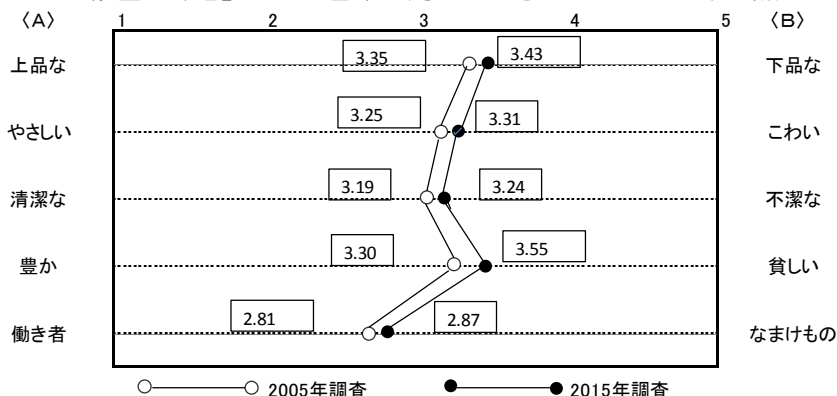
なぜこうしたマイナスイメージは克服されないのだろうか。どうすればこれを無くしていけるのだろうか。マイナスイメージを持っている人とそうでない人の違いに着目しながら、今後の取り組みの課題を探っていきたい。

(1) マイナスイメージの状況

問 19 では、「あなたは「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感じを持ちますか」との質問で「上品な-下品な」「やさしい-こわい」「清潔な-不潔な」「豊かな-貧しい」「働きの者-なまけもの」のそれぞれ対になるどちらのイメージに近いかを尋ねている。これらに対する回答は、〈A〉が「上品な」「やさしい」などの肯定的なイメージ群を指し、〈B〉は「下品な」「こわい」などの否定的なイメージ群を指しており、「1. 非常にAに近い」「2. ややAに近い」「3. どちらともいえない(わからない)」「4. ややBに近い」「5. 非常にBに近い」の5段階の評価で尋ねている。それぞれの回答結果において、1から5の選択肢の番号を得点と見なし、各項目の得点平均値を図示したのが図 20 である。

「働き者—なまけもの」の項目以外は、いずれも中立的な3.0(「どちらともいえない(わからない)」)の値を超えて、マイナスイメージの方に偏っている。しかも10年前の調査に比べていずれの項目もマイナスイメージの割合が強くなっている。

図20 「被差別部落」という言葉を聞いたときのイメージの平均点



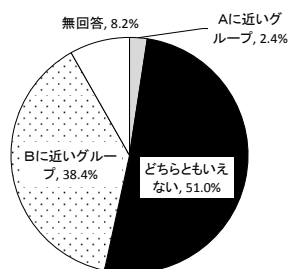
(2) 「部落=貧しい」というマイナスイメージ

1. 強烈なマイナスイメージ

問19のイメージの中で最もマイナス度が強かったのが「豊か—貧しい」という項目である。

図21はその状態を示したものであるが、「Aに近いグループ」とは、「豊か」というイメージに「1. 非常に近い」「2. やや近い」をあわせたものであり、「Bに近いグループ」とは、「貧しい」というイメージに「5. 非常に近い」「4. やや近い」をあわせたものである。「Aに近いグループ」は僅か2.4%にすぎず、「どちらともいえない」が51.0%、「Bに近いグループ」が38.4%を占めている。「部落=貧しい」というイメージが強烈であることが示されている。

図21 「A. 豊か—B. 貧しい」のイメージ



2. イメージと実態との乖離

では、本当に部落は貧しいのであろうか。1965年に出された同和对策審議会答申は部落の住環境の劣悪さや貧困を取り上げてこれを「実態的差別」と表現した。同和对策事業はこうした現実に対処するものとして導入され、なお課題は残されているとはいえ大きな成果を上げてきたことは周知の通りである。

ところで、生活の貧しさを象徴するものとして生活保護率がしばしば取り上げられる。長野県の統計情報である「地域別・市町村別100の指標」(2016年2月現在)によると、長野県の生活保護率は5.2% (ミハ[°]-セント)であり、北信地域では4.1% (ミハ[°]-セント)となっている。そして今回の「中高地区同和地区住民生活実態調査」の結果では、調査対象世帯における生活保護率は0% (ミハ[°]-セント)であった。「貧しさ」という指標を取り上げれば、「部落=貧しい」というイメージのこれほどの強さは事実と大きく食い違っていることがわかる。

(3) マイナスイメージの詳細分析

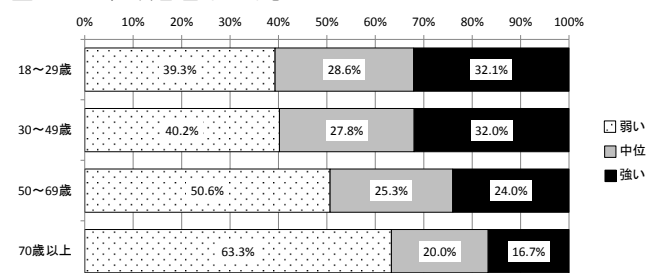
では、どのような人においてこうしたマイナスイメージが強いのだろうか。ここでは、①年齢階層(問25)、②学校での同和問題の学習経験(問16)、③地域や職場での同和問題学習の経験(問17)、④同和地区の人との付き合い(問24)との関わりを検証する。

なおマイナスイメージの強さを先の「(1) マイナスイメージの状況」で採用した得点を用い、問19の5項目(「上品な—下品な」「やさしい—こわい」「清潔な—不潔な」「豊か—貧しい」「働き者—なまけもの」)の得点合計を3つのグループに分類した。その結果、合計得点が8~9点をマイナスイメージが弱いグループ、16~17点をマイナスが中位のグループ、18~25点をマイナスイメージが強いグループとした。

1. 年齢階層別に見たマイナスイメージの強さ

図 22 は、年齢階層別に見たマイナスイメージの合計得点状況である。これを見ると、年齢階層が若い人の方がマイナスイメージが強いことがわかる。

図 22 年齢階層別に見たマイナスイメージ



2. 学習経験とマイナスイメージ

図 23 は、学校での同和教育の学習経験の有無（問 16）別にマイナスイメージの合計得点（強さ）を調べた結果である。学校での同和教育の学習経験のある人におけるマイナスイメージが強い割合は 27.0%で、学習経験のない人の 18.0%を 9 ポイント上回っている。学校での同和教育の学習経験のある人ほどマイナスイメージが強い実態がある。

なお図 24 は地域（地区）懇談会などの地域の取り組みや職場での研修会などへの参加経験（問 17）別にマイナスイメージの合計得点（強さ）を調べたものである。ここでは明確な差は見られなかった。

図 23 学校での同和教育の学習経験とマイナスイメージ

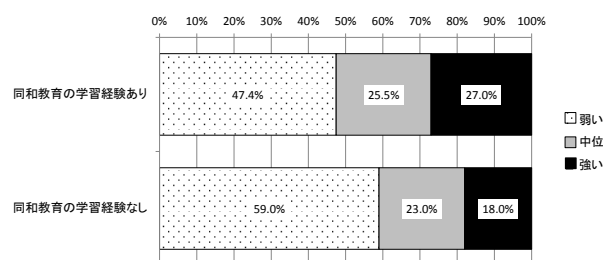
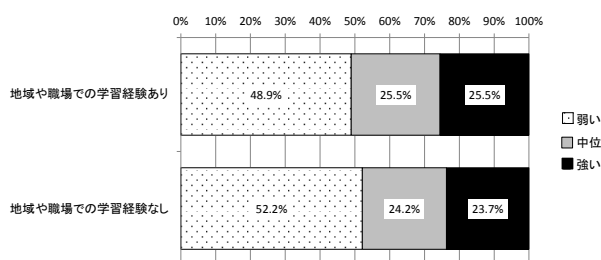


図 24 地域や職場での学習経験とマイナスイメージ



3. 小括

「50 歳代以下でマイナスイメージが強い傾向にある」との事実（図 22）と、「学校での同和教育の経験がある人の方がマイナスイメージが強い傾向にある」こと（図 23）とは、相互に関連していると考えられる。それは同和教育が広がりはじめた世代が「50 歳代以下」の世代と重なっているからである。

差別の現実があるとの共通認識の形成は一切の取り組みのスタートラインとなる。従って、同和教育の役割の第一は部落差別の現実認識である。しかし同時に、そのような差別の中で、部落にあっては、「人権意識が高く」「困っている人がいたらみんなで助け」などの良いところや、差別撤廃への運動が果敢に展開されてきたことも事実であり、それが当事者にとっての誇りになっていることが「生活実態調査」の問 15 の結果からも示されている。またその取り組みの成果が、広く地域社会の人権確立に貢献してきた。

差別の現実という厳しい側面と差別との闘いによる建設的な側面とをいずれも欠くことなく、総合的に展望を持って伝える教育や啓発活動の工夫や改革が求められている。

■ [考察 4] 「寝た子を起こすな論」分析

「寝た子を起こすな論」の克服は今なお大きな啓発課題である。1965 年に出された同和对策審議会答申は、『「寝た子を起こすな」式の考えで、同和問題はそのまま放置しておけば社会進化にともないいつとはなく解消すると主張することにも同意できない』（第 1 部同和問題の認識）とこれをきっぱりと否定した。

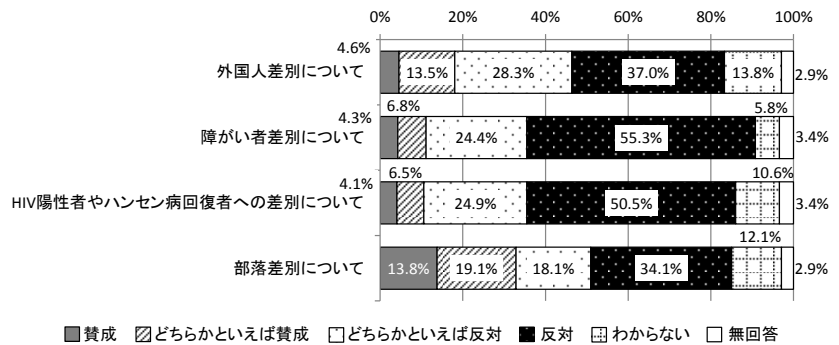
実際、「寝た子を起こすな論」は間違っている。それは歴史的事実や社会意識形成の実態からも明らかである。たとえそれが「部落問題を解決しよう」という善意に立脚したものであったとしても、結果として差別の温存につながるものである。ここでは「寝た子を起こすな論」の実態をあらためて考察する。

(1) 「寝た子を起こすな論」に関する住民の実態

図 25 は問 1 で質問している人権課題別に見た「寝た子を起こすな論」への考えである。外国人差別については「寝た子を起こすな論」に「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計が 18.1%、障がい者差別については合計が 11.1%、HIV 陽性者やハンセン病回復者に対する差別については合計が 10.6%、部落差別については合計が 32.9%であった。

いずれの人権課題においてもなお 1 割から 2 割の住民が「寝た子を起こすな論」を支持しており、まだまだこの考え方が一定の影響力を発揮していることがわかる。とりわけ部落問題にあっては 3 割以上の住民が支持しており突出している。

図 25 人権課題別の「寝た子を起こすな論」への考え



(2) 「寝た子」は起こされている、しかも間違っ起こされている

表 1 は、問 18-1 で尋ねている同和問題を知った経路である。最も多かったのが「学校の授業で」の 50.3%であったが、次が「家族から」の 35.0%であった。経路を私的な情報源と公的な情報源に分類すると、「家族から」以外にも「近所の人から」が 13.8%、「職場の人から」が 8.5%など、私的な情報源が公的な情報源に匹敵するほどに多いことがわかる。

ここに、「寝た子を起こすな論」の主張通り、学校の授業や行政による啓発活動などを止めたところで、同和問題に関する情報が社会から無くなっていくわけではないことが示されている。「寝た子」は日常の市民生活の中で起こされているのである。

しかも私的な情報源にあっては、図 18 で見たとおり「同和地区の人はこわい」などという噂がまだまだ残されており、図 20 で示したとおり、強いマイナスイメージが支配的である。だとすれば、学校での教育や住民啓発を行わずにそっとしておくということは、正しい部落問題に関する情報の蛇口が閉まるだけで、結果として、世間に漂う間違った部落問題情報に染まってしまうことになってしまうのである。「寝た子」は起こされている、しかも取り組まなければ間違っ起こされるのである。

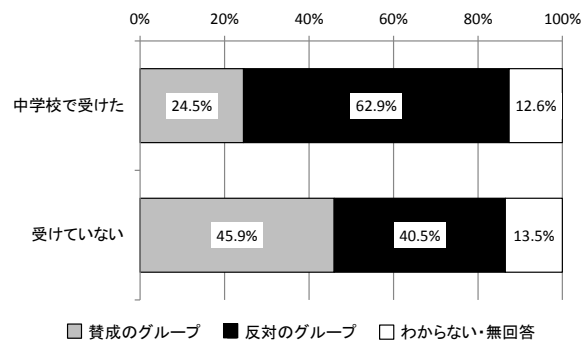
表 1 同和問題を知った経路（複数回答可）

私的な情報源					公的な情報源					その他		
家族から	親戚の人から	近所の人から	職場の人から	学校の友人から	学校の授業で	テレビなどで	同和問題の集会などで	県や市町村の広報誌などで	はつきり覚えていない	その他	無回答	
35.0%	4.0%	13.8%	8.5%	5.1%	50.3%	13.3%	18.6%	5.6%	6.5%	1.7%	0.8%	

(3) 学校での同和問題の学習経験と「寝た子を起こすな論」

図 26 は、学校での同和問題の学習経験の内、中学校での学習経験のある人と、学校での同和教育を受けたことのない人における「寝た子を起こすな論」への賛否状況を示したものである。中学校での同和教育経験者は「寝た子を起こすな論」に賛同する人が 24.5%にとどまっているのに対して、同和教育を受けたことのない人はそれが 45.9%と 21.4 ポイントも高くなっている。学習経験のない人ほど観念的に「寝た子を起こすな論」に賛同している状況が示されている。

図 26 学校での同和問題の学習経験と「寝た子を起こすな論」



(4) 小括

「寝た子を起こすな論」の克服は、古くて新しい課題として存在している。結局は「寝た子」は起こされているのであり、しかも偏見をまとめて起こされてしまう危険性を調査は提起している。学校教育などで正しく起こされることが「寝た子を起こすな論」の間違いに気づかせてくれている。

また「寝た子を起こすな論」が部落問題において他の人権課題に比べて突出して強いことにも留意しなければならない。被差別当事者の識別が容易な差別とそうではない差別との違いであろうか。そもそも、外国人や障がい者、HIV陽性者やハンセン病回復者のように他者との「区別」が部落差別の場合は客観的かつ明確ではない。こうした部落差別の独自性が、「そっとしておけばわからなくなる」という「期待や希望」を育てているのかもしれない。

「寝た子を起こすな論」は、「差別は社会問題である」ということの意味を改めて認識することを求めている。

■ [考察5] 「差別解消への将来展望」と教育・啓発の取り組み

「部落差別は解消される」との展望があって、はじめて取り組みに対する建設的な姿勢が生まれてくる。努力しても差別はなくならないという認識からは、取り組みはタテマエとなり、単なる行事消化的なものになってしまいがちである。本調査ではこうした「差別解消への将来展望」を計る質問を、結婚差別解消への将来展望を問う形で問21の付問として設けており、これへの影響要因を考察する。なお同様の考察は2005年調査においても実施している。

(1) 検証作業の枠組みと進め方

「差別解消への将来展望」(問21の付問)への影響の有無を検証する項目は次の通りである。

1. 問4「差別」というものについての考え方。この問では10項目にわたる考え方が例示されている。そのそれぞれの考え方を取り上げた。
2. 問16学校での同和問題(部落問題)の学習経験。ここでは小学校から大学までに学習したことがあるグループとないグループに二分した。
3. 問17地域や職場での同和問題についての学習経験。ここでは市町村主催の研修会や地域懇談会などに参加したことがあるグループと参加したことがないグループに二分した。

検証は、「差別解消への将来展望」(問21付問)と、「差別についての考え方(問4)」および「同和問題学習の経験(問16)」「地域職場での研修経験(問17)」との相関係数を計ることによって行った。

本論における相関係数は、スピアマンの順位相関係数を用いている。表の見方は、数字の絶対値の大きさが相関関係の強さを示している。相関係数の符号は、プラスであれば、一方の質問で小さい番号を選択している人ほど、もうひとつの質問でも小さい番号を選択している傾向があることを示している。逆にマイナスは、一方の質問で小さい番号を選択している人ほど、もうひとつの質問では大きい番号を選択している傾向があることを示している。なお係数右肩にある*印は、統計的な有意水準を示しており、*は5%水準で有意(100回調査すれば95回同じ結果が出る程度の確かさ)、**は1%水準で有意(100回調査すれば99回同じ結果が出る程度の確かさ)であることを意味している。*印がない項目は、統計的には意味がないことを示している。

(2) 「差別解消への将来展望」を支えているもの

算出した相関係数の結果は、表2の通りである。

差別についての考え方との関わりでは、「3. あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要がある」「9. 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である」「10. 差別の原因は、差別する人の側に問題がある」の項目は統計的に有意であり、相関係数の符号がプラスなので、こうした考え方をもっている人ほど、「差別解消への将来展望」が強いことを示している。

また、「4. 差別の原因は、差別される人の側に問題がある」「6. どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である」の項目も統計的に有意であり、相関係数の符号がマイナスなので、こうした内容が否定されるほど、「差別解消への将来展望」が強いことを示している。

教育・啓発の場との関わりでは、学校教育での学習経験は「差別解消への将来展望」との関わりが示されなかった。一方、地域や職場での研修経験については、相関係数の符号がプラスなので、こうした取り組みに参加した経験がある人ほど「差別解消への将来展望」が強いことを示している。学校での学習内容の点検が求められる一方、住民を対象にした取り組みの一層の推進が提起されている。

表2 結婚差別解消の展望に関わる相関係数

		結婚差別解消の展望 (問21付問) 1. 完全になくすことが出来る 2. かなりなくすことが出来る 3. なくすことは難しい	
差別についての考え方 (問4)	1. 差別は人間として恥ずべき行為の一つである	1. そう思う	0.113
	2. 差別は世の中に必要なこともある	2. どちらかといえばそう思う	-0.071
	3. あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要がある	3. どちらともいえない	0.168 **
	4. 差別の原因は、差別される人の側に問題がある	4. どちらかといえばそう思わない	-0.191 **
	5. 差別は法律で禁止する必要がある	5. そう思わない	0.080
	6. どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である		-0.199 **
	7. 差別される人の話をきちんと聴く必要がある		0.166
	8. 思いやりややさしさを持てば、差別問題は解決できる		0.057
	9. 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である		0.162 *
	10. 差別の原因は、差別する人の側に問題がある		0.140 *
学習経験	学校での同和教育を受けた経験(問16)	1. 受けたことがある	-0.078
	地域や職場での同和教育の研修会等への参加した経験(問17)	2. 受けたことがない	0.177 **

■ [考察6] 「差別撤廃へ踏み出す力」と啓発リーダーの存在

差別の解消は、生活現場に現れる具体的な差別の現実に対して、住民一人一人の積極的な態度や行動によってこそ実現されていくものである。こうした態度や行動を促すものを「差別撤廃に踏み出す力」と呼ぶことにし、これを計る質問として、問20「学校や職場、日常生活の中で、誰かが『同和地区』の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。また、とると思いますか」を取り上げる。なお同様の考察は2005年調査においても実施している。

(1) 検証作業の枠組みと進め方

「差別撤廃に踏み出す力」(問20)への影響の有無を検証する項目は次の通りである。

1. 問15 人権啓発リーダーの存在。この問では知り合いの中に、差別問題の解消や人権問題の擁護を熱心に行っている人が身近に存在しているかどうかを尋ねている。
2. 問16 学校での同和教育(部落問題)の学習経験。ここでは小学校から大学までに学習したことがあるグループとないグループに二分した。
3. 問17 地域や職場での同和教育についての学習経験。ここでは市町村主催の研修会や地域懇談会などに参加したことがあるグループと参加したことがないグループに二分した。
4. 問24 同和地区の人との付き合いの有無。

なお、相関係数を算出するにあたり、問20では、「1. 差別的な発言であることを伝え、話し合う(と思う)」を「1. 指摘し話し合う」とし、「2. 気づかなかつたふりをする(と思う)」と「3. 表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう(と思う)」を「2. 無視あるいは同調する」とした。「4. その他」は欠損値として扱っている。

(2) 「差別撤廃に踏み出す力」を育てているもの

算出した相関係数の結果は、表3の通りである。

問15 人権啓発リーダーの存在との相関係数が0.125で有意となっており、身近な人の中に差別問題の解消や人権擁護の取組を熱心に行っている人がいる人ほど、「指摘し話し合う」という積極的な態度をとる傾向にあることがわかる。地域や職場など様々な所にこうした啓発リーダーが育っていくことの意義は大きい。

なおこれ以外の、学校や地域・職場での同和教育の学習経験や、同和地区出身者との付き合いの有無は「差別撤廃に踏み出す力」との関係が示されなかった。

表3 差別的な発言に対する態度の関わる相関係数

		差別的な発言に対する態度(問20) 1. 指摘し話し合う 2. 無視あるいは同調する
啓発リーダーの存在 (問15)	1. いる 2. いない	0.125 *
学習経験	学校での同和教育を受けた経験(問16)	-0.010
	地域や職場での同和教育の研修会等への参加した経験(問17)	0.069
同和地区出身者との付き合い(問24)	1. ある 2. ない	0.071

調査票

中高地区人権に係る住民意識調査

2015年8月

中野市
山ノ内町
木島平村
野沢温泉村

■調査のあつかい

1. この調査は、今後の人権教育・啓発施策を推進するうえで基礎資料として活用するため、人権問題についての意識やお考えをお聞きするもので、**中高地区4市町村が協力して実施**します。
2. この調査票は、4市町村の住民の中から**無作為に約3,000名の方々(18歳以上)**を選び、ご送付させていただいております。
3. **無記名**でお答えいただきますので、**どなたのお答えかはわかりません**ようになっております。あなた自身にご迷惑をかけることは一切ありません。また、**上記目的以外に使用することはありません**。

■記入上の注意

1. **あて名のご本人**がお答えになってください(ただし、外国人の方等で日本語の読み書きが困難な場合、ご家族等の協力で本人がお答えください)。
2. ご回答は、**冊のボールペンか鉛筆で裏面の指示(「Oは1つ」、「Oはいくつでも」「問Oへお進みください」など)**にしたがって、選択回答もしくは記述回答してください。

※ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要)にお入れになり、**2015年9月18日までに返送**してください。

＜お問い合わせ先＞

この調査に関するご質問などは、下記までご連絡ください。

○中野市：人権・男女共同参画課 担当：坂本 (Tel) 0269-22-2111 (代)
 ○山ノ内町：人権政策室 担当：三井 (Tel) 0269-33-3111 (直)
 ○木島平村：人権推進室 担当：湯本 (Tel) 0269-82-2041 (直)
 ○野沢温泉村：人権対策室 担当：坂井田 (Tel) 0269-85-3112 (直)

A. 人権や差別についての考え方・イメージ・知識についてお尋ねします。

問1 一般に次のような意見があります。あなたはどう思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に、例にならってOをしてください。(それぞれにOは1つ)

	1 この意見に 賛成である	2 どちらかと 言えは賛成 である	3 どちらかと 言えは反対 である	4 この意見に 反対である	5 わからな い
例：法律で禁止すれば、自然に差別はなくなる。	1	2	③	4	5
(1)外国人差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5
(2)障がい者差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5
(3)HIV 陽性者やハンセン病回復者(およびその家族)に対する差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5
(4)部落差別については、そっとしておけば、自然に差別はなくなる	1	2	3	4	5

問2 あなたは「人権」について、どのようなイメージ(印象・感想)をお持ちですか。次の(1)～(9)の対になっている語句のすべてについて、あなたのイメージに一番近い番号にOをしてください。(それぞれにOは1つ)

<A>	1 非常に Aに近い	2 ややAに 近い	3 どちらとも いえない	4 ややBに 近い	5 非常に Bに近い	
(1)暗い	1	2	3	4	5	明るい
(2)温かい	1	2	3	4	5	冷たい
(3)自己中心	1	2	3	4	5	他人尊重
(4)苦しい	1	2	3	4	5	楽しい
(5)身近な	1	2	3	4	5	縁遠い
(6)強制的な	1	2	3	4	5	自発的な
(7)古い	1	2	3	4	5	新しい
(8)頼みやすい	1	2	3	4	5	頼みにくい
(9)自由な	1	2	3	4	5	不自由な

問3 あなたは次のような人権の考え方について、どのように思いますか。次の(1)～(7)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらか といえば 思う	3 どちらか もいえ ない	4 どちらか といえば 思わない	5 そう 思わない
(1)人権は、自分の生活の中には関係ない	1	2	3	4	5
(2)人権は、職場の中では通用しない	1	2	3	4	5
(3)人権は、夫婦の間では関係ない	1	2	3	4	5
(4)人権は、幼児には関係ない	1	2	3	4	5
(5)人権は、外国人には関係ない	1	2	3	4	5
(6)人権と結婚とは関係ない	1	2	3	4	5
(7)人権は、職業の選択とは関係ない	1	2	3	4	5

問4 あなたは一般的に「差別」というものについて、どのような考えをお持ちですか。次の(1)～(10)のすべてについて、あなたのお考えに一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらか といえば 思う	3 どちらか もいえ ない	4 どちらか といえば 思わない	5 そう 思わない
(1)差別は人間として恥ずべき行為の一つである	1	2	3	4	5
(2)差別は世の中に必要なこともある	1	2	3	4	5
(3)あらゆる差別をなくすために行政は努力する必要がある	1	2	3	4	5
(4)差別の原因は、差別される人の側に問題がある	1	2	3	4	5
(5)差別は法律で禁止する必要がある	1	2	3	4	5
(6)どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理である	1	2	3	4	5
(7)差別される人の話をきちんと聴く必要がある	1	2	3	4	5
(8)思いやりややさしさを持つと、差別問題は解決できる	1	2	3	4	5
(9)差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらわなければならない	1	2	3	4	5
(10)差別の原因は、差別をする人の側に問題がある	1	2	3	4	5

問5 差別について、A、B二人の意見が次のように分けられました。

Aの意見：今日では差別は許されない状況にあり、差別する人がやがて孤立してしまう。
Bの意見：世間ではまだまだ差別が残っており、差別をなくそうとする人が孤立してしまう。

あなたには次のAとBのどちらの意見に近いですか。(○は1つ)

1. Aの意見に賛成である
2. どちらかといえばAの意見に賛成である
3. どちらかといえばBの意見に賛成である
4. Bの意見に賛成である
5. わからない

問6 あなたは次の人権に関する条例や宣言があることをどの程度ご存知ですか。次の(1)～(11)のすべてについて、該当する番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 どんな内容か 知っている	2 内容は知らないが、 名称は聞いたこと がある	3 知らなかった
(1) あなたの住んでいる市町村の人権擁護条例（中野市1996年、山ノ内町1994年、木島平村1995年、野沢温泉村1995年）	1	2	3
(2) 人権教育及び人権啓蒙の推進に関する法律	1	2	3
(3) 個人情報保護法	1	2	3
(4) 同和对策審議会答申	1	2	3
(5) 世界人権宣言	1	2	3
(6) 人種差別撤廃条約	1	2	3
(7) 女子差別撤廃条約	1	2	3
(8) 子どもの権利条約	1	2	3
(9) いじめ防止対策推進法	1	2	3
(10) 障害者差別解消法	1	2	3
(11) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）	1	2	3

B. 人権問題に対するさまざまな課題についてお尋ねします。

問7 あなたのお子さんが恋愛をし、結婚を考えている相手が次の人であれば、あなたはどのような態度をとると思いますか。次の(1)～(5)のすべてについて、あてはまる番号に○をしてください(お子さんがいない場合は、いると仮定してお答えください)。(それぞれに○は1つ)

	1 まったく問題にしない	2 迷いながらも、結局は問題にしない	3 迷いながらも、結局は考え直すように言う	4 考え直すように言う
(1) 障がい者	1	2	3	4
(2) 外国人	1	2	3	4
(3) 向和地区出身者	1	2	3	4
(4) ハンセン病回復者の家族	1	2	3	4
(5) HIV陽性者	1	2	3	4

問8 あなたは子どもの人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(6)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばいい	4 どちらかといえばいい	5 そう思う
(1) 子どもは生活力が無いのだから、親の言うことを聞くのは当然である	1	2	3	4	5
(2) 親がしつけのため、子どもへ体罰をすることはやむを得ない	1	2	3	4	5
(3) 学校での教育的な体罰は、やむを得ない	1	2	3	4	5
(4) 犯罪を犯した少年は、成人と同じように処遇すべきだ	1	2	3	4	5
(5) 子どもの不登校や引きこもりの責任は、親にもある	1	2	3	4	5

問9 あなたは女性の権利問題について、どのように思いますか。次の(1)～(7)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばいい	4 どちらかといえばいい	5 そう思う
(1) 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
(2) 夫婦で別々の姓を名乗りたい人は、名乗ることができるようにした方がよい	1	2	3	4	5
(3) 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方は今もある	1	2	3	4	5
(4) 地域の行事などでは、力仕事は男性、接待は女性の方がよい	1	2	3	4	5
(5) 女性が責任のある役職につくことには抵抗がある	1	2	3	4	5
(6) 子育ての間は、母親は育児に専念した方がよい	1	2	3	4	5
(7) 母子家庭の母親は、なかなか正規の仕事に就きにくい現状がある	1	2	3	4	5

問10 あなたは高齢者の権利問題について、どのように思いますか。次の(1)～(6)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばいい	4 どちらかといえばいい	5 そう思う
(1) 高齢者は尊敬され、敬われなければならない	1	2	3	4	5
(2) 年老いたら、子どもに従う方がよい	1	2	3	4	5
(3) 高齢者が孤独死する社会を作っているのは、私たちの問題である	1	2	3	4	5
(4) 高齢者がいつまでも元気で働くことは、若い人の職を奪うことになる	1	2	3	4	5
(5) 一定年齢の高齢者には、年金の給付や医療費などの負担軽減が行われるのはよいことである	1	2	3	4	5
(6) 特殊詐欺で多額のお金を騙され送金等をしたとしても、本人が悪い	1	2	3	4	5

問11 あなたは障がい者の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(5)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらか いえばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかと いえばそう 思わない	5 そう 思わない
(1) 障がい者が利用しやすいように、全ての公共の建物を改造すべきだ	1	2	3	4	5
(2) 障がい者を雇用する義務を課していない会社には、厳しい罰則を与えるべきだ	1	2	3	4	5
(3) 障がい者と結婚するには、まだまだ様々な問題がある	1	2	3	4	5
(4) 障がい者が暮らしやすい社会は、だれもが暮らしやすい	1	2	3	4	5
(5) 自分が住んでいる近くに新しく障がい者の施設ができることは反対だ	1	2	3	4	5

問12 あなたは外国人の人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(4)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらか いえばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかと いえばそう 思わない	5 そう 思わない
(1) 定住外国人は、もともと日本の文化に溶け込む努力をするべきだ	1	2	3	4	5
(2) 外国人は、仕事をすることで待遇が悪くても仕方がない	1	2	3	4	5
(3) 外国人が日本で働くことは、日本人の職を奪うことになり、賛成できない	1	2	3	4	5
(4) 外国人にアパートを貸さない家主がいることは残念だ	1	2	3	4	5

問13 あなたはHIV/エイズ、ハンセン病などの人権問題について、どのように思いますか。次の(1)～(5)のすべてについて、あなたの意見に一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらか いえばそう 思う	3 どちらとも いえない	4 どちらかと いえばそう 思わない	5 そう 思わない
(1) 互人がHIVに感染していることがわかっていても、これまでも同じように付き合い合っている	1	2	3	4	5
(2) ハンセン病回復者が社会復帰できない現状がある	1	2	3	4	5
(3) 求められれば、カルテの情報は患者本人に開示されるべきだ	1	2	3	4	5
(4) インターネットによる人権侵害は、対応策が必要である	1	2	3	4	5
(5) 刺客(※1)の人と一韓に仕事することは抵抗がある	1	2	3	4	5

※1：刺客：刑を終えて、社会復帰した人

C. 人権問題や差別への対応についてお尋ねします。

問14 もし、あなた自身やあなたの家族が人権を侵害されることがあったとき、あなたはまずどのような対応をしますか。(○は1つ)

1. 相手に抗議する	→ 問15へは進み下さい
2. 身近な人に相談する	→ 問14-1へは進み下さい
3. 相談しないで我慢する	→ 問15へは進み下さい

問14で「2. 身近な人に相談する」を選ばれた方にお尋ねします。

問14-1 どのような人に相談しますか。(○はいくつでも)

1. 家族	7. 法務局や人権擁護委員
2. 友人・知人	8. 各地区の役員(区長・民生委員など)
3. 教師	9. 市町村の窓口
4. 人権問題に詳しい人	10. 警察
5. 弁護士	11. その他(具体的に:)
6. NPOや市民団体等	

全ての方にお尋ねします。

問15 あなたの知り合いの中で、差別問題の解消や人権問題の機運を熱心に行っている人はいいますが、(○は1つ)

1. いる → 問15-1へお進み下さい 2. いない → 問16へお進み下さい

問15で「1. いる」を選ばれた方にお尋ねします。

問15-1 その差別問題の解消や人権問題の機運を熱心に行っている人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 家族 5. 職場の人
2. 親戚 6. 学校の先生
3. 近所の人 7. 市町村の職員
4. 友人 8. その他(具体的に:)

D. 同和問題(部落問題)に関する学習経験についてお尋ねします。

全ての方にお尋ねします。

問16 あなたは、学校で同和問題(部落問題)についての学習を受けましたか。(○はいくつでも)

1. 小学校で受けた 2. 中学校で受けた 3. 高校で受けた 4. 短大・大学で受けた 5. 受けたことはない → 問17へお進み下さい

問16で「1」から「4」を選ばれた方にお尋ねします。

問16-1 それはどのような内容でしたか。(○はいくつでも)

1. 差別はなぜいけないのか 9. 他の人権課題との関係
2. 同和対策の必要性 10. 何が差別にあたるのか
3. 現在の差別の厳しさ 11. 部落問題の歴史
4. 過去の差別の厳しさ 12. その他(具体的に:)
5. 部落解放運動の成果 13. おぼえていない
6. 一人ひとりが努力すべきこと
7. 放っておけば差別はなくなるという考え方の誤り
8. 人権の大切さ

問16-2 そうした学習を受けたことについて、どう感じていますか。(○は1つ)

1. 学習を受けてよかったと思っている
2. 学習を受けたことはよいが、内容を改善すべきだと思っている
3. 受けない方がよかったと思っている
4. わからない
5. その他(具体的に:)

全ての方にお尋ねします。

問17 あなたは地域や職場での同和問題についての学習や研修に参加したことがありますか。(○はいくつでも)

1. 市町村で開催する集会、研修会、講座などに参加した
2. 職場の研修に参加した
3. 地域(地区)懇談会に参加した
4. 毎年8月に開催される、中高地区4市町村合同の「部落解放・人権政策確立要求中高地区総決起大会」に参加した
5. その他()
6. 参加したことはない → 問17-2へお進み下さい

問17で「1」から「5」を選ばれた方にお尋ねします。

問17-1 参加して最も印象に残っている研修会ほどのような内容でしたか。(○は1つ)

1. 市町村及び地域で人権問題に関わる人の話
2. 学校の先生などの話
3. 被差別当事者(同和地区住民)の話
4. 映画(DVD、映画など)
5. グループになって話し合ったこと
6. いろいろな住民が意見発表をすること
7. その他(具体的に:)

問17で「6」に参加したことはないを選ばれた方にお尋ねします。

問17-2 それは、どうしてでしょうか。(○はいくつでも)

1. 講演会や研修会などが開催されていることを知らなかった
2. 時間的余裕がなかった
3. 体の調子で会場に行くことができなかった
4. 関心がなかった
5. 他の家族が参加していたからよいと思った
6. 難しそうだったから
7. 自己学習で十分だから
8. 講演会や研修会に意義を認めないから
9. その他(具体的に:)

E. 同和問題の認知や意識についてお尋ねします。

全ての方にお尋ねします。

問18 あなたは、日本の社会に「被差別部落」「同和地区」あるいは「部落」と呼ばれる、差別を受けしている地区があることや差別を受けている住民がいることを知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている → 問18-1へお進みください 2. 知らない → 問19へお進みください

問18で「1. 知っている」を選ばれた方にお尋ねします。

問 18-1 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-----------------------|
| 1. 家族から聞いた | 7. テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った |
| 2. 親戚の人から聞いた | 8. 同和問題の集会や研修会で知った |
| 3. 近所の人から聞いた | 9. 県や市町村の広報紙や冊子で知った |
| 4. 職場の人から聞いた | 10. はっきり覚えていない |
| 5. 学校の友人から聞いた | 11. その他 (具体的に:) |
| 6. 学校の授業で聞いた | |

全ての方にお尋ねします。

問19 あなたは「被差別部落」という言葉を聞いたとき、どのような感じを持ちますか。次の(1)～(5)の列になっている語句のすべてについて、あなたの感じやイメージに一番近い番号に○をしてください。(それぞれに○は1つ)

<A>	1	2	3	4	5	
(1)上品な	非常にAに近い	ややAに近い	どちらともいえない(わからない)	ややBに近い	非常にBに近い	
(2)やさしい	1	2	3	4	5	下品な
(3)清潔な	1	2	3	4	5	こわい
(4)豊か	1	2	3	4	5	不潔な
(5)働き者	1	2	3	4	5	貧しい
						なまけもの

問20 学校や職場、日常生活の中で、誰かが「同和地区」の人に対する差別的な発言をしたとき、あなたはどのような対応をとりますか。またはとると思いますか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 差別的な発言であることを伝え、話し合う (と思う) |
| 2. 気づかなかつたふりをする (と思う) |
| 3. 表向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう (と思う) |
| 4. その他 (具体的に:) |

問21 現在、同和地区の人たちは結婚する際に、同和地区出身であることを理由に反対されることがあると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. しばしば反対されることがある | } 問21-1,21-2へお進み下さい |
| 2. たまに反対されることがある | |
| 3. 反対されることは少ない | } 問22へお進み下さい |
| 4. わからない | |

問21で「1」または「2」を選ばれた方にお尋ねします。

問 21-1 では、なぜ反対する人がいると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 部落の人に対して差別意識を持っているから |
| 2. 親戚から反対されるから |
| 3. 世間の人から批判的に見られるから |
| 4. 自分たちも部落出身だと思われ差別を受けられるかもしれないから |
| 5. わからない |
| 6. その他 (具体的に:) |

問 21-2 それは、将来なくすことが出来ると思いますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------|
| 1. 完全になくすことが出来る |
| 2. かなりなくすことが出来る |
| 3. なくすことは難しい |

全ての方にお尋ねします。

問22 あなたは、「同和地区の人はこわい」というような話を聞いたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. ある → 問22-1,22-2へお進み下さい | 2. ない → 問23へお進み下さい |
|---------------------------|--------------------|

問22で「1. ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 22-1 あなたが同和問題について、初めて知ったきっかけは何からですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------|-----------------|
| 1. 家族 | 6. 学校の先生 |
| 2. 親戚 | 7. 県や市町村の職員 |
| 3. 近所の人 | 8. 知らない人 |
| 4. 友人 | 9. その他 (具体的に:) |
| 5. 職場の人 | |

問 22-2 その話を聞いたとき、どう感じましたか。(○は1つ)

- | |
|-----------------|
| 1. その通りと思った |
| 2. そう思う方もあると思った |
| 3. 反発・疑問を感じた |
| 4. 特に何も思わなかった |

全ての方にお尋ねします。

問 23 あなた自身あるいはあなたの親戚や友人で、同和地区の人との結婚に関して、もめたり、反対にあたりしりしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 24 あなたは、同和地区の人との付き合いがありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1. ある | } 問24-1へお進み下さい |
| 2. ない | |
| 3. わからない | |

問24で「1. ある」を選ばれた方にお尋ねします。

問 24-1 それは、どの程度のお付き合いでしょうか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 近所付き合いをしている |
| 2. 自治会、婦人会などのメンバーとして付き合いしている |
| 3. 福祉や教育のことなどの地域の取組を一緒にしている |
| 4. 同じ職場や仕事上の関係で付き合いがある |
| 5. 民謡や踊り、囲碁、将棋、料理など、趣味の会や講習会などで一緒に習っている |
| 6. 盆踊りやまつり、スポーツなどを一緒にしている |
| 7. 学校時代から付き合い合っている友人である |
| 8. その他 (具体的に:) |

F. あなた自身のことについてお尋ねします。

全ての方にお尋ねします。

問25 あなた自身のことについて、次の(1)～(4)のすべてについてお答えください。

(1) あなたがお住まいの市町村はどこですか。(Oは1つ)

1. 中野市 2. 山ノ内町 3. 木島平村 4. 野沢温泉村

(2) あなたの性別についてお答えください。(Oは1つ)

1. 男性 2. 女性

(3) あなたの年代についてお答えください。(Oは1つ)

1. 18～19歳 5. 50～59歳
2. 20～29歳 6. 60～69歳
3. 30～39歳 7. 70～79歳
4. 40～49歳 8. 80歳以上

(4) 現在、あなたはどのような仕事(主なもの)に就いておられますか。(Oは1つ)

1. 農林業(家事従事者も含む)
2. 農林業以外の自営業(家事従事者も含む)
3. 自由業・専門職(開業医・弁護士・芸術家・学者など)
4. 商工サービス業(商店・飲食店の店員等)
5. 会社員(民間企業、各種団体など)
6. 公務員
7. 無職(家事専業・学生)
8. 失業者
9. その他(具体的に：)

H. 自由意見

問26 人権問題や差別に関して、何でも結構ですでお聞かせください。
